

Ⅱ 調査の結果

1 回答者の属性

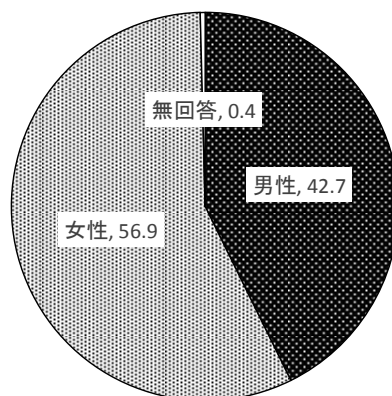
(1) 性別 (問1)

図表 1-1 (性別)

	件数	構成比
全 体	8,712	100.0%
男性	3,721	42.7%
女性	4,957	56.9%
無回答	34	0.4%

N=8,712

(%)



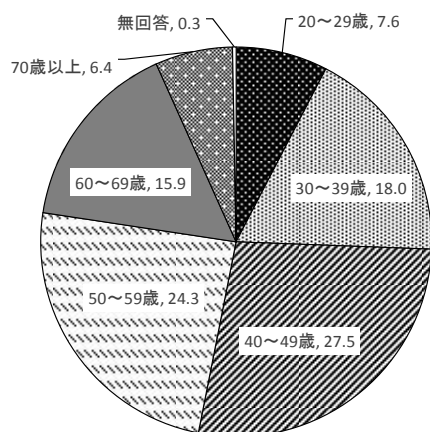
(2) 年齢別 (問2)

図表 1-2 (年齢別)

	件数	構成比
全 体	8,712	100.0
20～29歳	665	7.6
30～39歳	1,572	18.0
40～49歳	2,392	27.5
50～59歳	2,114	24.3
60～69歳	1,385	15.9
70歳以上	559	6.4
無回答	25	0.3

N=8,712

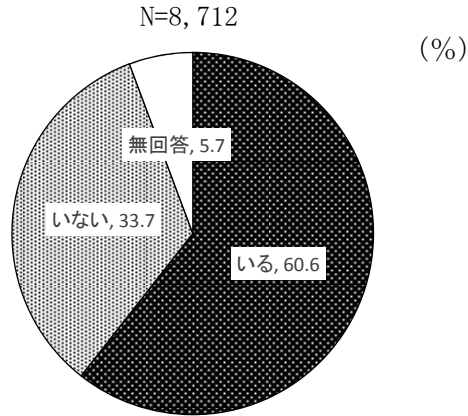
(%)



(3) 子どもの有無 (問3)

表 1-3 (子どもの有無)

	件数	構成比
全 体	8,712	100.0
いる	5,277	60.6
いない	2,935	33.7
無回答	500	5.7



(4) 居住地域 (問4)

表 1-4 (居住地域)

	件数 (件)	%
全体	8,712	100.0
区中央部 (千代田区、中央区、港区、文京区、台東区)	550	6.3
区南部 (品川区、大田区)	669	7.7
区西南部 (目黒区、世田谷区、渋谷区)	839	9.6
区西部 (新宿区、中野区、杉並区)	781	9.0
区西北部 (豊島区、北区、板橋区、練馬区)	1,264	14.5
区東北部 (荒川区、足立区、葛飾区)	789	9.1
区東部 (墨田区、江東区、江戸川区)	896	10.3
西多摩 (青梅市、福生市、羽村市、あきる野市、瑞穂町、日の出町、檜原村、奥多摩町)	245	2.8
南多摩 (八王子市、町田市、日野市、多摩市、稲城市)	964	11.1
北多摩西部 (立川市、昭島市、国分寺市、国立市、東大和市、武蔵村山市)	452	5.2
北多摩南部 (武蔵野市、三鷹市、府中市、調布市、小金井市、狛江市)	703	8.1
北多摩北部 (小平市、東村山市、清瀬市、東久留米市、西東京市)	531	6.1
区部	5,788	66.4
市町村部	2,895	33.2
無回答	29	0.3

(5) 仕事・就学 (問5)

表 1-5 (仕事・就学)

	件数 (件)	%
全 体	8,712	100.0
会社員・公務員	3,854	44.2
派遣・パート・アルバイト	1,699	19.5
自営業	880	10.1
家事専業	1,344	15.4
学生	97	1.1
無職	797	9.1
無回答	41	0.5

(6) 業種 (問6)

表 1-6 (業種)

	件数 (件)	%
全 体	8,712	100.0
農林漁業、鉱業	19	0.2
建設業	407	4.7
製造業	679	7.8
電気、ガス、熱供給、水道業	93	1.1
情報通信業	503	5.8
運輸業、郵便業	274	3.1
卸売業、小売業務	608	7.0
金融、保険業	352	4.0
不動産業	212	2.4
飲食店、宿泊業	293	3.4
サービス業	1,064	12.2
医療、福祉	900	10.3
公務	383	4.4
その他	1,066	12.2
無回答	1,859	21.3

2 受動喫煙の認知度・受動喫煙の状況

(1) 喫煙状況

問7 あなたはたばこを吸いますか。次の中から1つ選んでください。(○は1つ)

- | | |
|------------------------------|-------------------|
| 1 毎日吸っている ⇒問8へ | 2 ときどき吸う日がある ⇒問8へ |
| 3 以前は吸っていたが1ヶ月以上吸っていない ⇒問10へ | 4 吸わない ⇒問10へ |

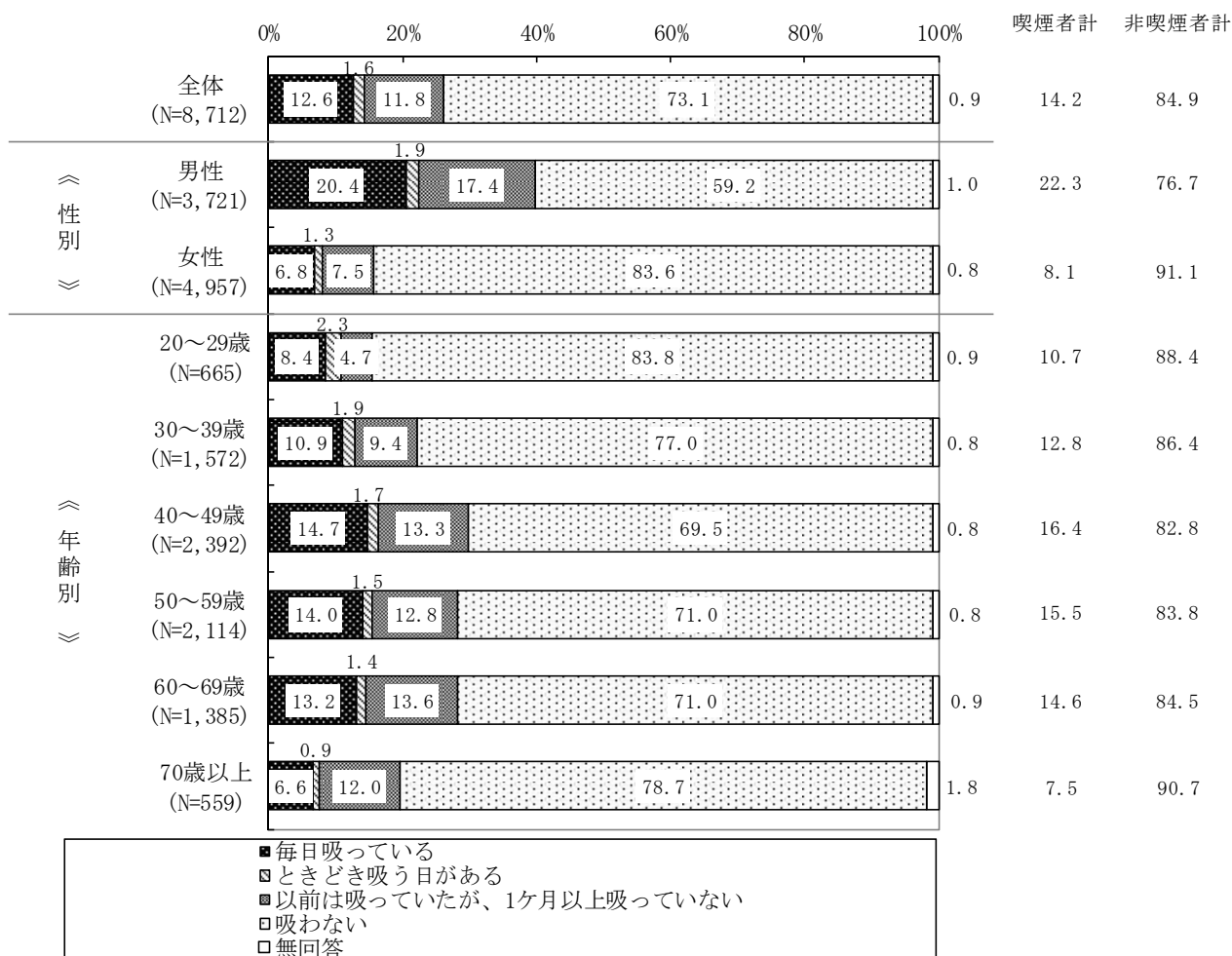
喫煙状況について、「吸わない」が73.1%と多く、「毎日吸っている」12.6%と「ときどき吸う日がある」1.6%を合わせた喫煙者は14.2%となっている。また、「以前は吸っていたが、1ヶ月以上吸っていない」11.8%と「吸わない」73.1%を合わせた非喫煙者は84.9%となっている。

性別でみると、男性は喫煙者が22.3%であるのに対し、女性は8.1%と1割に満たない。

年齢別でみると、喫煙者は40～49歳の16.4%をピークに分布し、70歳以上の7.5%では、他の年代よりも低くなっている。

図2-1-1 喫煙状況（全体・性別・年齢別）

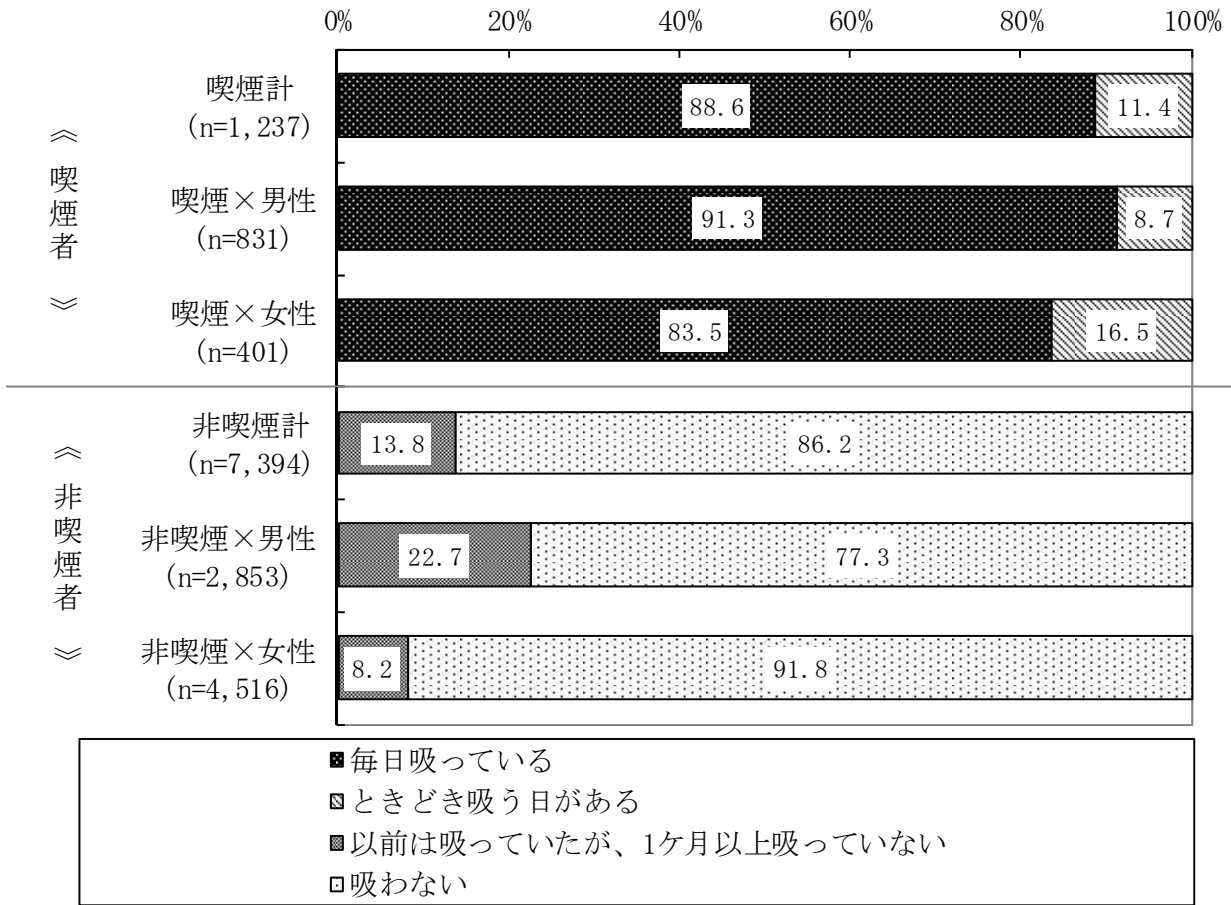
※喫煙者は「1 毎日吸っている」と「2 ときどき吸う日がある」の合計、非喫煙者は「3 以前は吸っていたが1ヶ月以上吸っていない」と「4 吸わない」の合計を表す。



喫煙者のうち、「毎日吸っている」とする者は88.6%と9割弱を占める。

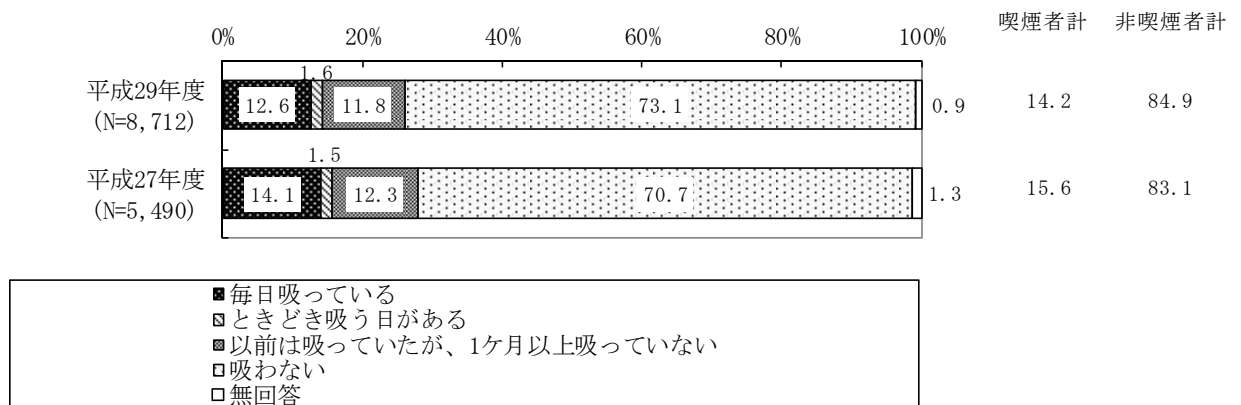
非喫煙者の中で、「以前は吸っていたが、1ヶ月以上吸っていない」は13.8%で、男性が22.7%、女性が8.2%となっている。

図 2-1-2 喫煙状況（禁煙／非喫煙×性別）



前回と比較すると、喫煙者は1.4ポイント減少している。

図 2-1-3 喫煙状況（経年変化）



(2) 禁煙の意志

(問7で「毎日吸っている」、「ときどき吸う日がある」と回答した方)

問8 あなたはたばこをやめたいと思いますか。次の中から1つ選んでください。(〇は1つ)

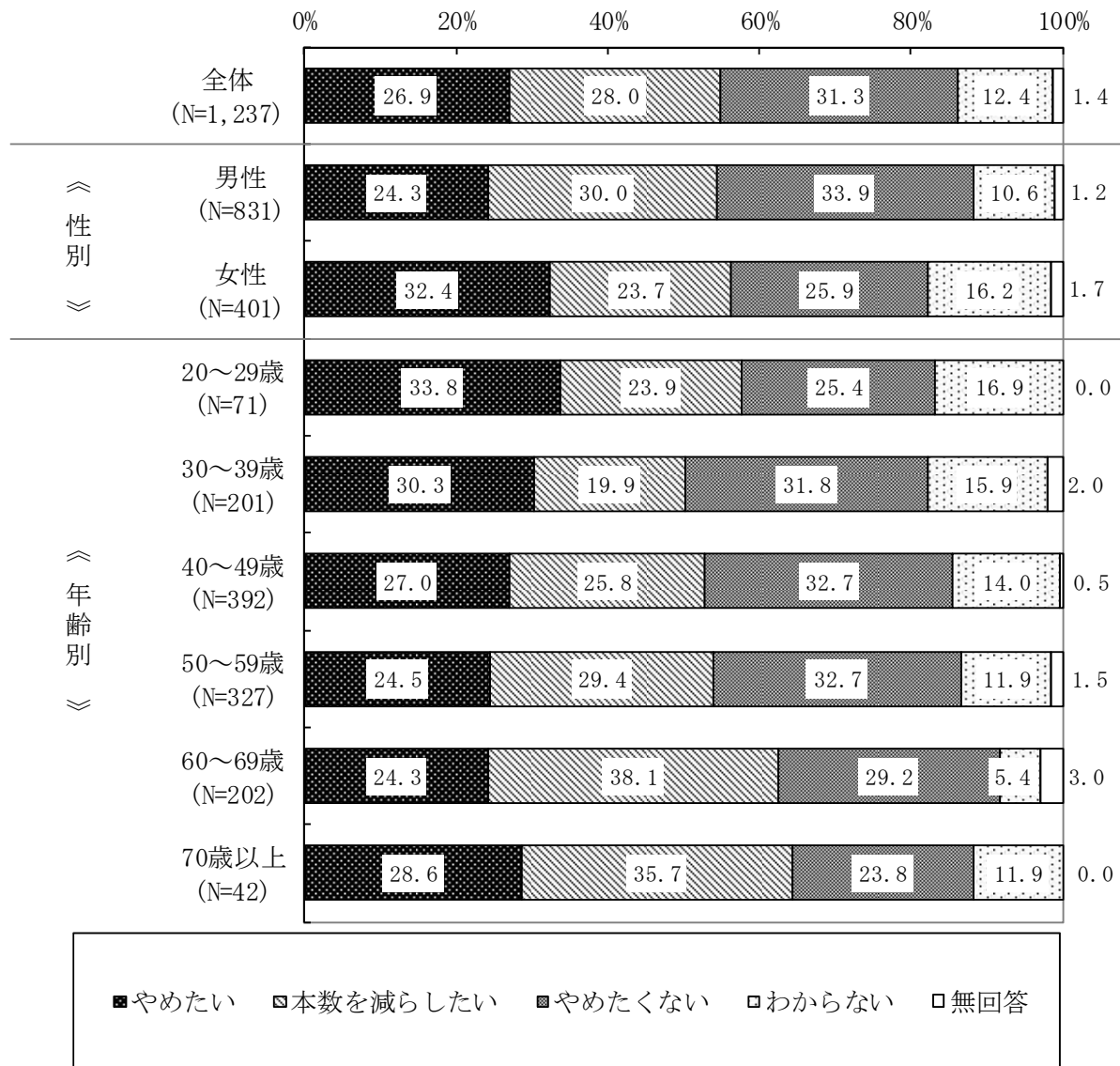
- | | |
|----------|------------|
| 1 やめたい | 2 本数を減らしたい |
| 3 やめたくない | 4 わからない |

喫煙者のうち、禁煙の意志について、「やめたい」26.9%と「本数を減らしたい」28.0%を合わせた54.9%が禁煙に対して意欲的であり、「やめたくない」の31.3%を大きく上回っている。

性別でみると、女性では32.4%が「やめたい」と回答している。

年齢別でみると、「やめたい」は70歳以上を除いて、年代が上がるにつれ少なくなっている。

図 2-2 禁煙の意志 (全体・性別・年齢別)



(3) 喫煙時に気をつけていること

(問7で「毎日吸っている」、「ときどき吸う日がある」と回答した方)

問9 たばこを吸うときに気をつけていることはありますか。(○はあてはまるものすべて)

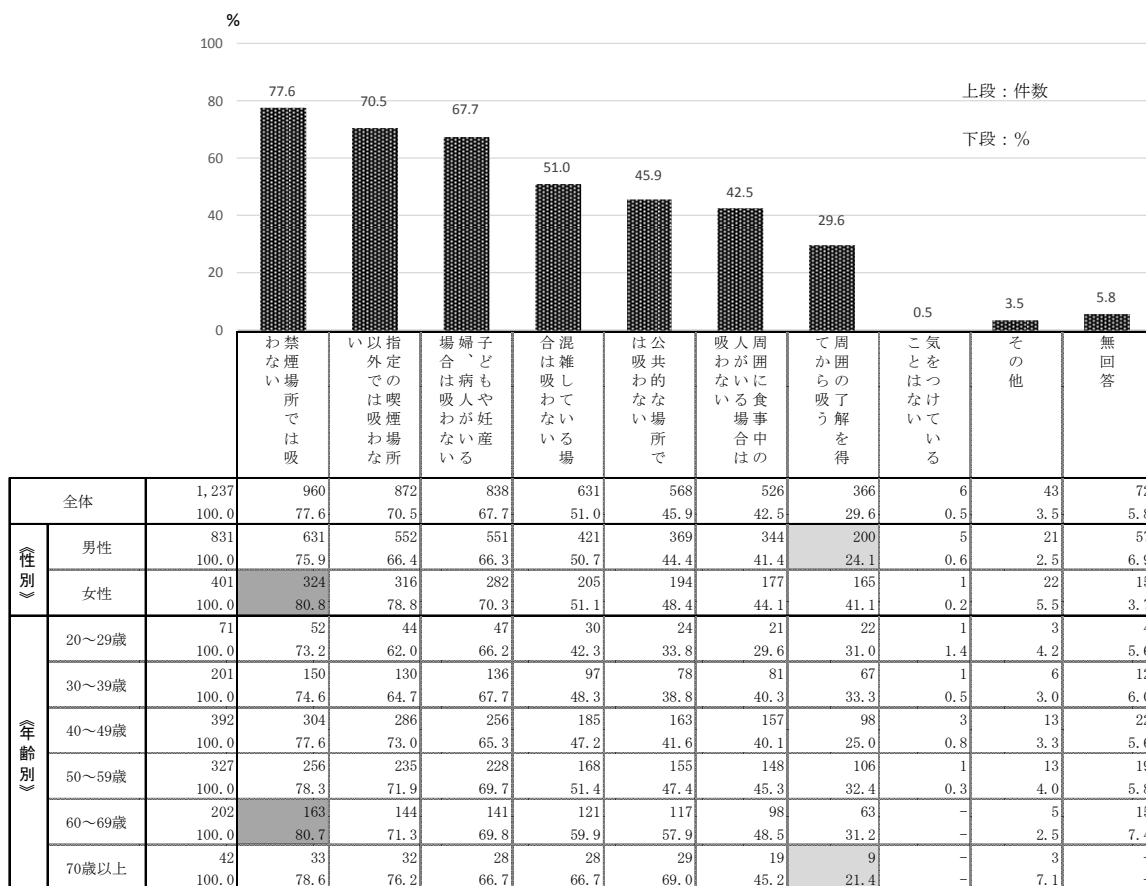
- | | |
|------------------------|----------------------|
| 1 公共的な場所では吸わない | 2 指定の喫煙場所以外では吸わない |
| 3 禁煙場所では吸わない | 4 混雑している場合は吸わない |
| 5 子どもや妊産婦、病人がいる場合は吸わない | 6 周囲に食事中の人がいる場合は吸わない |
| 7 周囲の了解を得てから吸う | 8 気をつけていることはない |
| 9 その他 () | |

喫煙時に気をつけていることについては、「禁煙場所では吸わない」が77.6%で最も高く、ほとんどの人が気にかけている。次いで「指定の喫煙場所以外では吸わない」は70.5%、「子どもや妊産婦、病人がいる場合は吸わない」は67.7%となっている。

性別でみると、「周囲の了解を得てから吸う」が男性24.1%、女性41.1%と、女性の方が男性より17ポイント高くなっている。

年齢別でみると、「混雑している場合は吸わない」「公共的な場所では吸わない」などの項目で、年齢が高まるにつれて高くなる傾向にある。一方、「周囲の了解を得てから吸う」では、30～39歳の33.3%が最も高くなっている。

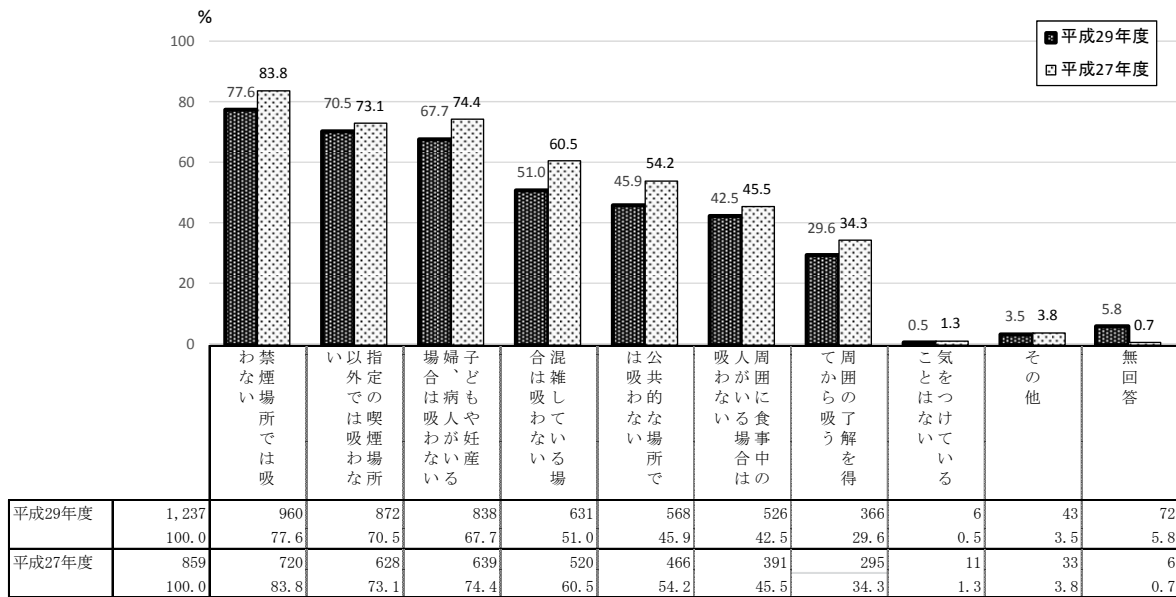
図2-3-1 喫煙時に気をつけていること (全体・性別・年齢別・喫煙/非喫煙×性別)



※ ■ は他と比較し、高い数値。■ は低い数値に網かけしている。

前回と比較すると、ほとんどの項目で前年度より割合が低く、特に「混雑している場合は吸わない」は9.5ポイント減少している。

図 2-3-2 喫煙時に気をつけていること（経年変化）



(4) 「受動喫煙」という言葉の認知度

問 10 あなたは「受動喫煙」という言葉をご存知ですか。次の中から1つ選んでください。
(○は1つ)

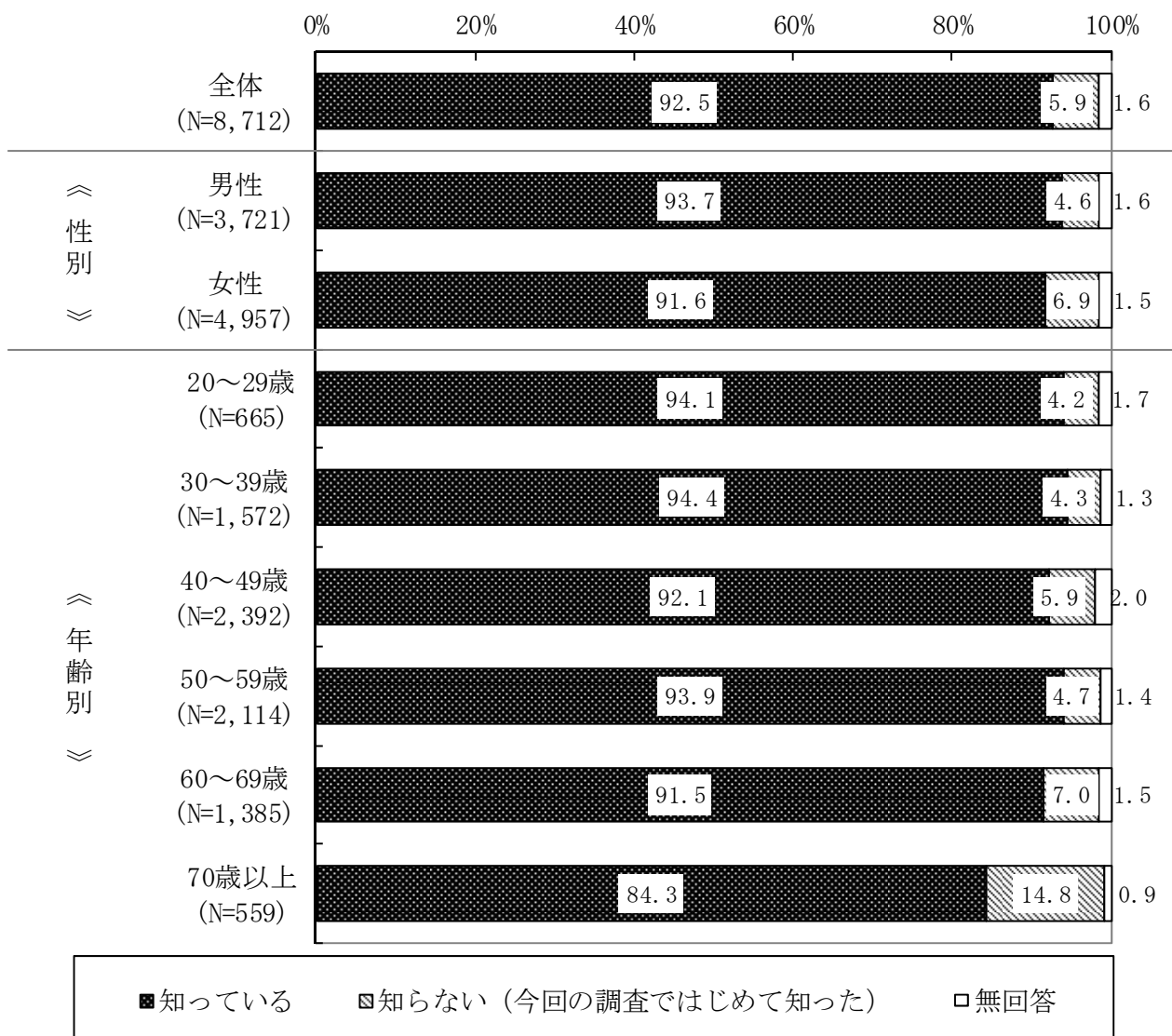
1 知っている	2 知らない(今回の調査ではじめて知った)
---------	-----------------------

受動喫煙という言葉を「知っている」とする割合は92.5%と、全体のおよそ9割である。

性別でみると、「知っている」は、男性(93.7%)の方が女性(91.6%)より2.1ポイント高くなっている。

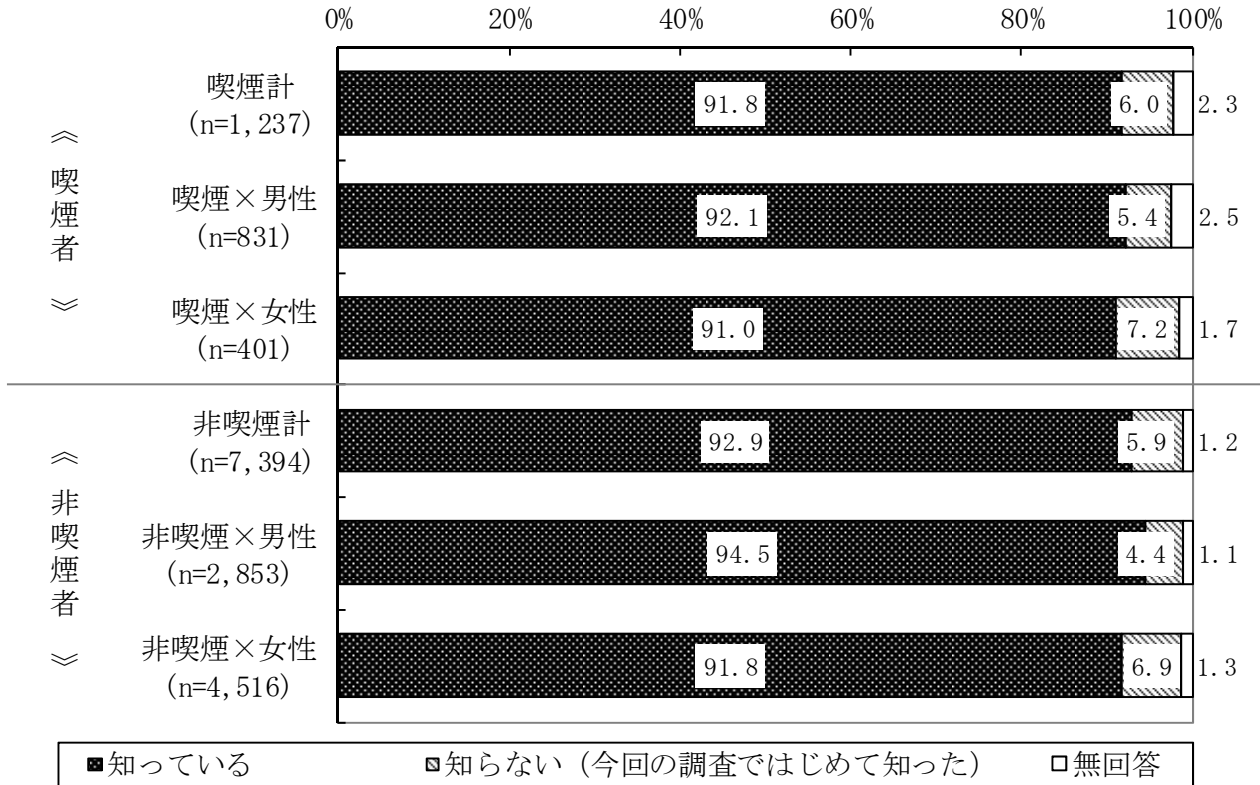
年齢別にみると、「知っている」は30~39歳(94.4%)が最も高く、70歳以上では84.3%と低くなっている。

図 2-4-1 「受動喫煙」という言葉の認知率(全体・性別・年齢別)



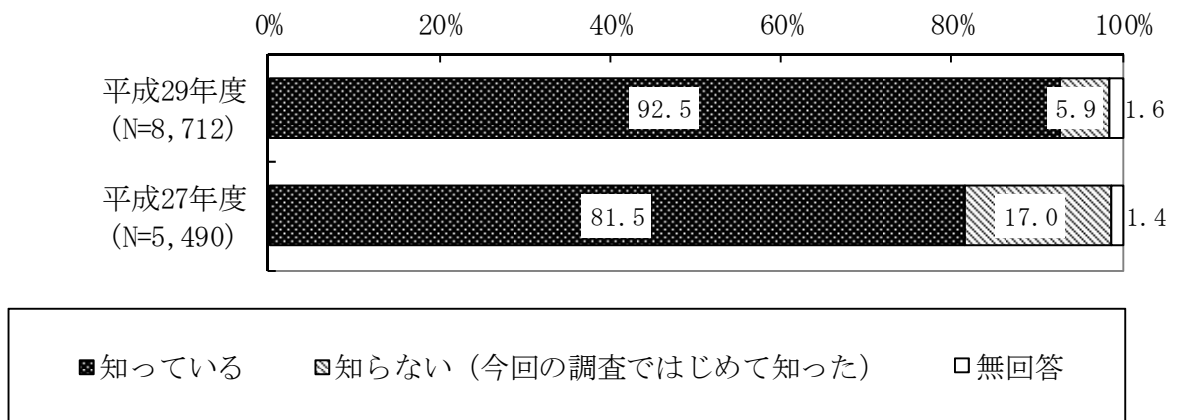
喫煙状況別にみても、「知っている」は先述のとおり女性よりも男性の方が高いものの、喫煙の有無による差はほとんどみられない。

図 2-4-2 「受動喫煙」という言葉の認知率（喫煙／非喫煙×性別）



前回と比較すると、「知っている」は11ポイント増加している。

図 2-4-3 喫煙状況（経年変化）



(5) 各施設における受動喫煙の有無

問 11 受動喫煙とは、「室内又はこれに準ずる環境において、他人のたばこの煙を吸わされること」をいいます。あなたは、おおよそ1年の間に次のような施設（敷地内の屋外、屋内を含む）で受動喫煙にあいましたか。

次の「施設」での「状況」に○をつけてください。（1つの「施設」に○は1つ）

1 あった	2 あわなかった	3 行かなかった
-------	----------	----------

「受動喫煙にあった」割合は、路上 83.7%と飲食店 77.3%が圧倒的に高く、次いで駅・空港 37.7%、ホテル・旅館 26.9%、職場 26.6%の順となっている。一方、「あわなかった」割合では、病院・診療所が 85.0%と最も高くなっており、次いで金融機関 84.4%、以下、自家用車 82.0%、バス・タクシー 81.3%が8割以上で続いている。

受動喫煙率（受動喫煙に「1 あった」を、「1 あった」+「1 あわなかった」の合計で除したもの）でみると、路上 86.2%、飲食店 80.7%、ゲームセンター・パチンコ店等娯楽施設 76.3%が群を抜いて高く、これに駅・空港 40.7%、ホテル・旅館 35.5%が続いている。

図 2-5 施設別受動喫煙の状況

※受動喫煙率は、受動喫煙に「1 あった」を、「1 あった」+「1 あわなかった」の合計で除したものである。

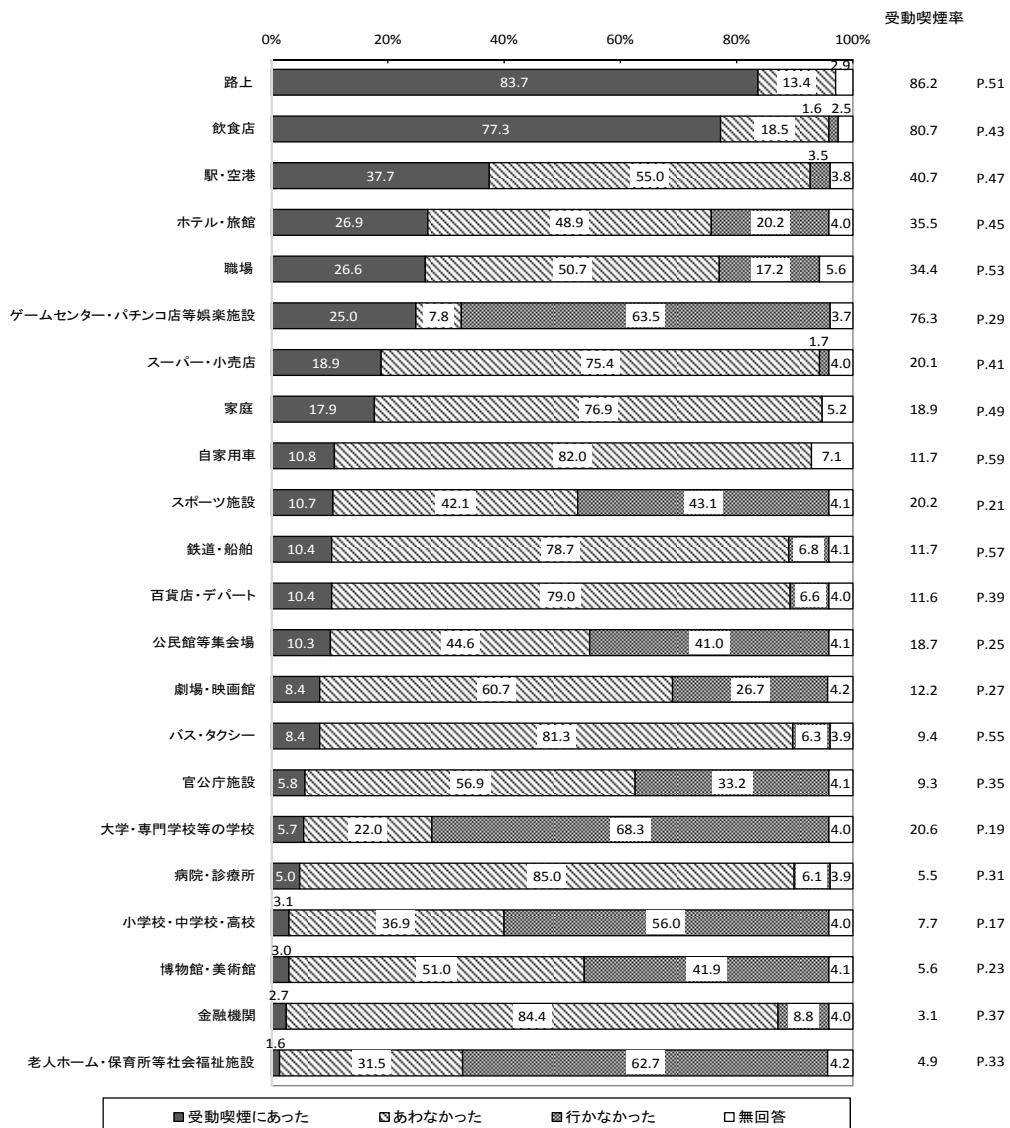
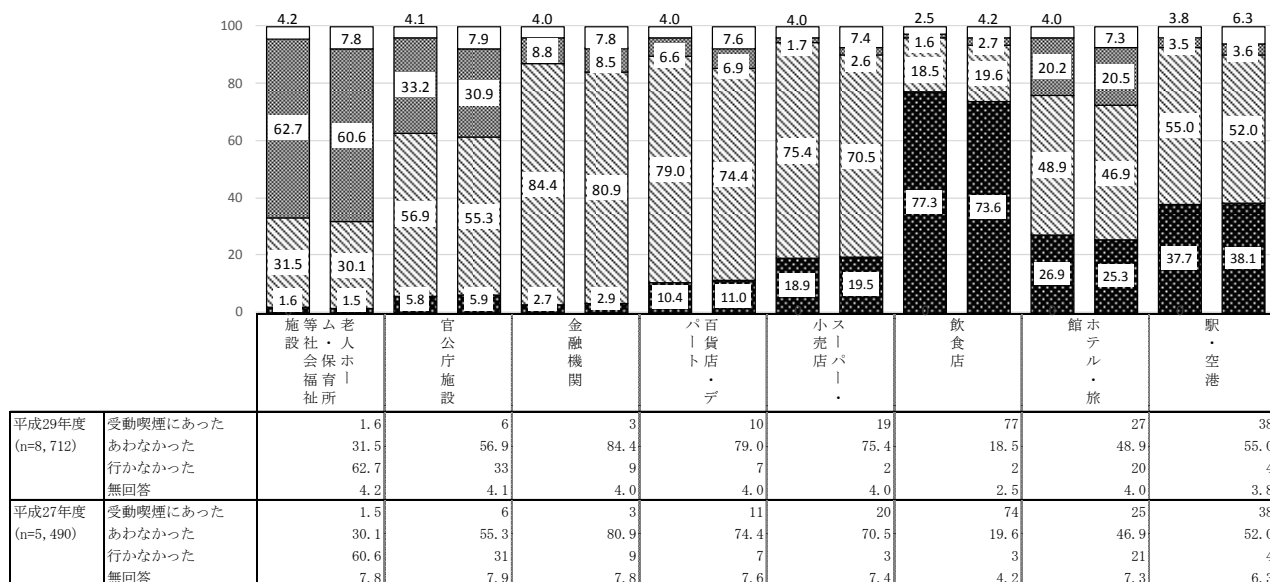
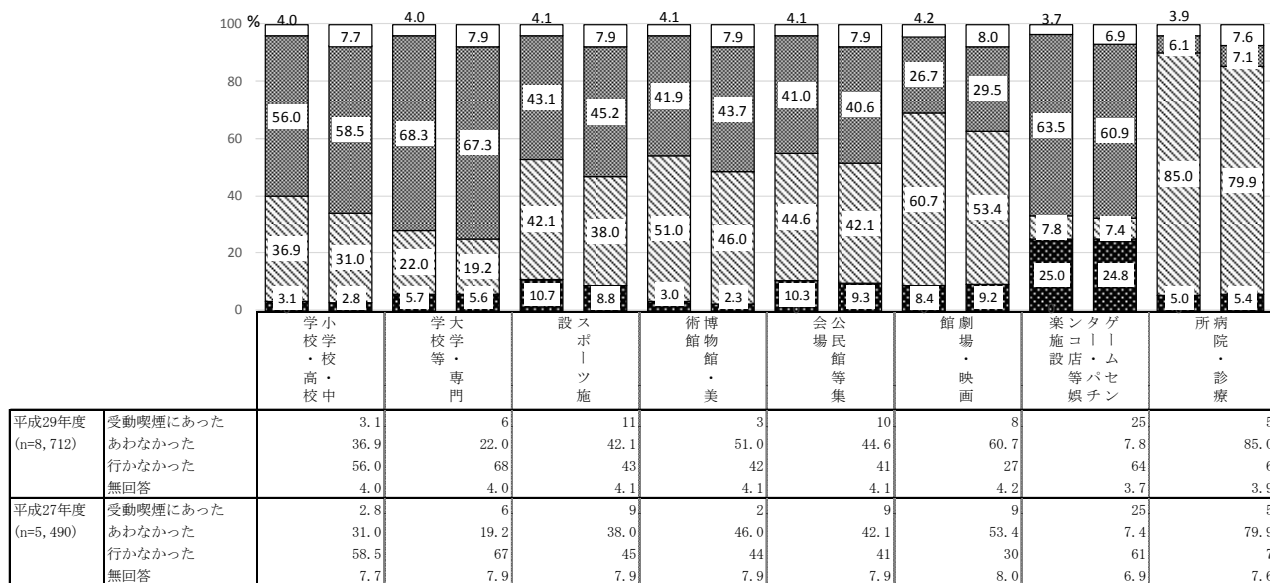


図 2-5-1 施設別受動喫煙の状況（経年変化）



※グラフは左側が平成 29 年度、右側が平成 27 年度

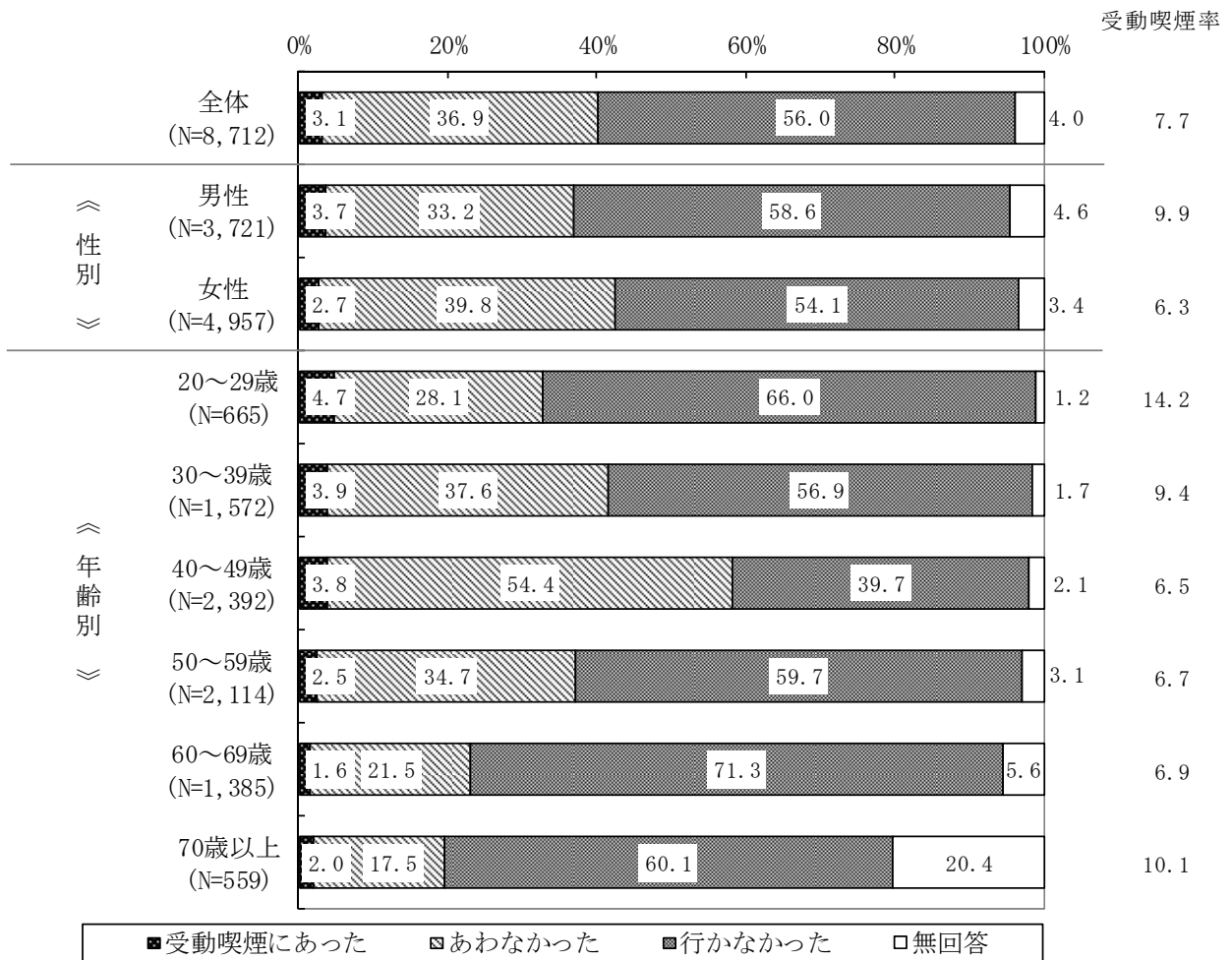
① 小学校・中学校・高校

小学校・中学校・高校においては、「行かなかった」(56.0%)が5割台を占めており、「受動喫煙にあった」は3.1%、「あわなかった」は36.9%で、受動喫煙率は7.7%となっている。

性別では、女性より男性の方が受動喫煙率が高い。

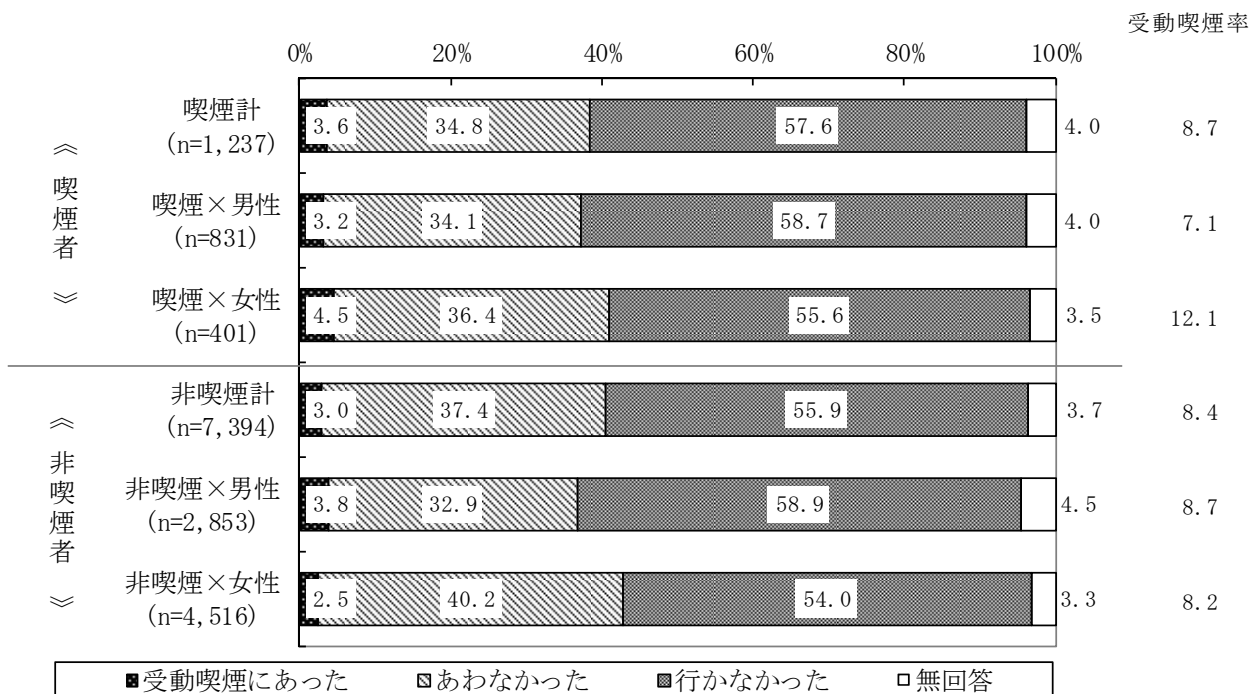
年齢別でみると、年齢が高まるにつれて「受動喫煙にあった」割合は低くなっている。受動喫煙率も概ね年齢が高まるにつれて低くなる傾向にあるが、中でも生徒の親に相当する年代が多い40～49歳を含む40～69歳で低くなっている。

図 2-5-2 小学校・中学校・高校における受動喫煙の状況 (全体・性別・年齢別)



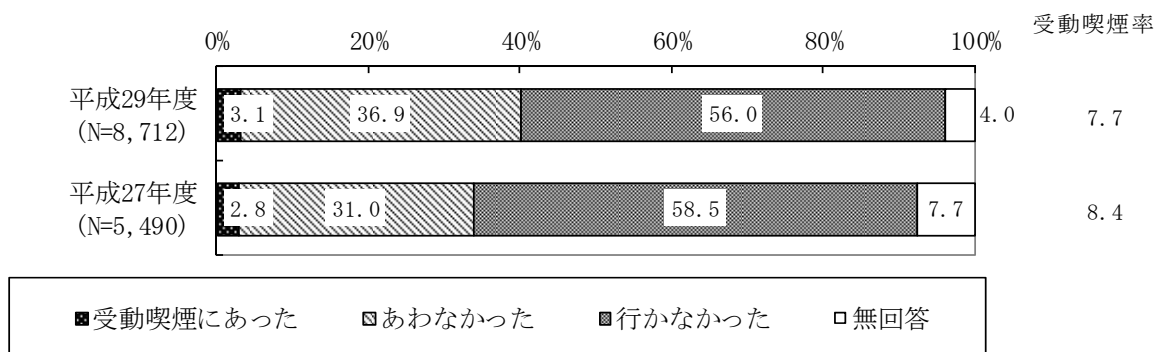
喫煙状況別にみると、喫煙女性が「受動喫煙にあった」割合は4.5%、受動喫煙率が12.1%と、他層に比べてやや高くなっている。

図 2-5-3 小学校・中学校・高校における受動喫煙の状況（喫煙／非喫煙×性別）



前回と比較すると、受動喫煙率は0.7ポイント減少している。

図 2-5-4 小学校・中学校・高校における受動喫煙の状況（経年変化）



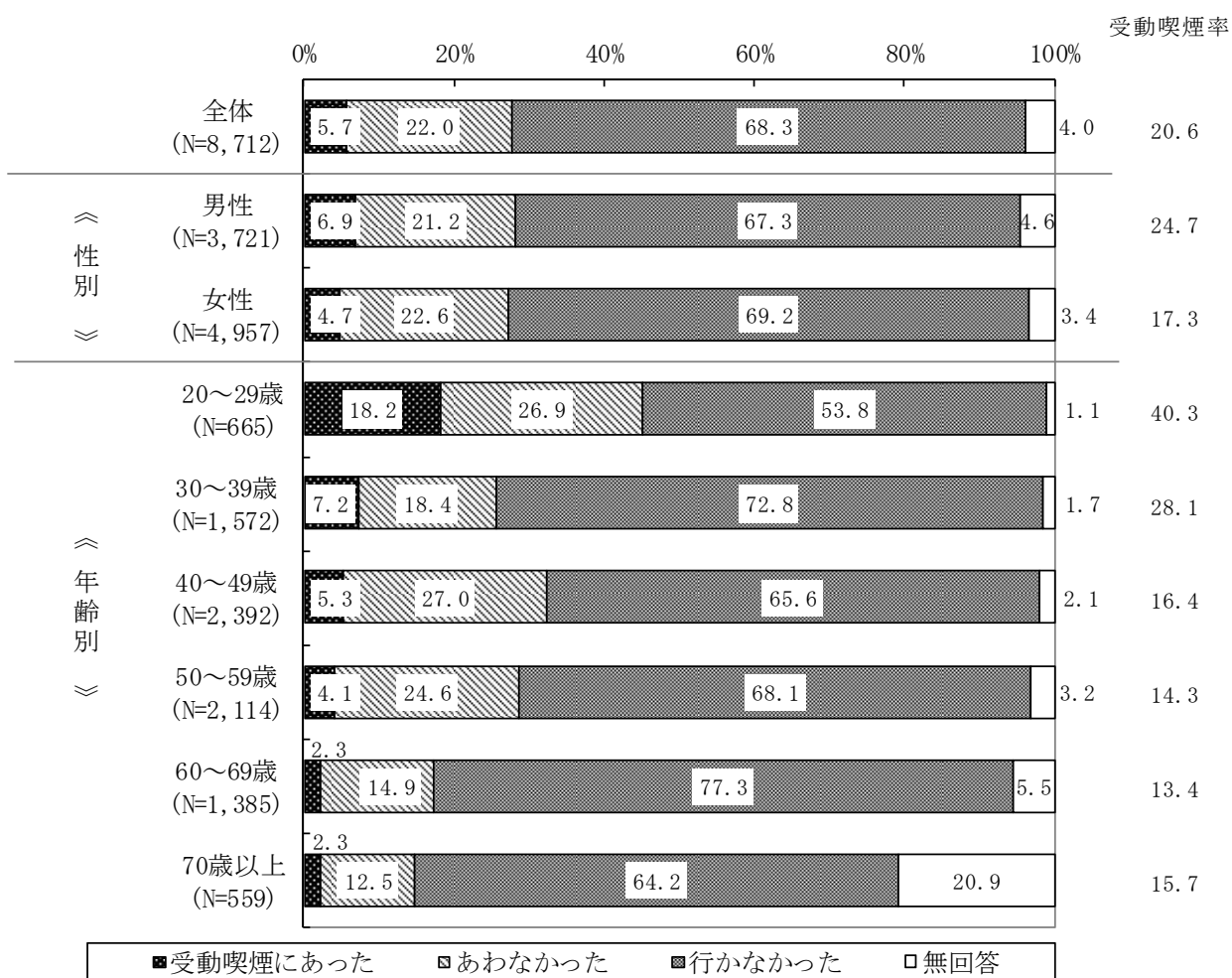
② 大学・専門学校等の学校

大学・専門学校等の学校は、「受動喫煙にあった」割合は5.7%と比較的低位にあるが、受動喫煙率は20.6%となっている。

性別でみると、「受動喫煙にあった」割合、受動喫煙率とも男性で高い。

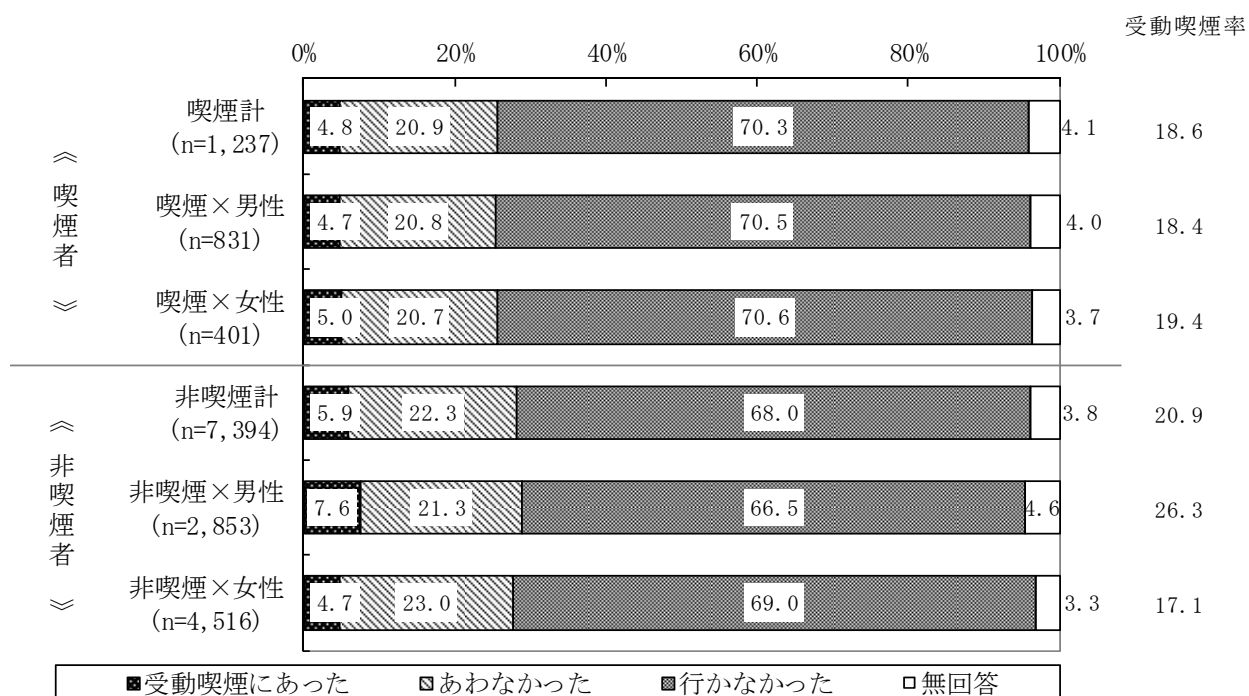
年齢別では、学生に相当する年代の20～29歳での「受動喫煙にあった」割合は18.2%、受動喫煙率は40.3%と高く、概ね年齢が高まるにつれて低くなる傾向にある。

図 2-5-5 大学・専門学校等の学校における受動喫煙の状況（全体・性別・年齢別）



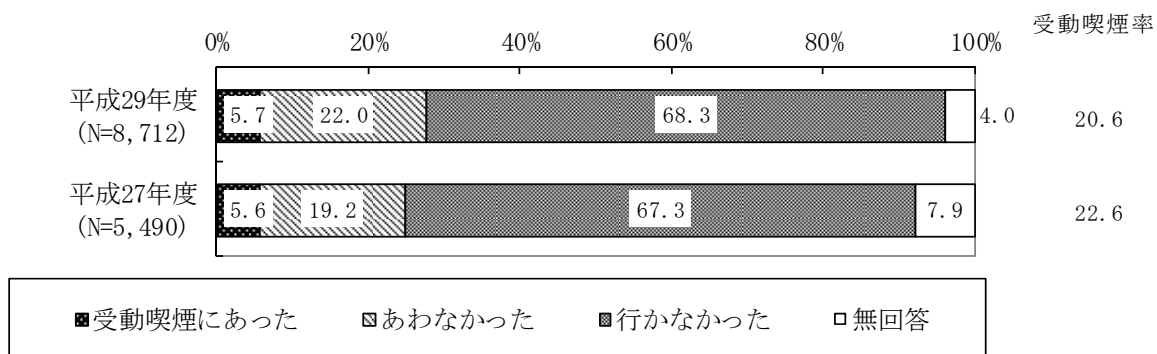
喫煙状況別にみると、非喫煙者の「受動喫煙にあった」割合は5.9%、受動喫煙率が20.9%と喫煙者よりもやや高く、特に非喫煙男性で「受動喫煙にあった」は7.6%、受動喫煙率が26.3%と高い。

図 2-5-6 大学・専門学校等の学校における受動喫煙の状況（喫煙／非喫煙×性別）



前回と比較すると、受動喫煙率は2.0ポイント減少している。

図 2-5-7 大学・専門学校等の学校における受動喫煙の状況（経年変化）



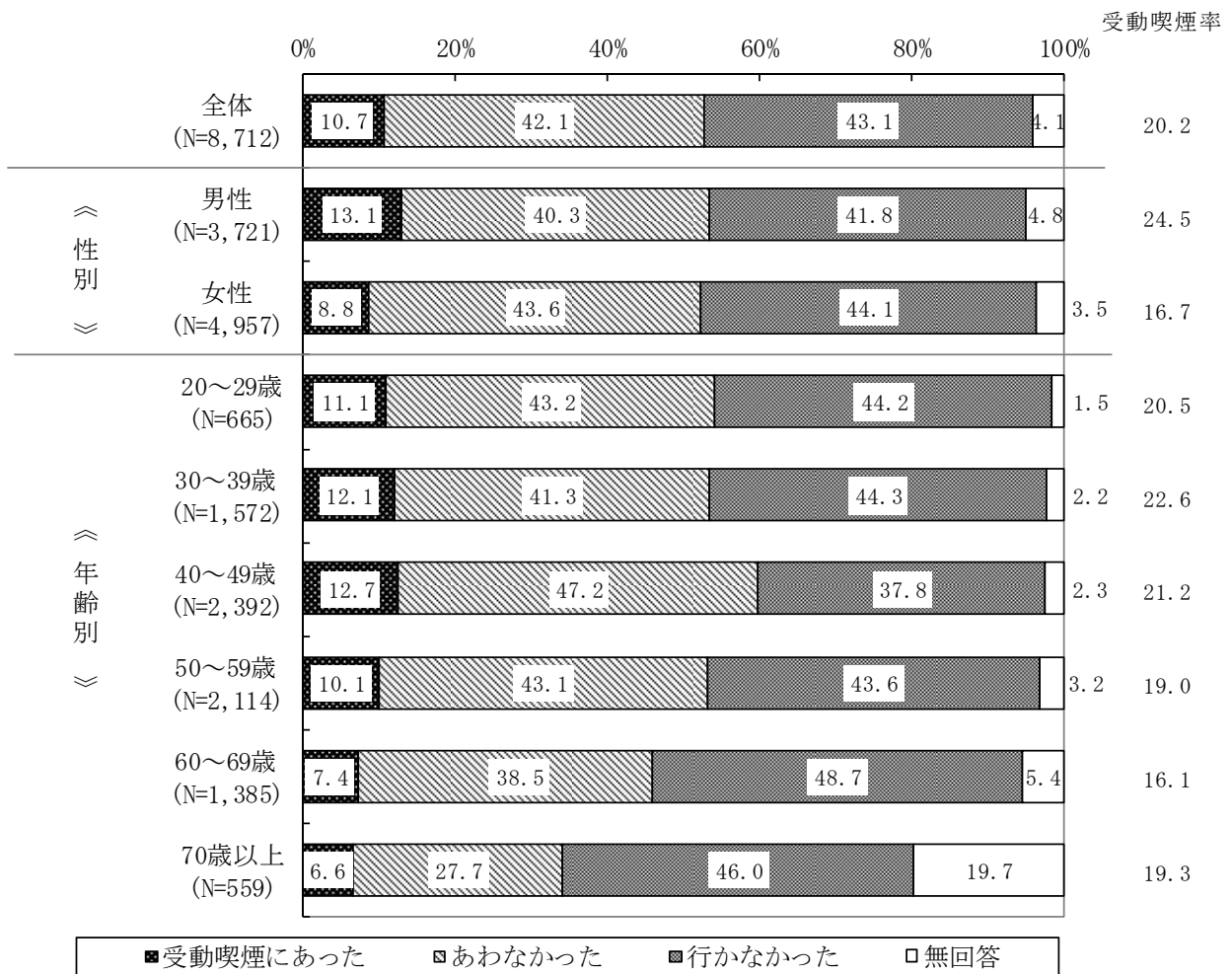
③ スポーツ施設

スポーツ施設は、「行かなかった」が43.1%と比較的高い施設であり、「受動喫煙にあった」割合は10.7%（受動喫煙率20.2%）と今回の施設の中では中位である。

性別にみると、男性の方が「受動喫煙にあった」割合がやや高く、受動喫煙率も高い。

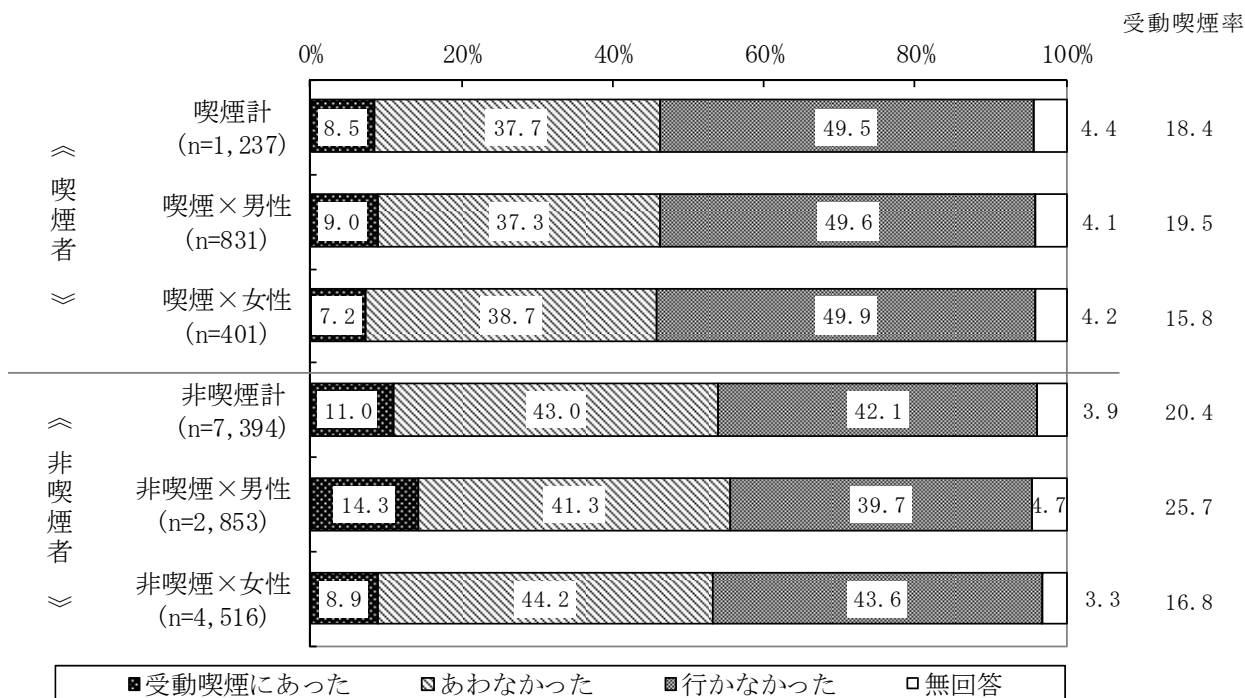
年齢別でみると、20～49歳の若い層の方が、それ以上の年齢の高い層よりも「受動喫煙にあった」割合がやや高く、受動喫煙率もやや高い。

図 2-5-8 スポーツ施設における受動喫煙の状況（全体・性別・年齢別）



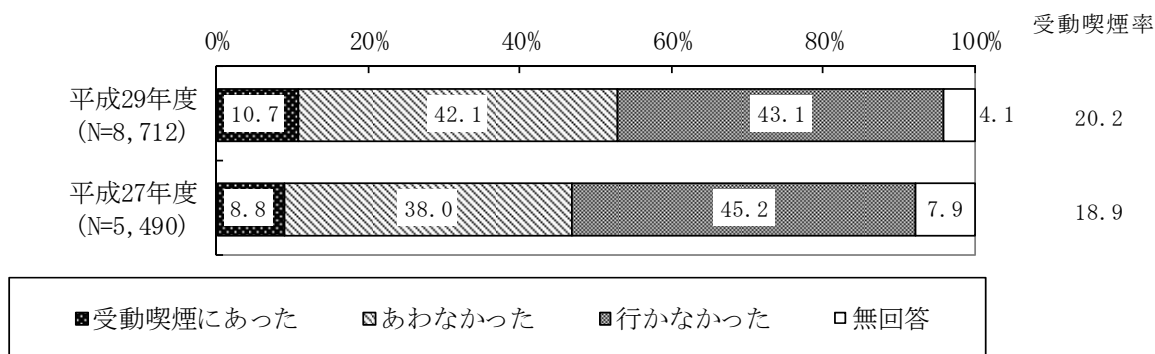
喫煙状況別にみると、非喫煙者の「受動喫煙にあった」割合は11.0%、受動喫煙率が20.4%と喫煙者よりもやや高く、特に非喫煙男性で「受動喫煙にあった」は14.3%、受動喫煙率が25.7%と高い。

図 2-5-9 スポーツ施設における受動喫煙の状況（喫煙／非喫煙×性別）



前回と比較すると、受動喫煙率は1.3ポイント増加している。

図 2-5-10 スポーツ施設における受動喫煙の状況（経年変化）



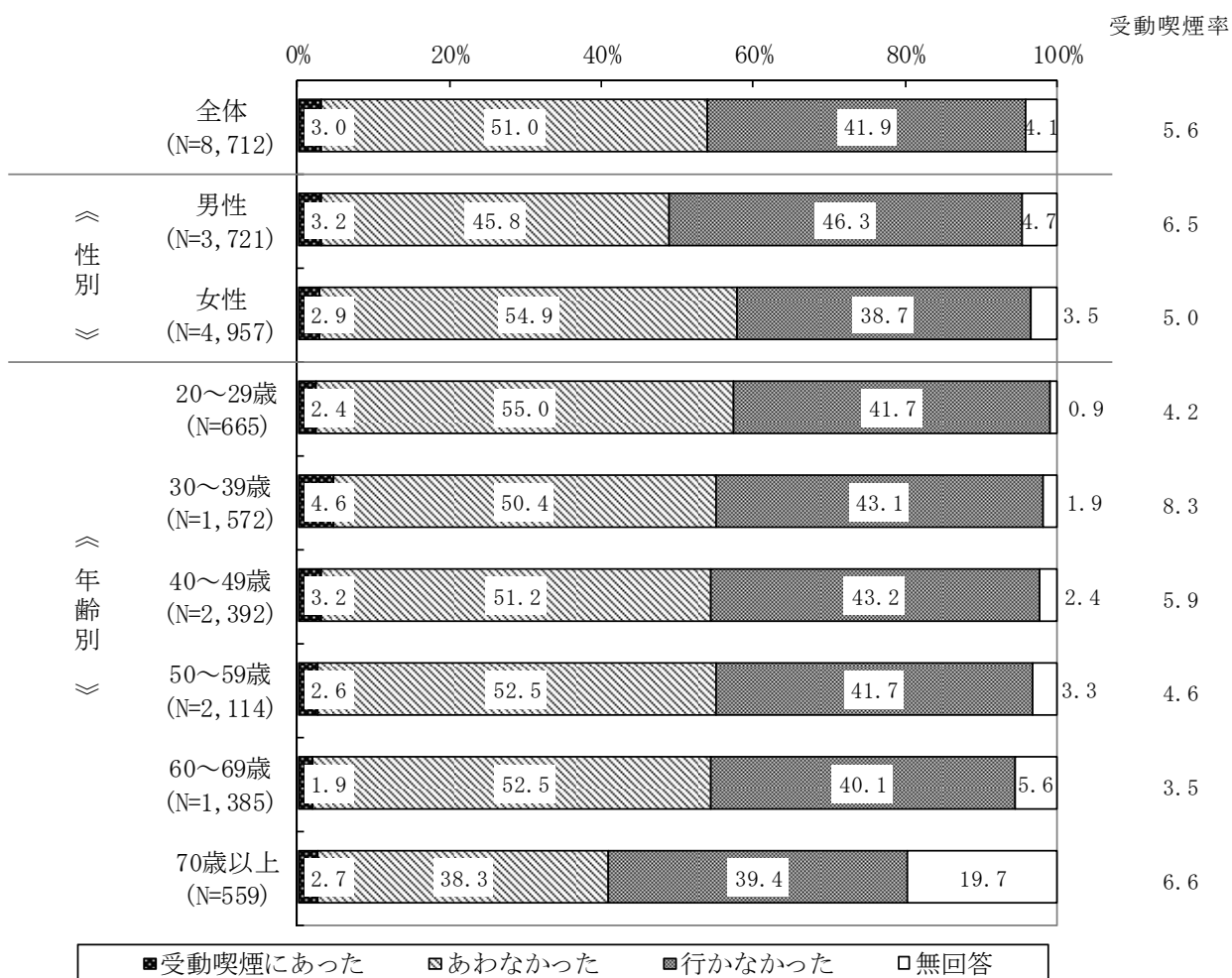
④博物館・美術館

博物館・美術館は、「行かなかった」が41.9%と比較的高いが、行った人でも「(受動喫煙に)あわなかった」が51.0%と高く、「受動喫煙にあった」割合は3.0%、受動喫煙率5.6%にとどまっている。

性別で見ると、「あわなかった」割合で、女性54.9%の方が男性45.8%よりも高く、受動喫煙率はやや低くなっている。

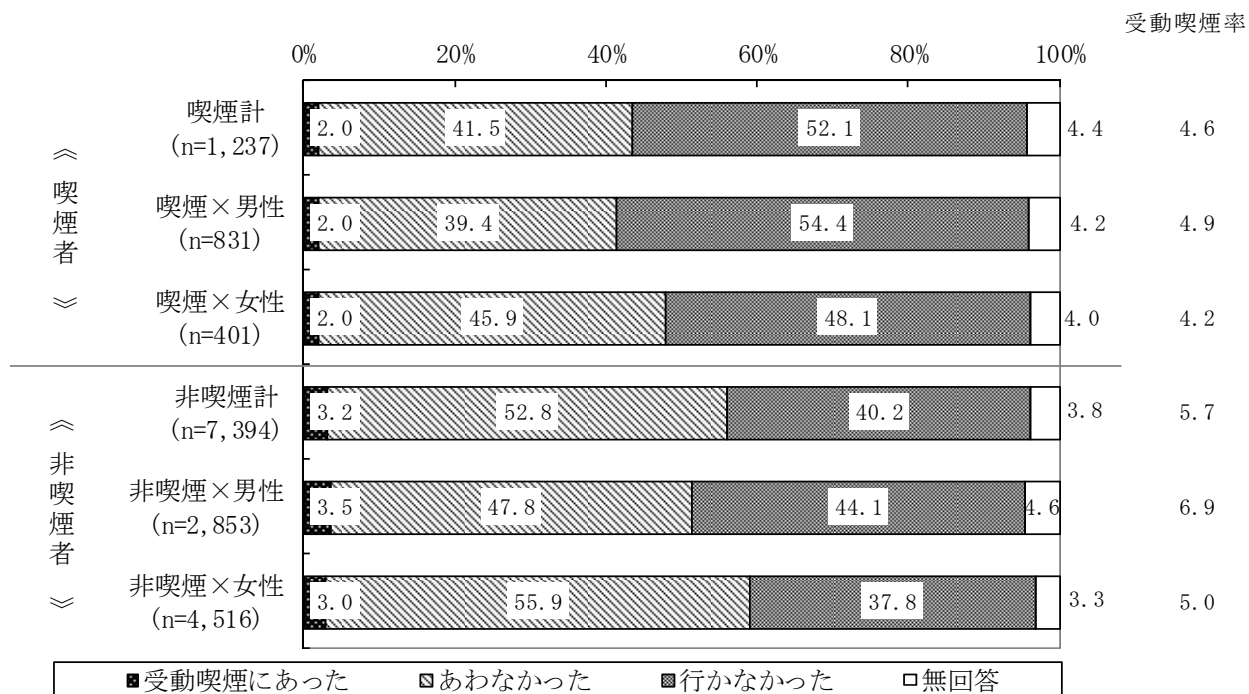
年齢別での「受動喫煙にあった」割合の差はあまりみられないが、60～69歳の受動喫煙率は相対的にやや低い。

図 2-5-11 博物館・美術館における受動喫煙の状況（全体・性別・年齢別）



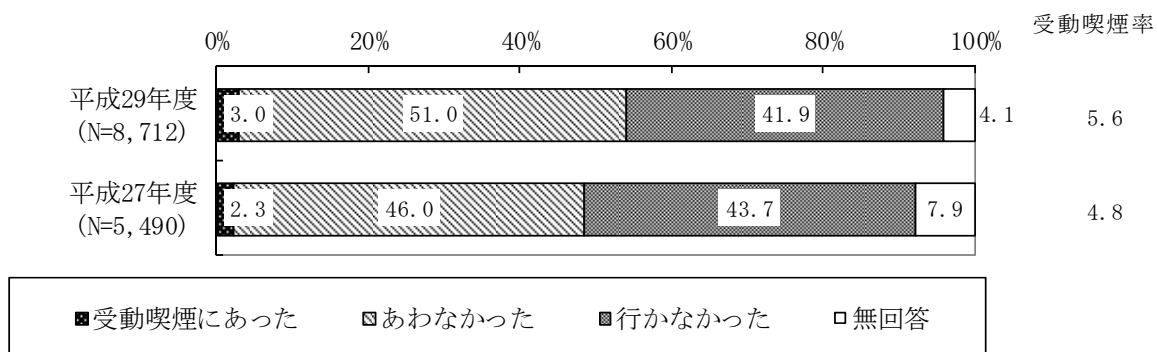
喫煙状況別にみると、非喫煙者の方が男女とも「あわなかった」とする割合が高く、特に女性では喫煙女性で45.9%、非喫煙女性で55.9%と10ポイントの開きがある。ただし、受動喫煙率でみると、喫煙の有無による差は少なくなっている。

図 2-5-12 博物館・美術館における受動喫煙の状況（喫煙／非喫煙×性別）



前回と比較すると、受動喫煙率は0.8ポイント増加している。

図 2-5-13 博物館・美術館における受動喫煙の状況（経年変化）



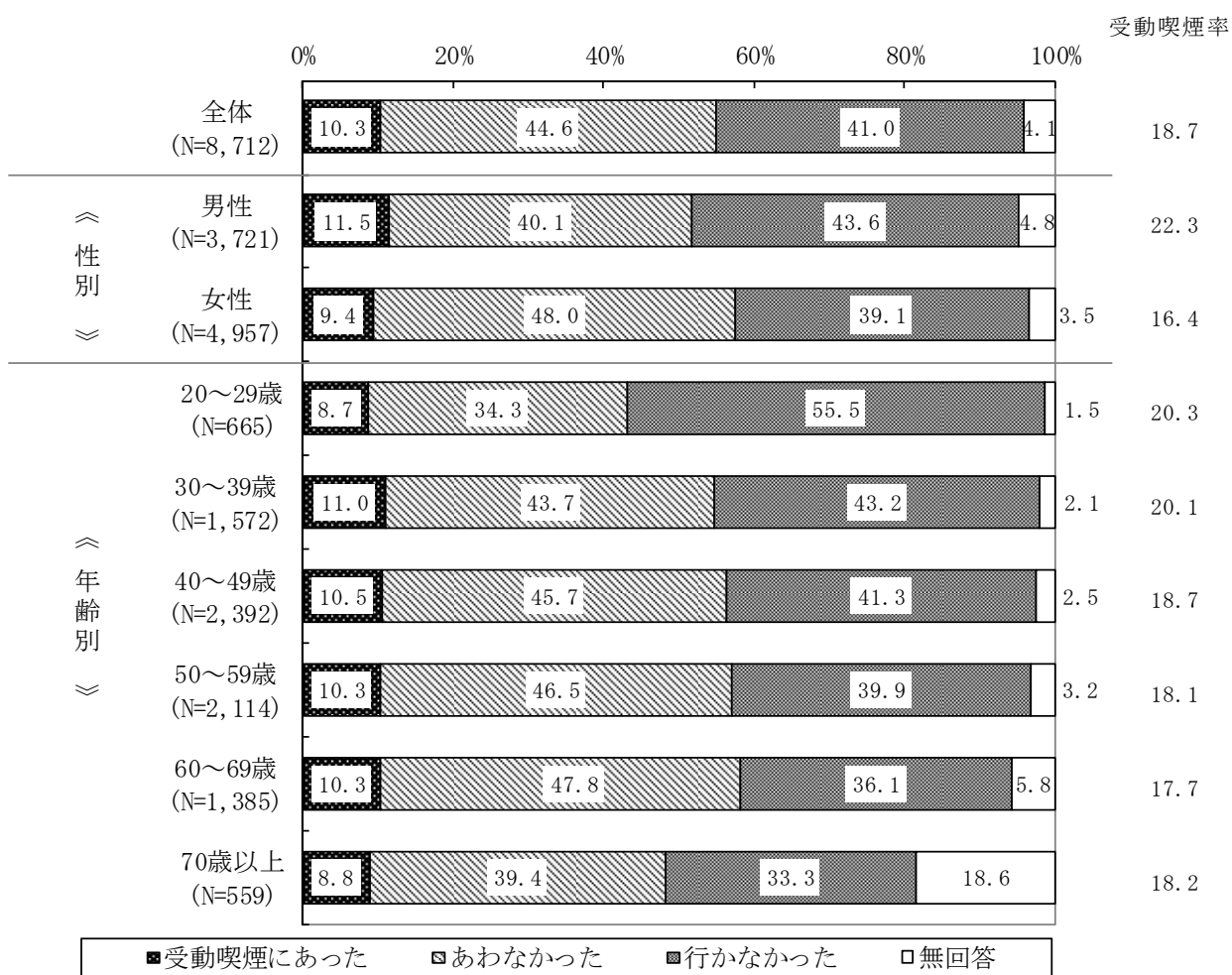
⑤公民館等集会場

公民館等集会場では、「行かなかった」が 41.0%と約4割を占める中で、「受動喫煙にあった」が 10.3%と1割程度、「あわなかった」が 44.6%で受動喫煙率は 18.7%となっている。

性別でみると、「あわなかった」では男性 40.1%より女性 48.0%の方が高く、女性の方が受動喫煙率は低くなっている。

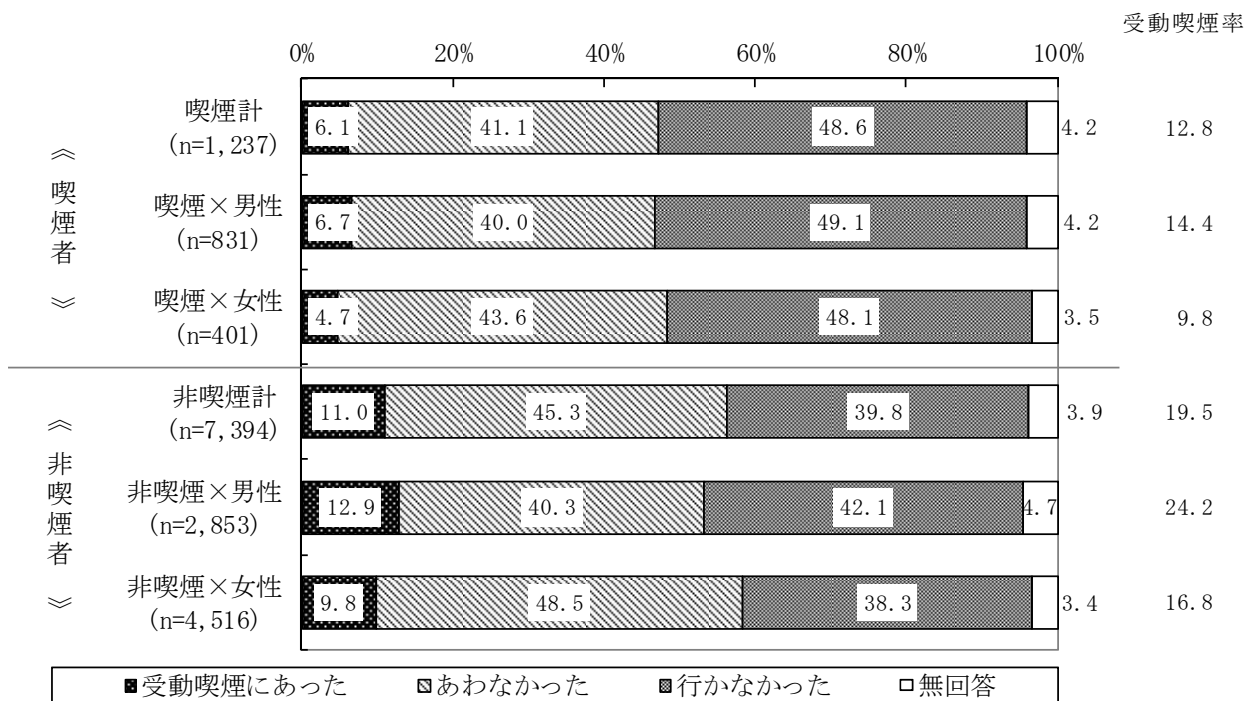
年齢別でも、「受動喫煙にあった」割合、受動喫煙率ともあまり差がない。

図 2-5-14 公民館等集会場における受動喫煙の状況（全体・性別・年齢別）



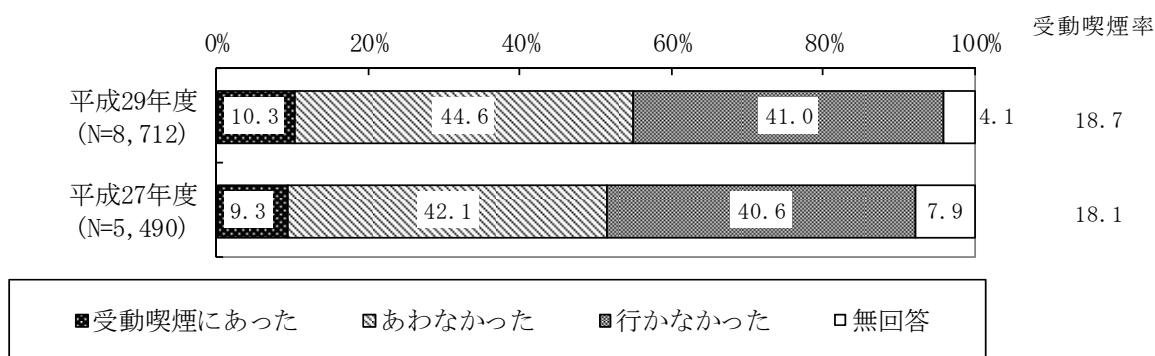
喫煙状況別にみると、非喫煙者の「受動喫煙にあった」割合は11.0%、受動喫煙率が19.5%と喫煙者よりもやや高く、特に非喫煙男性で「受動喫煙にあった」は12.9%、受動喫煙率が24.2%と高い。

図 2-5-15 公民館等集会場における受動喫煙の状況（喫煙／非喫煙×性別）



前回と比較すると、受動喫煙率は0.6ポイント増加している。

図 2-5-16 公民館等集会場における受動喫煙の状況（経年変化）



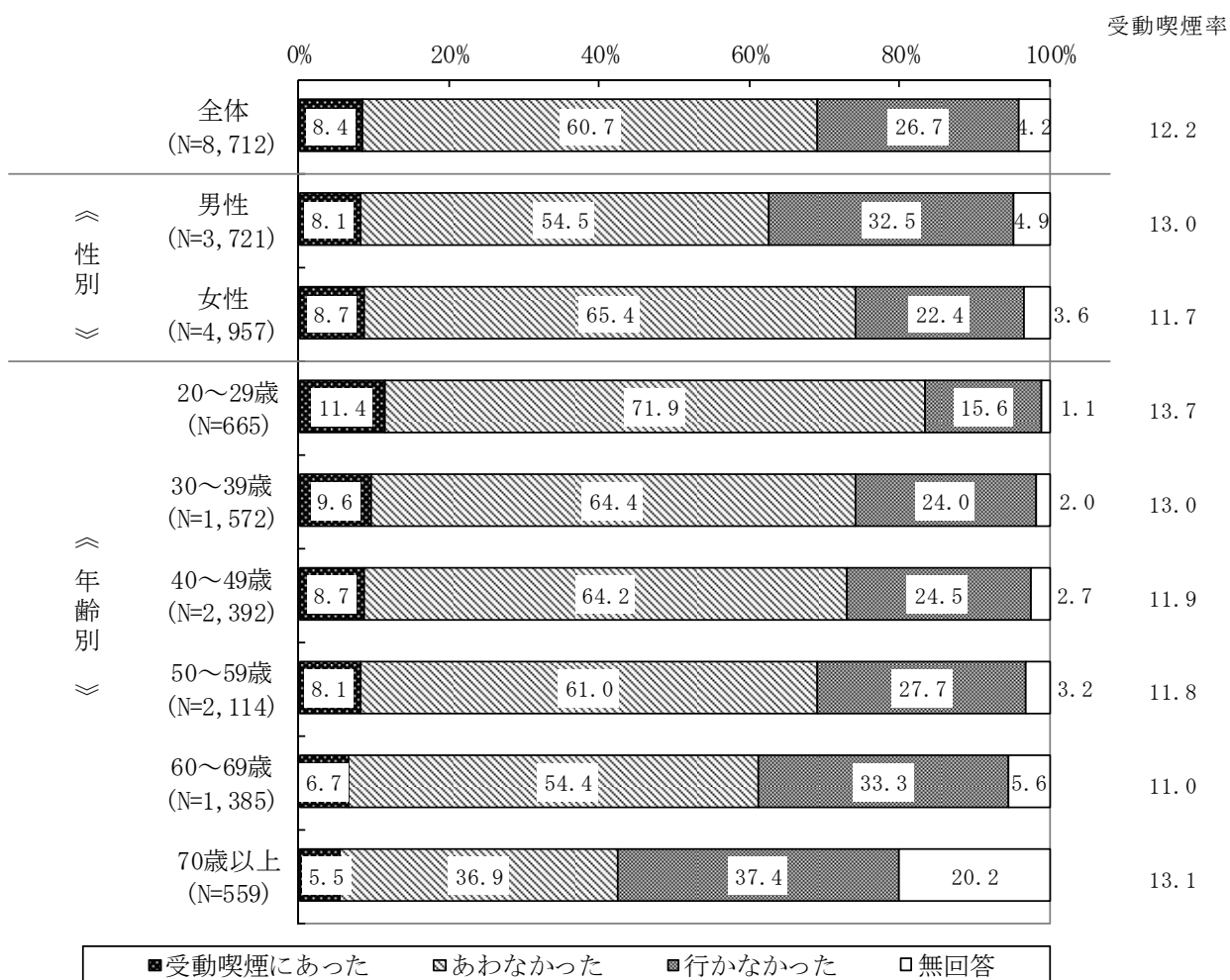
⑥劇場・映画館

劇場・映画館では、「(受動喫煙に) あわなかった」が60.7%と高く、「受動喫煙にあった」は8.4%で、受動喫煙率は12.2%となっている。「行かなかった」は26.7%

性別で見ると、「あわなかった」は、男性で54.5%、女性で65.4%となっており、女性の方が10.9ポイントも高くなっているが、受動喫煙率(男性13.0%、女性11.7%)ではあまり差がない。

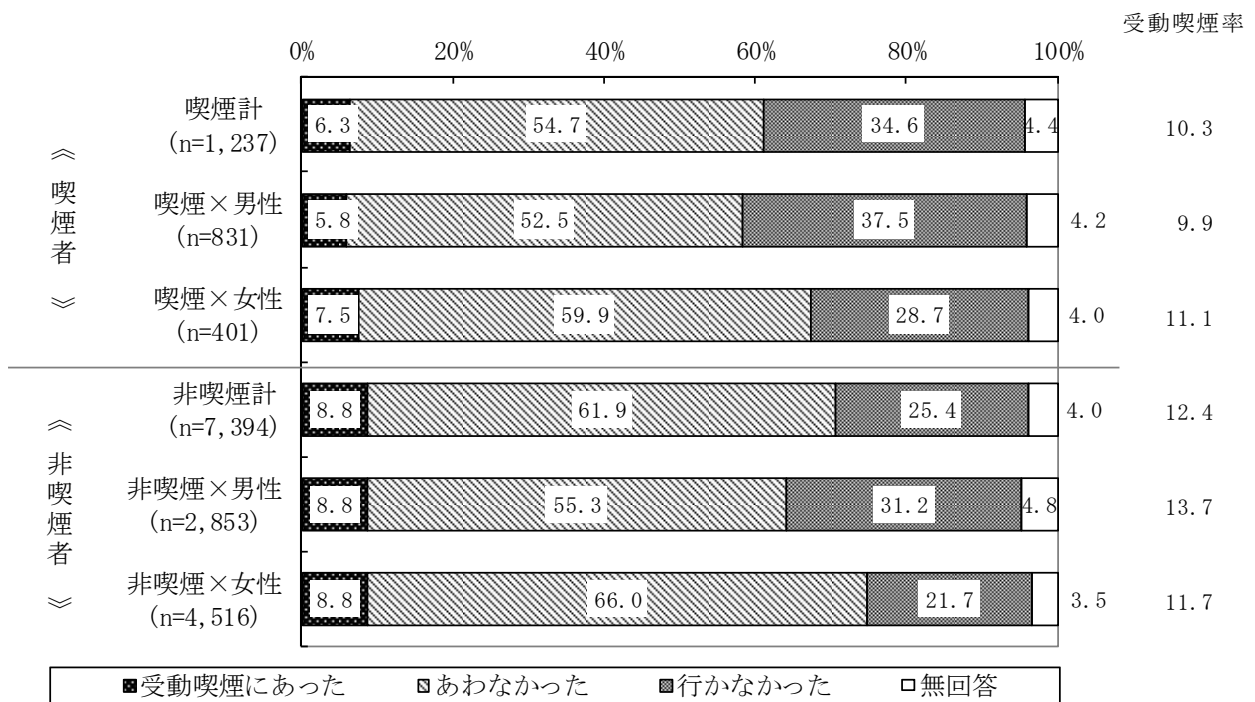
年齢別にみると、「受動喫煙にあった」は20~29歳で11.4%をピークに、年齢が高まるにつれて低くなる傾向にある。

図 2-5-17 劇場・映画館における受動喫煙の状況 (全体・性別・年齢別)



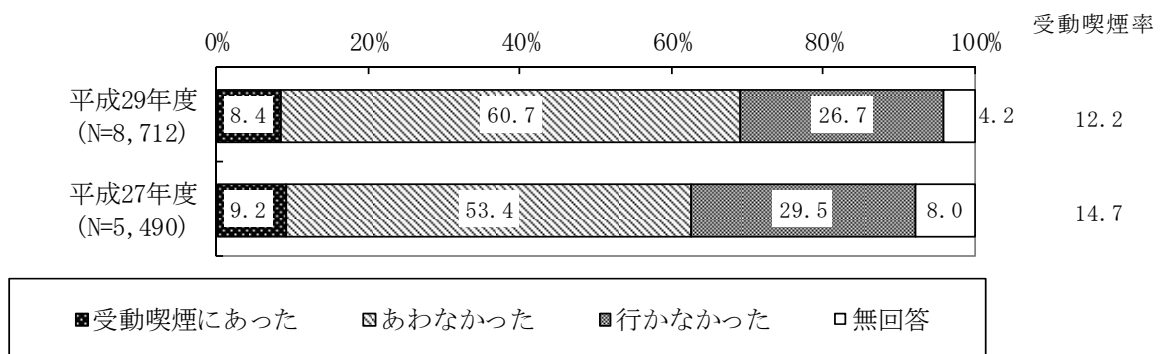
喫煙状況別にみると、「受動喫煙にあった」割合、受動喫煙率は、いずれも非喫煙者の方がやや高くなっている。

図 2-5-18 劇場・映画館における受動喫煙の状況（喫煙／非喫煙×性別）



前回と比較すると、受動喫煙率は2.5ポイント減少している。

図 2-5-19 劇場・映画館における受動喫煙の状況（経年変化）



⑦ゲームセンター・パチンコ店等娯楽施設

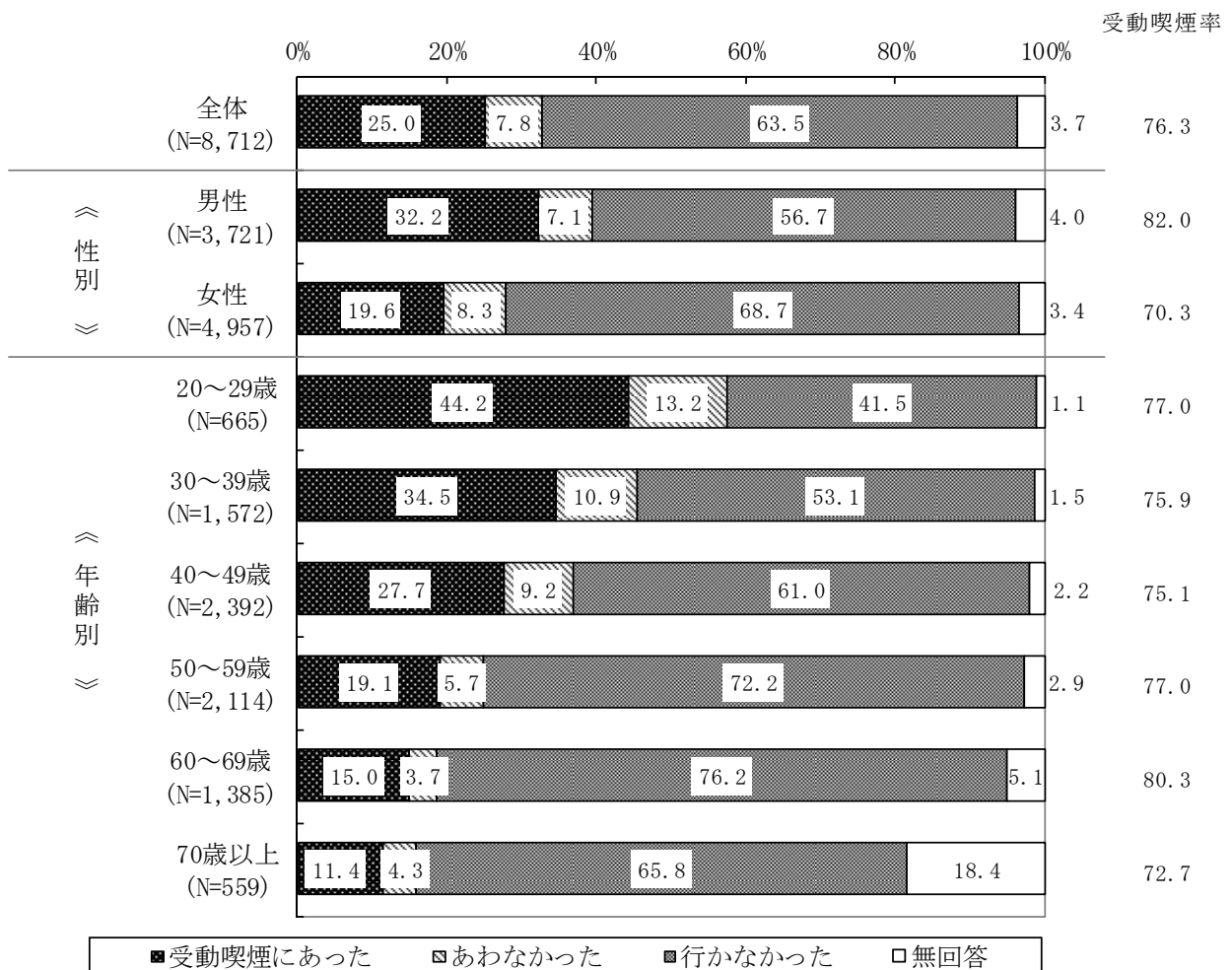
ゲームセンター・パチンコ店等娯楽施設では、「行かなかった」が 63.5%と全体の約6割を占める中、「受動喫煙にあった」割合が 25.0%、「あわなかった」が 7.8%で、受動喫煙率は 76.3%と高くなっている。

性別でみると、「受動喫煙にあった」割合は、男性で 32.2%、女性で 19.6%と、男性の方が女性に比べて 12.6 ポイント高い。受動喫煙率でも、女性 70.3%よりも男性 82.0%の方が 11.7 ポイント高くなっている。

年齢別でみると、20～29歳で「受動喫煙にあった」は4割台を占め、年齢が高まるにつれて低下する傾向にあるが、受動喫煙率では年代による大きな差はみられない。

図 2-5-20

ゲームセンター・パチンコ店等娯楽施設における受動喫煙の状況（全体・性別・年齢別）

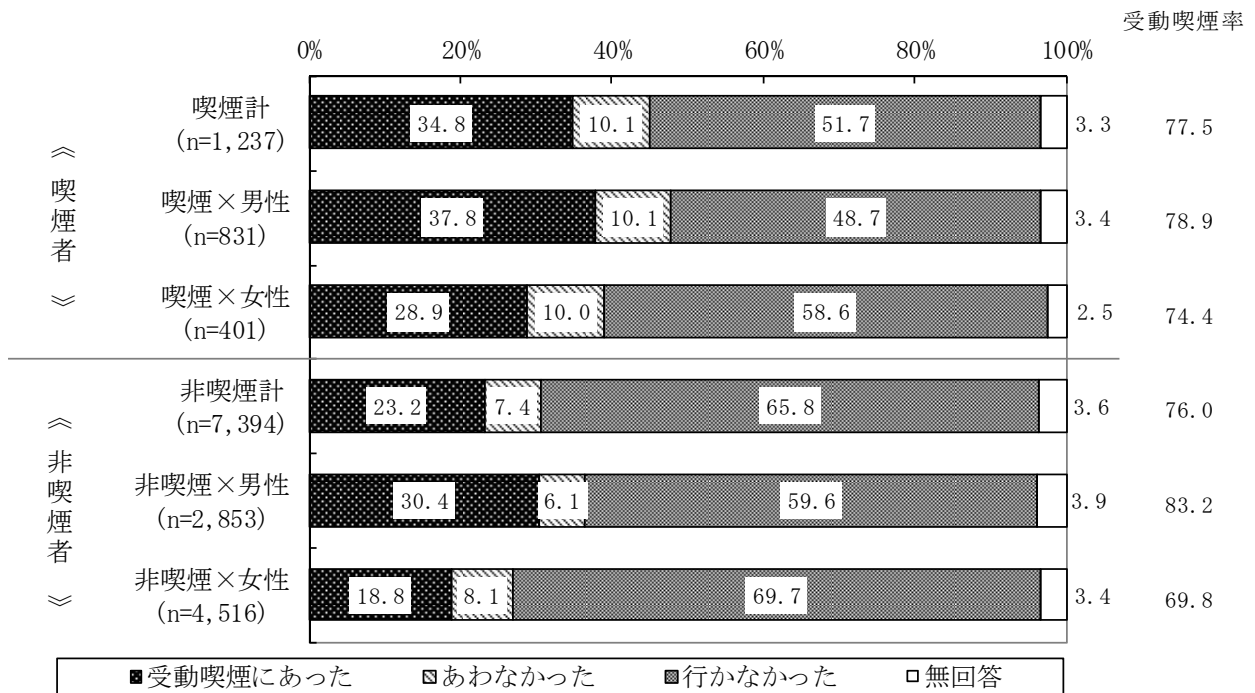


喫煙状況別にみると、「受動喫煙にあった」は喫煙者で 34.8%と高く、非喫煙者の 23.2%を 11.6ポイント上回る。特に、喫煙男性は 37.8%と高く、非喫煙女性は 18.8%と低い。これらの違いは、主として利用率の差によるものである。

また、受動喫煙率では非喫煙男性が 83.2%、非喫煙女性が 69.8%と大きな差がみられる。

図 2-5-21

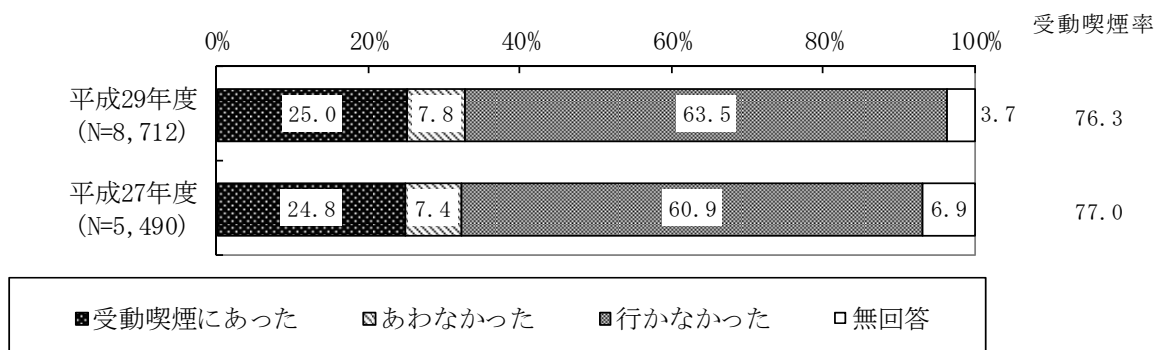
ゲームセンター・パチンコ店等娯楽施設における受動喫煙の状況（喫煙／非喫煙×性別）



前回と比較すると、受動喫煙率は 0.7ポイント減少している。

図 2-5-22

ゲームセンター・パチンコ店等娯楽施設における受動喫煙の状況（経年変化）

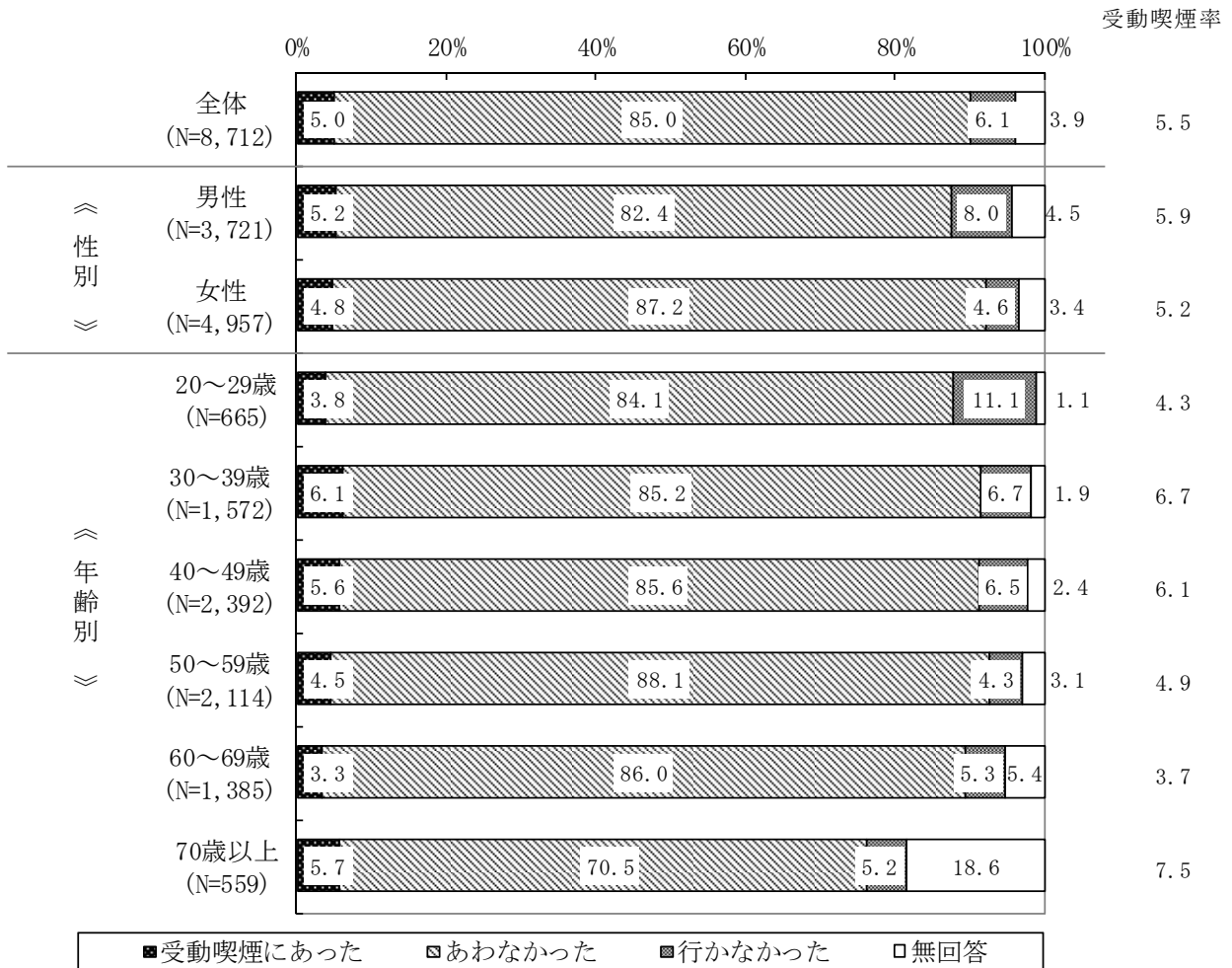


⑧病院・診療所

病院・診療所で「受動喫煙にあった」は5.0%で、「あわなかった」が85.0%と極めて高く、受動喫煙率は5.5%と低くなっている。

性別・年齢別にみても大きな差はみられない。

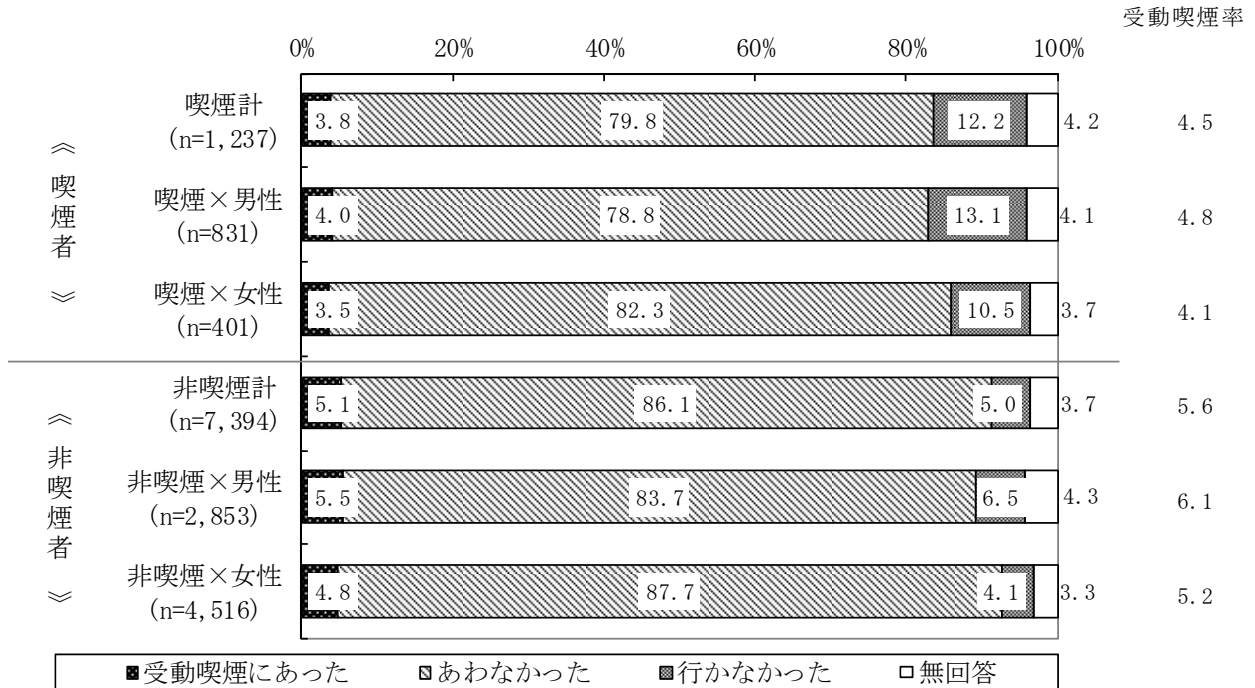
図 2-5-23 病院・診療所における受動喫煙の状況（全体・性別・年齢別）



喫煙状況別にみると、受動喫煙の有無に関して喫煙者と非喫煙者とで大きな差はないが、「行かなかった」とする割合は、喫煙者の12.2%に対し、非喫煙者が5.0%と差がみられる。

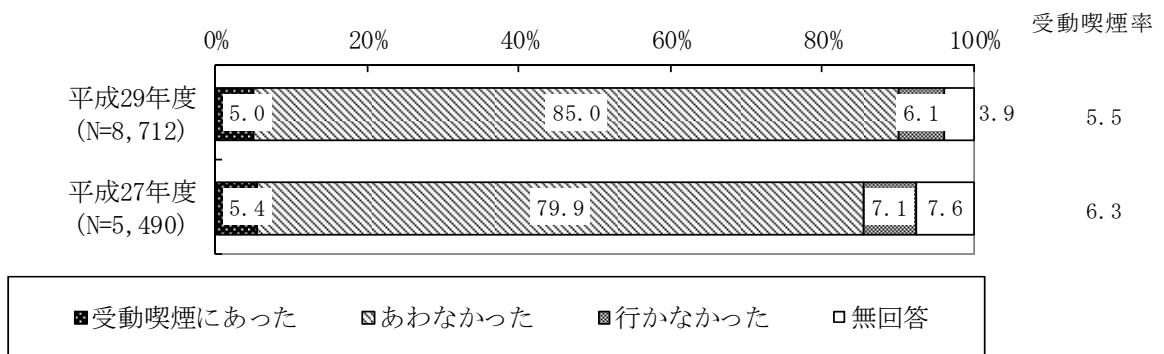
受動喫煙率についても喫煙者と非喫煙者とで差はみられない。

図 2-5-24 病院・診療所における受動喫煙の状況（喫煙／非喫煙×性別）



前回と比較すると、受動喫煙率は0.8ポイント減少している。

図 2-5-25 病院・診療所における受動喫煙の状況（経年変化）



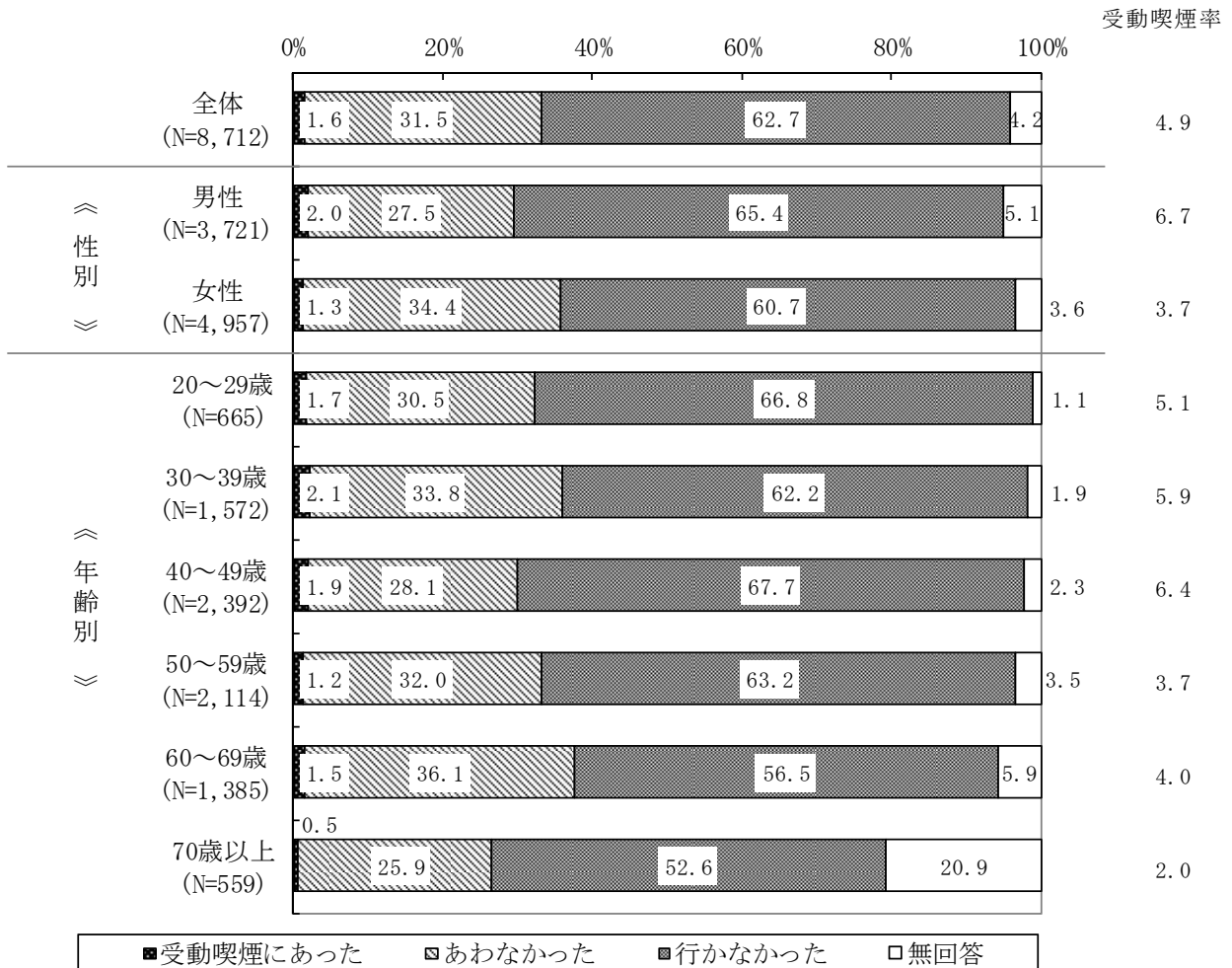
⑨老人ホーム・保育所等社会福祉施設

老人ホーム・保育所等社会福祉施設では、「行かなかった」が62.7%と高いこともあり、「受動喫煙にあった」割合が1.6%と極めて低く、受動喫煙率も4.9%と低水準である。

性別・年齢別にみても、「受動喫煙にあった」割合に差はあまりない。

図 2-5-26

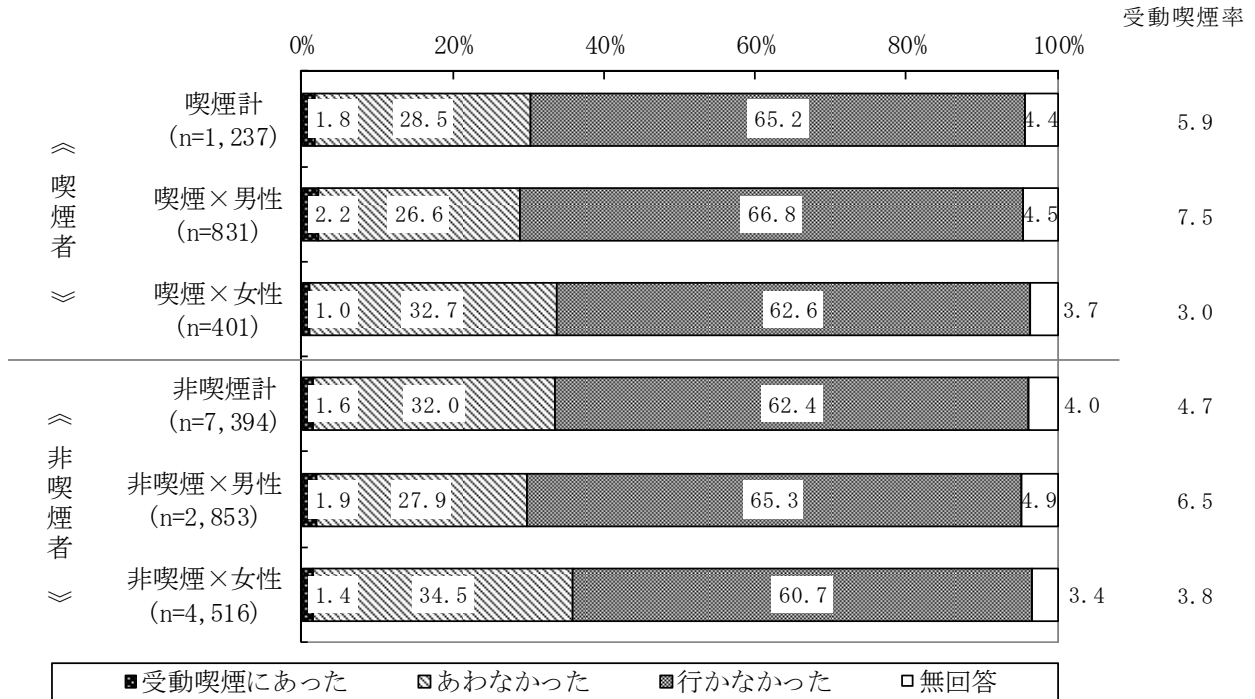
老人ホーム・保育所等社会福祉施設における受動喫煙の状況（全体・性別・年齢別）



喫煙状況別にみても、いずれの層でも「受動喫煙にあった」割合は1~2%台と極めて低くなっている。受動喫煙率では、喫煙・非喫煙ともに女性より男性の方が割合が高い。

図 2-5-27

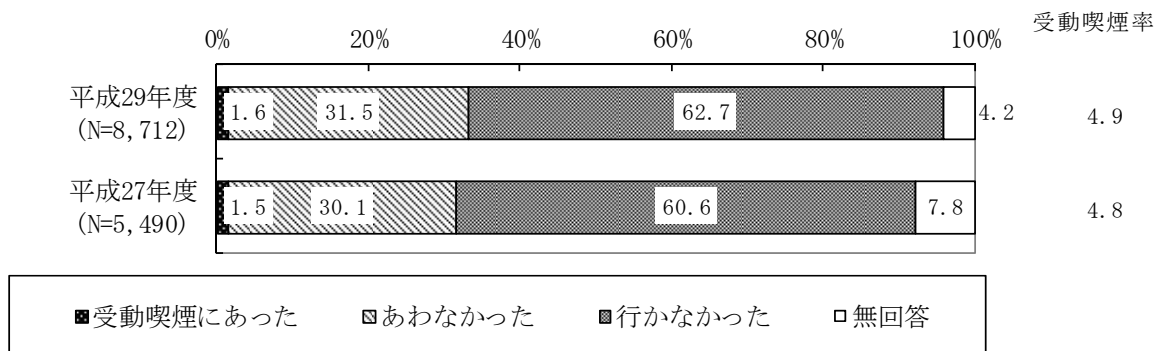
老人ホーム・保育所等社会福祉施設における受動喫煙の状況（喫煙／非喫煙×性別）



前回と比較すると、受動喫煙率は0.1ポイント増加している。

図 2-5-28

老人ホーム・保育所等社会福祉施設における受動喫煙の状況（経年変化）

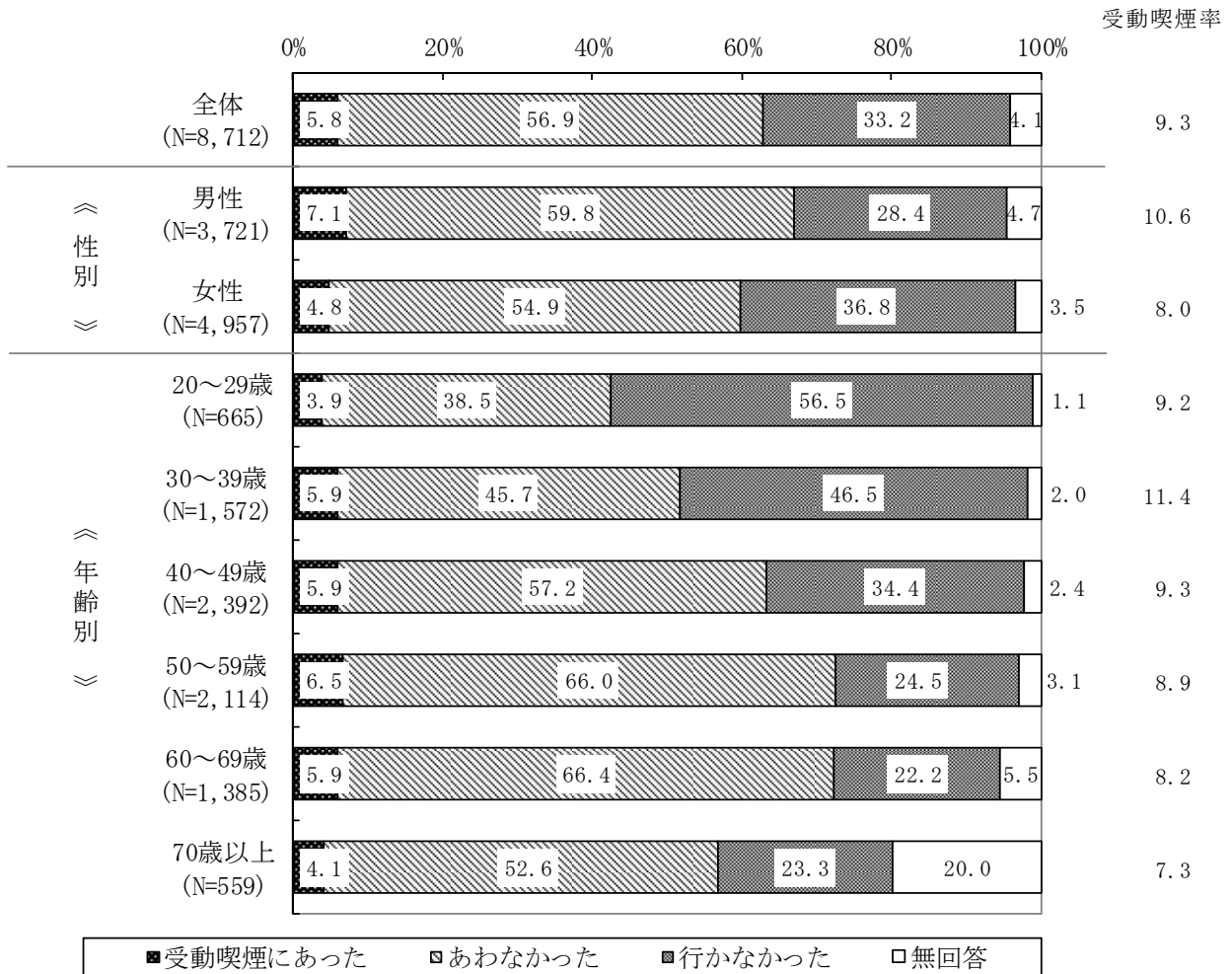


⑩官公庁施設

官公庁施設で「受動喫煙にあった」は5.8%で、「あわなかった」が56.9%、「行かなかった」が33.2%となっており、受動喫煙率は9.3%である。

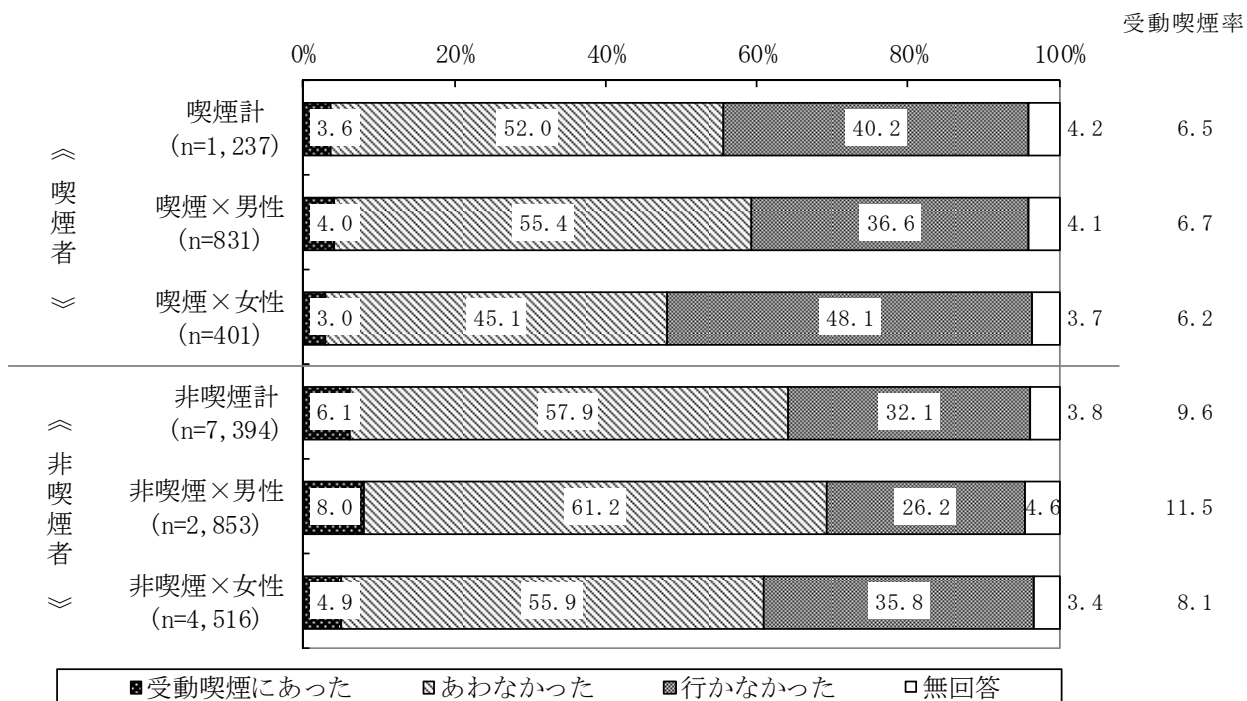
性別でみると、「受動喫煙にあった」及び受動喫煙率は、男性の方が女性よりもやや高くなっている。年齢別では、「受動喫煙にあった」は50～59歳、受動喫煙率は30～39歳でやや高くなっている。

図 2-5-29 官公庁施設における受動喫煙の状況（全体・性別・年齢別）



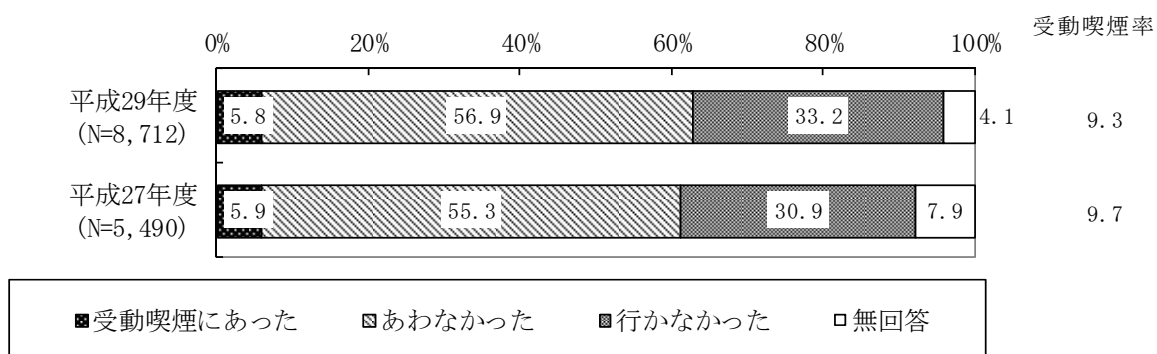
喫煙状況別にみると、他の多くの施設と同様に「受動喫煙にあった」では喫煙者の 3.6%より非喫煙者の 6.1%の方が高く、受動喫煙率も喫煙者の 6.5%より非喫煙者の 9.6%の方が高くなっている。

図 2-5-30 官公庁施設における受動喫煙の状況（喫煙／非喫煙×性別）



前回と比較すると、受動喫煙率は 0.4 ポイント減少している。

図 2-5-31 官公庁施設における受動喫煙の状況（経年変化）

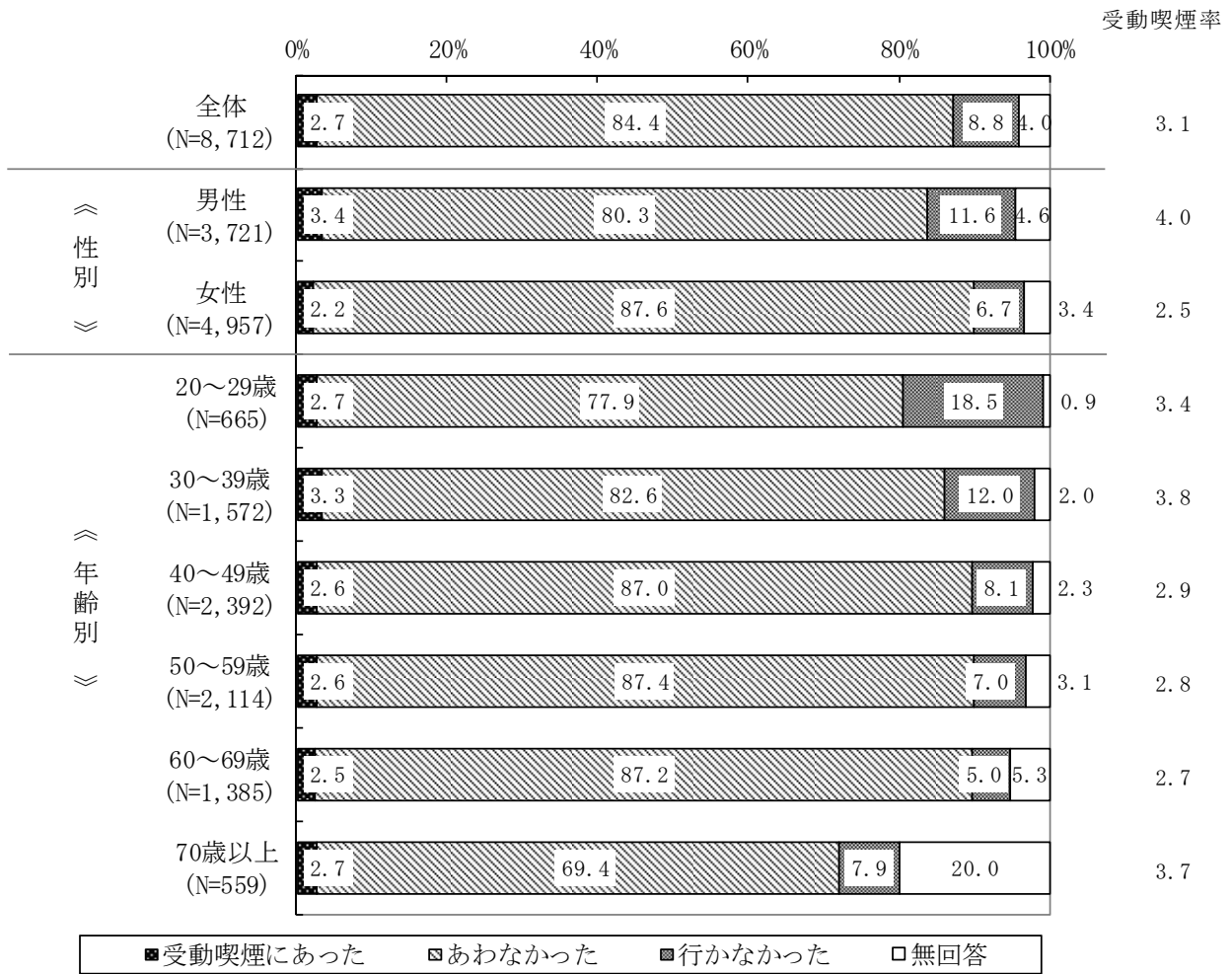


⑪金融機関

金融機関で「受動喫煙にあった」は2.7%と低く、「あわなかった」が84.4%と高いことから、受動喫煙率は3.1%と取り上げた施設の中で最も低くなっている。

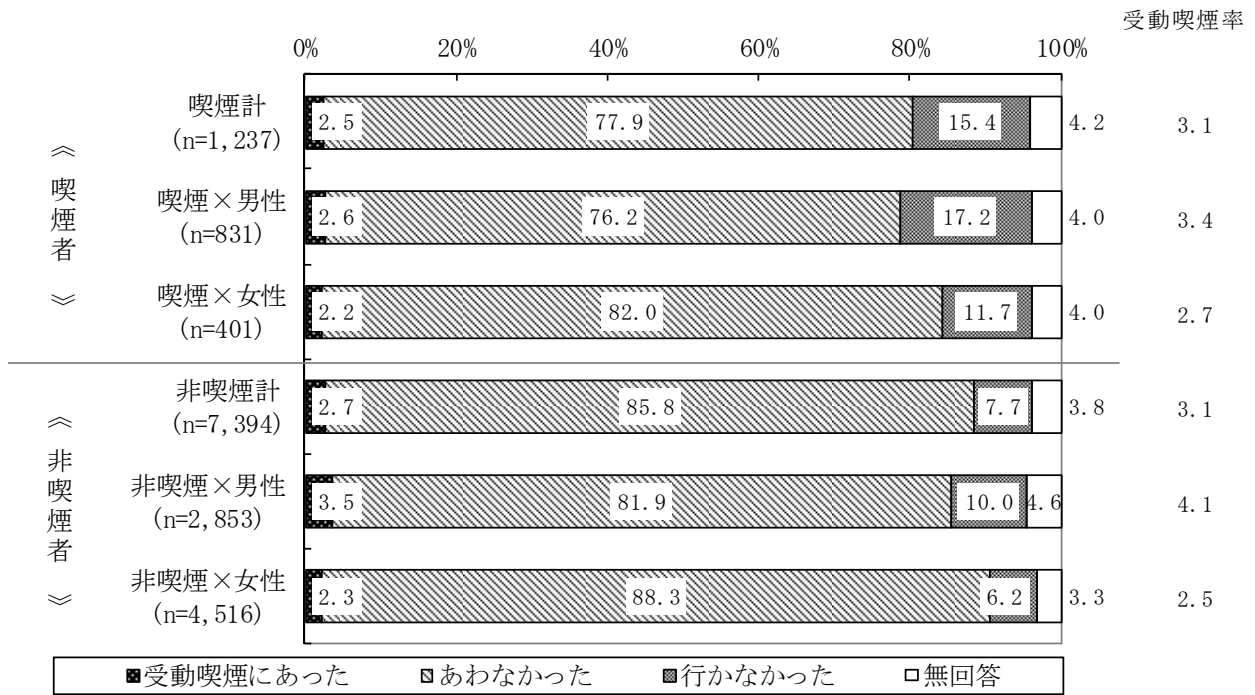
性別・年齢別でも、「受動喫煙にあった」割合及び受動喫煙率に差はみられない。

図 2-5-32 金融機関における受動喫煙の状況（全体・性別・年齢別）



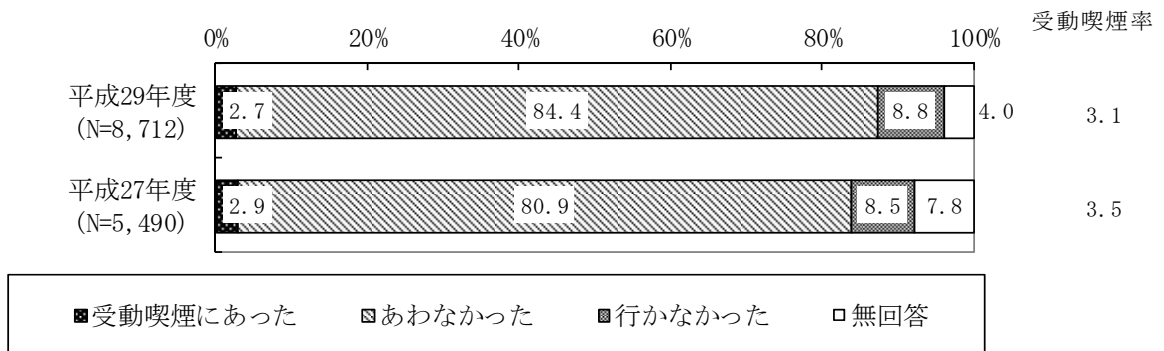
喫煙状況別にみても、受動喫煙の有無及び受動喫煙率に関して、喫煙者と非喫煙者とで大きな差はみられない。ただし、「行かなかった」とする割合では、喫煙者の15.4%が非喫煙者の7.7%を上回っている。

図 2-5-33 金融機関における受動喫煙の状況（喫煙／非喫煙×性別）



前回と比較すると、受動喫煙率は0.4ポイント減少している。

図 2-5-34 金融機関における受動喫煙の状況（経年変化）



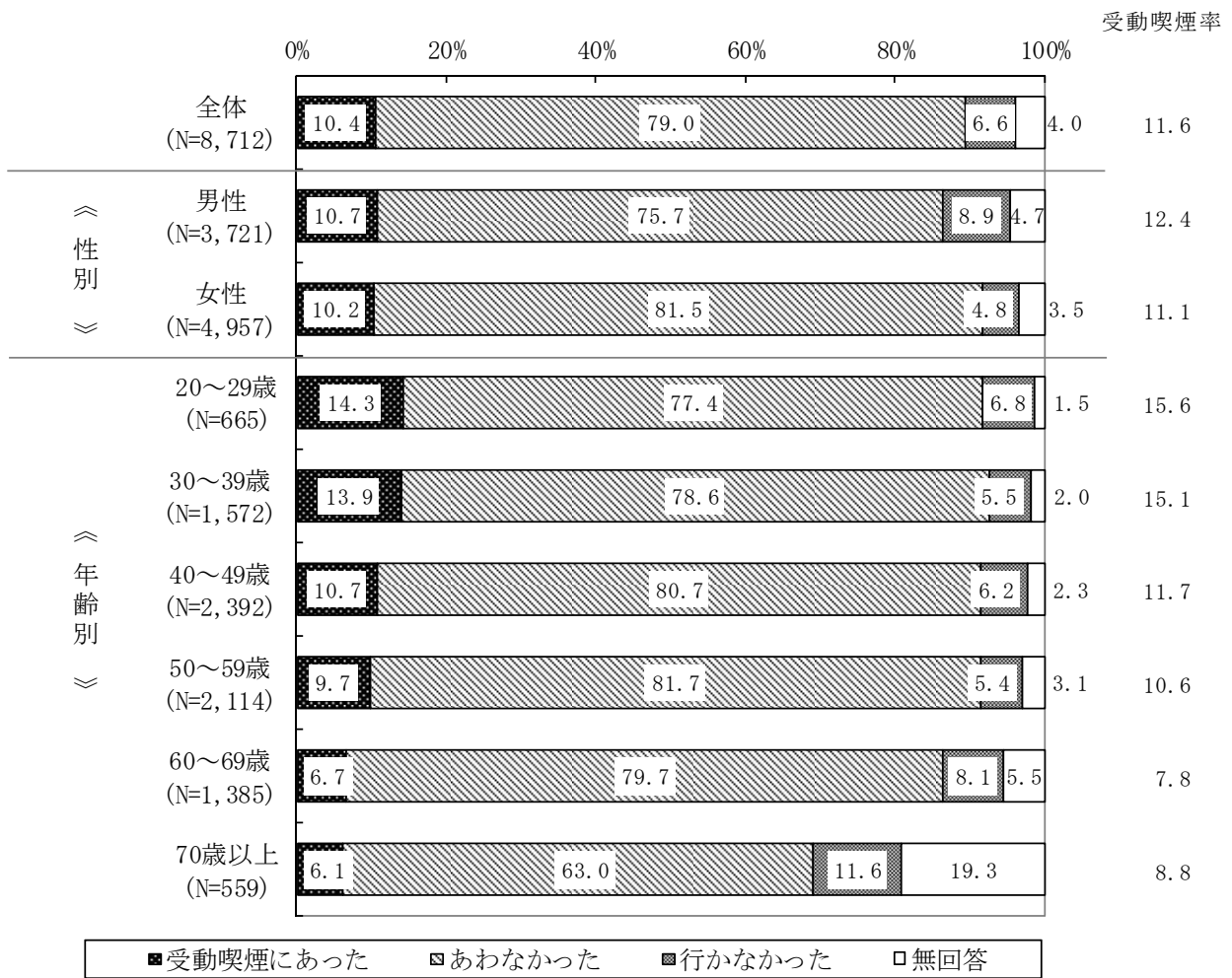
⑫百貨店・デパート

百貨店・デパートで「受動喫煙にあった」は10.4%、「あわなかった」が79.0%で、受動喫煙率は11.6%となっている。

性別でも、「受動喫煙にあった」割合や受動喫煙率に大きな差はみられない。

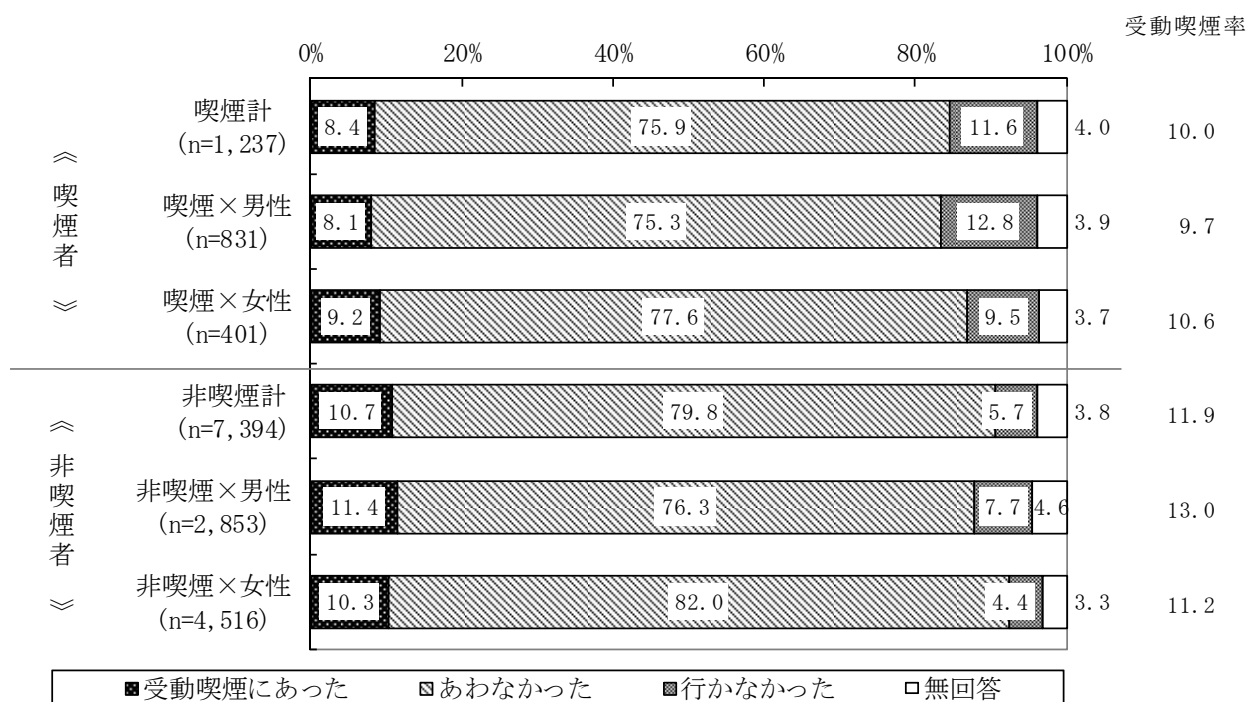
年齢別にみると、「受動喫煙にあった」割合は、20～29歳の14.3%をピークに、年齢が高まるにつれて低くなる傾向にある。

図 2-5-35 百貨店・デパートにおける受動喫煙の状況（全体・性別・年齢別）



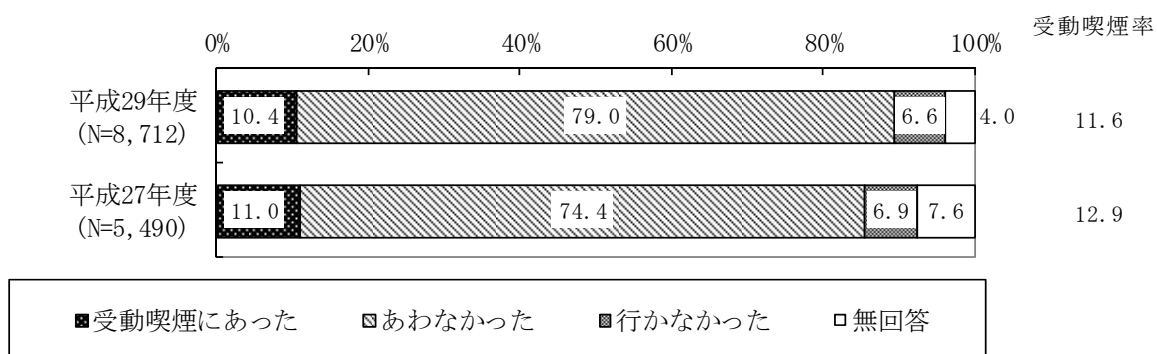
喫煙状況別にみると、「受動喫煙にあった」割合は、喫煙者より非喫煙者がやや高くなっているが、受動喫煙率で大きな差はみられない。

図 2-5-36 百貨店・デパートにおける受動喫煙の状況（喫煙／非喫煙×性別）



前回と比較すると、受動喫煙率は 1.3 ポイント減少している。

図 2-5-37 百貨店・デパートにおける受動喫煙の状況（経年変化）



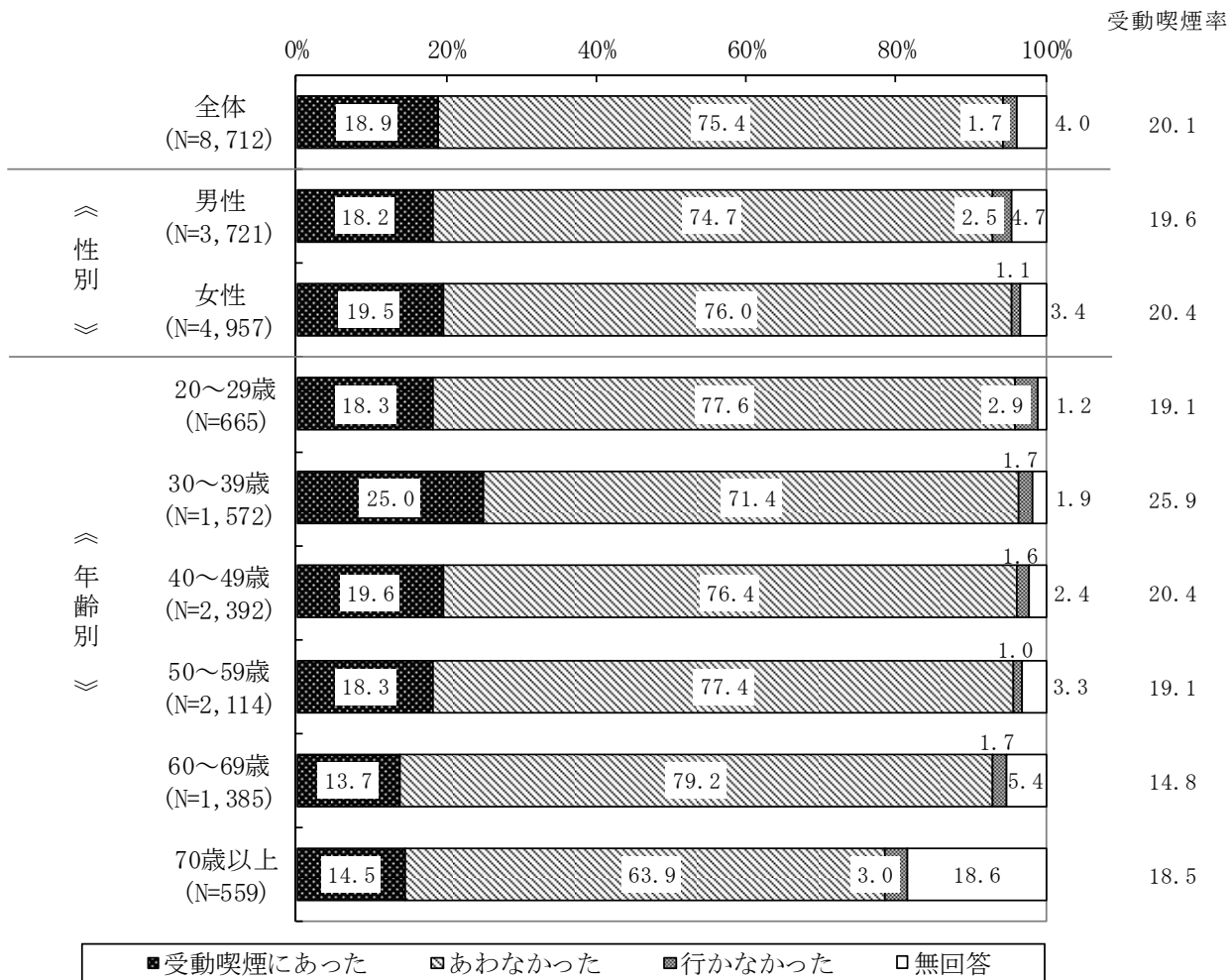
⑬スーパー・小売店

スーパー・小売店で「受動喫煙にあった」割合は18.9%、「あわなかった」は75.4%で、受動喫煙率は20.1%となっている。

性別では、「受動喫煙にあった」割合や受動喫煙率に大きな差はみられない。

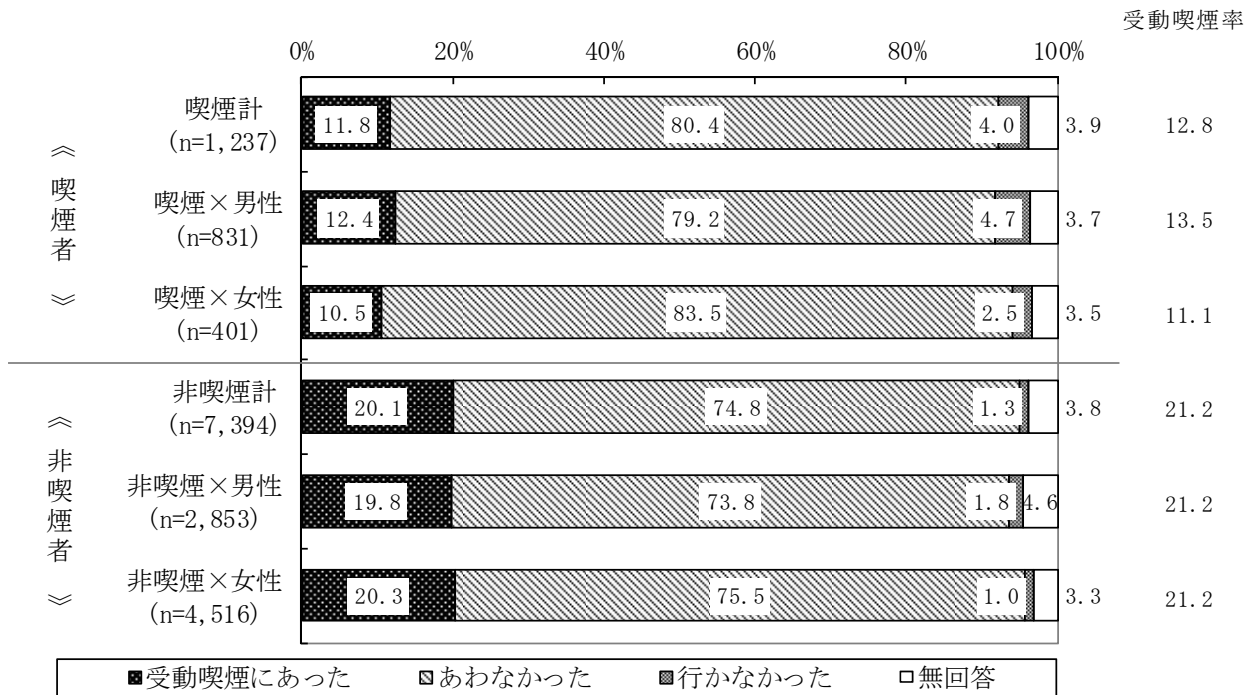
年齢別で見ると、「受動喫煙にあった」は30～39歳をピークに、年齢が高まるにつれて低くなる傾向にある。また、受動喫煙率も30～39歳で高くなっている。

図 2-5-38 スーパー・小売店における受動喫煙の状況（全体・性別・年齢別）



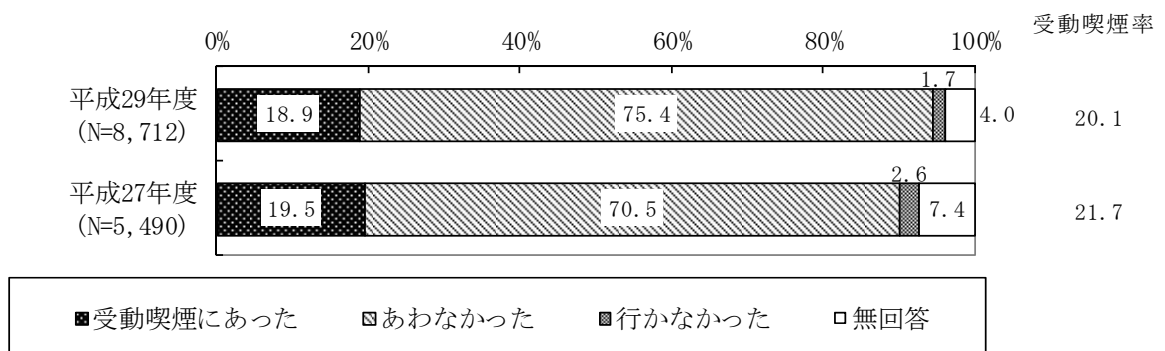
喫煙状況別にみると、「受動喫煙にあった」は喫煙者の11.8%に対し非喫煙者が20.1%、受動喫煙率も喫煙者12.8%対し、非喫煙者の方が21.2%と高くなっている。

図 2-5-39 スーパー・小売店における受動喫煙の状況（喫煙／非喫煙×性別）



前回と比較すると、受動喫煙率は1.6ポイント減少している。

図 2-5-40 スーパー・小売店における受動喫煙の状況（経年変化）



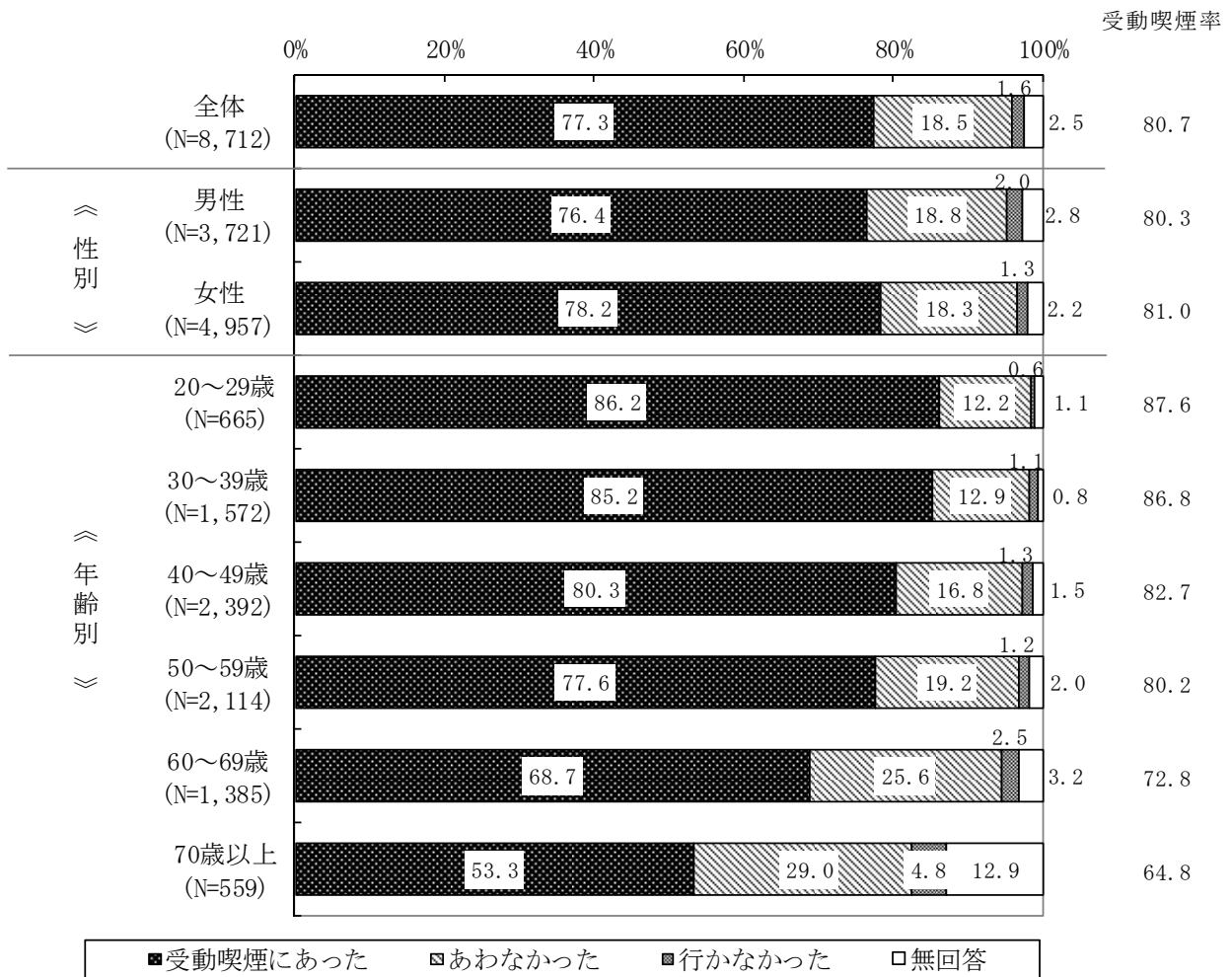
⑭飲食店

飲食店で「受動喫煙にあった」は77.3%、「あわなかった」が18.5%で受動喫煙率は80.7%と高くなっている。

性別の差は、いずれもあまりみられない。

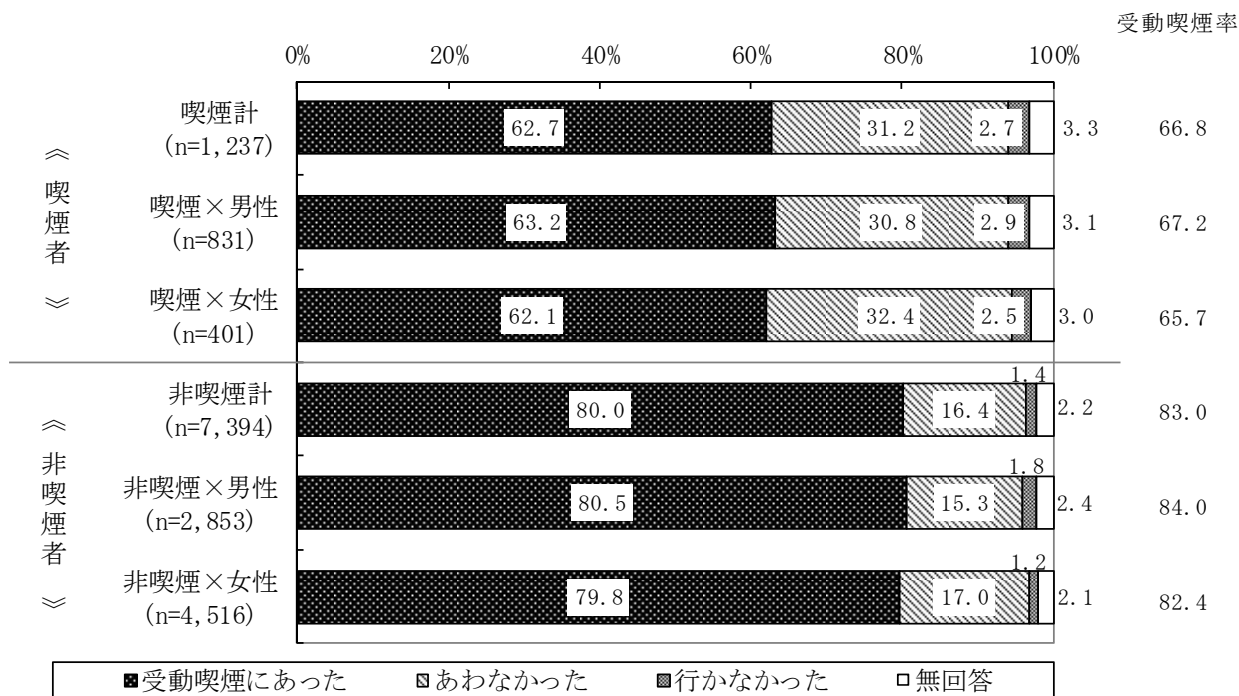
年齢別では、「受動喫煙にあった」割合は20～29歳で86.2%と高く、年齢が高まるにつれて低くなる傾向にあるが、最も低い70歳以上でも53.3%と、ほぼ2人に1人は受動喫煙にあっている。受動喫煙率も年齢が高くなるにつれて低くなる傾向にある。

図 2-5-41 飲食店における受動喫煙の状況（全体・性別・年齢別）



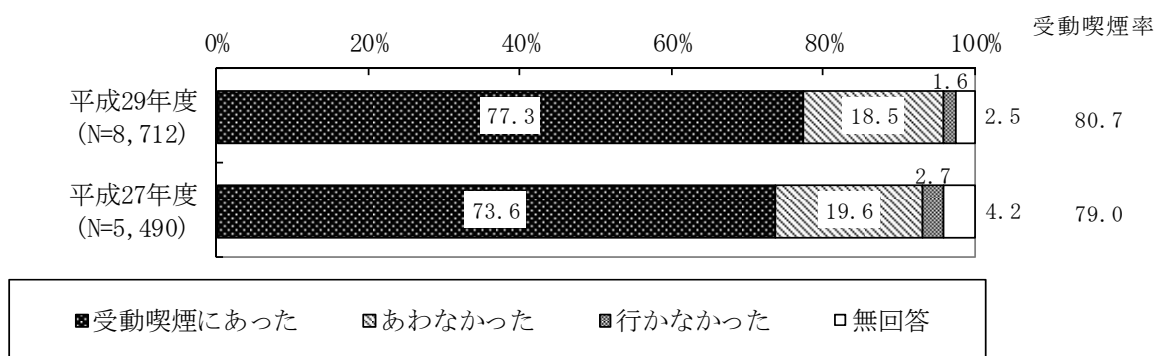
喫煙状況別にみると、「受動喫煙にあった」は非喫煙者で80.0%と、喫煙者の62.7%を大きく上回り、受動喫煙率でも非喫煙者83.0%が喫煙者66.8%を大きく上回っている。

図 2-5-42 飲食店における受動喫煙の状況（喫煙・非喫煙×性別）



前回と比較すると、受動喫煙率は1.7ポイント増加している。

図 2-5-43 飲食店における受動喫煙の状況（経年変化）



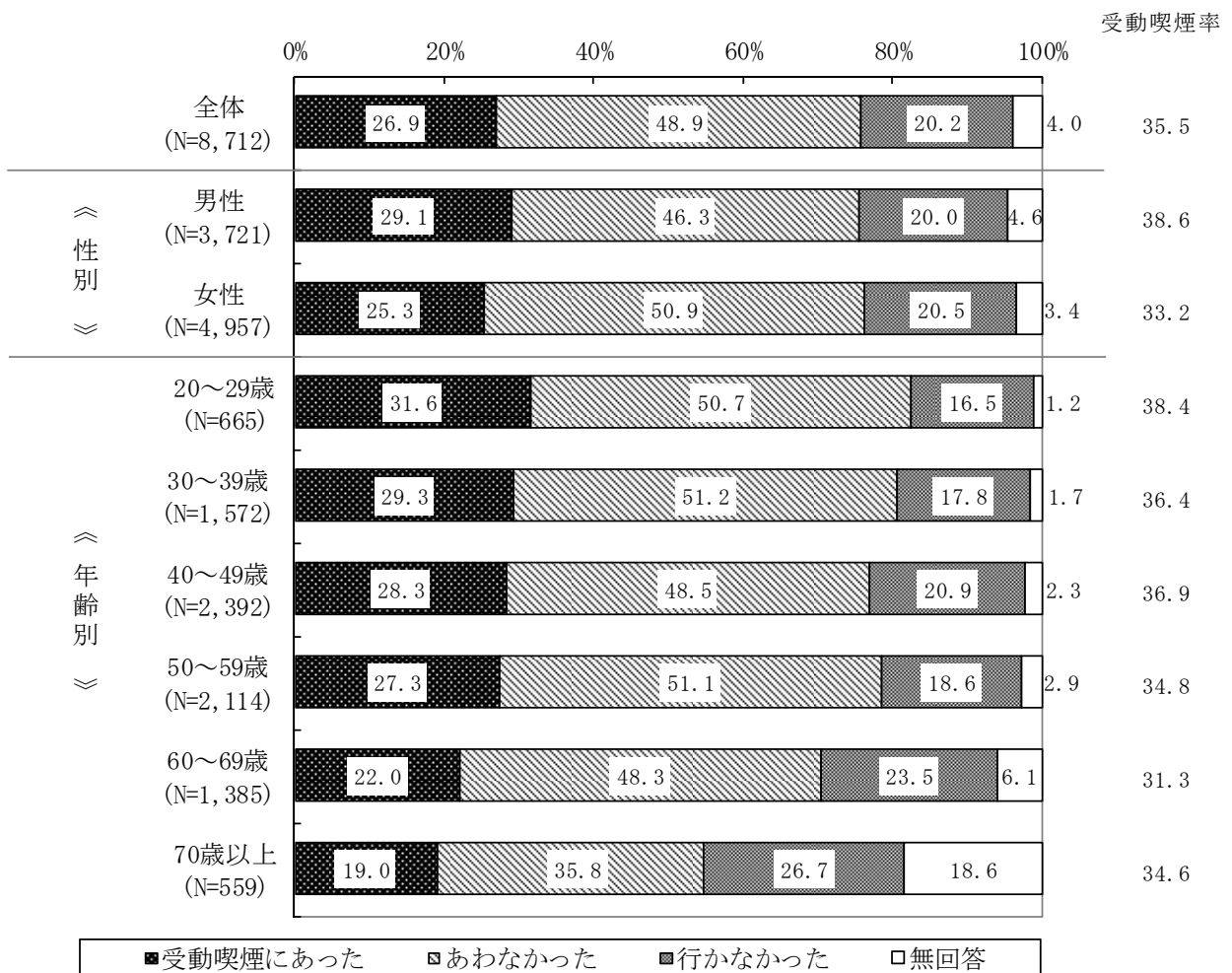
⑮ホテル・旅館

ホテル・旅館で「受動喫煙にあった」は26.9%、「あわなかった」が48.9%で受動喫煙率は35.5%となっている。

性別でみると、「受動喫煙にあった」割合は、男性が29.1%、女性が25.3%で、受動喫煙率は男性が38.6%、女性が33.2%と、いずれも男性の方がやや高くなっている。

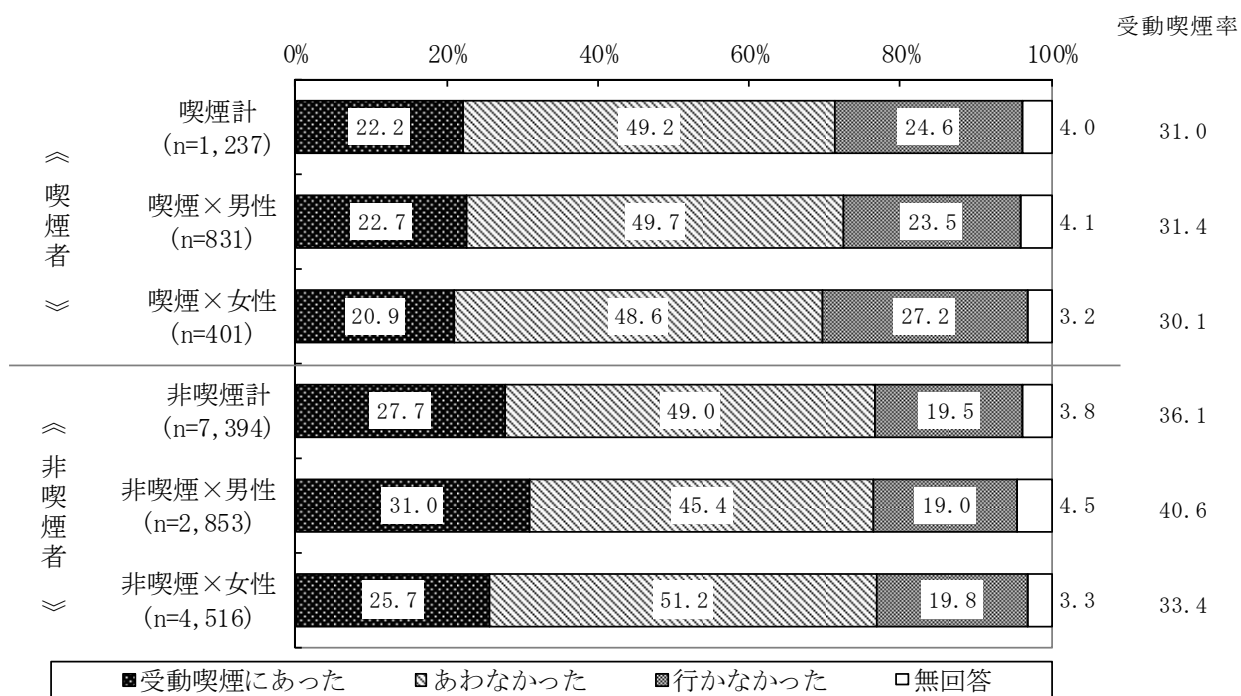
年齢別でみると、「受動喫煙にあった」割合は、20～29歳が31.6%で最も高く、年齢が高まるにつれて、低くなる傾向にある。受動喫煙率も20～29歳が38.4%で最も高い。

図 2-5-44 ホテル・旅館における受動喫煙の状況（全体・性別・年齢別）



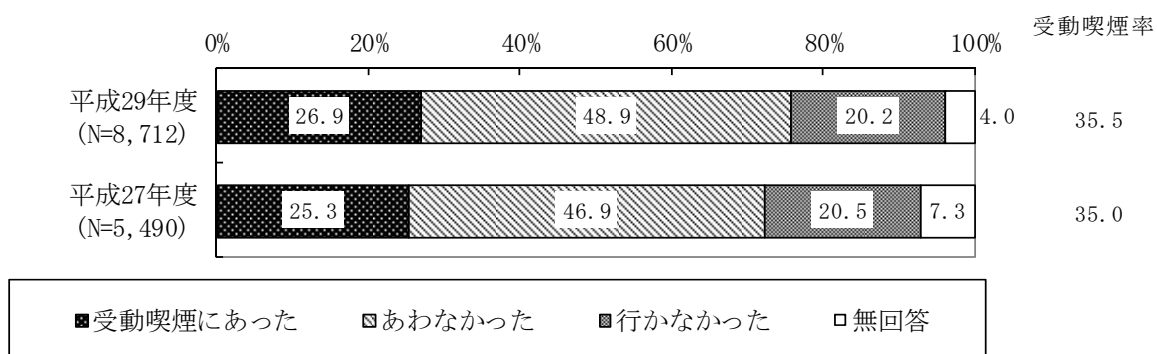
喫煙状況別にみると、「受動喫煙にあった」割合も受動喫煙率も、非喫煙者の方が喫煙者よりやや高くなっている。

図 2-5-45 ホテル・旅館における受動喫煙の状況（喫煙／非喫煙×性別）



前回と比較すると、受動喫煙率は0.5ポイント増加している。

図 2-5-46 ホテル・旅館における受動喫煙の状況（経年変化）



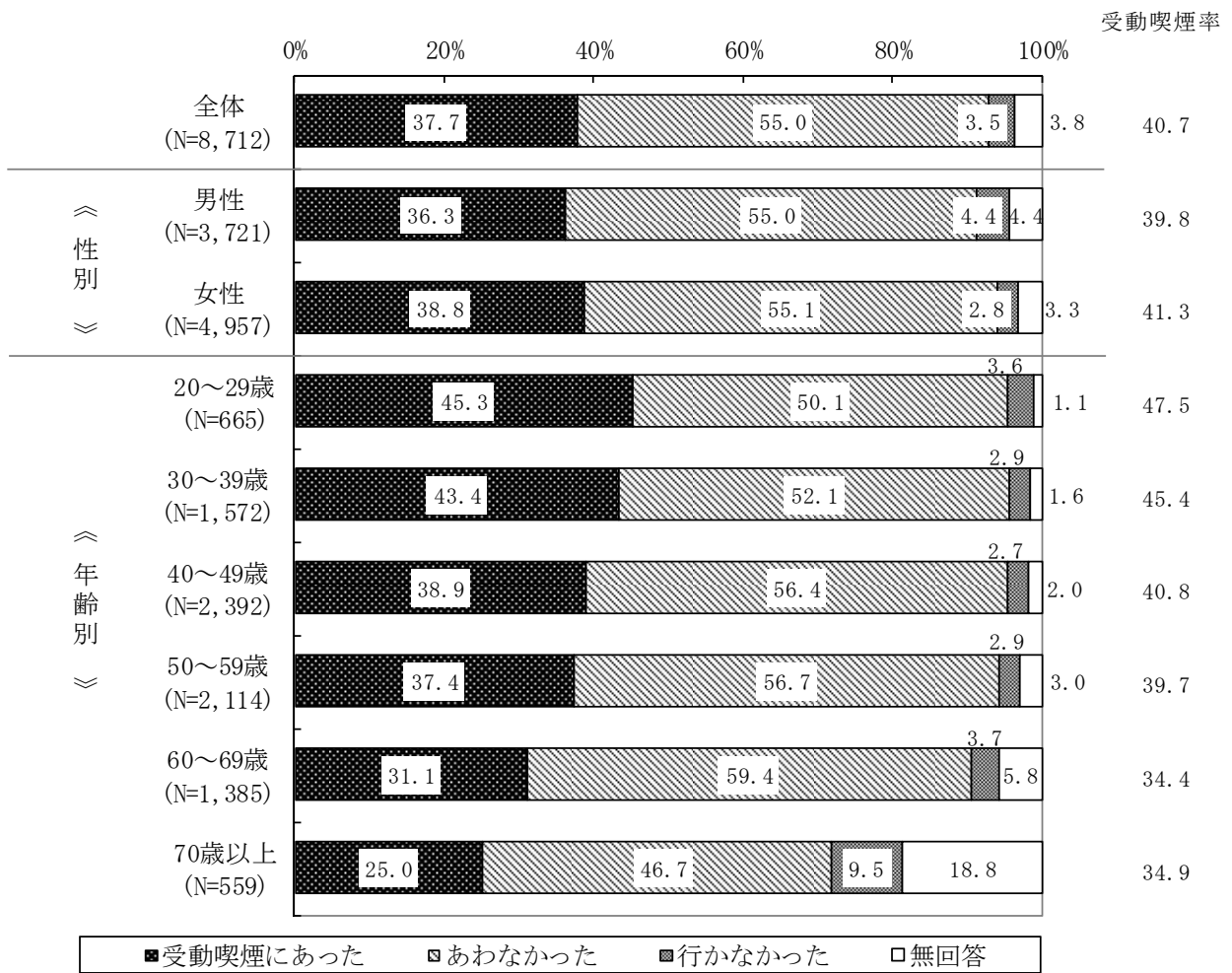
⑩ 駅・空港

駅・空港で「受動喫煙にあった」割合は37.7%、「あわなかった」が55.0%で受動喫煙率は40.7%となっている。

性別では、「受動喫煙にあった」割合、受動喫煙率のいずれも女性でやや高い。

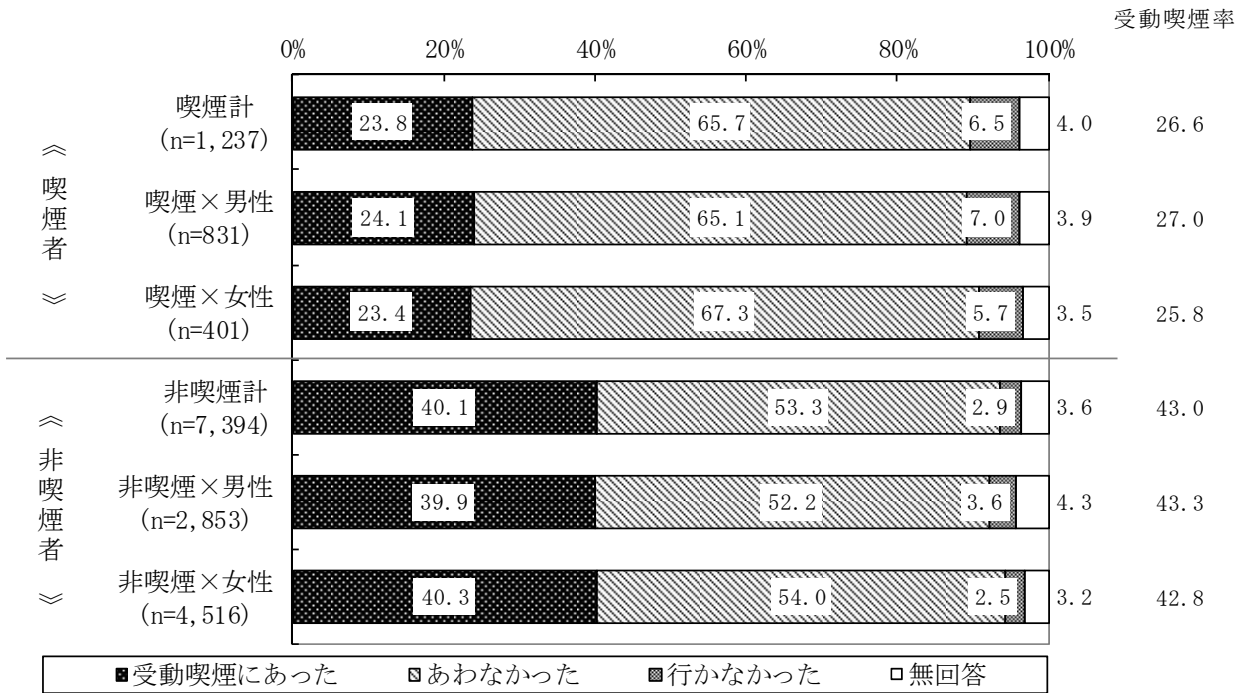
年齢別にみると、「受動喫煙にあった」割合は20～29歳の45.3%をピークに、年齢が高くなるにつれて低くなる傾向にある。

図 2-5-47 駅・空港における受動喫煙の状況（全体・性別・年齢別）



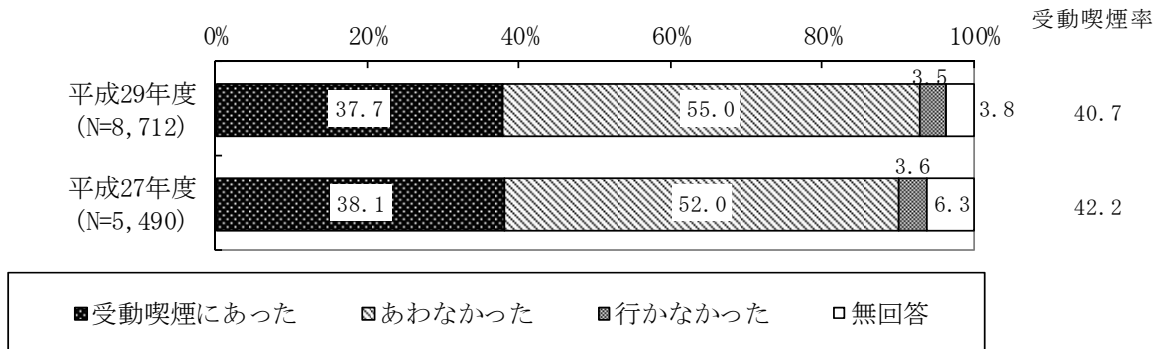
喫煙状況別でみると、「受動喫煙にあった」は、喫煙者の23.8%と非喫煙者の40.1%で大きな差があり、非喫煙者の方が16.3ポイント高くなっている。

図 2-5-48 駅・空港における受動喫煙の状況（喫煙／非喫煙×性別）



前回と比較すると、受動喫煙率は1.5ポイント減少している。

図 2-5-49 駅・空港における受動喫煙の状況（経年変化）



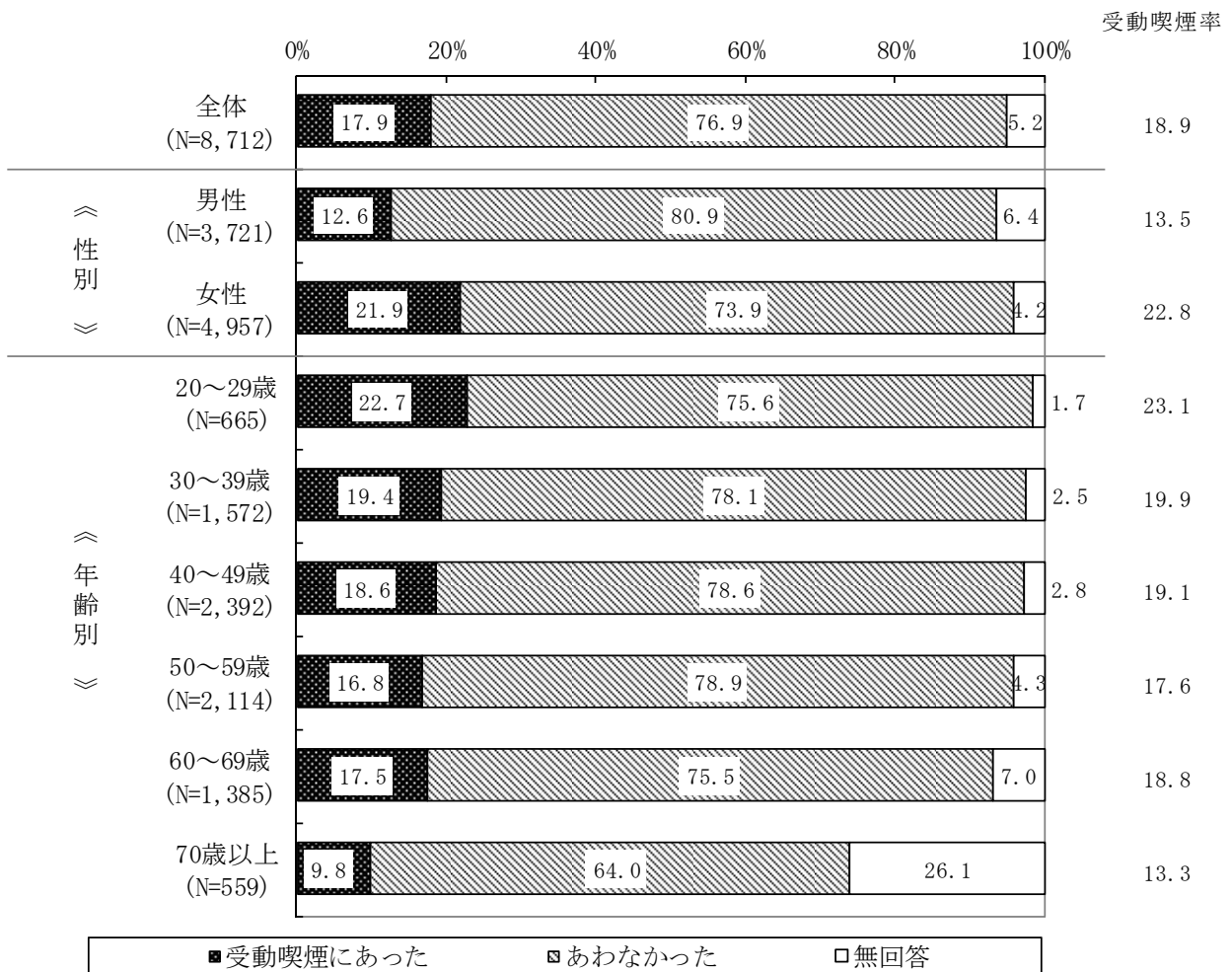
⑰家庭

家庭で「受動喫煙にあった」割合は17.9%、「あわなかった」が76.9%で受動喫煙率は18.9%となっている。

性別では、「受動喫煙にあった」割合、受動喫煙率のいずれも女性でやや高い。

年齢別にみると、「受動喫煙にあった」割合、受動喫煙率のいずれも20～29歳(受動喫煙割合:22.7%、受動喫煙率:23.1%)をピークに、概ね年齢が高くなるにつれて割合が低くなる傾向にある。

図 2-5-50 家庭における受動喫煙の状況（全体・性別・年齢別）



喫煙状況別でみると、「受動喫煙にあった」は、喫煙者の方が非喫煙者より割合が高くなっている。特に、喫煙女性の45.1%は、非喫煙女性19.8%の2倍以上となっている。受動喫煙率でも喫煙者の34.2%が、非喫煙者の16.3%を大きく上回る。

子どもの有無別でみると、「受動喫煙にあった」は、男性では「子どもがいない」が「子どもがいる」よりも割合が高いが、女性では「子どもがいる」が「子どもがいない」を1.8ポイント上回っている。

図 2-5-51 家庭における受動喫煙の状況（喫煙／非喫煙×性別）

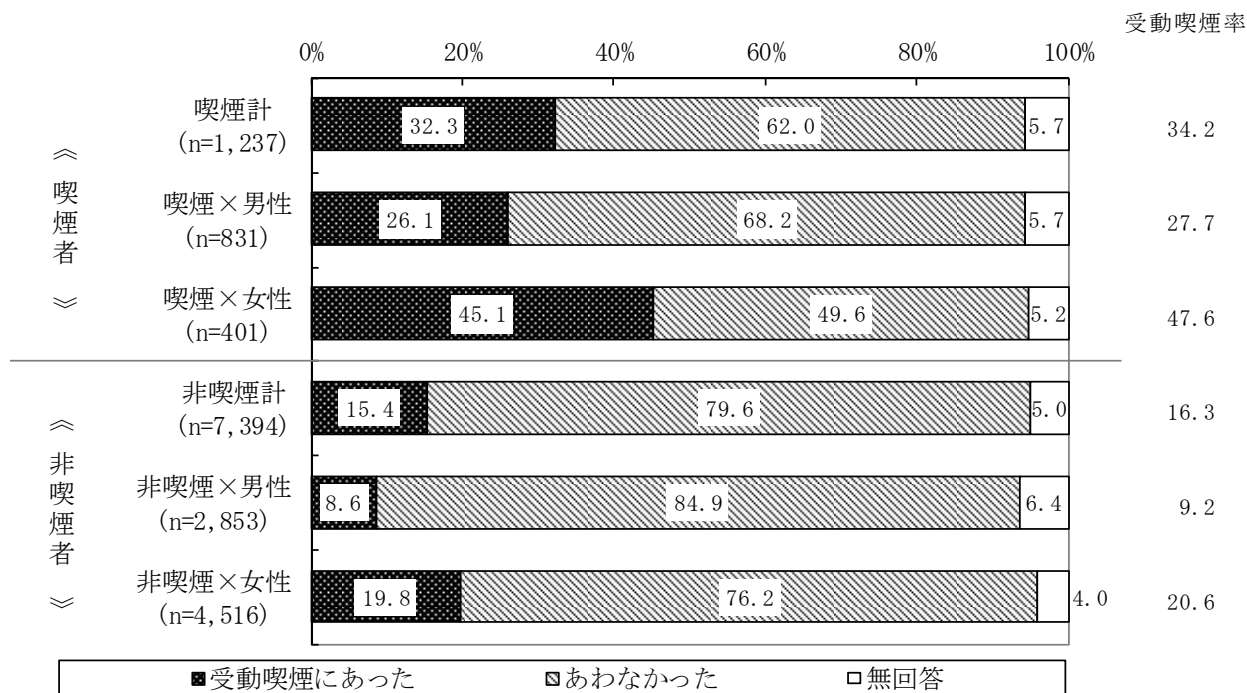
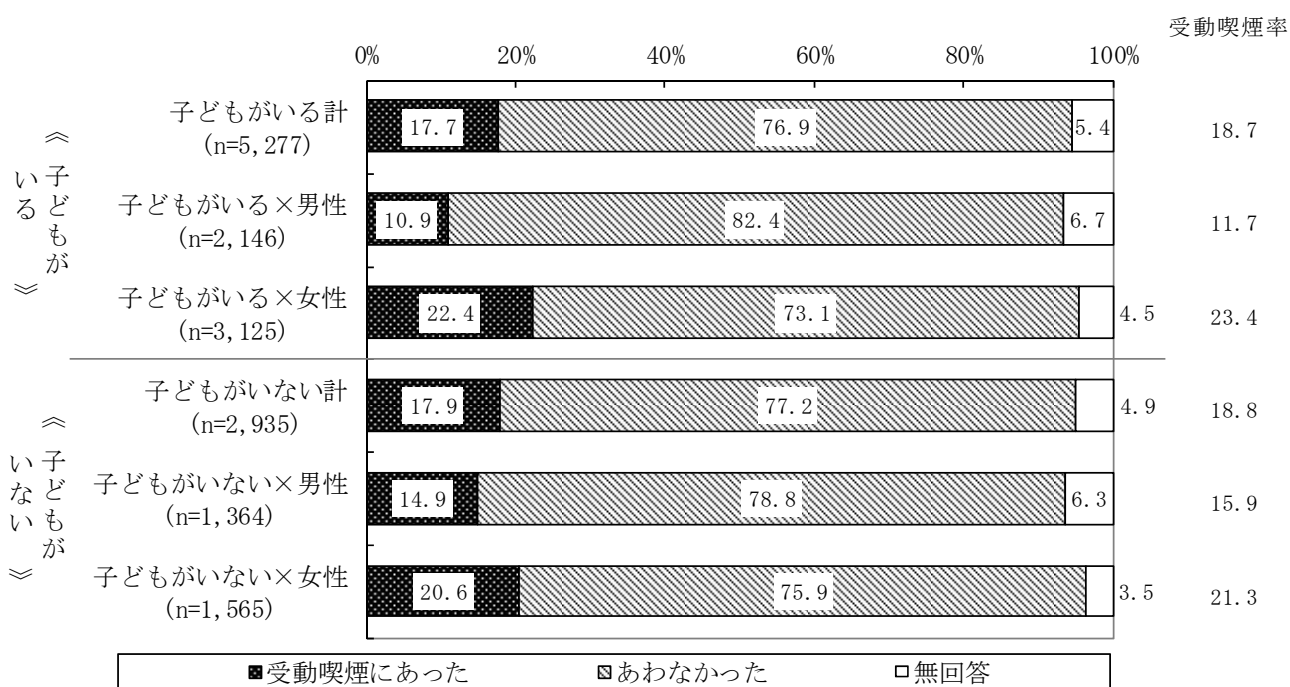


図 2-5-52 家庭における受動喫煙の状況（子どもの有無×性別）



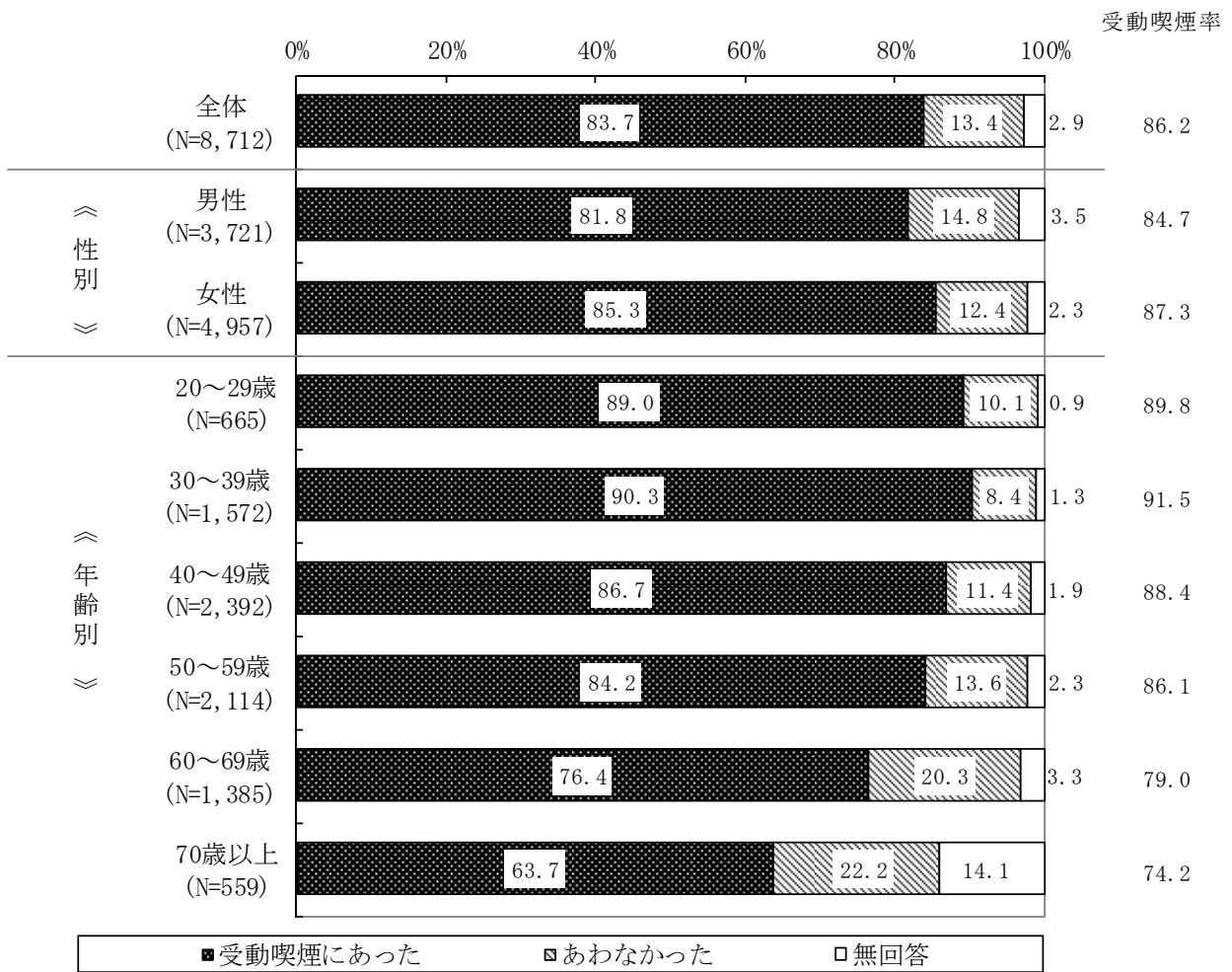
⑩路上

路上で「受動喫煙にあった」割合は83.7%と、最も高く、「あわなかった」が13.4%で受動喫煙率は86.2%となっている。

性別では、「受動喫煙にあった」割合、受動喫煙率のいずれも女性でやや高い。

年齢別にみると、「受動喫煙にあった」割合、受動喫煙率のいずれも30～39歳(受動喫煙割合:90.3%、受動喫煙率:91.5%)をピークに、年齢が高くなるにつれて低くなる傾向にある。

図 2-5-53 路上における受動喫煙の状況 (全体・性別・年齢別)



喫煙状況別でみると、「受動喫煙にあった」は、喫煙者の69.9%と非喫煙者の86.2%で大きな差があり、非喫煙者の方が16.3ポイント高くなっている。男性で差が大きく、非喫煙男性85.9%は、喫煙男性68.5%を17.4ポイント上回る。受動喫煙率でも非喫煙者の88.5%が、喫煙者の72.7%を大きく上回る。

子どもの有無別でみると、「受動喫煙にあった」は、男性では「子どもがいる」が「子どもがいない」よりも割合が高いが、女性では「子どもがいない」が「子どもがいる」を3.2ポイント上回っている。

図 2-5-54 路上における受動喫煙の状況（喫煙／非喫煙×性別）

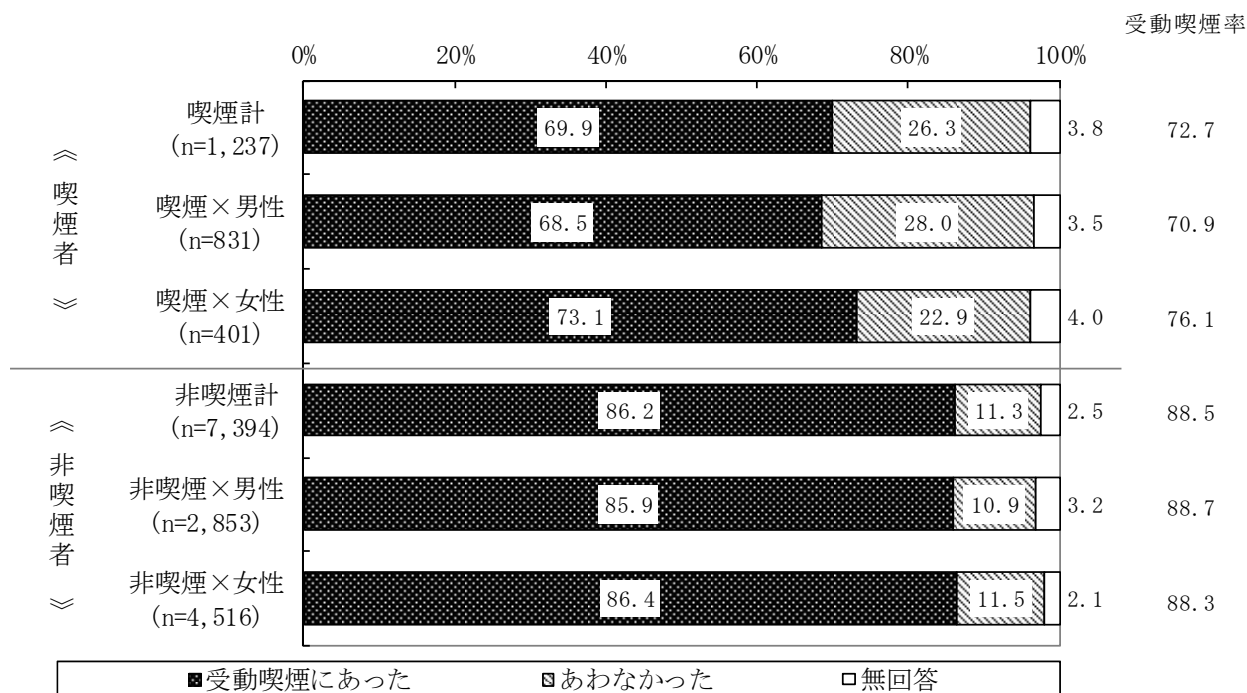
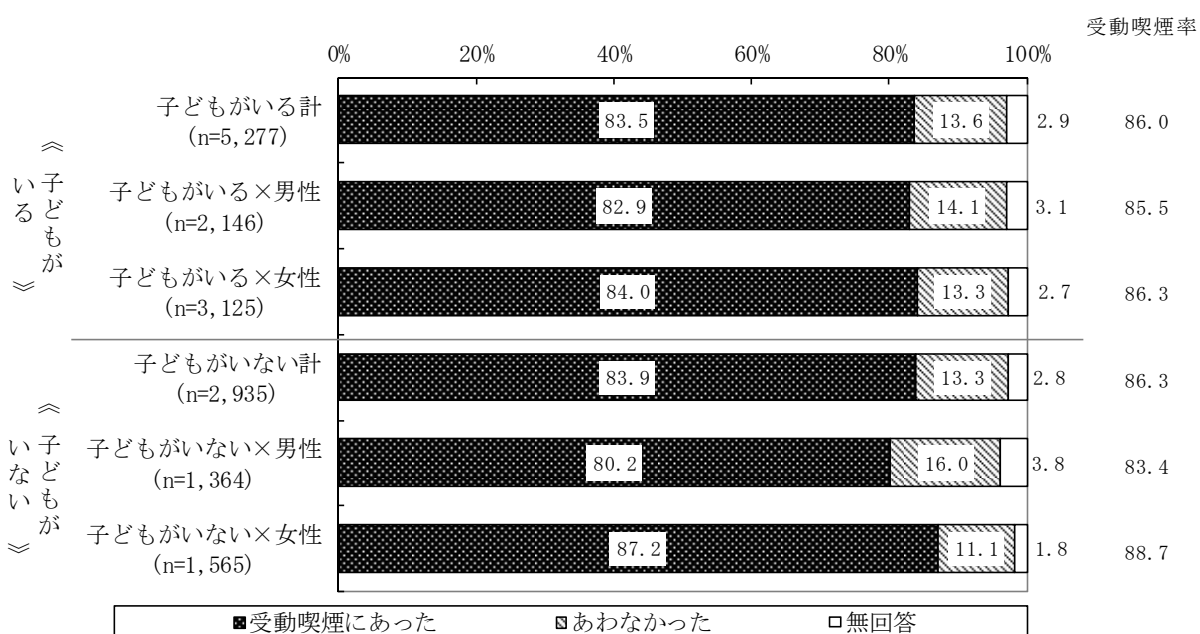


図 2-5-55 路上における受動喫煙の状況（子どもの有無別）



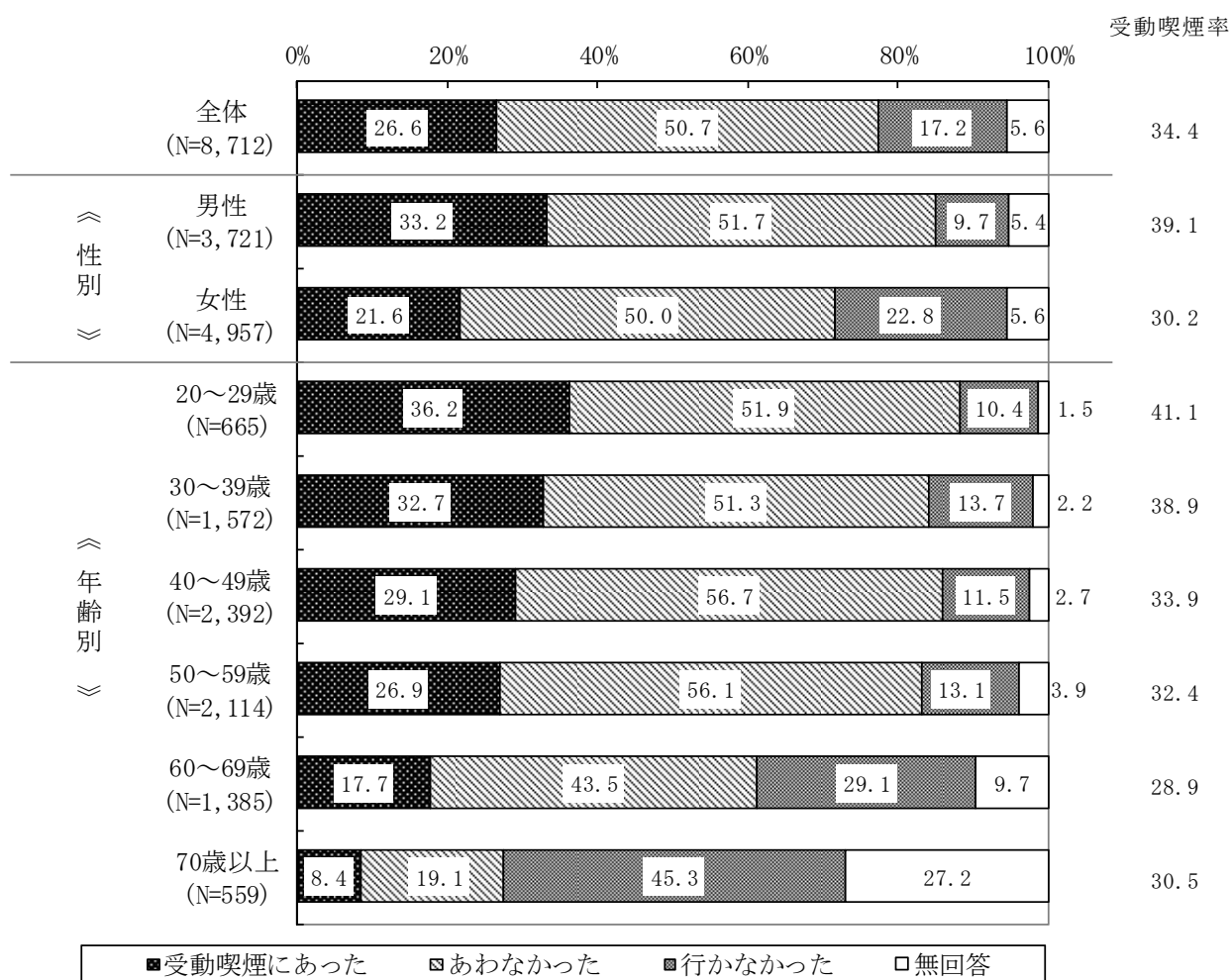
⑱職場

職場で「受動喫煙にあった」割合は26.6%、「あわなかった」が50.7%で受動喫煙率は34.4%となっている。

性別では、「受動喫煙にあった」割合、受動喫煙率のいずれも男性でやや高い。

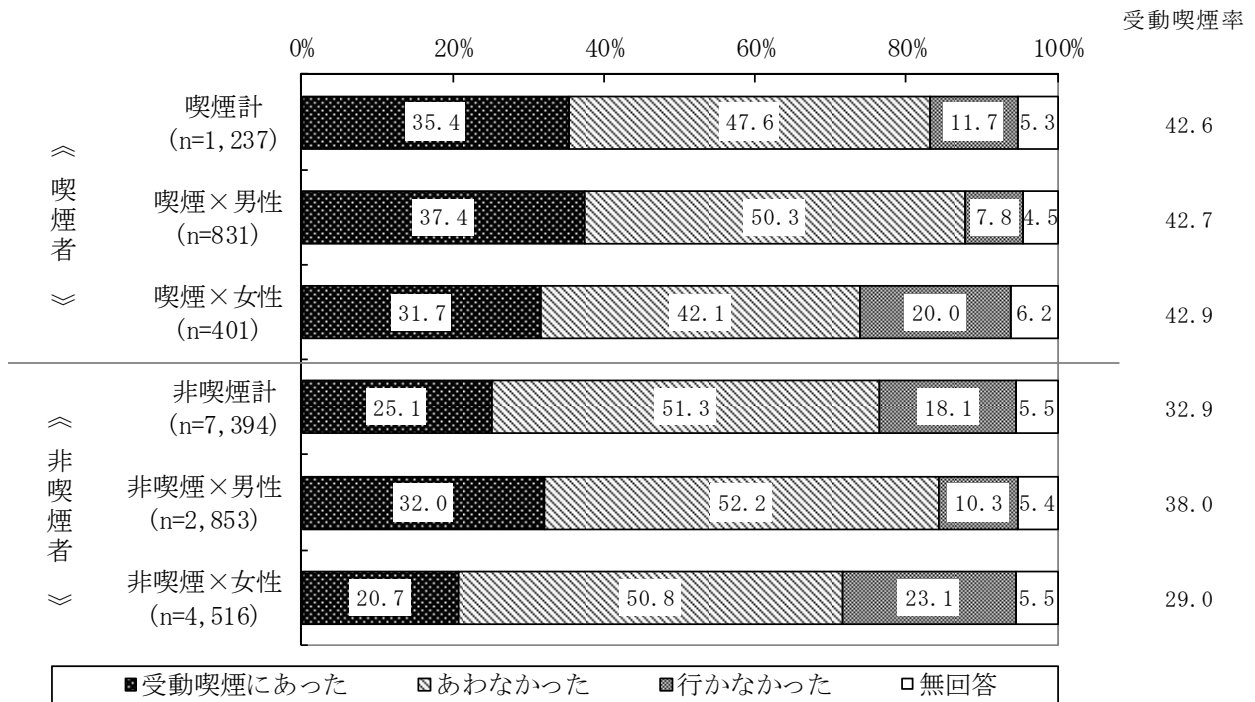
年齢別にみると、「受動喫煙にあった」割合、受動喫煙率のいずれも20～29歳(受動喫煙割合:36.2%、受動喫煙率:41.1%)をピークに、概ね年齢が高くなるにつれて割合が低くなる傾向にある。

図 2-5-56 職場における受動喫煙の状況（全体・性別・年齢別）



喫煙状況別でみると、「受動喫煙にあった」は、喫煙者 35.4%、非喫煙者 25.1%で、喫煙者の方が 10.3 ポイント高くなっている。女性で差が大きく、喫煙女性の 31.7%は、非喫煙女性 20.7%を 11.0 ポイント上回っている。受動喫煙率でも喫煙者の 42.6%が、非喫煙者の 32.9%を上回る。

図 2-5-57 職場における受動喫煙の状況（喫煙／非喫煙×性別）



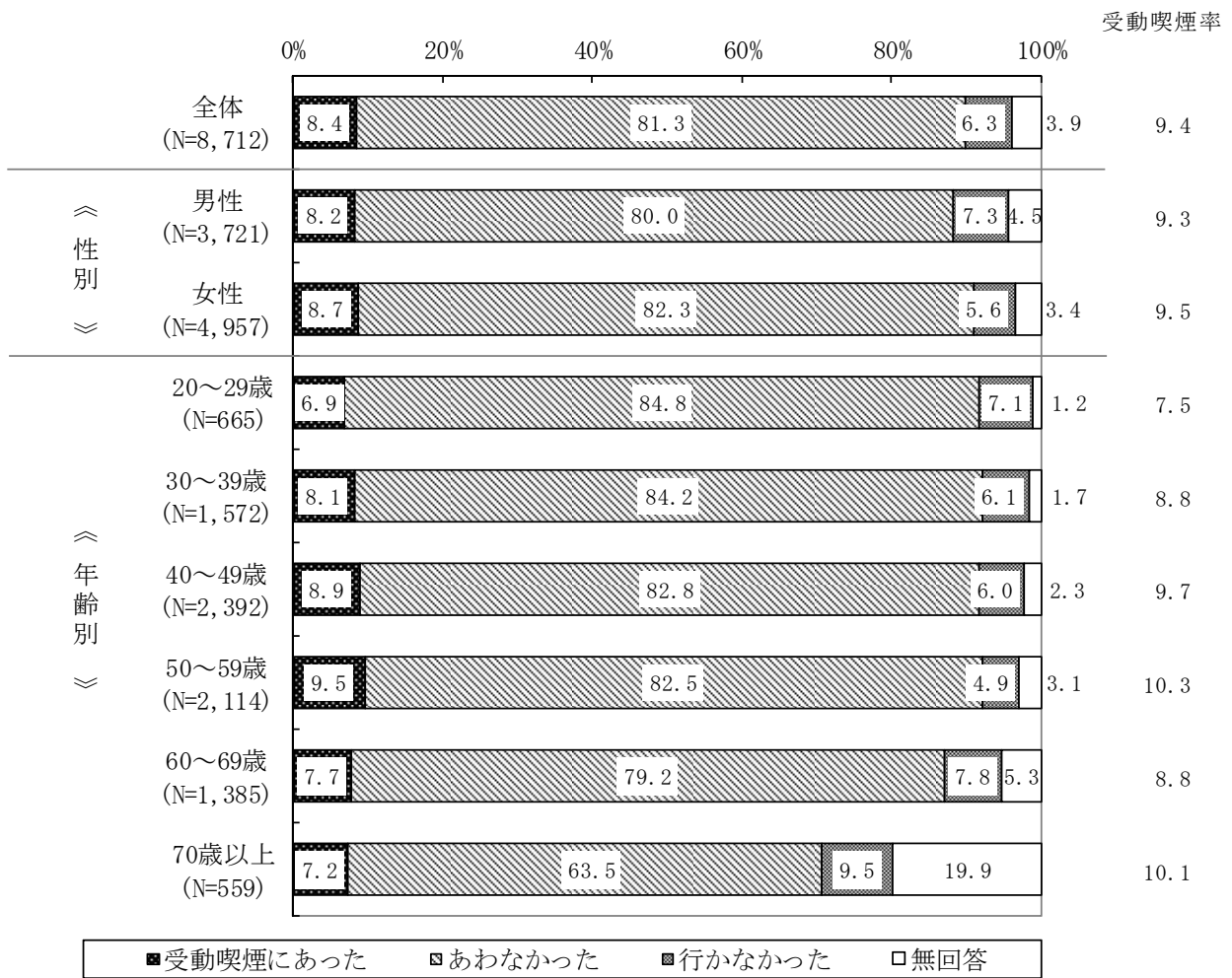
⑳バス・タクシー

バス・タクシーで「受動喫煙にあった」割合は 8.4%、「あわなかった」が 81.3%で受動喫煙率は 9.4%となっている。

性別では、「受動喫煙にあった」割合、受動喫煙率のいずれも大きな差は見られなかった。

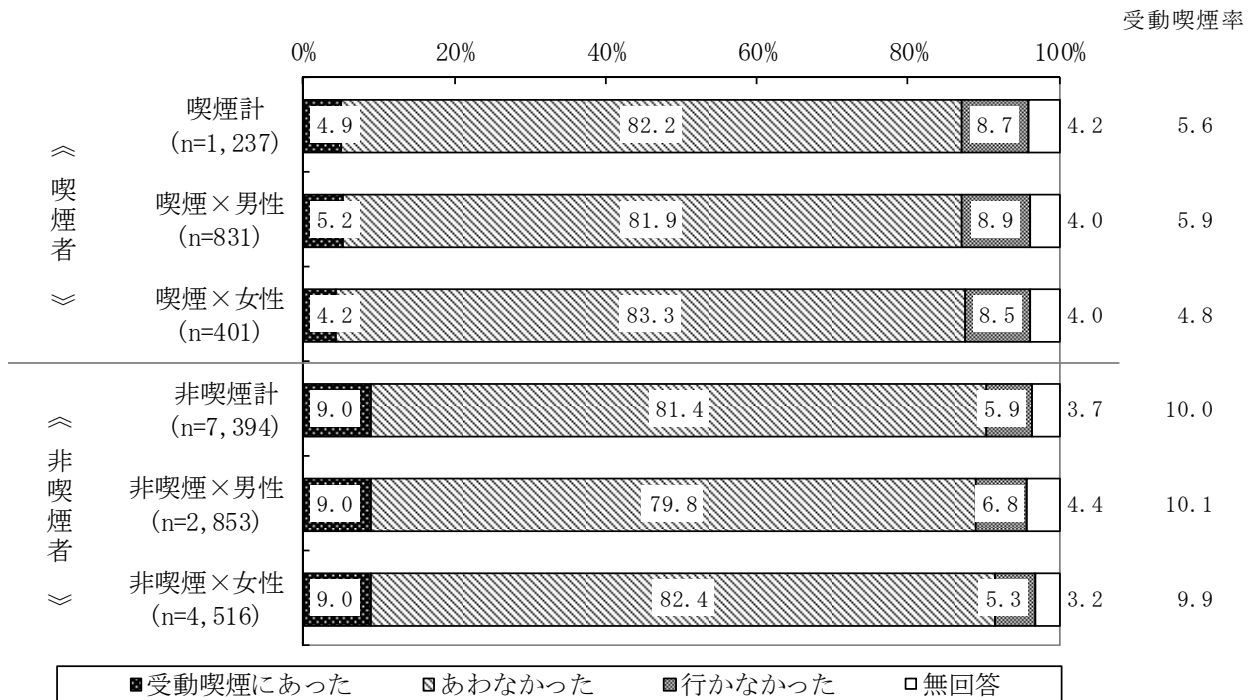
年齢別にみると、「受動喫煙にあった」割合、受動喫煙率のいずれも 50～59 歳(受動喫煙割合:9.5%、受動喫煙率:10.3%)が高くなっている。

図 2-5-58 バス・タクシーにおける受動喫煙の状況 (全体・性別・年齢別)



喫煙状況別でみると、「受動喫煙にあった」は、喫煙者の4.9%と非喫煙者の9.0%で、非喫煙者の方が4.1ポイント高くなっている。女性で、非喫煙女性の9.0%は、喫煙女性4.2%のおよそ2倍となっている。受動喫煙率でも非喫煙者の10.0%が、喫煙者の5.6%を上回る。

図 2-5-59 バス・タクシーにおける受動喫煙の状況（喫煙／非喫煙×性別）



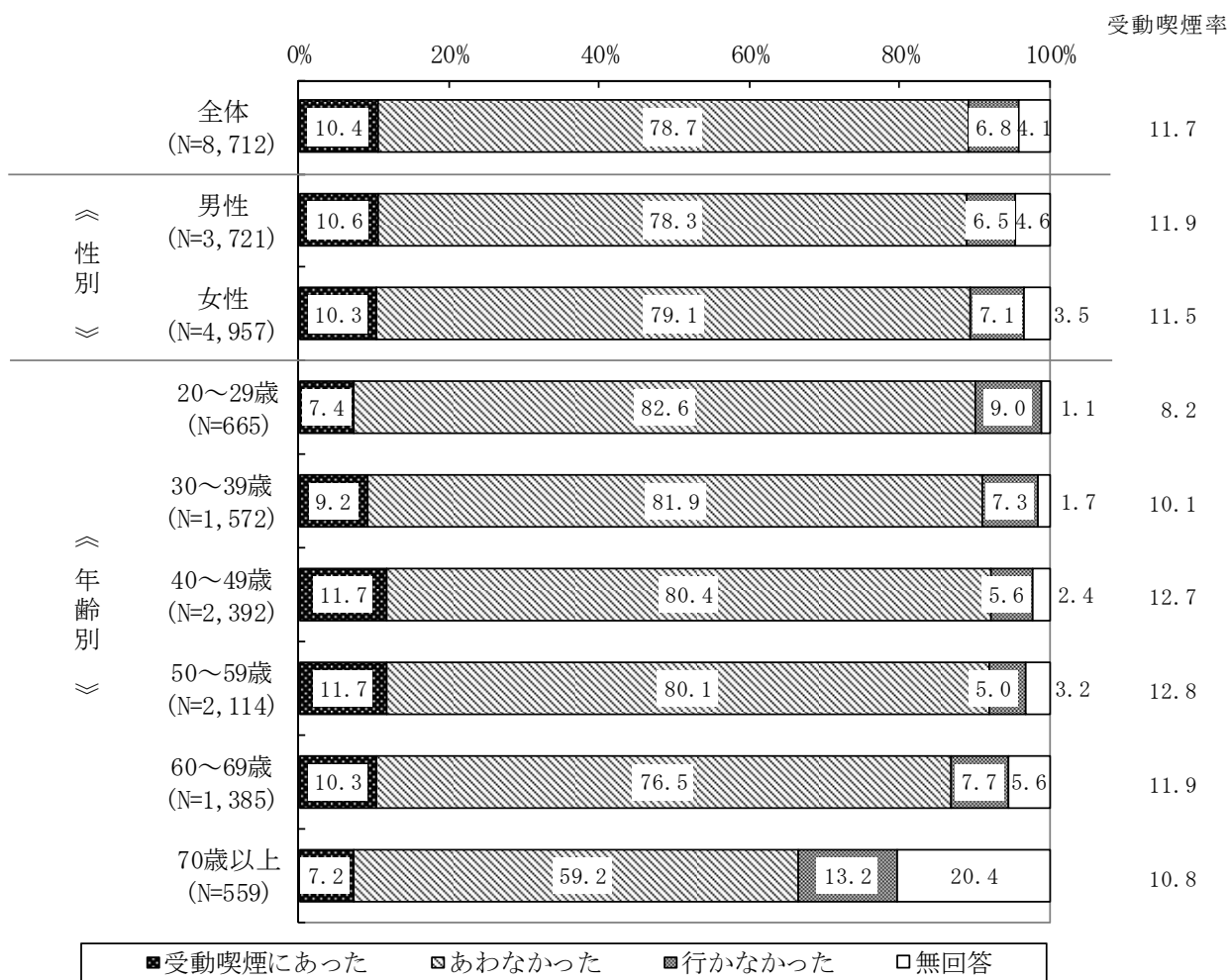
②1 鉄道・船舶

鉄道・船舶で「受動喫煙にあった」割合は10.4%、「あわなかった」が78.7%で受動喫煙率は11.7%となっている。

性別では、「受動喫煙にあった」割合、受動喫煙率のいずれも大きな差は見られなかった。

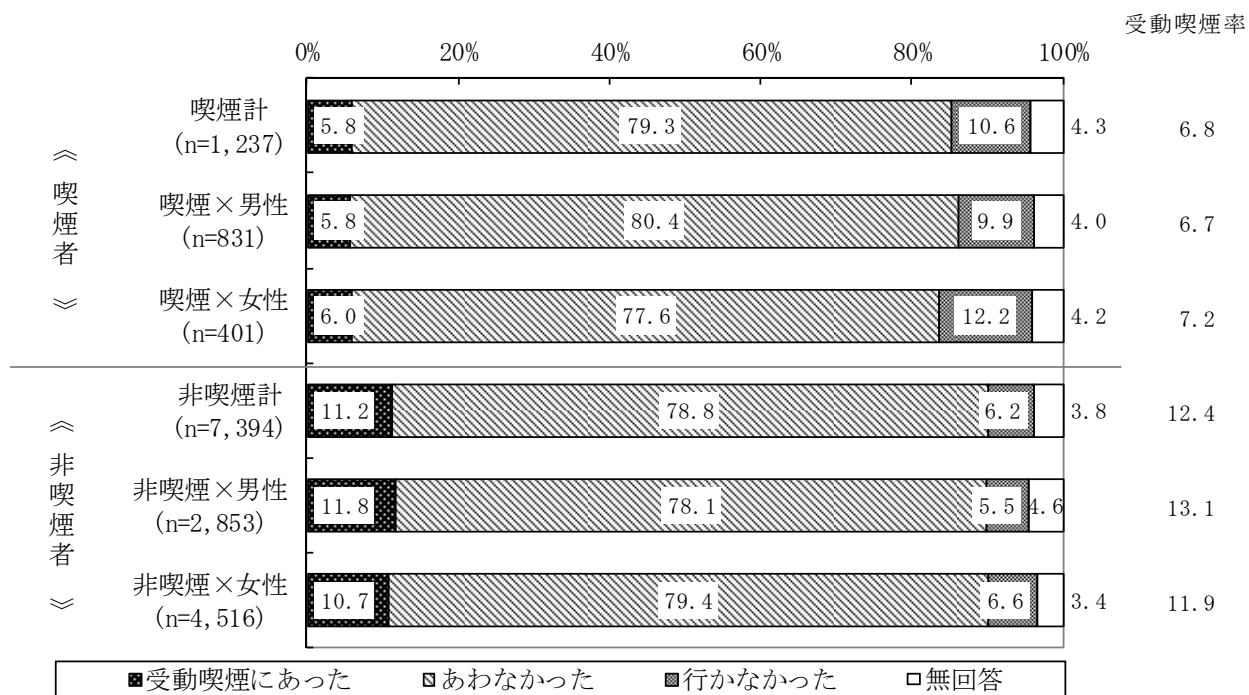
年齢別にみると、「受動喫煙にあった」割合、受動喫煙率のいずれも50～59歳(受動喫煙割合:11.7%、受動喫煙率:12.8%)が高くなっている。

図 2-5-60 鉄道・船舶における受動喫煙の状況（全体・性別・年齢別）



喫煙状況別でみると、「受動喫煙にあった」は、喫煙者の5.8%と非喫煙者の11.2%で、非喫煙者の方が5.4ポイント高くなっている。男性で、非喫煙男性の11.8%は、喫煙男性5.8%のおよそ2倍となっている。受動喫煙率でも非喫煙者の12.4%が、喫煙者の6.8%を上回る。

図 2-5-61 鉄道・船舶における受動喫煙の状況（喫煙／非喫煙×性別）



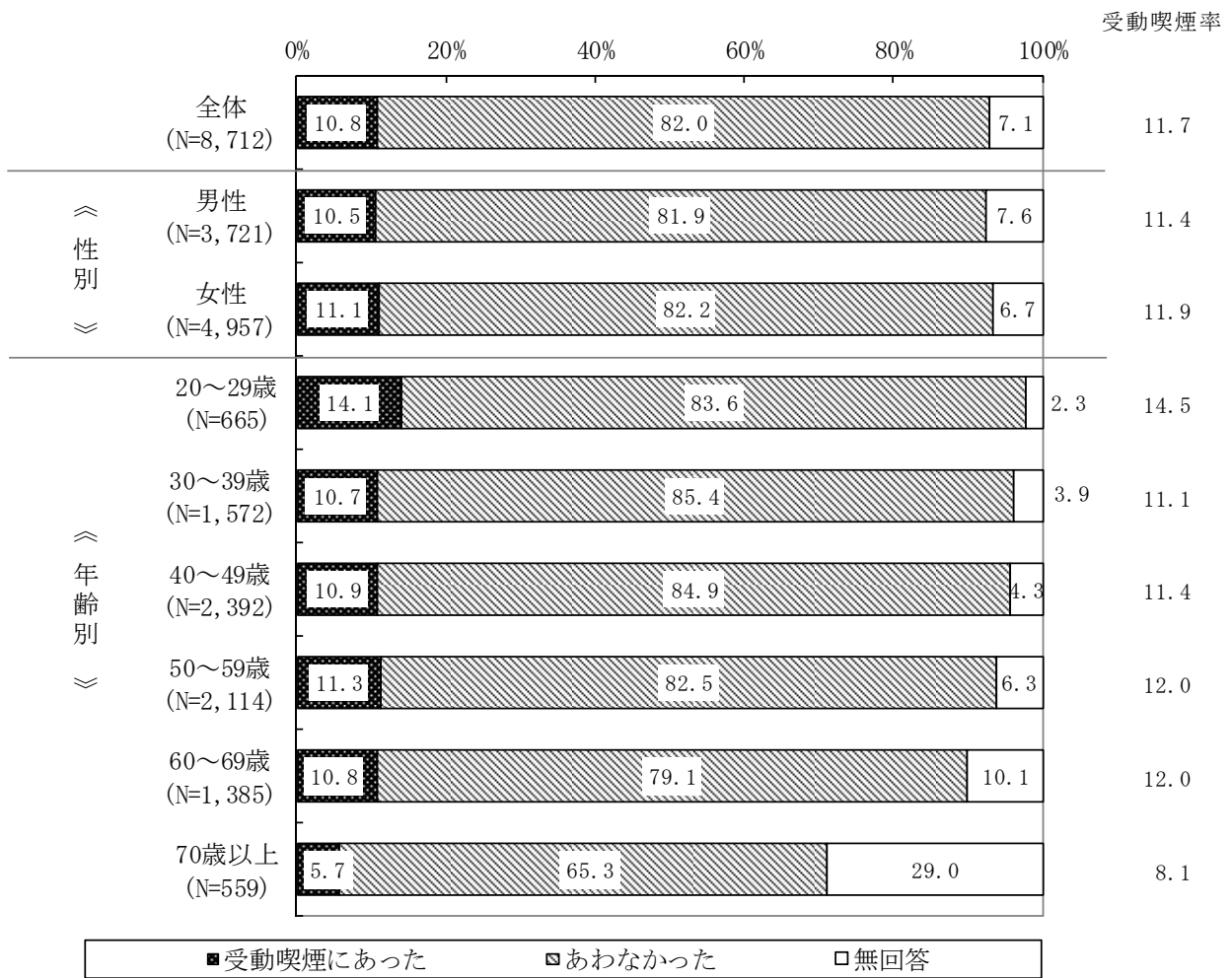
②自家用車

自家用車で「受動喫煙にあった」割合は10.8%、「あわなかった」が82.0%で受動喫煙率は11.7%となっている。

性別では、「受動喫煙にあった」割合、受動喫煙率のいずれも大きな差は見られなかった。

年齢別にみると、「受動喫煙にあった」割合、受動喫煙率のいずれも20～29歳(受動喫煙割合:14.1%、受動喫煙率:14.5%)が高くなっている。

図 2-5-62 自家用車における受動喫煙の状況（全体・性別・年齢別）



喫煙状況別でみると、「受動喫煙にあった」は、喫煙者の25.5%と非喫煙者の8.4%で大きな差があり、喫煙者の方が17.1ポイント高くなっている。特に女性で差が目立ち、喫煙女性の31.4%は、非喫煙女性9.3%のおよそ3倍となっている。受動喫煙率でも喫煙者の27.5%が、非喫煙者の9.0%を大きく上回る。

子どもの有無別でみると、「受動喫煙にあった」は、男性・女性ともに「子どもがいない」が「子どもがいる」よりも割合が高くなっている。

図 2-5-63 自家用車における受動喫煙の状況（喫煙／非喫煙×性別）

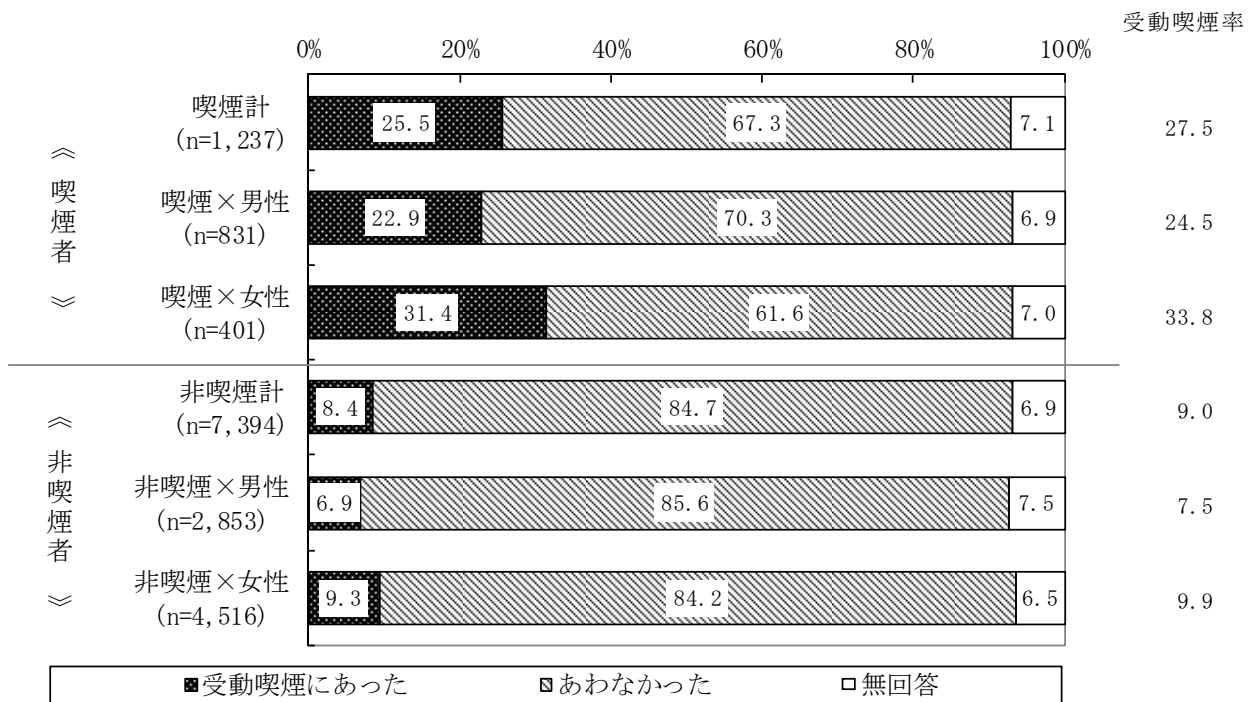
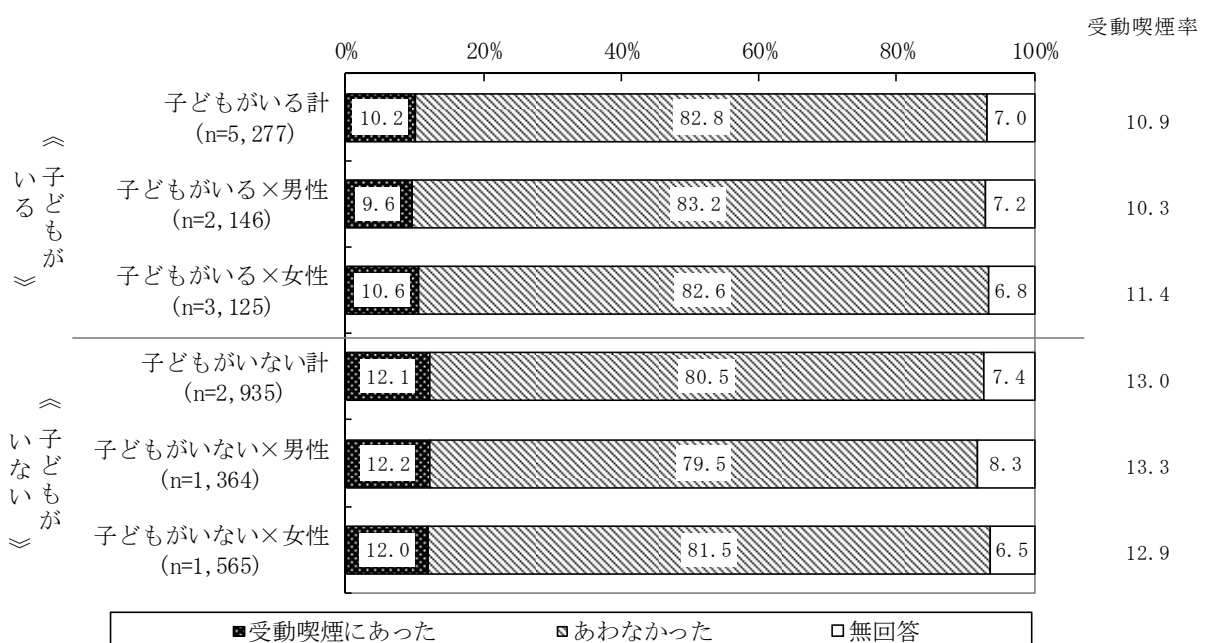


図 2-5-64 自家用車における受動喫煙の状況（子どもの有無別）



3 受動喫煙に対する意識・行動

(1) 受動喫煙にあつて感じたこと

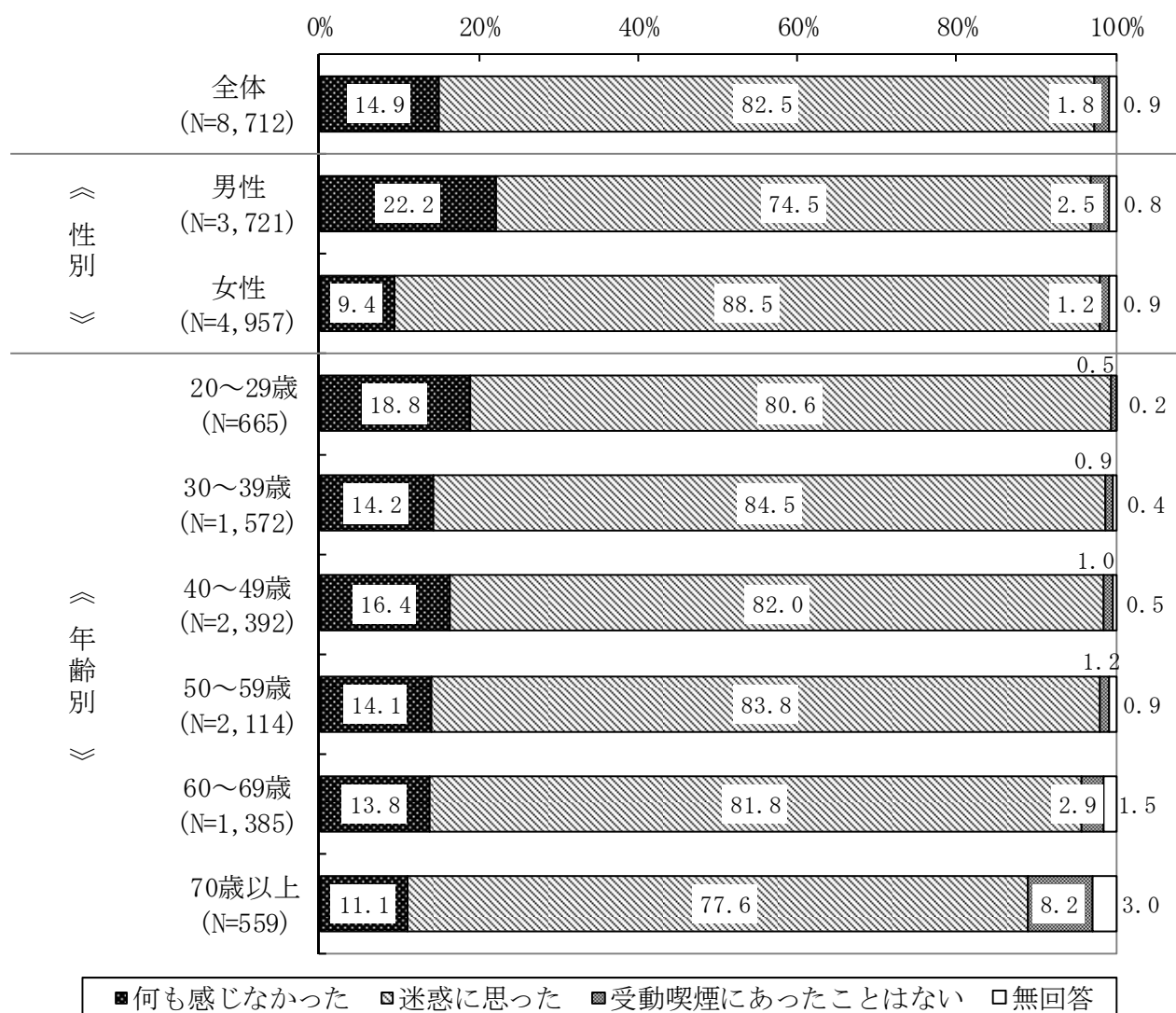
問 12 あなたはこれまで受動喫煙にあつたとき、どのように感じましたか。次の中から1つ選んでください。(○は1つ)

1 何も感じなかった	2 迷惑に思った	3 受動喫煙にあつたことはない
------------	----------	-----------------

受動喫煙にあつたときどのように感じたかについては、「迷惑に思った」が 82.5%と、全体のおよそ 8 割の人が迷惑に感じている。

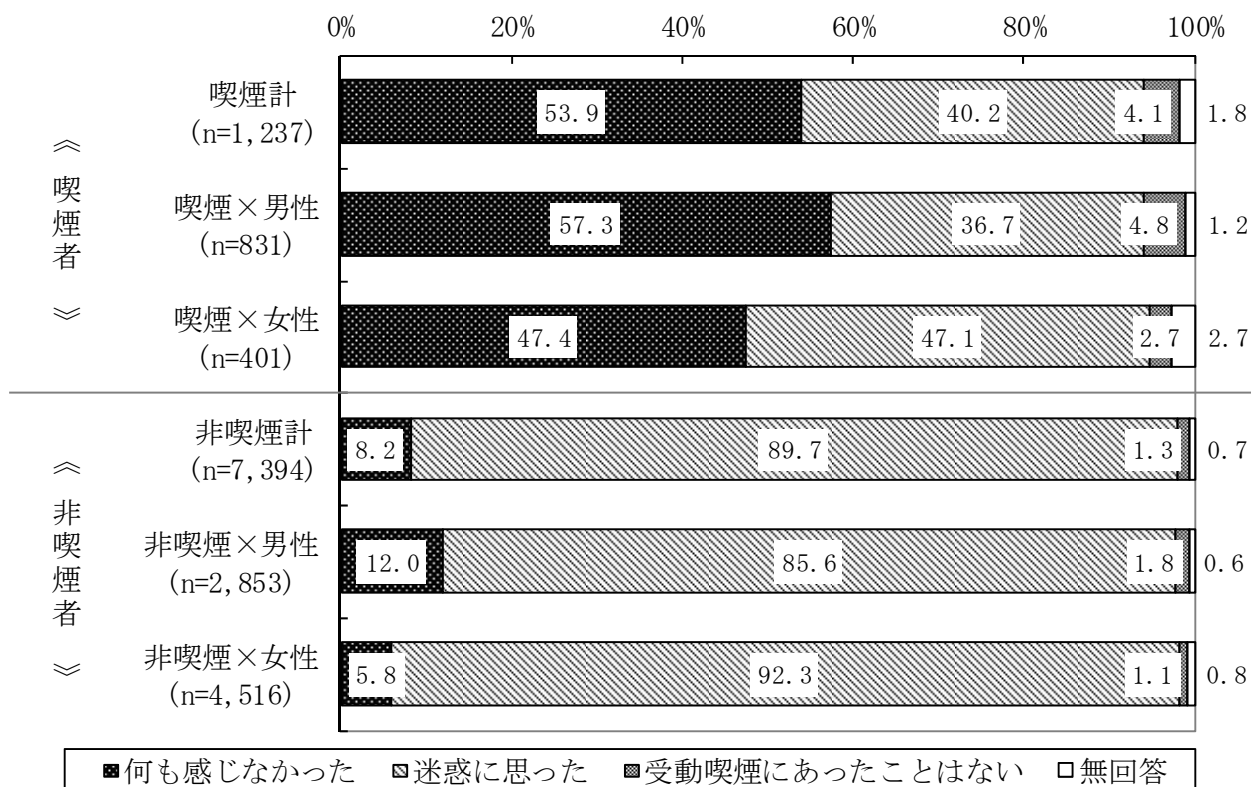
性別でみると、「迷惑に思った」割合は、男性が 74.5%に対し、女性が 88.5%と大きな開きがあり、女性の方が 14.0 ポイント高くなっている。

図 3-1-1 受動喫煙にあつたときの感じ方 (全体・性別・年齢別)



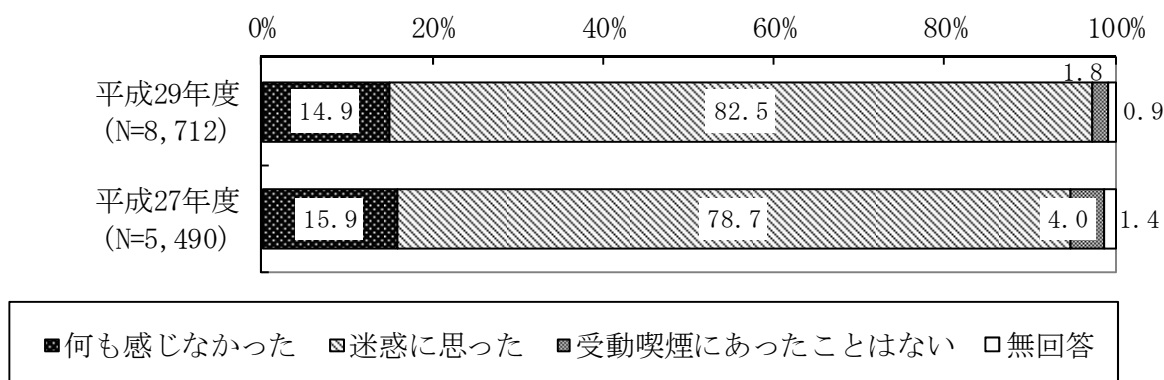
喫煙状況別にみると、「迷惑に思った」割合は、喫煙者でも 40.2%と約 4 割に及んでいるが、非喫煙者では 89.7%と喫煙者の 2 倍以上となっている。ただ、喫煙男性では「何も感じなかった」57.3%が、「迷惑に思った」36.7%を上回っている。

図 3-1-2 受動喫煙にあったときの感じ方（喫煙・非喫煙×性別）



前回と比較すると、「迷惑に思った」が 3.8 ポイント増加している。

図 3-1-3 受動喫煙にあったときの感じ方（経年変化）



(2) 受動喫煙にあった時の行動

問 13 あなたはこれまで受動喫煙にあったとき、どのような行動をとりましたか。次の中から当てはまるものをすべて選んでください。(○は当てはまるものすべて)

- | | |
|----------------------|----------------------|
| 1 喫煙者に喫煙を控えてもらうよう頼んだ | 2 自分が席や場所を移動した |
| 3 自分が我慢した | 4 気にならなかったため、何もしなかった |
| 5 受動喫煙にあったことはない | 6 その他 () |

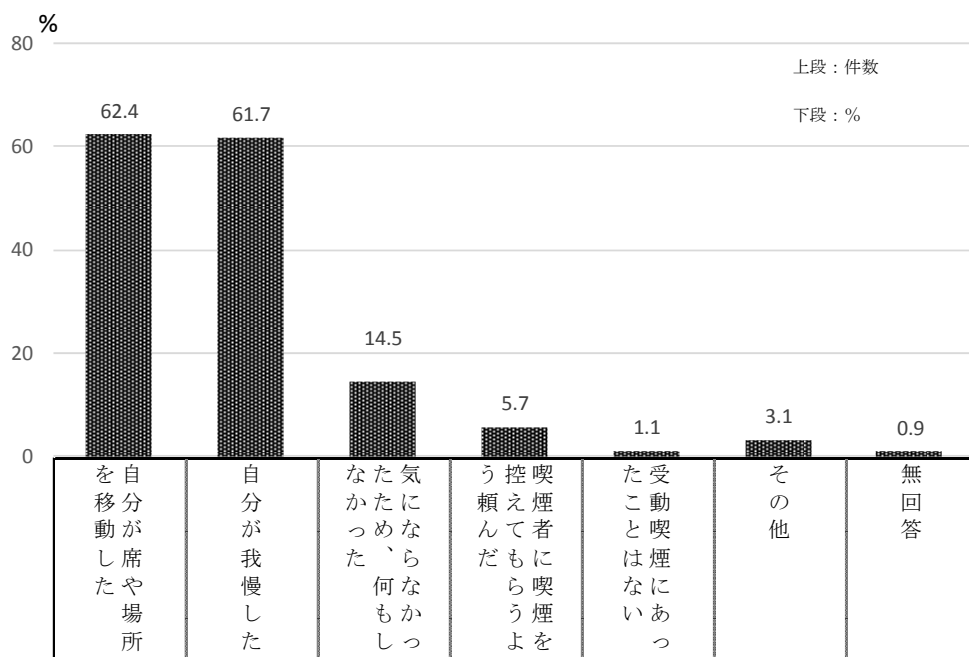
受動喫煙にあったときの行動では、「自分が席や場所を移動した」62.4%、「自分が我慢した」61.7%の2項目が他よりも極めて高くなっている。

性別でみると、「自分が席や場所を移動した」(男性 54.4%、女性 68.5%)は、男性に比べて女性の方が 14.1 ポイント高く、反対に「気にならなかったため、何もしなかった」(男性 22.3%、女性 8.8%)の割合は男性が 13.5 ポイント高くなっている。

年齢別でみると、「自分が我慢した」の割合で差がみられ、20～29 歳が 69.5%と最も高く、70 歳以上が 40.1%と低くなっており、若年層ほど我慢している傾向がうかがえる。

喫煙状況別では、「自分が席や場所を移動した」(喫煙男性 28.4%、非喫煙女性 71.6%)、「自分が我慢した」(喫煙男性 30.9%、非喫煙女性 68.6%)の比率は非喫煙女性で特に高く、喫煙男性とは大きな差がある。一方「気にならなかったため、何もしなかった」は喫煙男性で高く、非喫煙女性で低くなっている。

図 3-2-1 受動喫煙にあったときの行動（全体・性別・年齢別・喫煙／非喫煙×性別）

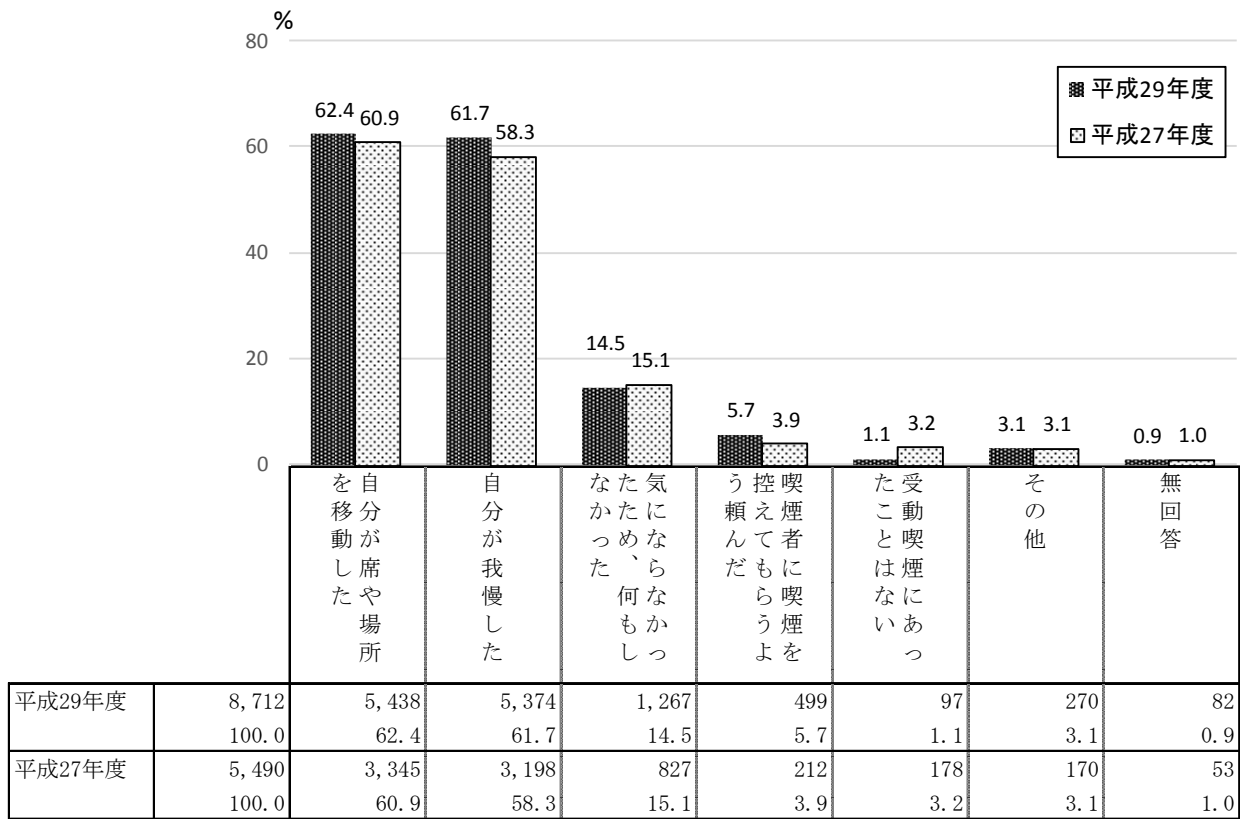


		全体	を自分が席や場所	自分が我慢した	あなたにためなら何かし	う控喫煙者にも喫煙を頼んでもらうよ	た受動喫煙はない	その他	無回答
		8,712 100.0	5,438 62.4	5,374 61.7	1,267 14.5	499 5.7	97 1.1	270 3.1	82 0.9
《性別》	男性	3,721 100.0	2,024 54.4	2,100 56.4	828 22.3	170 4.6	61 1.6	66 1.8	39 1.0
	女性	4,957 100.0	3,398 68.5	3,254 65.6	435 8.8	327 6.6	36 0.7	203 4.1	40 0.8
《年齢別》	20～29歳	665 100.0	394 59.2	462 69.5	111 16.7	43 6.5	2 0.3	20 3.0	2 0.3
	30～39歳	1,572 100.0	1,021 64.9	1,078 68.6	223 14.2	76 4.8	9 0.6	54 3.4	7 0.4
	40～49歳	2,392 100.0	1,524 63.7	1,539 64.3	368 15.4	124 5.2	18 0.8	75 3.1	11 0.5
	50～59歳	2,114 100.0	1,320 62.4	1,336 63.2	290 13.7	140 6.6	16 0.8	61 2.9	21 1.0
	60～69歳	1,385 100.0	846 61.1	720 52.0	193 13.9	83 6.0	26 1.9	42 3.0	19 1.4
	70歳以上	559 100.0	321 57.4	224 40.1	79 14.1	30 5.4	26 4.7	17 3.0	20 3.6
《喫煙・非喫煙×性別》	喫煙者計	1,237 100.0	376 30.4	397 32.1	631 51.0	25 2.0	32 2.6	23 1.9	29 2.3
	喫煙者×男性	831 100.0	236 28.4	257 30.9	454 54.6	12 1.4	25 3.0	12 1.4	15 1.8
	喫煙者×女性	401 100.0	139 34.7	137 34.2	176 43.9	13 3.2	7 1.7	11 2.7	13 3.2
	非喫煙者計	7,394 100.0	5,018 67.9	4,941 66.8	617 8.3	471 6.4	62 0.8	243 3.3	50 0.7
	非喫煙者×男性	2,853 100.0	1,770 62.0	1,826 64.0	364 12.8	158 5.5	34 1.2	53 1.9	23 0.8
	非喫煙者×女性	4,516 100.0	3,233 71.6	3,099 68.6	251 5.6	311 6.9	28 0.6	189 4.2	27 0.6

※ 網かけは他と比較し、高い数値。■は低い数値に網かけしている。

前回と比較すると、「自分が席や場所を移動した」、「自分が我慢した」はともに前回より増加し、「気にならなかったため、何もしなかった」は減少している。

図 3-2-2 受動喫煙にあったときの行動（経年変化）



(3) 受動喫煙防止対策をとってほしい不特定多数が利用する施設

問 14 不特定多数が利用する施設における受動喫煙を防止するために、あなたが禁煙又は完全分煙の対策を取ってほしいと思う施設はどれですか。次の中から当てはまるものをすべて選んでください。(○は当てはまるものすべて)

1 小学校・中学校・高校	2 大学・専門学校等1以外の学校
3 スポーツ施設	4 博物館・美術館
5 公民館等集会所	6 劇場・映画館
7 ゲームセンター・パチンコ店等娯楽施設	8 病院・診療所
9 老人ホーム・保育所等社会福祉施設	10 官公庁施設
11 金融機関	12 百貨店・デパート
13 スーパー・小売店	14 飲食店
15 ホテル・旅館	16 駅・空港
17 バス・タクシー	18 鉄道・船舶
19 職場	20 路上

禁煙・完全分煙の対策を望む施設としては、「ゲームセンター・パチンコ店等娯楽施設」の40.1%を除き、全施設で過半数以上が対策を望んでいる。

特に「病院・診療所」75.4%、「飲食店」73.8%、「路上」72.2%、「小学校・中学校・高校」70.5%では7割以上と、多くの人が望んでいる。

性別で見ると、「飲食店」での差が顕著で、男性が68.1%、女性が78.2%で女性の方が10.1ポイント高くなっている。また、「路上」(男性67.6%、女性75.8%)、「ホテル・旅館」(男性60.8%、女性68.7%)でも差がみられる。

年齢別では、「病院・診療所」で60~69歳が最も高くなっている。その他の施設でも50~69歳の割合が高く、この年代から遠ざかるほど低くなる傾向にある。

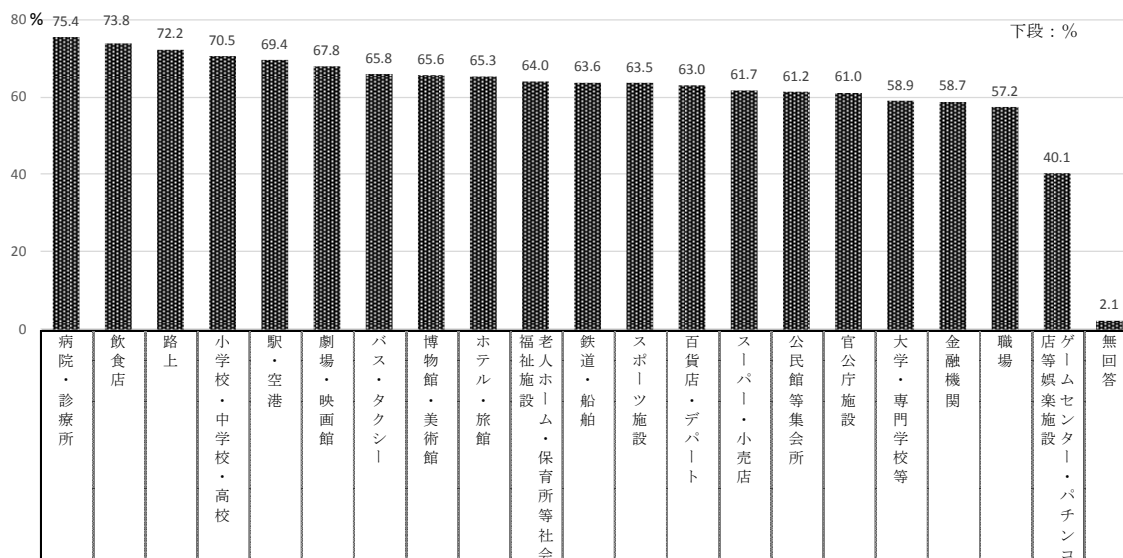
喫煙状況別では、多くの施設において、喫煙者よりも非喫煙者の方が高く、とりわけ喫煙男性で最も低く、非喫煙女性で最も高くなっている。特に「飲食店」で45.0ポイント、「路上」で36.7ポイント、「ホテル・旅館」で33.6ポイントと差が目立つ。

図 3-3-1

受動喫煙の防止対策を望む施設（全体・性別・年齢別・喫煙／非喫煙×性別）

上段：件数

下段：%

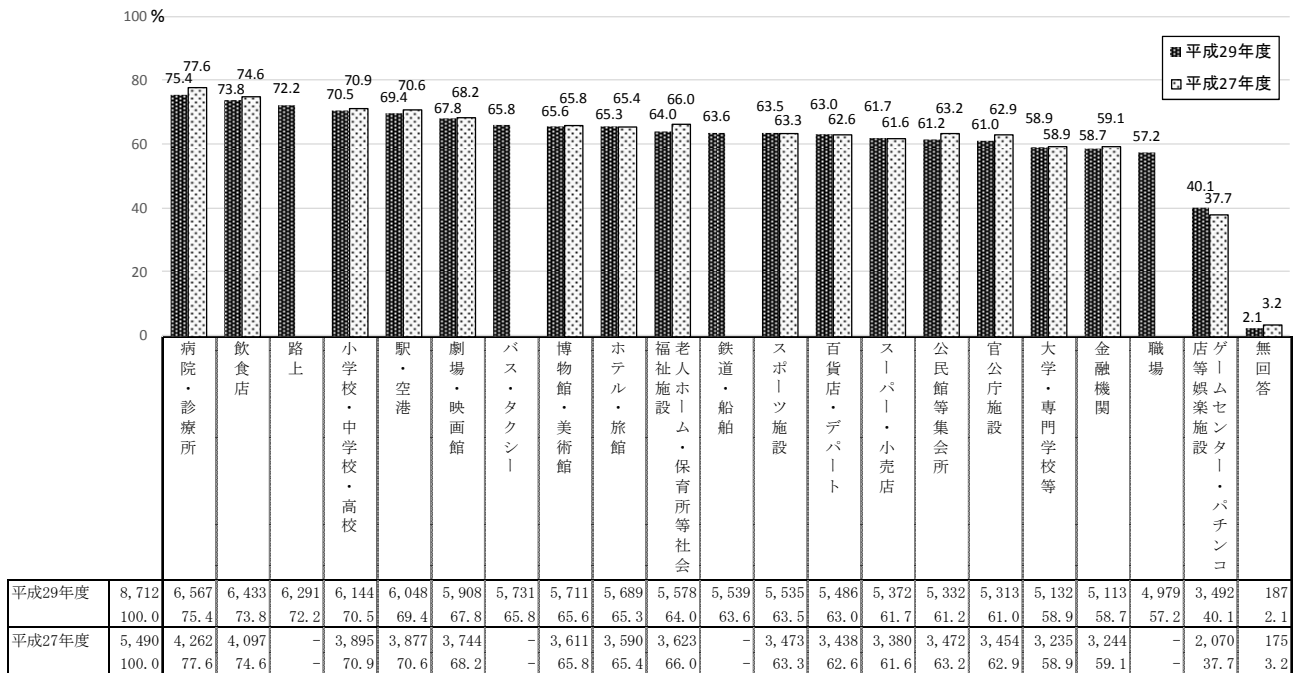


		8,712	6,567	6,433	6,291	6,144	6,048	5,908	5,731	5,711	5,689	5,578	5,539	5,535	5,486	5,372	5,332	5,313	5,132	5,113	4,979	3,492	187
全体		100.0	75.4	73.8	72.2	70.5	69.4	67.8	65.8	65.6	65.3	64.0	63.6	63.5	63.0	61.7	61.2	61.0	58.9	58.7	57.2	40.1	2.1
《性別》	男性	3,721	2,740	2,533	2,515	2,570	2,457	2,394	2,337	2,388	2,263	2,295	2,290	2,310	2,223	2,174	2,173	2,226	2,151	2,115	2,012	1,474	121
	100.0	73.6	68.1	67.6	69.1	66.0	64.3	62.8	64.2	60.8	61.7	61.5	62.1	59.7	58.4	58.4	59.8	57.8	56.8	54.1	39.6	3.3	
《性別》	女性	4,957	3,801	3,874	3,755	3,554	3,568	3,489	3,370	3,301	3,404	3,262	3,229	3,203	3,243	3,179	3,139	3,066	2,962	2,977	2,945	2,002	63
	100.0	76.7	78.2	75.8	71.7	72.0	70.4	68.0	66.6	68.7	65.8	65.1	64.6	65.4	64.1	63.3	61.9	59.8	60.1	59.4	59.4	40.4	1.3
《年齢別》	20～29歳	665	423	464	461	404	421	371	349	344	375	337	327	338	334	308	293	299	310	290	322	242	12
	100.0	63.6	69.8	69.3	60.8	63.3	55.8	52.5	51.7	56.4	50.7	49.2	50.8	50.2	46.3	44.1	45.0	46.6	43.6	48.4	36.4	1.8	
	30～39歳	1,572	1,133	1,166	1,152	1,087	1,047	1,005	945	945	1,035	921	923	933	931	920	868	840	877	817	874	639	22
	100.0	72.1	74.2	73.3	69.1	66.6	63.9	60.1	60.1	65.8	58.6	58.7	59.4	59.2	58.5	55.2	53.4	55.8	52.0	55.6	40.6	1.4	
	40～49歳	2,392	1,752	1,775	1,751	1,685	1,647	1,576	1,522	1,513	1,547	1,465	1,496	1,473	1,466	1,441	1,395	1,421	1,402	1,357	1,396	968	51
	100.0	73.2	74.2	73.2	70.4	68.9	65.9	63.6	63.3	64.7	61.2	62.5	61.6	61.3	60.2	58.3	59.4	58.6	56.7	58.4	40.5	2.1	
50～59歳	2,114	1,667	1,595	1,554	1,549	1,542	1,525	1,519	1,507	1,466	1,461	1,479	1,468	1,445	1,423	1,408	1,422	1,357	1,394	1,327	864	55	
100.0	78.9	75.4	73.5	73.3	72.9	72.1	71.9	71.3	69.3	69.1	70.0	69.4	68.4	67.3	66.6	67.3	64.2	65.9	62.8	40.9	2.6		
60～69歳	1,385	1,141	1,021	967	1,037	1,012	1,047	1,016	1,021	932	1,011	960	962	957	933	977	970	877	919	802	551	27	
100.0	82.4	73.7	69.8	74.9	73.1	75.6	73.4	73.7	67.3	73.0	69.3	69.5	69.1	67.4	67.4	70.5	70.0	63.3	66.4	57.9	39.8	1.9	
70歳以上	559	433	393	390	368	362	367	364	365	318	368	339	345	337	332	377	346	295	321	242	215	18	
100.0	77.5	70.3	69.8	65.8	64.8	65.7	65.1	65.3	56.9	65.8	60.6	61.7	60.3	59.4	67.4	67.4	61.9	52.8	57.4	43.3	38.5	3.2	
《喫煙・非喫煙×性別》	喫煙者計	1,237	851	467	558	818	595	633	605	652	465	681	558	600	547	509	551	568	582	516	378	311	99
	100.0	68.8	37.8	45.1	66.1	48.1	51.2	48.9	52.7	37.6	55.1	45.1	48.5	44.2	41.1	44.5	45.9	47.0	41.7	30.6	25.1	8.0	
	喫煙×男性	831	578	304	341	552	392	433	409	442	316	450	374	401	373	350	377	388	403	353	247	199	79
	100.0	69.6	36.6	41.0	66.4	47.2	52.1	49.2	53.2	38.0	54.2	45.0	48.3	44.9	42.1	45.4	46.7	48.5	42.5	29.7	23.9	9.5	
	喫煙×女性	401	269	161	214	262	200	196	192	206	147	227	181	196	172	156	170	176	176	159	128	110	19
	100.0	67.1	40.1	53.4	65.3	49.9	48.9	47.9	51.4	36.7	56.6	45.1	48.9	42.9	38.9	42.4	43.9	43.9	39.7	31.9	27.4	4.7	
非喫煙者計	7,394	5,669	5,917	5,678	5,278	5,411	5,231	5,084	5,019	5,184	4,855	4,943	4,895	4,899	4,823	4,744	4,711	4,514	4,559	4,566	3,150	81	
100.0	76.7	80.0	76.8	71.4	73.2	70.7	68.8	67.9	70.1	65.7	66.9	66.2	66.3	65.2	64.2	63.7	61.0	61.7	61.8	61.8	42.6	1.1	
非喫煙×男性	2,853	2,143	2,209	2,152	2,001	2,048	1,941	1,911	1,929	1,931	1,828	1,901	1,894	1,834	1,807	1,782	1,825	1,735	1,746	1,751	1,261	39	
100.0	75.1	77.4	75.4	70.1	71.8	68.0	67.0	67.6	67.7	64.1	66.6	66.4	64.3	63.3	62.5	64.0	60.8	61.2	61.4	44.2	1.4		
非喫煙×女性	4,516	3,506	3,686	3,509	3,262	3,344	3,270	3,154	3,073	3,234	3,012	3,026	2,983	3,048	3,001	2,947	2,870	2,764	2,797	2,797	1,876	42	
100.0	77.6	81.6	77.7	72.2	74.0	72.4	69.8	68.0	71.6	66.7	67.0	66.1	67.5	66.5	65.3	63.6	61.2	61.9	61.9	41.5	0.9		

※ 網かけは他と比較し、高い数値。■は低い数値に網かけている。

前回と比較すると、ほとんどの項目で前年度より割合が低くなっているが、大きな差はみられなかった。

図 3-3-2 受動喫煙の防止対策を望む施設（経年変化）



※「路上」「バス・タクシー」「鉄道・船舶」「職場」は本年度のみの項目

(4-1) 不特定多数が利用する施設における最適な対策

問 15-1 あなたは『不特定多数の人が利用する施設における対策』において、最も適切だと考えるものはどれですか。次の中から1つ選んでください。(以下の図を参考に○は1つ)

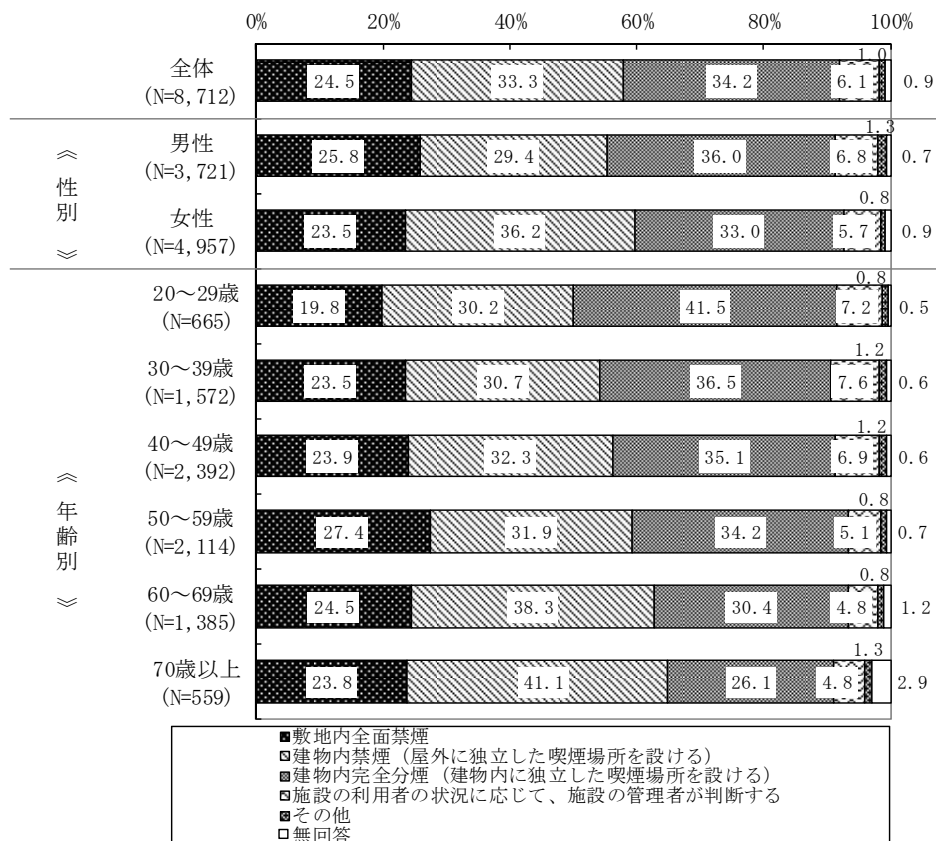
- | | |
|---|---|
| 1 | 敷地内全面禁煙 |
| 2 | 建物内禁煙（屋外に独立した喫煙場所を設ける） |
| 3 | 建物内完全分煙（建物内に独立した喫煙場所を設ける） |
| 4 | 施設の利用者の状況に応じて、施設の管理者が判断する |
| 5 | その他（ ） |

不特定多数が利用する施設の対策で最も適切だと考えるものについては、「建物内完全分煙（建物内に独立した喫煙場所を設ける）」が 34.2%、「建物内禁煙（屋外に独立した喫煙場所を設ける）」が 33.3%で、これに「敷地内全面禁煙」24.5%が続いている。

性別でみると、男性では「建物内完全分煙（建物内に独立した喫煙場所を設ける）」36.0%、女性では「建物内禁煙（屋外に独立した喫煙場所を設ける）」36.2%がそれぞれ最も高くなっている。

年齢別でみると、「建物内完全分煙（建物内に独立した喫煙場所を設ける）」は20歳代が4割強となり、年齢が上がるにつれて割合が低くなっている。

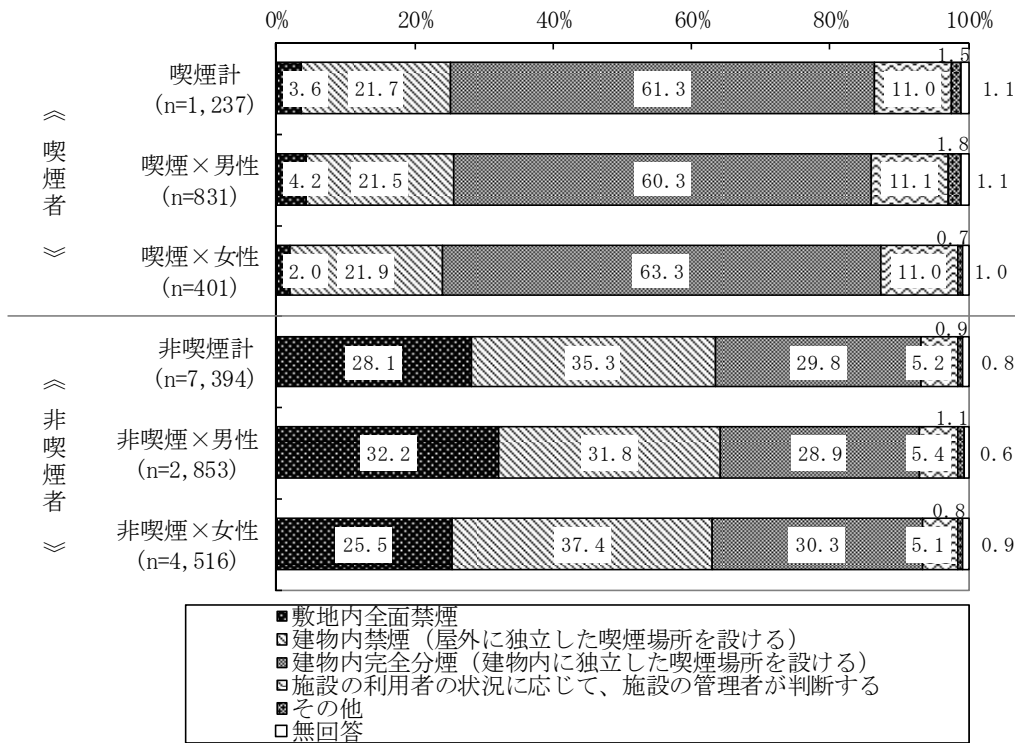
図 3-4-1 不特定多数が利用する施設への対策（全体・性別・年齢別）



喫煙状況別にみると、喫煙者のうち「建物内禁煙（屋外に独立した喫煙場所を設ける）」の 21.7% 及び「建物内完全分煙（建物内に独立した喫煙場所を設ける）」の 61.3%が「喫煙場所を設ける分煙」を支持しており、割合の合計が 83.0%と高い。

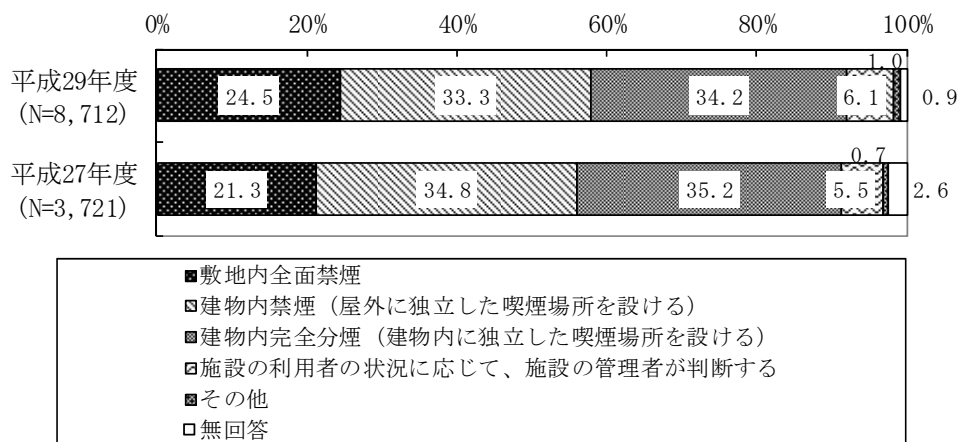
一方、非喫煙者は「敷地内全面禁煙」の割合が、喫煙者より 14.5 ポイント高くなっている。

図 3-4-2 不特定多数が利用する施設への対策（喫煙／非喫煙×性別）



前回と比較すると、「敷地内全面禁煙」が 3.2 ポイント増加している。

図 3-4-3 不特定多数が利用する施設への対策（経年変化）



(4-2) 飲食店における最適な対策

問 15-2 あなたは『飲食店における対策』において、最も適切だと考えるものはどれですか。次の中から1つ選んでください。(問 15-1 の図を参考に○は1つ)

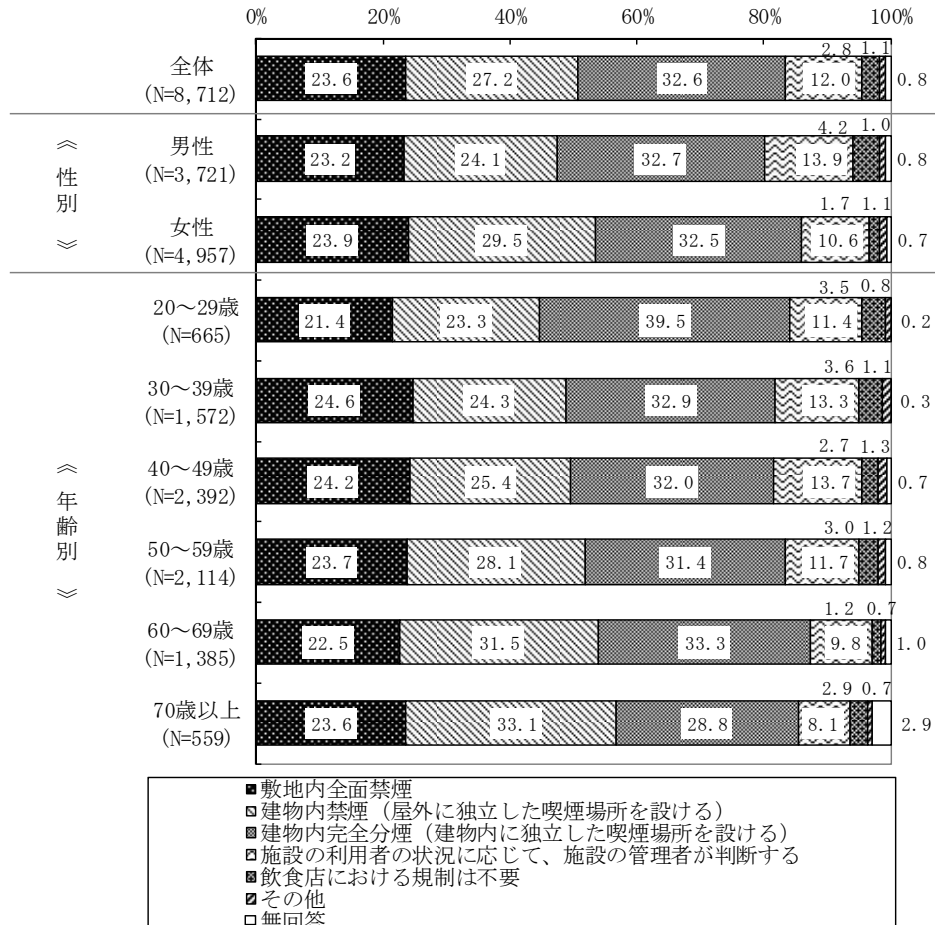
- 1 敷地内全面禁煙
- 2 建物内禁煙（屋外に独立した喫煙場所を設ける）
- 3 建物内完全分煙（建物内に独立した喫煙場所を設ける）
- 4 施設の利用者の状況に応じて、施設の管理者が判断する
- 5 飲食店における規制は不要
- 6 その他（ ）

飲食店の対策で最も適切だと考えるものについては、「建物内完全分煙（建物内に独立した喫煙場所を設ける）」が32.6%、「建物内禁煙（屋外に独立した喫煙場所を設ける）」が27.2%で、これに「敷地内全面禁煙」23.6%が続いている。

性別でみると、「建物内完全分煙（建物内に独立した喫煙場所を設ける）」が男性32.7%、女性32.5%でそれぞれ最も高くなっている。

年齢別でみると、「建物内禁煙（屋外に独立した喫煙場所を設ける）」は70歳以上が33.1%で最も高く、年齢が若くなるにつれて割合は低くなっている。

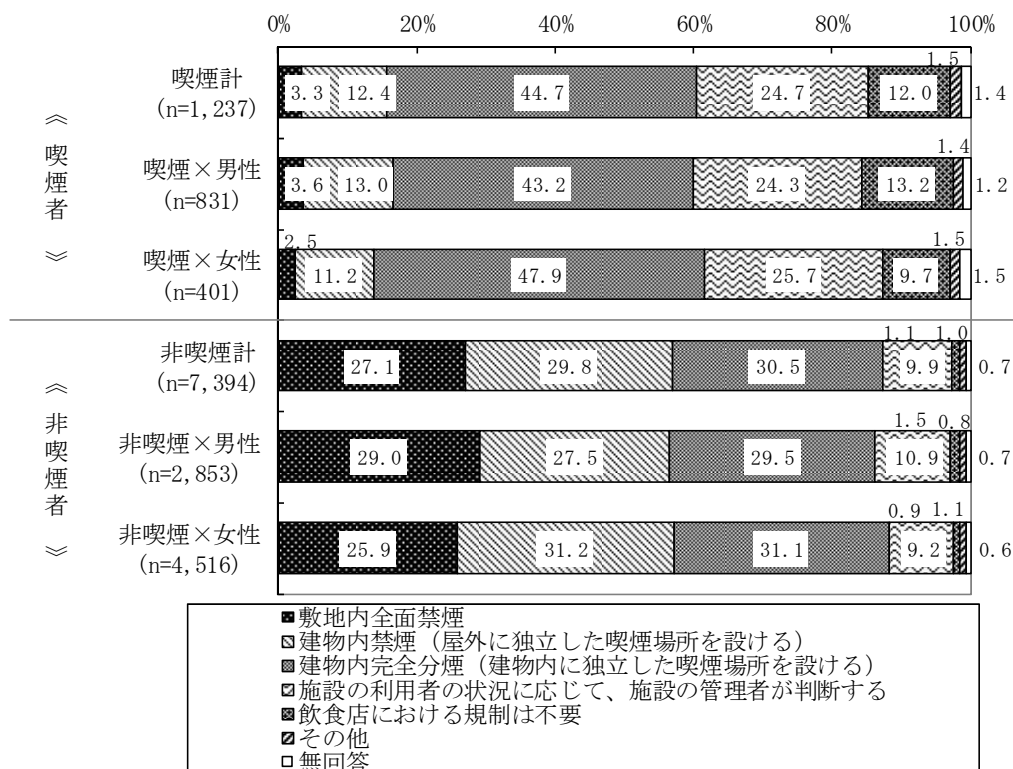
図 3-5-1 飲食店における対策（全体・性別・年齢別）



喫煙状況別にみると、喫煙者のうち「建物内完全分煙（建物内に独立した喫煙場所を設ける）」が44.7%と最も高く、「施設の利用者の状況に応じて、施設の管理者が判断する」が24.7%で続いている。

一方、非喫煙者では、「敷地内全面禁煙」が27.1%となっており、喫煙者の3.3%を23.8ポイント上回っている。

図 3-5-2 飲食店における対策（喫煙／非喫煙×性別）



(4-3) ホテル・旅館における最適な対策

問 15-3 あなたは『ホテル・旅館における対策』において、最も適切だと考えるものはどれですか。次の中から1つ選んでください。(以下の図を参考に○は1つ)

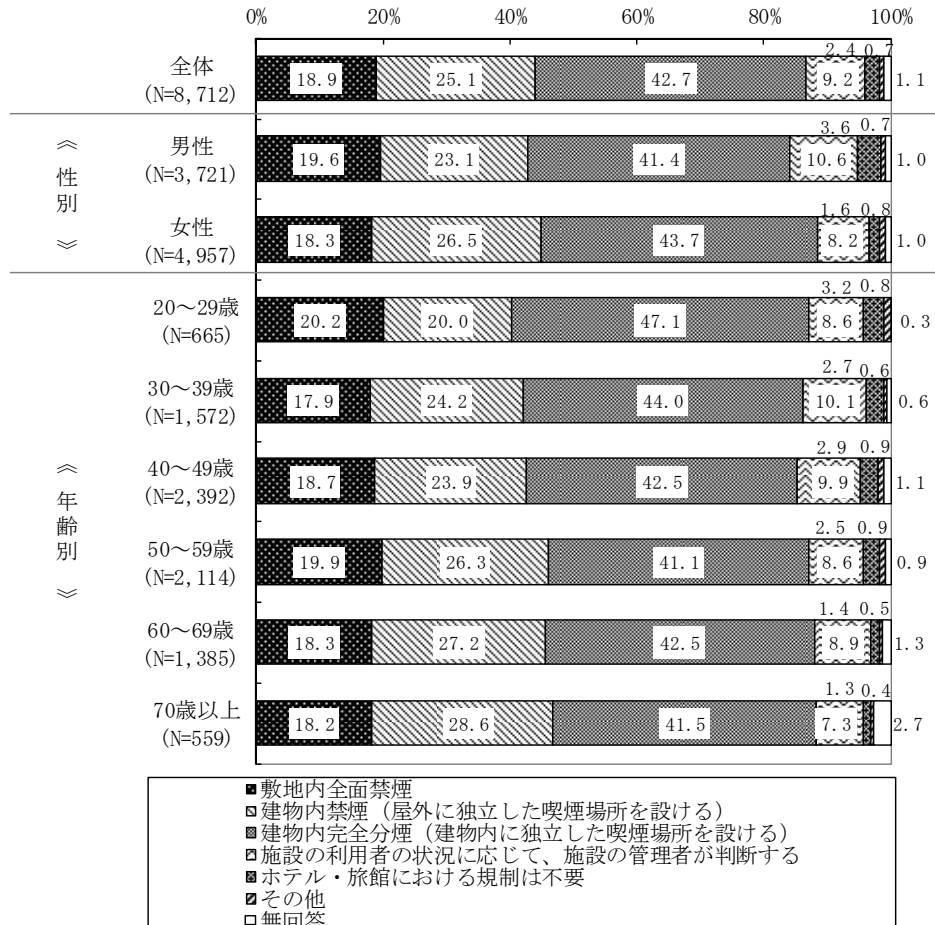
- 1 敷地内全面禁煙
- 2 建物内禁煙（屋外に独立した喫煙場所を設ける）
- 3 建物内完全分煙（建物内に独立した喫煙場所を設ける）
- 4 施設の利用者の状況に応じて、施設の管理者が判断する
- 5 ホテル・旅館における規制は不要
- 6 その他（ ）

ホテル・旅館の対策で最も適切だと考えるものについては、「建物内完全分煙（建物内に独立した喫煙場所を設ける）」が42.7%、「建物内禁煙（屋外に独立した喫煙場所を設ける）」が25.1%で、これに「敷地内全面禁煙」18.9%が続いている。

性別でみると、「建物内完全分煙（建物内に独立した喫煙場所を設ける）」が男性41.4%、女性43.7%でそれぞれ最も高くなっている。

年齢別では、特に大きな差はみられなかった。

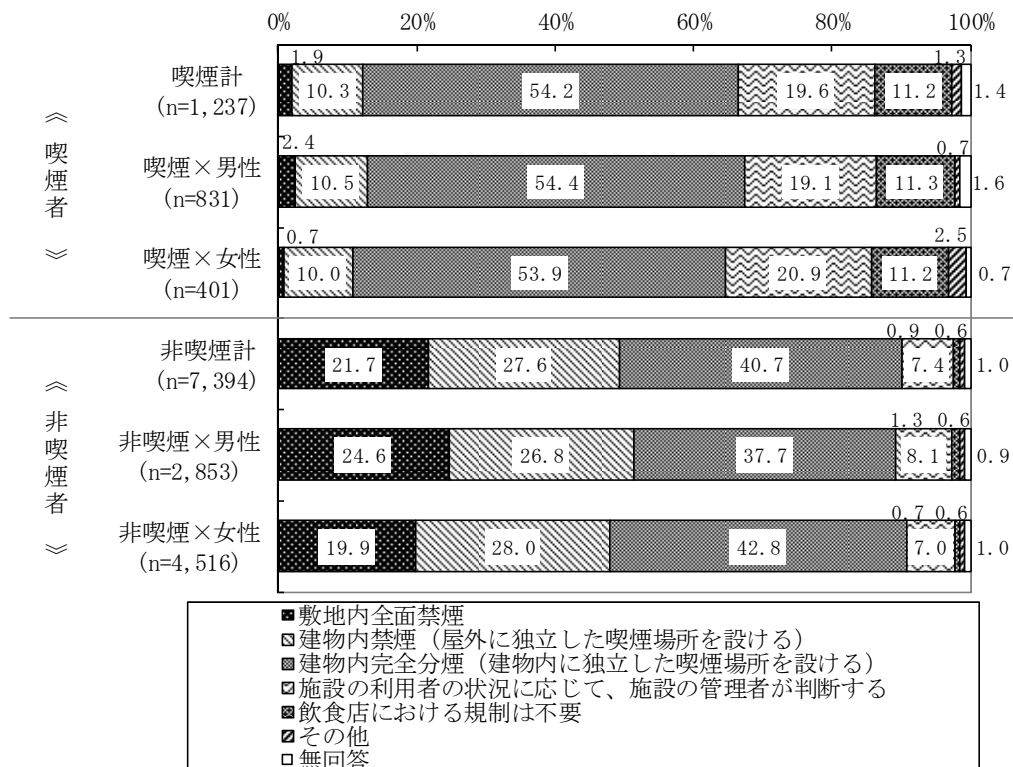
図 3-6-1 ホテル・旅館における対策（全体・性別・年齢別）



喫煙状況別にみると、喫煙者のうち「建物内完全分煙（建物内に独立した喫煙場所を設ける）」が54.2%と最も高く、「施設の利用者の状況に応じて、施設の管理者が判断する」が19.6%で続いている。

一方、非喫煙者では、「敷地内全面禁煙」が21.7%となっており、喫煙者の1.9%を19.8ポイント上回っている。

図 3-6-2 ホテル・旅館における対策（喫煙／非喫煙×性別）



(4-4) ゲームセンター・パチンコ店等娯楽施設における最適な対策

問 15-4 あなたは『ゲームセンター・パチンコ店等娯楽施設における対策』において、最も適切だと考えるものはどれですか。次の中から1つ選んでください。(問 15-1の図を参考に○は1つ)

- | |
|---|
| 1 敷地内全面禁煙 |
| 2 建物内禁煙（屋外に独立した喫煙場所を設ける） |
| 3 建物内完全分煙（建物内に独立した喫煙場所を設ける） |
| 4 施設の利用者の状況に応じて、施設の管理者が判断する |
| 5 ゲームセンター・パチンコ店等娯楽施設における規制は不要 |
| 6 その他（ ） |

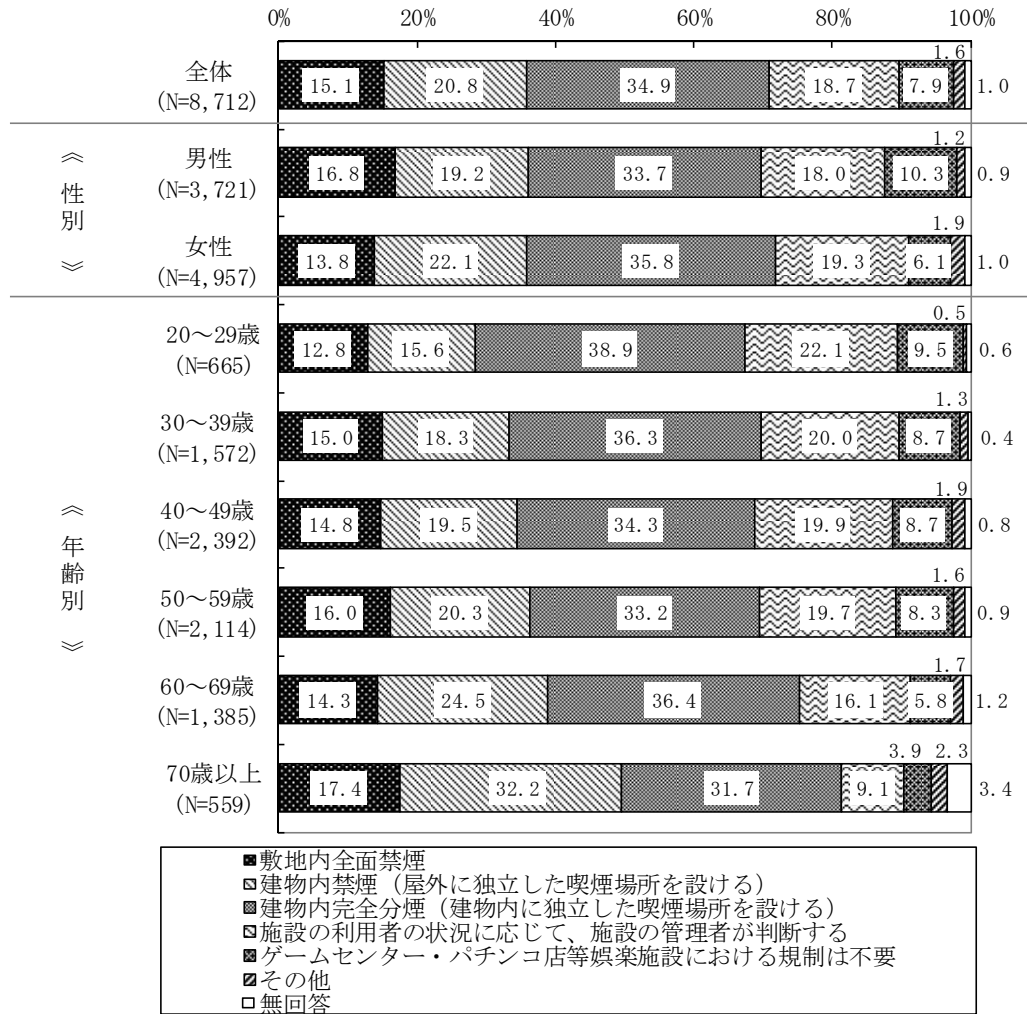
ゲームセンター・パチンコ店等娯楽施設の対策で最も適切だと考えるものについては、「建物内完全分煙（建物内に独立した喫煙場所を設ける）」が 34.9%、「建物内禁煙（屋外に独立した喫煙場所を設ける）」が 20.8%で、これに「施設の利用者の状況に応じて、施設の管理者が判断する」18.7%が続いている。

性別でみると、「建物内完全分煙（建物内に独立した喫煙場所を設ける）」が男性 33.7%、女性 35.8%でそれぞれ最も高くなっている。

年齢別でみると、「建物内禁煙（屋外に独立した喫煙場所を設ける）」は 70 歳以上が 32.2%で最も高く、年齢が若くなるにつれて割合は低くなっている。

図 3-7-1

ゲームセンター・パチンコ店等娯楽施設における対策（全体・性別・年齢別）

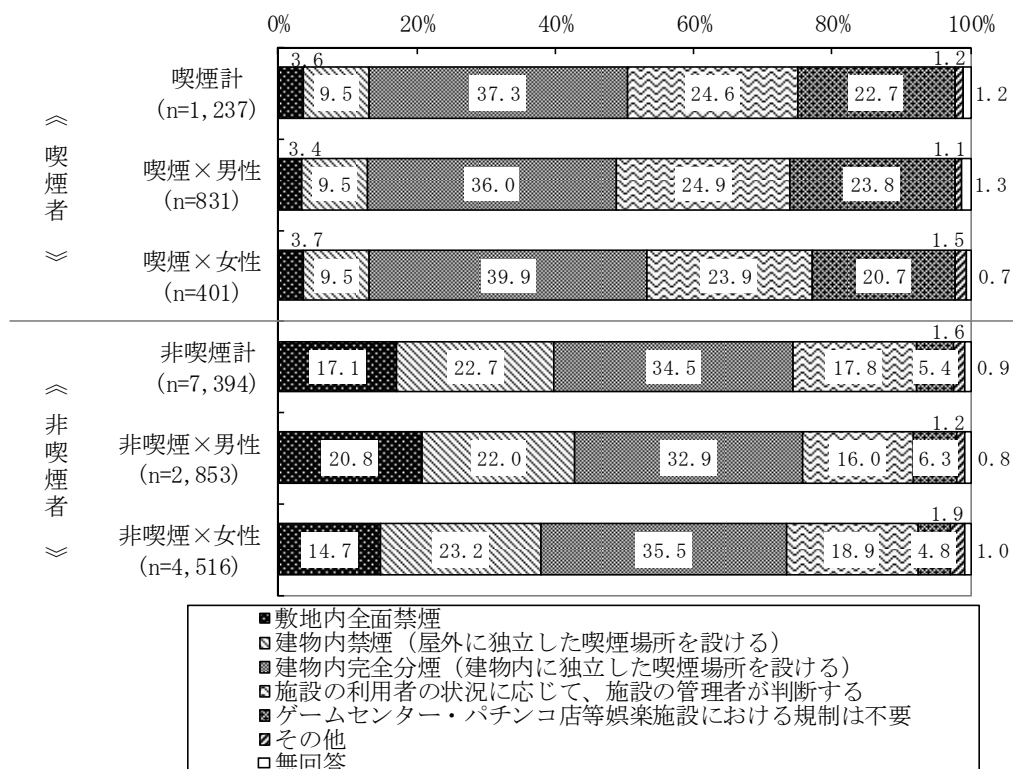


喫煙状況別にみると、「建物内完全分煙（建物内に独立した喫煙場所を設ける）」が37.3%と最も高く、「施設の利用者の状況に応じて、施設の管理者が判断する」が24.6%で続いている。また、「ゲームセンター・パチンコ店等娯楽施設における規制は不要」が22.7%となっている。

一方、非喫煙者では、「敷地内全面禁煙」が17.1%、「ゲームセンター・パチンコ店等娯楽施設における規制は不要」が5.4%となっており、喫煙者の意見と大きな差がみられる。

図 3-7-2

ゲームセンター・パチンコ店等娯楽施設における対策（喫煙／非喫煙×性別）



(5) 飲食店等の入口での禁煙・分煙表示を参考にするか

問 16 あなたは、飲食店等の入口に禁煙・分煙等の表示があれば、利用する際、入るかどうかの参考にしますか。次の中から1つ選んでください。(○は1つ)

1 参考にする	2 参考にしない
---------	----------

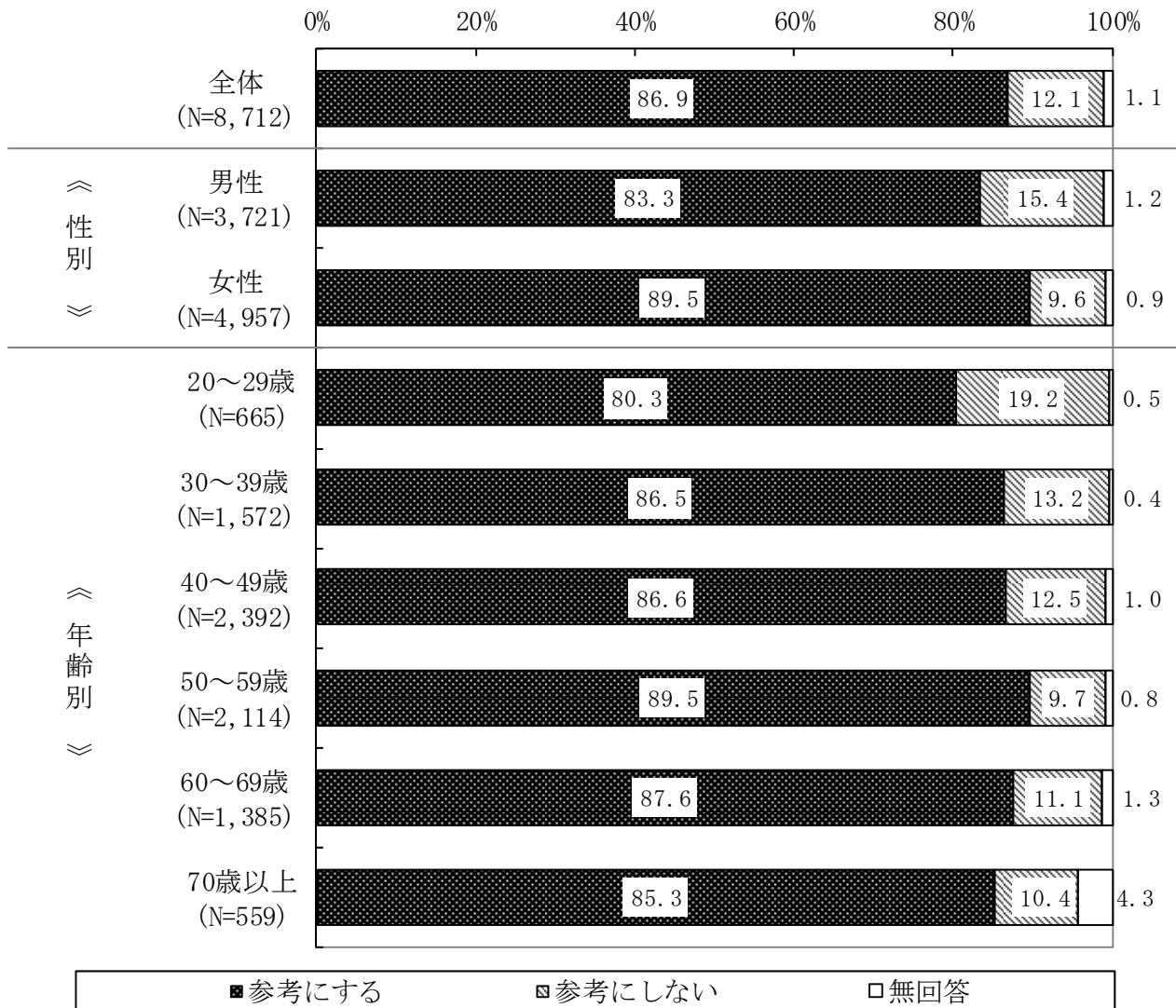
飲食店等に入店する際、入口の禁煙・分煙の表示を参考にするかの有無については、「参考にする」が86.9%と8割を超える人が参考にするとしている。

性別でみると、「参考にする」の割合は男性が83.3%であるのに対し、女性が89.5%と、女性の方が6.2ポイント高くなっている。

年齢別では、「参考にする」割合は20～29歳の80.3%が最も低く、年齢が高くなるにつれて高くなり、50～59歳の89.5%をピークに分布し、それ以降は低くなっている。

図 3-8-1

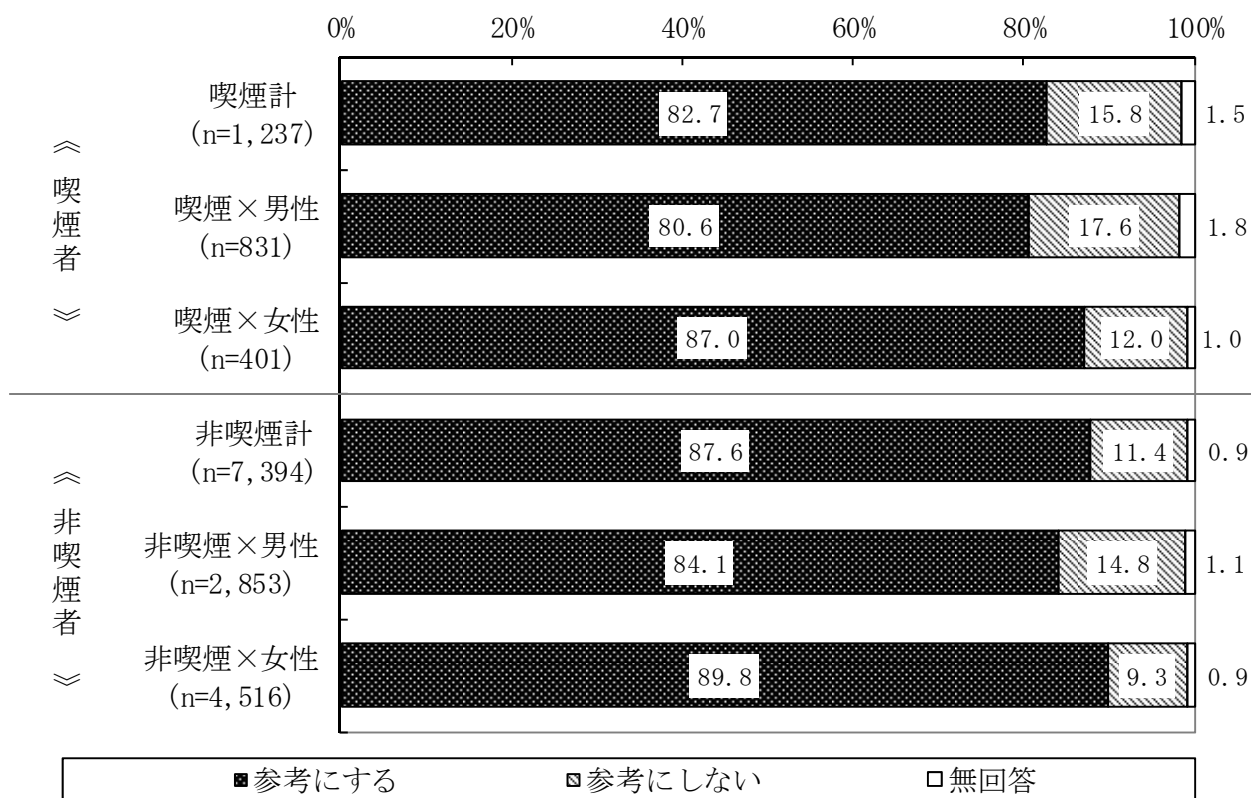
飲食店等の入口の禁煙・分煙表示を参考にするか (全体・性別・年齢別)



喫煙状況別にみると、「参考にする」は喫煙者より非喫煙者の方が4.9ポイント高くなっているが、大きな差はみられない。

図 3-8-2

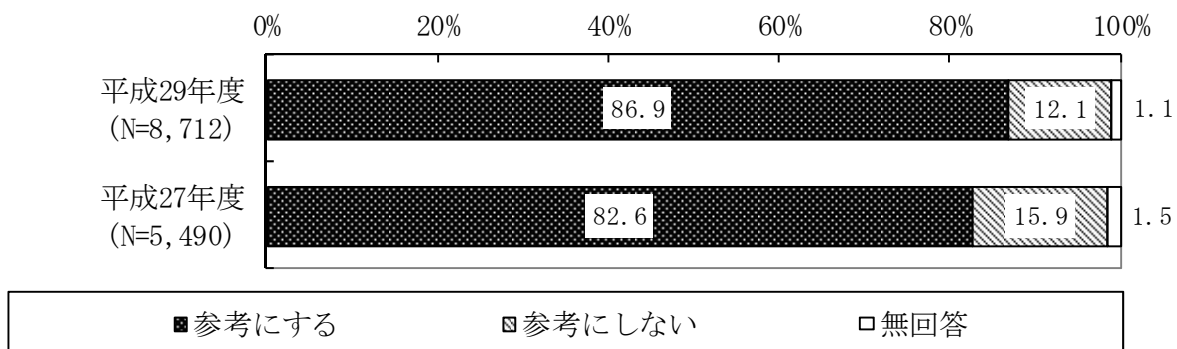
飲食店等の入口の禁煙・分煙表示を参考にするか（喫煙／非喫煙×性別）



前回と比較すると、「参考にする」は4.3ポイント増加している。

図 3-8-3

飲食店等の入口の禁煙・分煙表示を参考にするか（経年変化）



(6) 店頭表示用ステッカー

問17 あなたは、東京都で作成している店頭表示用ステッカーを知っていますか。次の中から1つ選んでください。(○は1つ)

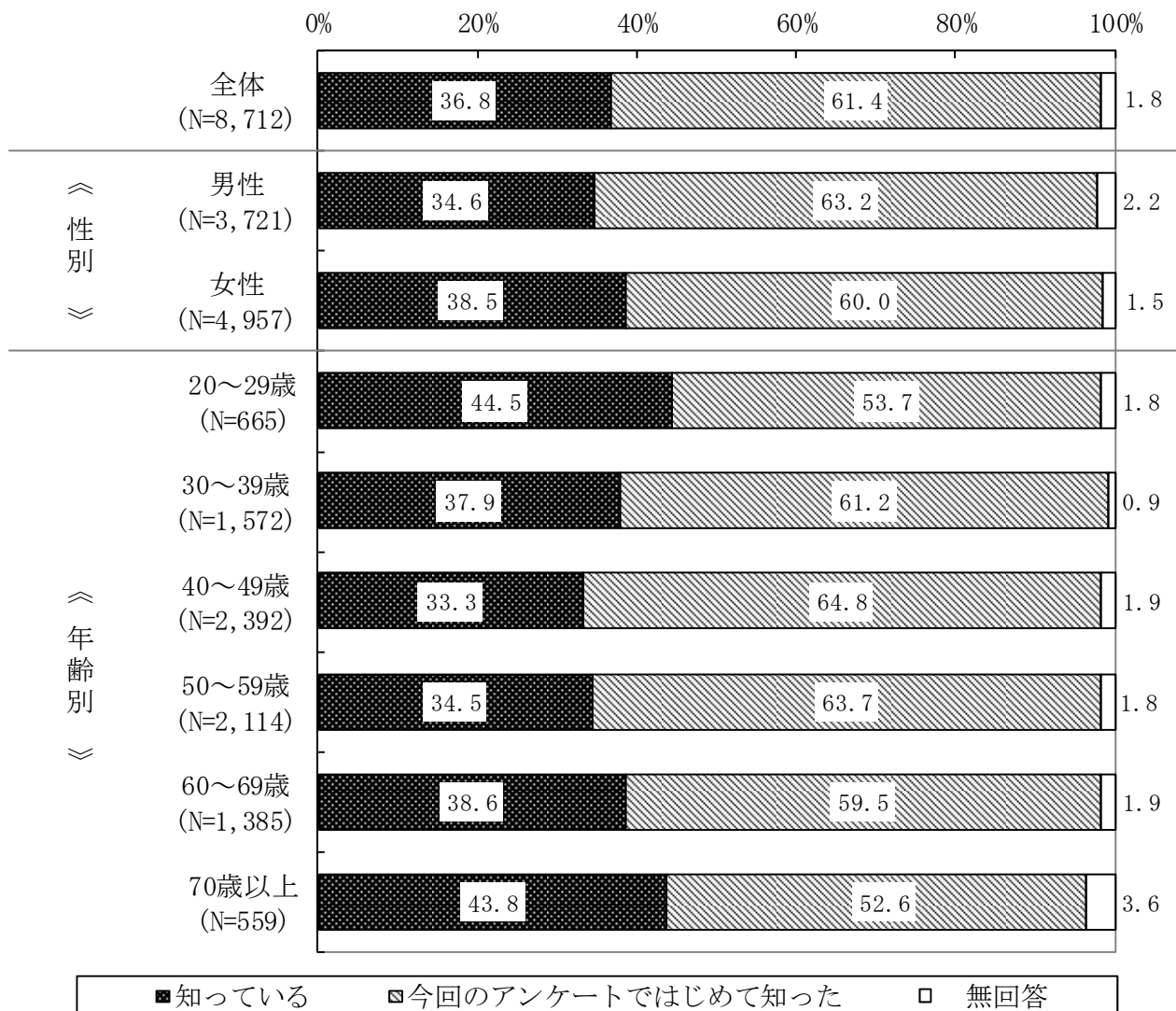
- | | |
|---------|--------------------|
| 1 知っている | 2 今回のアンケートではじめて知った |
|---------|--------------------|

東京都で作成している店頭表示用ステッカーの認知度については、「知っている」が36.8%、「今回のアンケートではじめて知った」が61.4%となっている。

性別では大きな差はみられなかった。

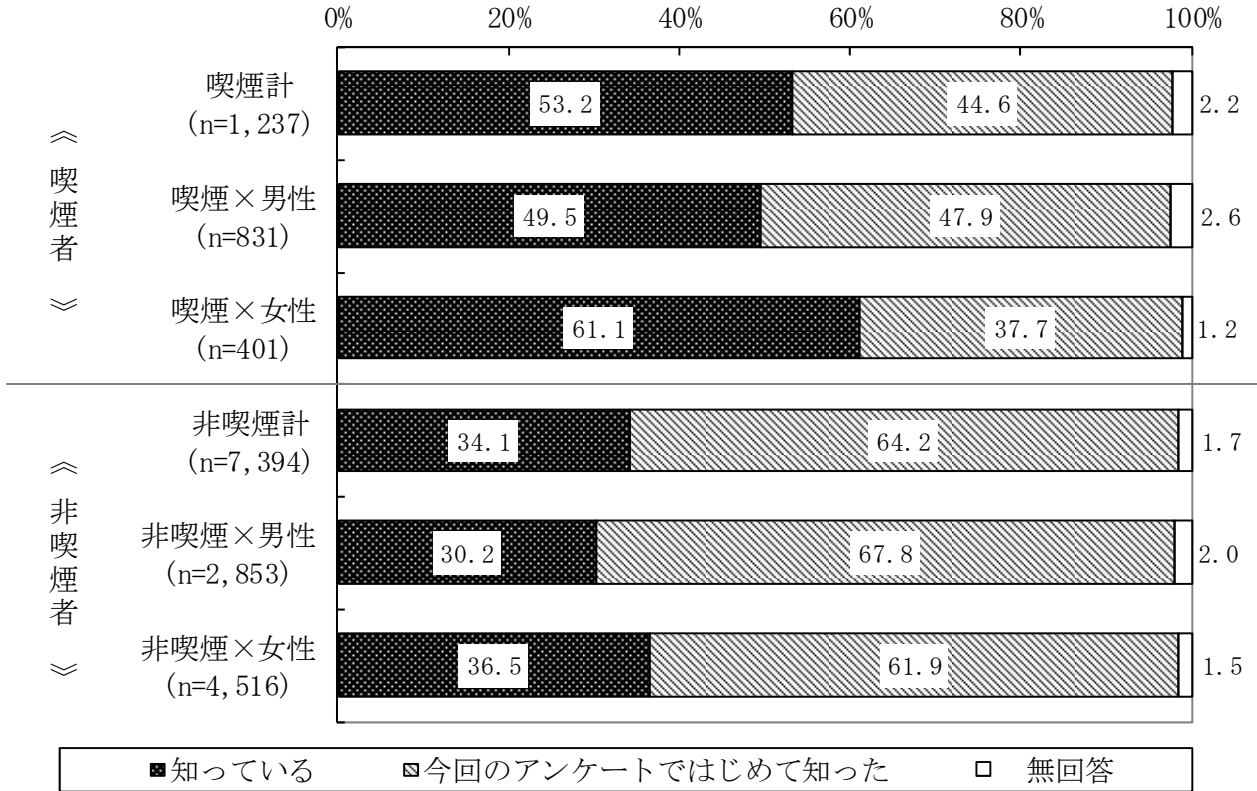
年齢別で見ると、「知っている」は40～49歳で33.3%と最も低くなっており、最も高い20～29歳の44.5%と比較すると11.2ポイントの開きがある。

図3-9-1 店頭表示用ステッカーの認知度（全体・性別・年齢別）



喫煙状況別にみると、「知っている」は非喫煙者の34.1%より喫煙者の53.2%が19.1ポイント高く、なかでも喫煙女性は61.1%と特に高くなっている。

図 3-9-2 店頭表示用ステッカーの認知度（全体・性別・年齢別）



4 今後の受動喫煙防止対策について

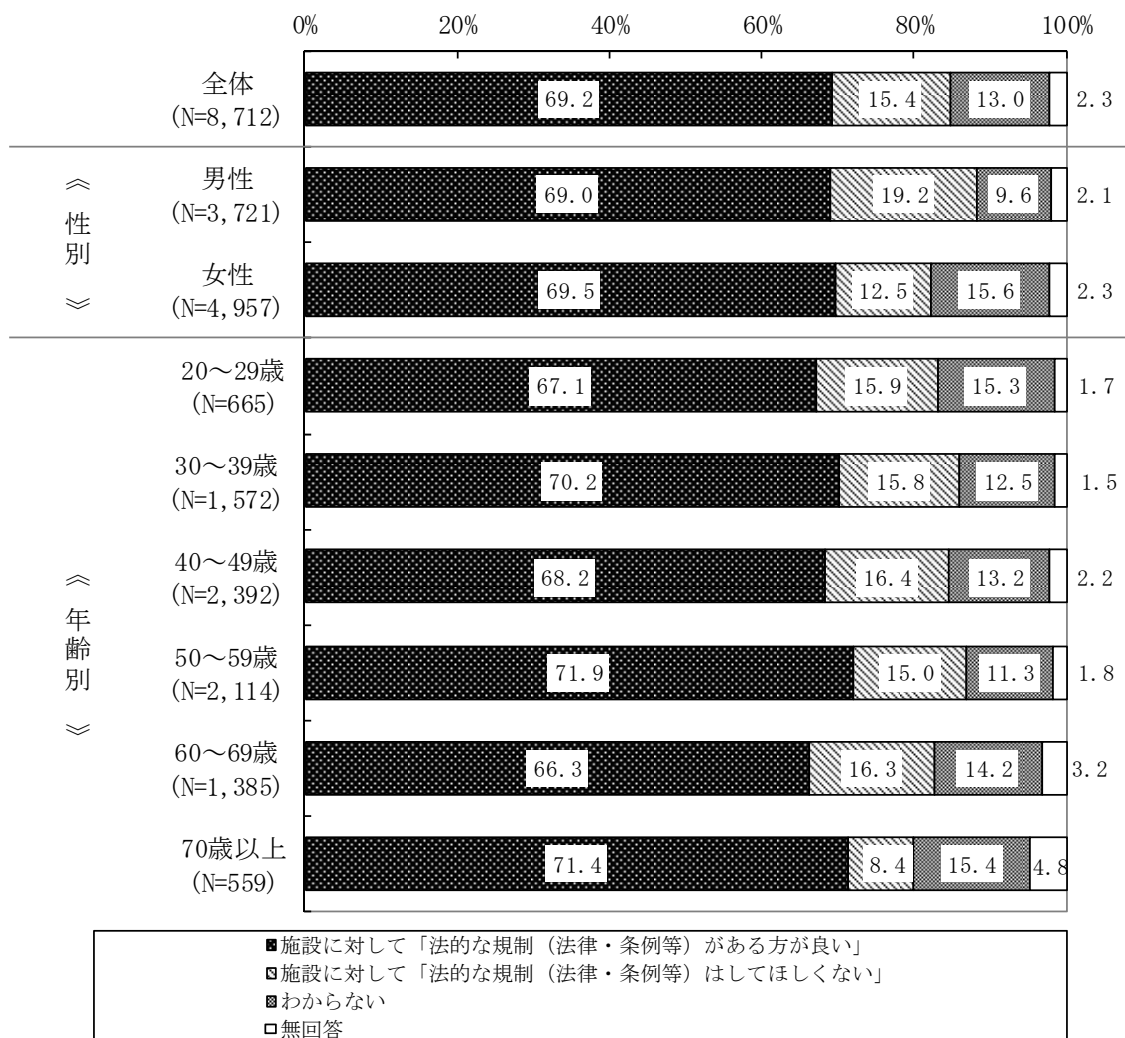
(1) 受動喫煙防止対策における法的な規制の賛否

問 18 受動喫煙防止対策を進めていく上で、法的な規制（法律・条例等）について、どのようにお考えですか。次の中から1つ選んでください。（○は1つ）

- 1 施設に対して「法的な規制（法律・条例等）がある方が良い」⇒問 18-1、18-2 へ
- 2 施設に対して「法的な規制（法律・条例等）はしてほしくない」⇒問 18-3 へ
- 3 わからない ⇒問 19 へ

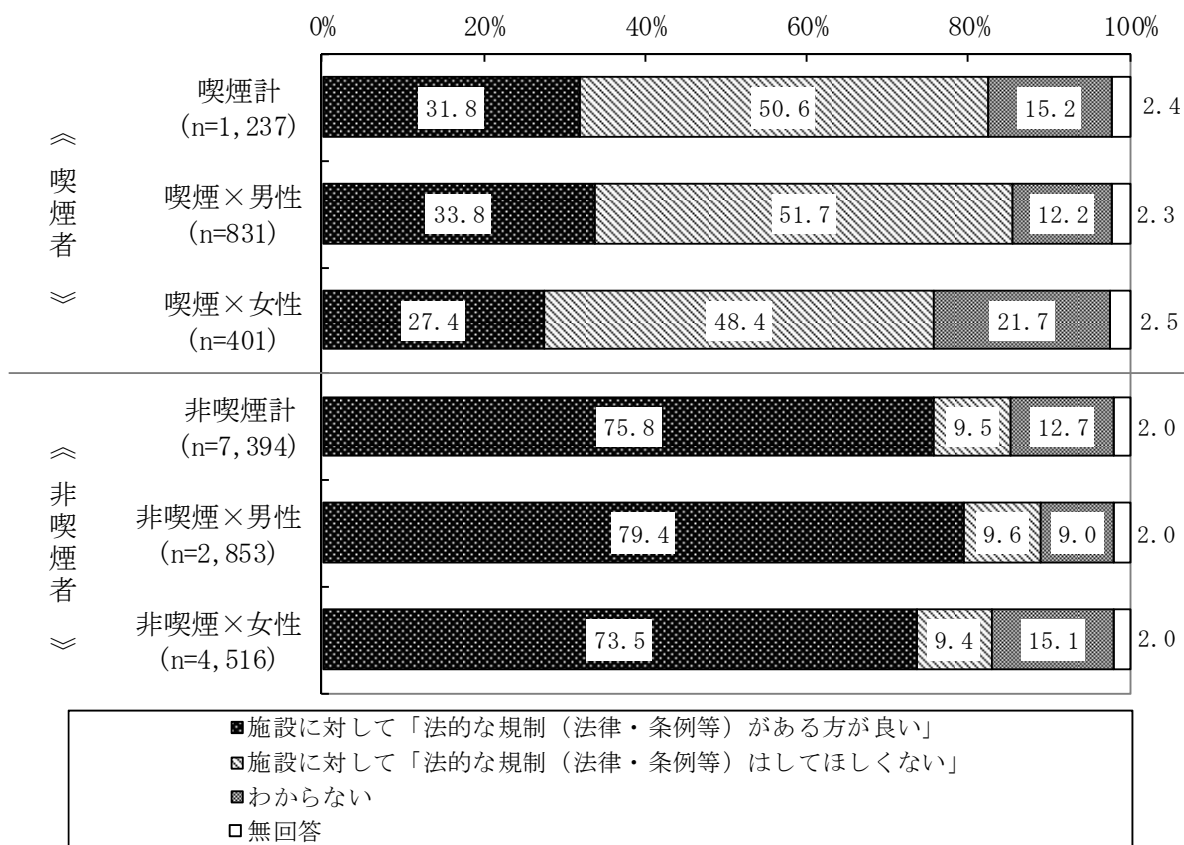
法的な規制については、「施設に対して法的な規制（法律・条例等）がある方が良い」が 69.2%で、「施設に対して法的な規制（法律・条例等）はしてほしくない」15.4%の4倍以上となっている。性別や年齢別では大きな差はみられなかった。

図 4-1-1 法的な規制の賛否（全体・性別・年齢別）



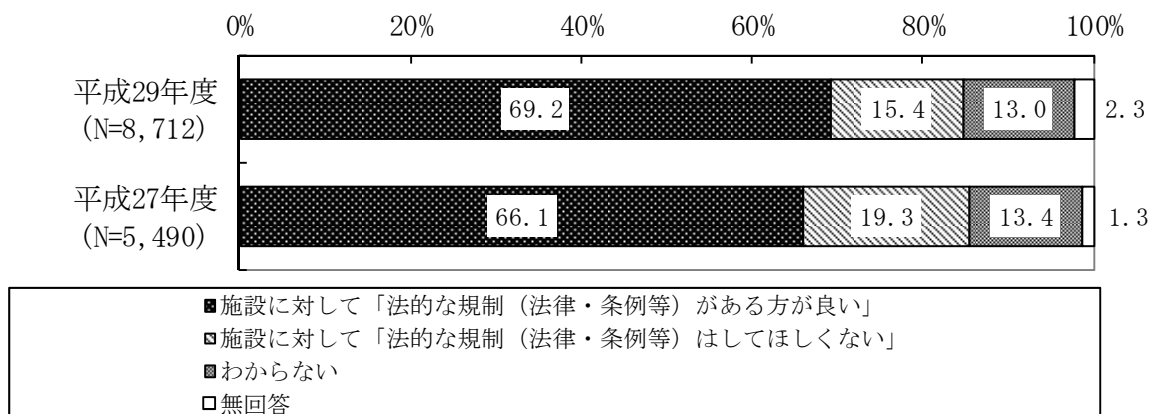
喫煙状況別にみると、「施設に対して法的な規制がある方が良い」は、非喫煙者の75.8%が極めて高く、喫煙者の31.8%の2倍以上となっている。一方、「施設に対して法的な規制はしてほしくない」は、喫煙者で50.6%と半数を上回っており、特に喫煙男性で55.5%と高く、喫煙女性でも48.4%と規制賛成派の27.4%を大きく上回っている。

図 4-1-2 法的な規制の賛否（喫煙／非喫煙×性別）



前回と比較すると、「施設に対して『法的な規制（法律・条例等）がある方が良い』」が3.1ポイント増加し、「施設に対して『法的な規制（法律・条例等）はしてほしくない』」は3.9ポイント減少している。

図 4-1-3 法的な規制の賛否（経年変化）



(2) 法的な規制がある方が良い理由

(問 18 で「法的な規制（法律・条例等）がある方が良い」と回答した方)

問 18-1 最も近いと思う理由はどれですか。次の中から 1つ選んでください。(○は1つ)

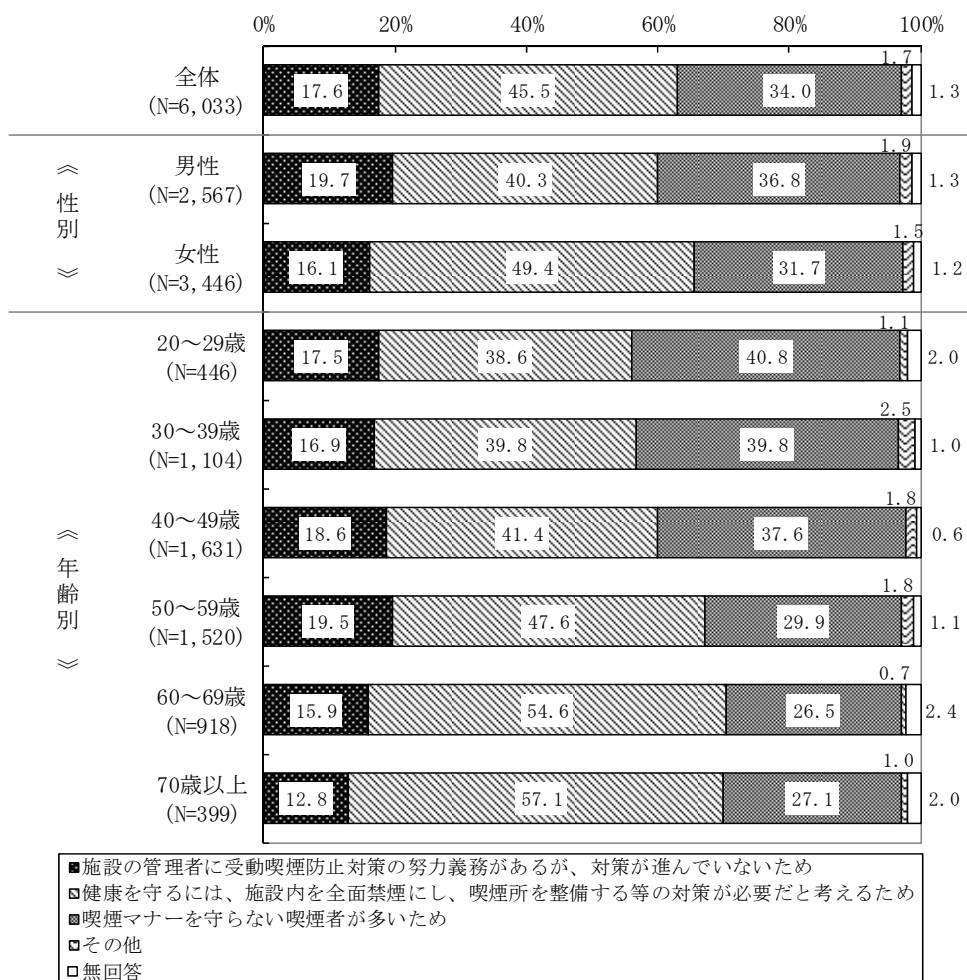
- | | |
|---|---|
| 1 | 施設の管理者に受動喫煙防止対策の努力義務があるが、対策が進んでいないため |
| 2 | 健康を守るには、施設内を全面禁煙にし、喫煙所を整備する等の対策が必要だと考えるため |
| 3 | 喫煙マナーを守らない喫煙者が多いため |
| 4 | その他 () |

法的な規制がある方が良いとした理由は、「健康を守るには、施設内を全面禁煙にし、喫煙所を整備する等の対策が必要だと考えるため」が 45.5%で最も高く、半数を占めている。次いで、「喫煙マナーを守らない喫煙者が多いため」が 34.0%となっている。

性別でみると、「健康を守るには、施設内を全面禁煙にし、喫煙所を整備する等の対策が必要だと考えるため」は男性より女性が 9.1 ポイント多くなっている。

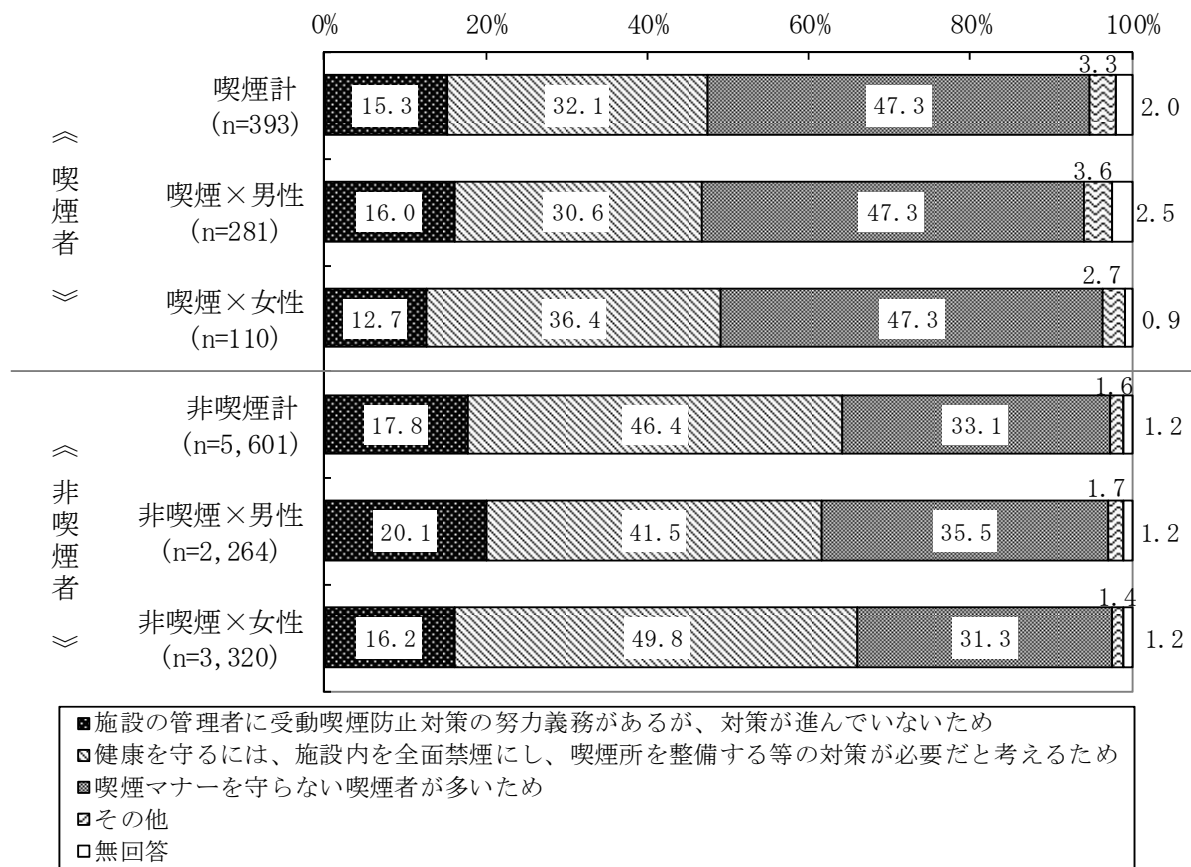
年齢別でみると、「健康を守るには、施設内を全面禁煙にし、喫煙所を整備する等の対策が必要だと考えるため」は、年齢が上がるにつれて高くなっており、最も低い 20～29 歳と最も高い 70 歳以上では、18.5 ポイントの開きがある。

図 4-2-1 法的な規制がある方が良い理由（全体・性別・年齢別）



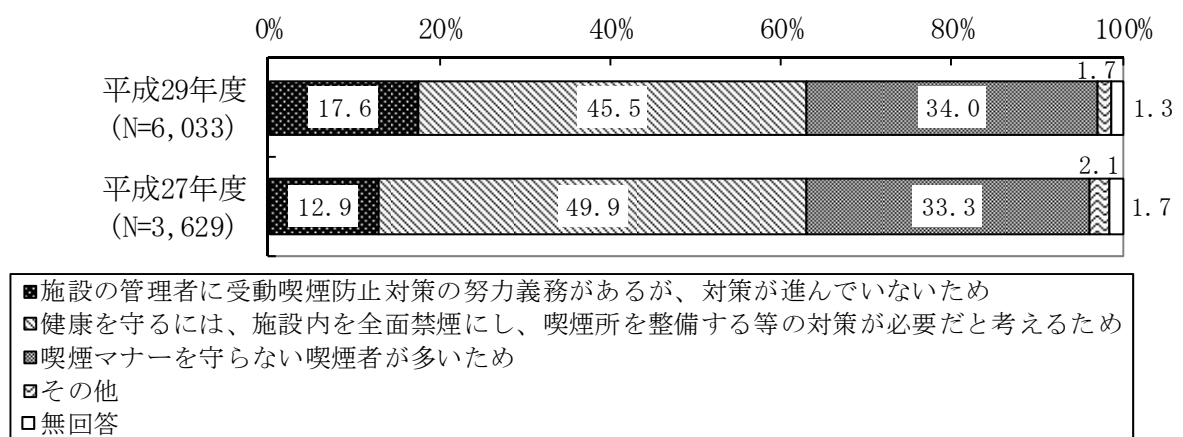
喫煙状況別にみると、女性に顕著な差がみられ、「健康を守るには、施設内を全面禁煙にし、喫煙所を整備する等の対策が必要だと考えるため」は、非喫煙女性の49.8%が、喫煙女性の36.4%を大きく上回っている。

図 4-2-2 法的な規制がある方が良い理由（喫煙／非喫煙×性別）



前回と比較すると、「健康を守るには、施設内を全面禁煙にし、喫煙所を整備する等の対策が必要だと考えるため」が4.4ポイント減少している。

図 4-2-3 法的な規制がある方が良い理由（経年変化）



(3) 望ましい規制内容

(問18で「法的な規制(法律・条例等)がある方が良い」と回答した方)
 問18-2 どのような規制が良いと考えますか。次の中から1つ選んでください。(〇は1つ)

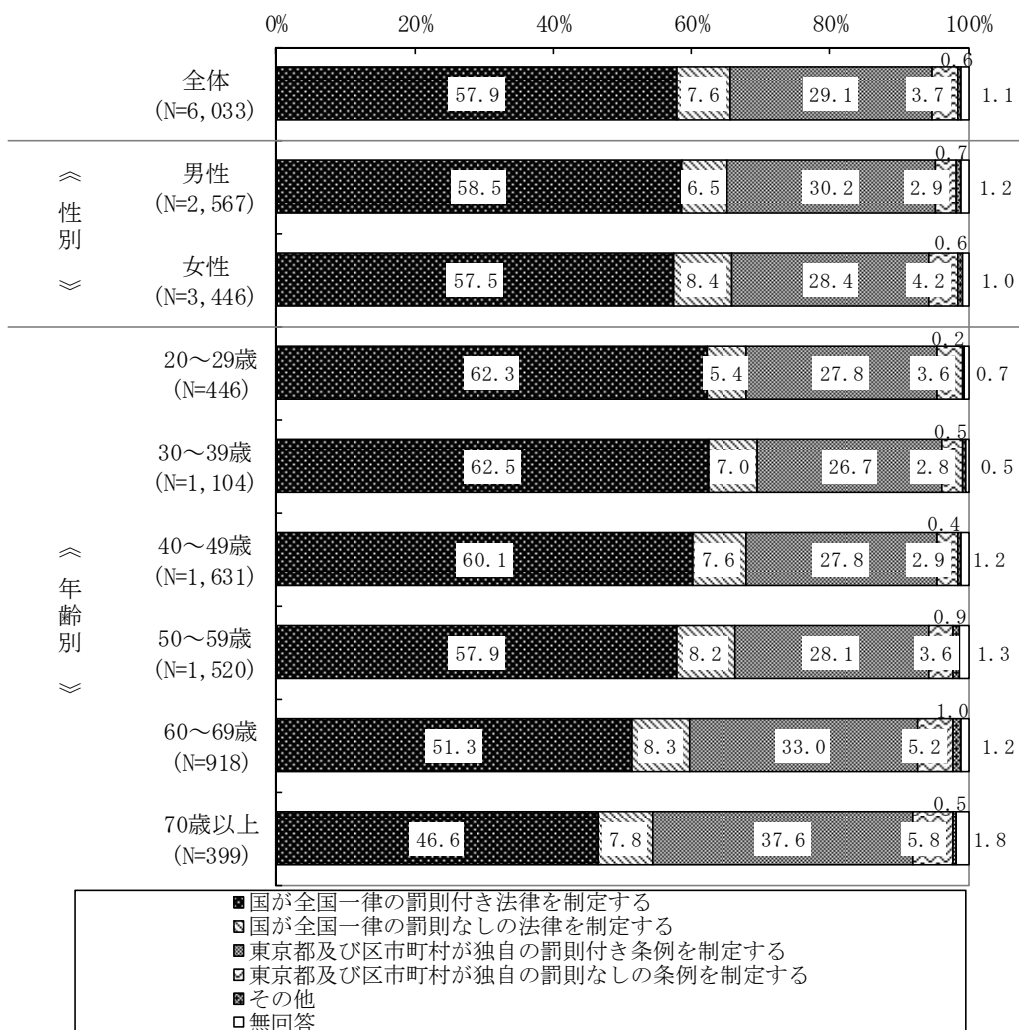
- | | |
|---|---------------------------|
| 1 | 国が全国一律の罰則付き法律を制定する |
| 2 | 国が全国一律の罰則なしの法律を制定する |
| 3 | 東京都及び区市町村が独自の罰則付き条例を制定する |
| 4 | 東京都及び区市町村が独自の罰則なしの条例を制定する |
| 5 | その他 () |

規制の内容については、「国が全国一律の罰則付き法律を制定する」が57.9%で最も高く、半数以上を占めている。次いで、「東京都及び区市町村が独自の罰則付き条例を制定する」が29.1%となっており、この2つを合わせた『罰則付きの規制』を求める割合は87%に上っている。

性別では、大きな差はみられなかった。

年齢別にみると、『罰則付きの規制』を求める割合は20～29歳で90.1%と最も高くなっている。

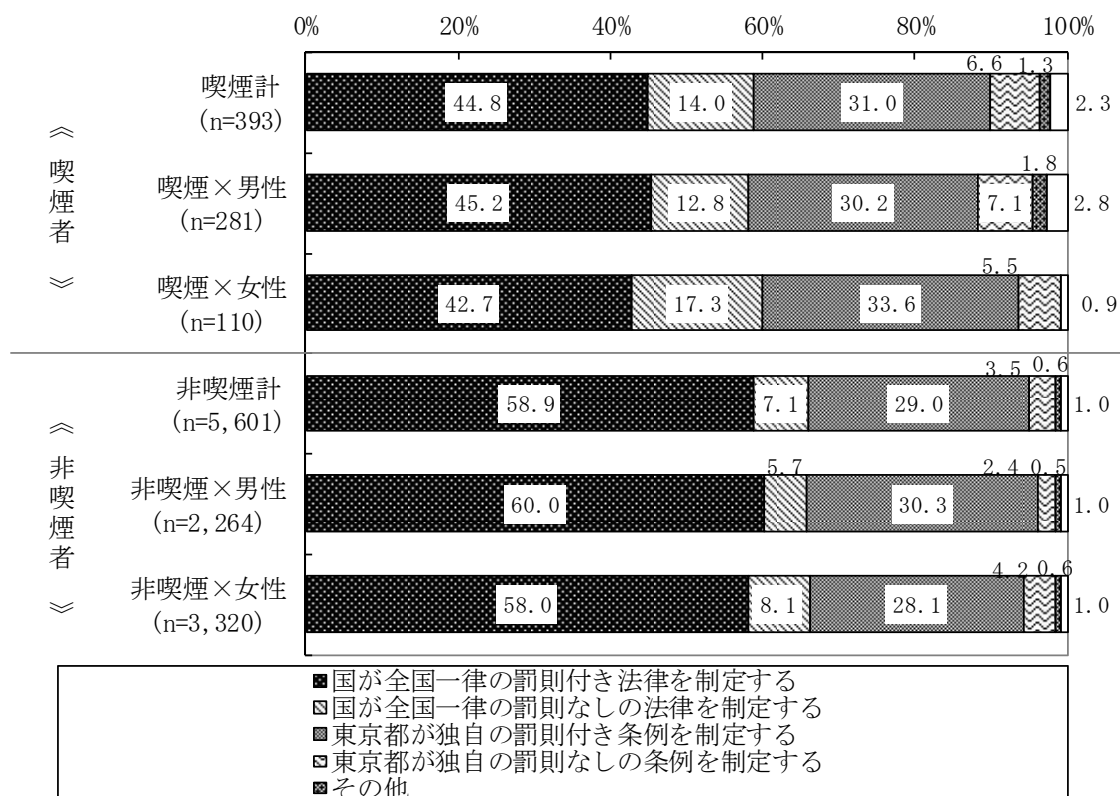
図4-3-1 法的な規制の内容(全体・性別・年齢別)



喫煙状況別にみると、「国が全国一律の罰則付き法律を制定する」及び「東京都が独自の罰則付き条例を制定する」の2つを合わせた『罰則付きの規制』を求める意見において、喫煙者の75.8%より、非喫煙者の87.9%の方が高い。特に、非喫煙男性が90.3%と高い。

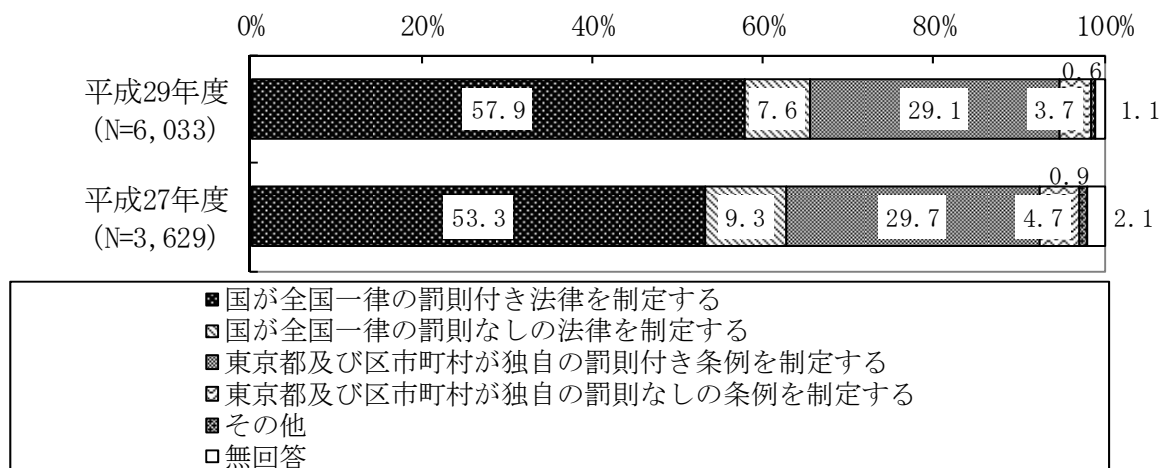
「国が全国一律の罰則付き法律を制定する」の割合は、非喫煙者の58.9%が、喫煙者の44.8%を上回っている。

図 4-3-2 法的な規制の内容（喫煙／非喫煙×性別）



前回と比較すると、「国が全国一律の罰則付き法律を制定する」が4.6ポイント増加している。

図 4-3-3 法的な規制の内容（経年変化）



(4) 法的な規制をしてほしくない理由

(問 18 で「法的な規制(法律・条例等)はしてほしくない」と回答した方)

問 18-3 最も近いと思う理由はどれですか。次の中から1つ選んでください。(○は1つ)

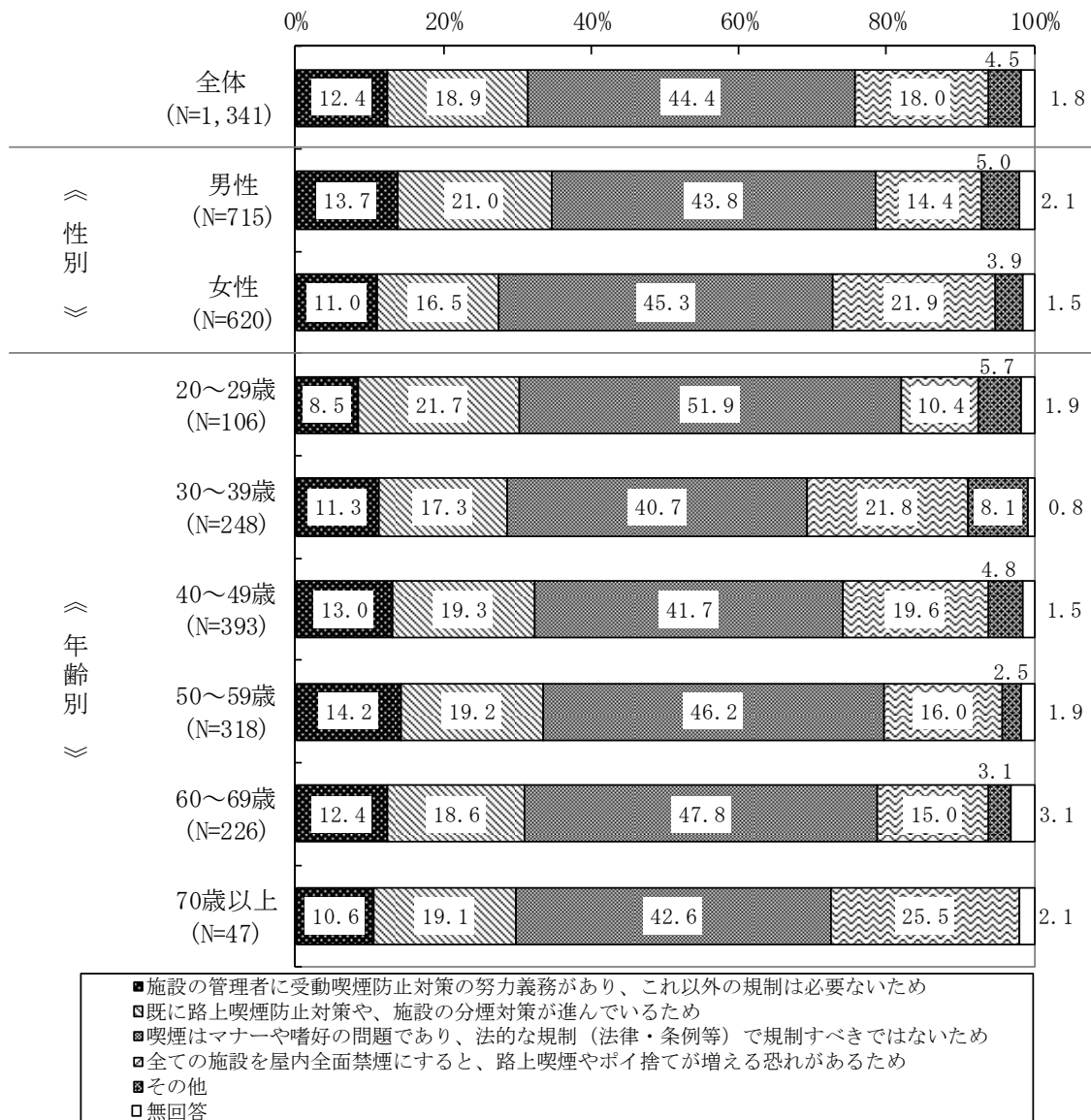
- | |
|---|
| 1 施設の管理者に受動喫煙防止対策の努力義務があり、これ以外の規制は必要ないため |
| 2 既に路上喫煙防止対策や、施設の分煙対策が進んでいるため |
| 3 喫煙はマナーや嗜好の問題であり、法的な規制(法律・条例等)で規制すべきではないため |
| 4 全ての施設を屋内全面禁煙にすると、路上喫煙やポイ捨てが増える恐れがあるため |
| 5 その他() |

法的な規制をしてほしくない理由としては、「喫煙はマナーや嗜好の問題であり、法的な規制(法律・条例等)で規制すべきでないため」が44.4%と最も高く、次いで「既に路上喫煙防止対策や、施設の分煙対策が進んでいるため」が18.9%、「全ての施設を屋内全面禁煙にすると、路上喫煙やポイ捨てが増える恐れがあるため」が18.0%となっている。

性別でみると、「既に路上喫煙防止対策や、施設の分煙対策が進んでいるため」で差がみられ、男性の21.0%の方が、女性の16.5%より高くなっている。

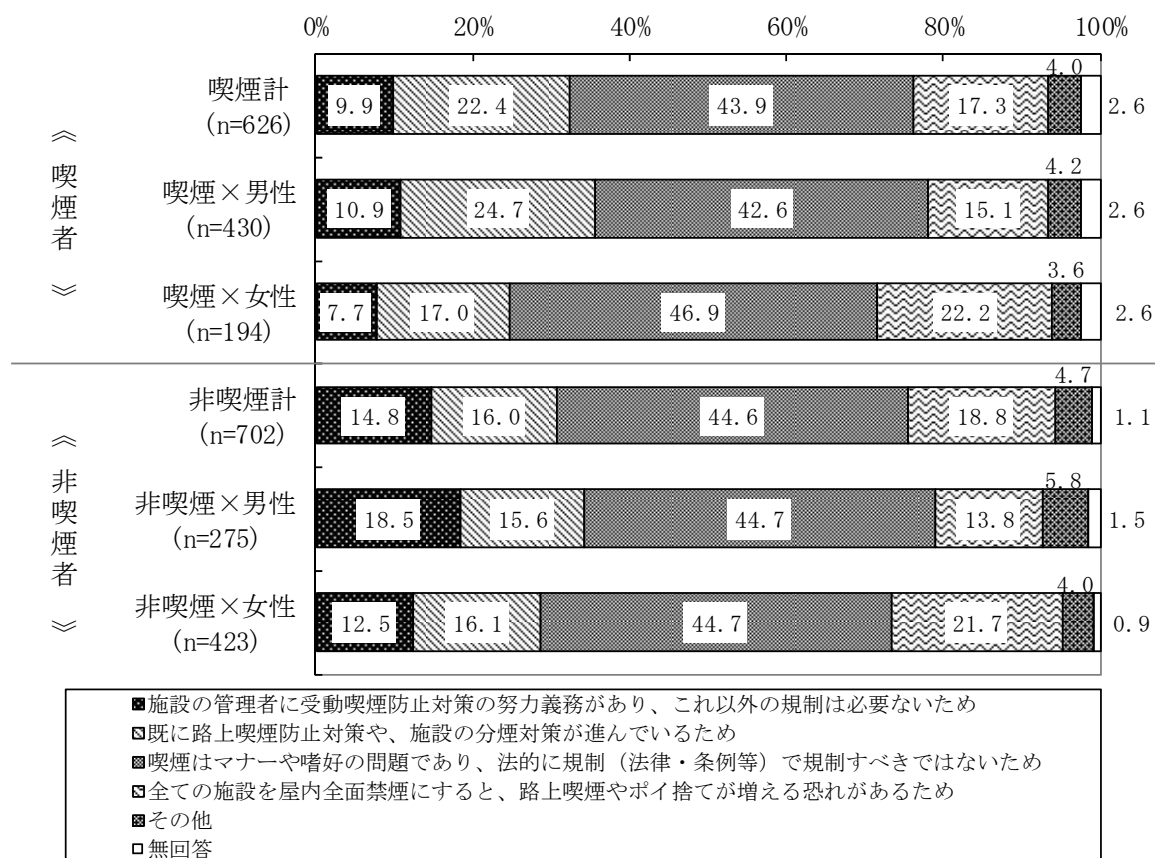
年齢別では、20～29歳で「喫煙はマナーや嗜好の問題であり、法的な規制で規制すべきでないため」の割合が高くなっている。

図 4-4-1 法的な規制を望まない理由（全体・性別・年齢別）



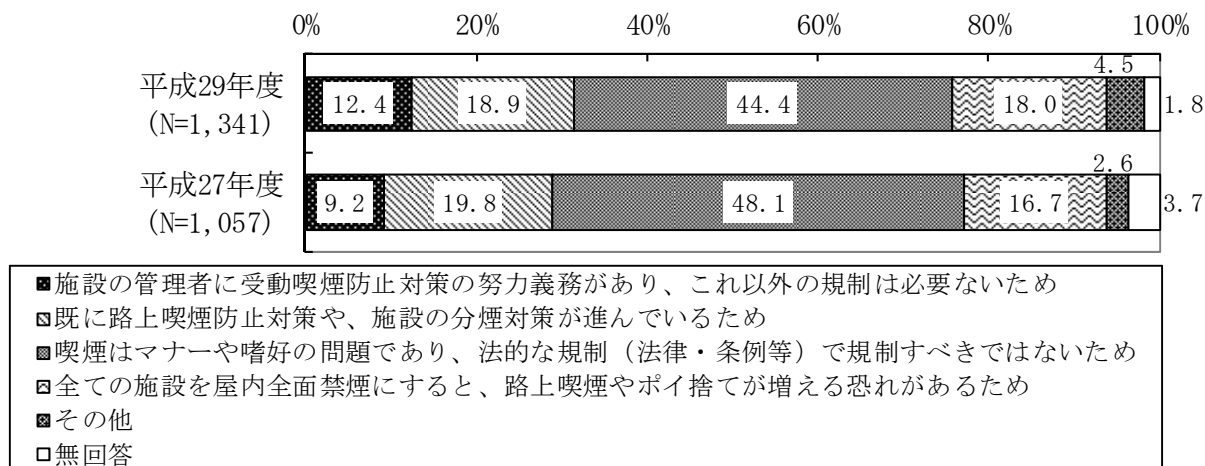
喫煙状況別にみると、「喫煙はマナーや嗜好の問題であり、法的に規制（法律・条例等）で規制すべきではないため」は、非喫煙者の44.6%が喫煙者の43.9%を上回っているが、最も割合が高いのは喫煙女性の46.9%となっている。

図 4-4-2 法的な規制を望まない理由（喫煙・非喫煙×性別）



前回と比較すると、「喫煙はマナーや嗜好の問題であり、法的に規制（法律・条例等）で規制すべきではないため」が3.7ポイント減少している。

図 4-4-3 法的な規制を望まない理由（経年変化）



(5) 建物内禁煙の例外措置

問 19 建物内禁煙とした場合、施設の種類によって規制対象外（例外）を設けることについて、どのようにお考えですか。（○は1つ）

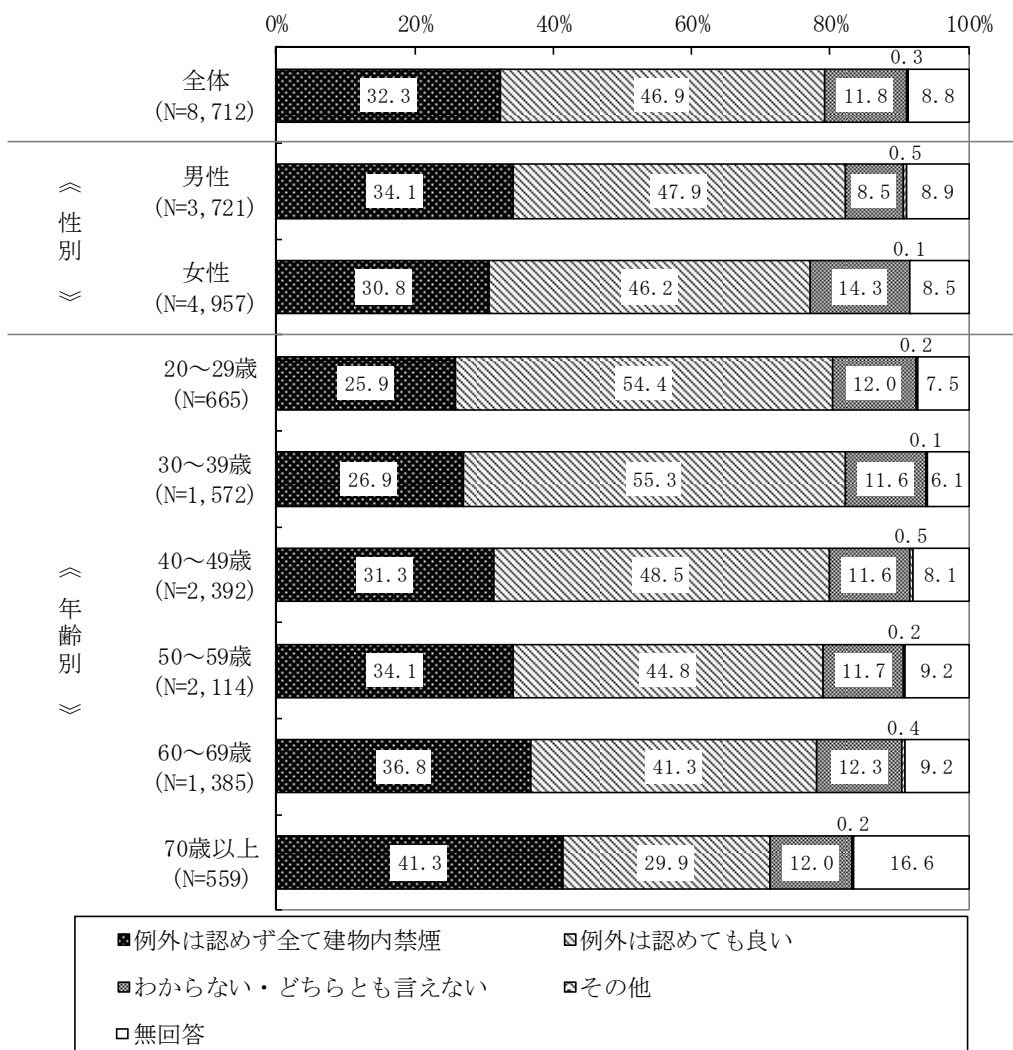
- 1 例外は認めず全て建物内禁煙 ⇒ 問 20 へ
- 2 例外は認めても良い 問 19-1 へ
- 3 わからない・どちらとも言えない ⇒ 問 20 へ
- 4 その他（ ） ⇒問 20 へ

施設の種類によって建物内禁煙の規制対象に例外を設けることについては、「例外は認めても良い」が 46.9%、「例外は認めず全て建物内禁煙」が 32.3%となっている。

性別では大きな差はみられなかった。

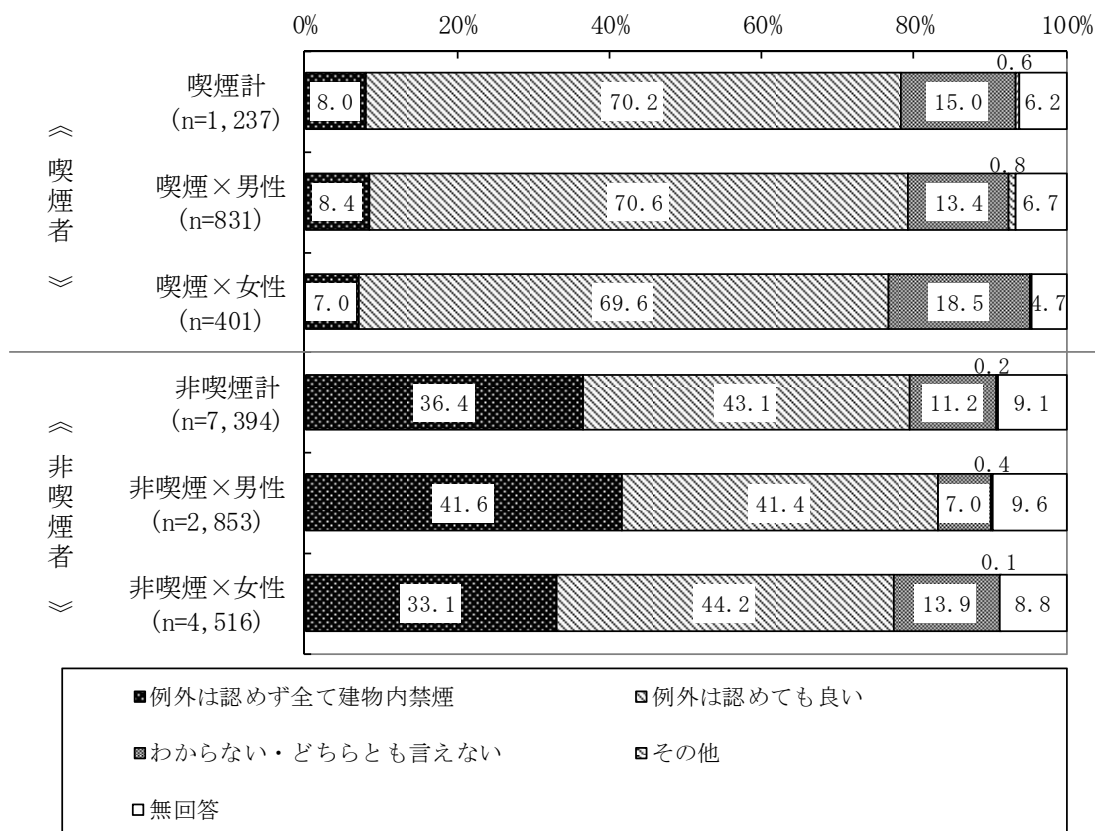
年齢別でみると、「例外は認めず全て建物内禁煙」は年齢が上がるにつれて高くなっており、70 歳以上では 41.3%となっている。

図 4-5-1 建物内禁煙の例外措置（全体・性別・年齢別）



喫煙状況別にみると、「例外は認めず全て建物内禁煙」は非喫煙者が36.4%と、喫煙者の8.0%の4倍以上を占めている。一方、「例外は認めても良い」は喫煙者で70.2%と圧倒的に高くなっている。

図 4-5-2 建物内禁煙の例外措置（全体・性別・年齢別）



(6) 飲食店における例外

(問 19 で『例外は認めても良い』と回答した方)

問 19-1 飲食店における対策について、どのような例外であれば、認めて良いとお考えですか。次の中から当てはまるものを選んでください。(○は当てはまるもの全て)

- | |
|---|
| 1 『小規模のバー・スナック等』は喫煙可能 |
| 2 業種を問わず『小規模の飲食店』は喫煙可能 |
| 3 店頭表示を行うことにより、禁煙・分煙・喫煙可能は飲食店が選択 |
| 4 未成年者や妊婦が利用する飲食店以外は、喫煙可能 |
| 5 建物内禁煙とし、喫煙専用室（座席なし）のみ喫煙可能 |
| 6 その他（ ） |

飲食店における例外措置について、「店頭表示を行うことにより、禁煙・分煙・喫煙可能は飲食店が選択」が 59.8%で最も高く、「『小規模のバー・スナック等』は喫煙可能」が 43.0%、「建物内禁煙とし、喫煙専用室（座席なし）のみ喫煙可能」35.1%と続いている。

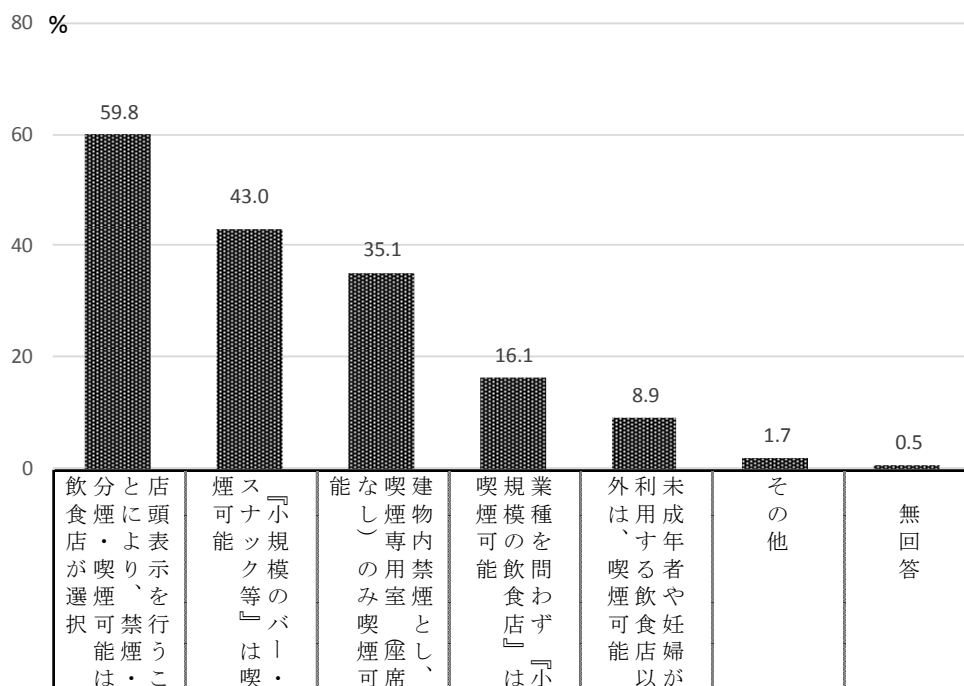
性別でみると、「店頭表示を行うことにより、禁煙・分煙・喫煙可能は飲食店が選択」は男性 62.4%、女性 57.8%と男性の方が高くなっている。

年齢別でみると、「店頭表示を行うことにより、禁煙・分煙・喫煙可能は飲食店が選択」は 20～29 歳で 61.9%と最も高くなっている。

喫煙状況別では、「『小規模のバー・スナック等』は喫煙可能」は喫煙女性が 57.3%と、喫煙男性に比べて 9.4 ポイント高くなっている。

図 4-6-1

飲食店における例外措置（全体・性別・年齢別・喫煙／非喫煙×性別）



		飲食店が選択可能な喫煙	店頭表示を行うことにより、喫煙可能な喫煙	『小規模のパブ・スナック等』は喫煙可能	建物内禁煙とし、喫煙専用室、喫煙席のみ喫煙可能	業種の飲食店『小規模の飲食店』は喫煙可能	未成年者や妊婦が利用する飲食店以外は、喫煙可能	その他	無回答
全体		4,086 100.0	2,444 59.8	1,758 43.0	1,434 35.1	658 16.1	364 8.9	69 1.7	20 0.5
《性別》	男性	1,784 100.0	1,114 62.4	743 41.6	572 32.1	356 20.0	177 9.9	36 2.0	7 0.4
	女性	2,290 100.0	1,323 57.8	1,011 44.1	857 37.4	300 13.1	187 8.2	33 1.4	12 0.5
《年齢別》	20～29歳	362 100.0	224 61.9	164 45.3	139 38.4	48 13.3	49 13.5	5 1.4	1 0.3
	30～39歳	869 100.0	519 59.7	413 47.5	263 30.3	134 15.4	95 10.9	19 2.2	4 0.5
	40～49歳	1,161 100.0	715 61.6	532 45.8	419 36.1	231 19.9	99 8.5	25 2.2	6 0.5
	50～59歳	948 100.0	560 59.1	401 42.3	332 35.0	151 15.9	64 6.8	15 1.6	3 0.3
	60～69歳	572 100.0	334 58.4	192 33.6	210 36.7	69 12.1	44 7.7	4 0.7	4 0.7
	70歳以上	167 100.0	88 52.7	55 32.9	68 40.7	25 15.0	13 7.8	1 0.6	2 1.2
《喫煙・非喫煙×性別》	喫煙者計	868 100.0	656 75.6	442 50.9	233 26.8	318 36.6	140 16.1	11 1.3	3 0.3
	喫煙×男性	587 100.0	433 73.8	281 47.9	159 27.1	199 33.9	99 16.9	7 1.2	2 0.3
	喫煙×女性	279 100.0	221 79.2	160 57.3	73 26.2	118 42.3	41 14.7	4 1.4	1 0.4
	非喫煙者計	3,187 100.0	1,766 55.4	1,300 40.8	1,187 37.2	330 10.4	219 6.9	58 1.8	17 0.5
	非喫煙×男性	1,182 100.0	670 56.7	455 38.5	407 34.4	151 12.8	76 6.4	29 2.5	5 0.4
	非喫煙×女性	1,995 0.0	1,091 54.7	842 42.2	776 38.9	178 8.9	143 7.2	29 1.5	11 0.6

(7) 路上喫煙対策

問 20 あなたは『路上喫煙対策』において、最も適切だと考えるものはどれですか。
次の中から当てはまるものを選んでください。(○は当てはまるもの全て)

- | |
|---|
| 1 決められた喫煙場所を設け、その場所以外は、全面禁煙（仕切りを設置） |
| 2 決められた喫煙場所を設け、その場所以外は、全面禁煙（灰皿のみ設置） |
| 3 未成年者がよく利用する屋外（公園・通学路等）では、全面禁煙とする |
| 4 妊婦がよく利用する屋外（公園・路上等）では、全面禁煙とする |
| 5 人通りの多い駅前や繁華街は、路上喫煙禁止とする |
| 6 歩きながらの喫煙は禁止とする |
| 7 建物内禁煙が進むため、路上喫煙禁止の規制は不要 |
| 8 その他（ ） |

.....
路上喫煙対策で適切と考えるものについては、「歩きながらの喫煙は禁止とする」が74.7%で最も高く、「決められた喫煙場所を設け、その場所以外は、全面禁煙（仕切りを設置）」が70.7%、「人通りの多い駅前や繁華街は、路上喫煙禁止とする」59.5%と続いている。

性別・年齢別・喫煙状況別では、特に大きな差はみられなかった。

.....

(8) プライベート空間の喫煙対策

問 21 プライベート空間（家庭内・自家用車）での喫煙において、対策が必要だと考えるものはどれですか。次の 1～6 の中から選んでください。（○は当てはまるもの全て）

また、1～4 を選択した場合は、それぞれ①～③を選んでください。（○は 1 つ）

1 未成年者がいる車内での喫煙

⇒① 罰則付きの規制が良い ② 努力義務の規制が良い ③ 規制は不要

2 妊婦がいる車内での喫煙

⇒① 罰則付きの規制が良い ② 努力義務の規制が良い ③ 規制は不要

3 未成年者がいる家庭内での喫煙

⇒① 罰則付きの規制が良い ② 努力義務の規制が良い ③ 規制は不要

4 妊婦がいる家庭内での喫煙

⇒① 罰則付きの規制が良い ② 努力義務の規制が良い ③ 規制は不要

5 家庭や自家用車のようなプライベート空間における規制は不要

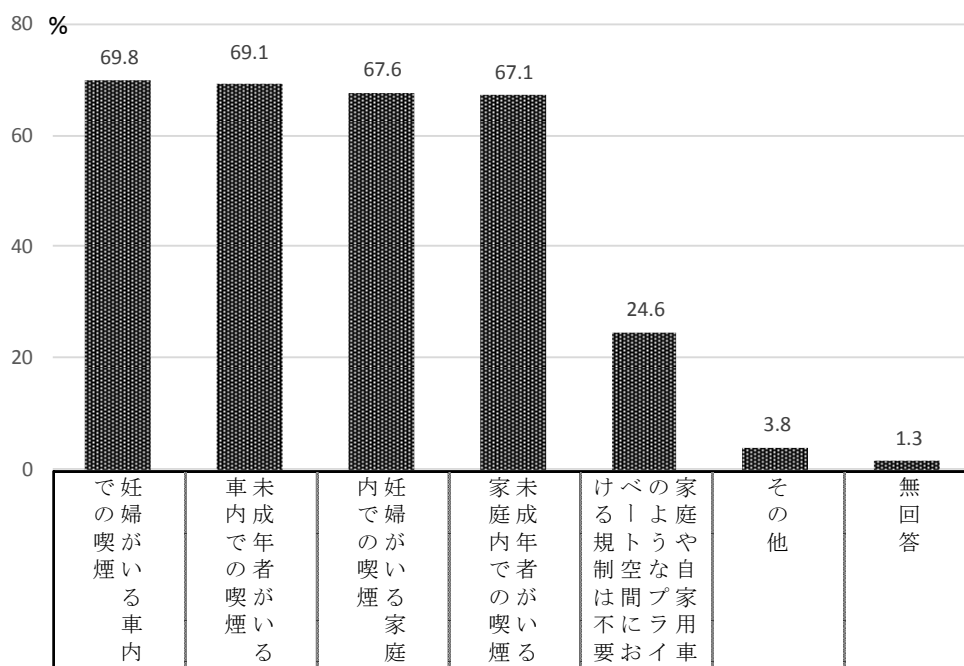
6 その他（ ）

プライベート空間における対策の必要性については、「妊婦がいる車内での喫煙」が 69.8%、「未成年者がいる車内での喫煙」が 69.1%、「妊婦がいる家庭内での喫煙」67.6%、「未成年者がいる家庭内での喫煙」67.1%の順となっており、いずれも 6 割を超えている。

性別・年齢別・喫煙状況別では、特に大きな差はみられなかった。

図 4-8-1

プライベート空間における対策の必要性（全体・性別・年齢別・喫煙／非喫煙×性別）



		全体	妊婦が喫煙している車内	未成年者が喫煙している車内	妊婦が喫煙している家庭内	未成年者が喫煙している家庭内	ベランダや家庭用エアコンの規制は必要	その他	無回答
全体		8,712 100.0	6,081 69.8	6,019 69.1	5,893 67.6	5,847 67.1	2,140 24.6	327 3.8	109 1.3
《性別》	男性	3,721 100.0	2,565 68.9	2,539 68.2	2,468 66.3	2,436 65.5	934 25.1	129 3.5	62 1.7
	女性	4,957 100.0	3,493 70.5	3,456 69.7	3,404 68.7	3,389 68.4	1,203 24.3	197 4.0	42 0.8
《年齢別》	20～29歳	665 100.0	469 70.5	449 67.5	463 69.6	433 65.1	160 24.1	14 2.1	5 0.8
	30～39歳	1,572 100.0	1,130 71.9	1,112 70.7	1,101 70.0	1,083 68.9	378 24.0	57 3.6	6 0.4
	40～49歳	2,392 100.0	1,615 67.5	1,609 67.3	1,559 65.2	1,563 65.3	651 27.2	97 4.1	23 1.0
	50～59歳	2,114 100.0	1,450 68.6	1,443 68.3	1,403 66.4	1,395 66.0	558 26.4	84 4.0	19 0.9
	60～69歳	1,385 100.0	983 71.0	976 70.5	956 69.0	951 68.7	318 23.0	53 3.8	23 1.7
	70歳以上	559 100.0	417 74.6	412 73.7	396 70.8	407 72.8	73 13.1	20 3.6	29 5.2
《喫煙・非喫煙×性別》	喫煙者計	1,237 100.0	800 64.7	783 63.3	776 62.7	758 61.3	391 31.6	31 2.5	16 1.3
	喫煙×男性	831 100.0	542 65.2	527 63.4	523 62.9	505 60.8	255 30.7	23 2.8	11 1.3
	喫煙×女性	401 100.0	255 63.6	253 63.1	250 62.3	250 62.3	136 33.9	8 2.0	3 0.7
	非喫煙者計	7,394 100.0	5,230 70.7	5,183 70.1	5,067 68.5	5,039 68.1	1,731 23.4	293 4.0	88 1.2
	非喫煙×男性	2,853 100.0	2,000 70.1	1,987 69.6	1,923 67.4	1,908 66.9	672 23.6	103 3.6	50 1.8
	非喫煙×女性	4,516 100.0	3,211 71.1	3,176 70.3	3,127 69.2	3,113 68.9	1,056 23.4	189 4.2	38 0.8

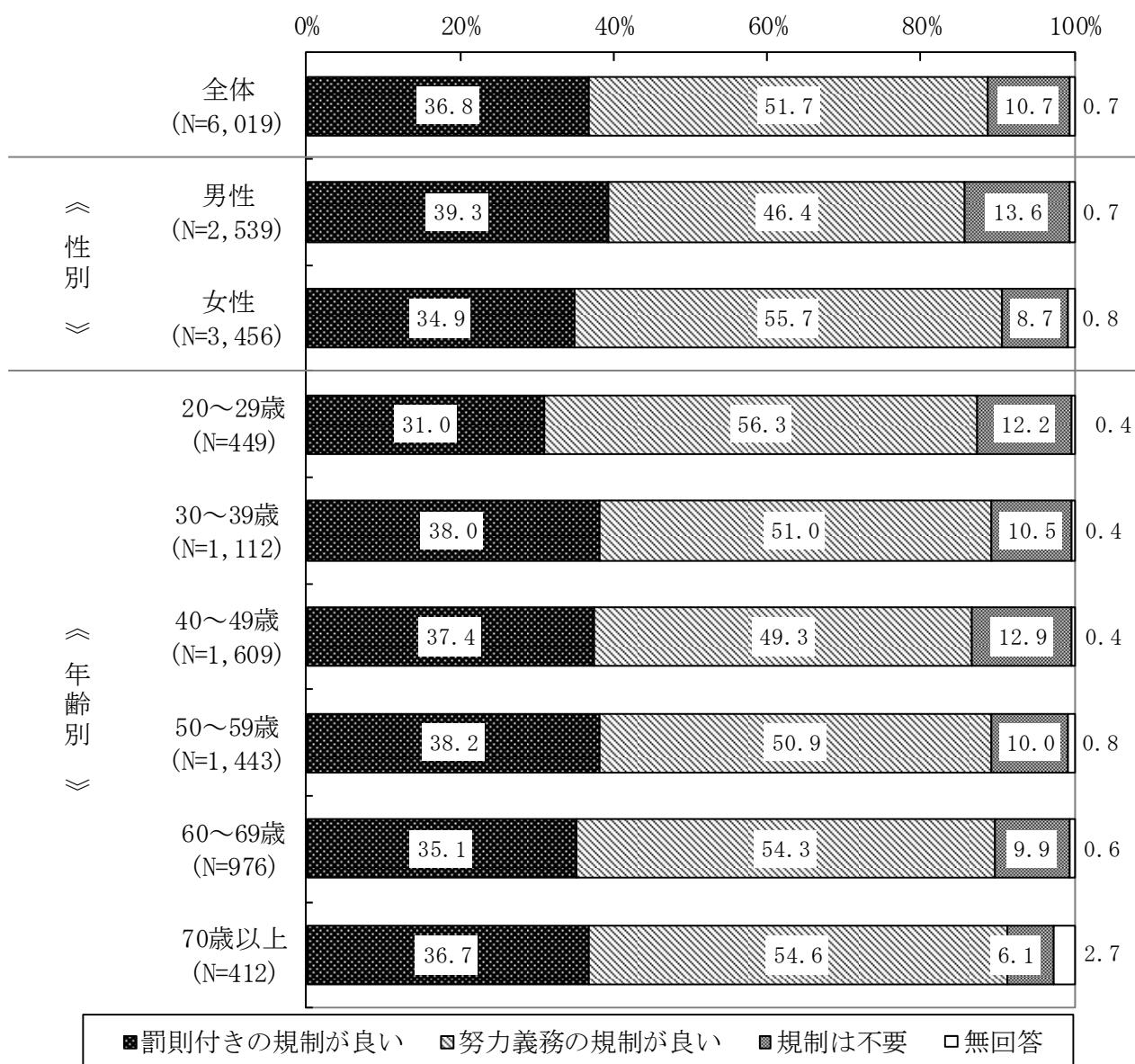
①未成年者がいる車内での喫煙

「未成年者がいる車内での喫煙」への対策については、「努力義務の規制が良い」が51.7%、「罰則付きの規制が良い」が36.8%、「規制は不要」が10.7%となっている。

性別でみると、「罰則付きの規制が良い」は女性より男性の方が割合が高くなっている。

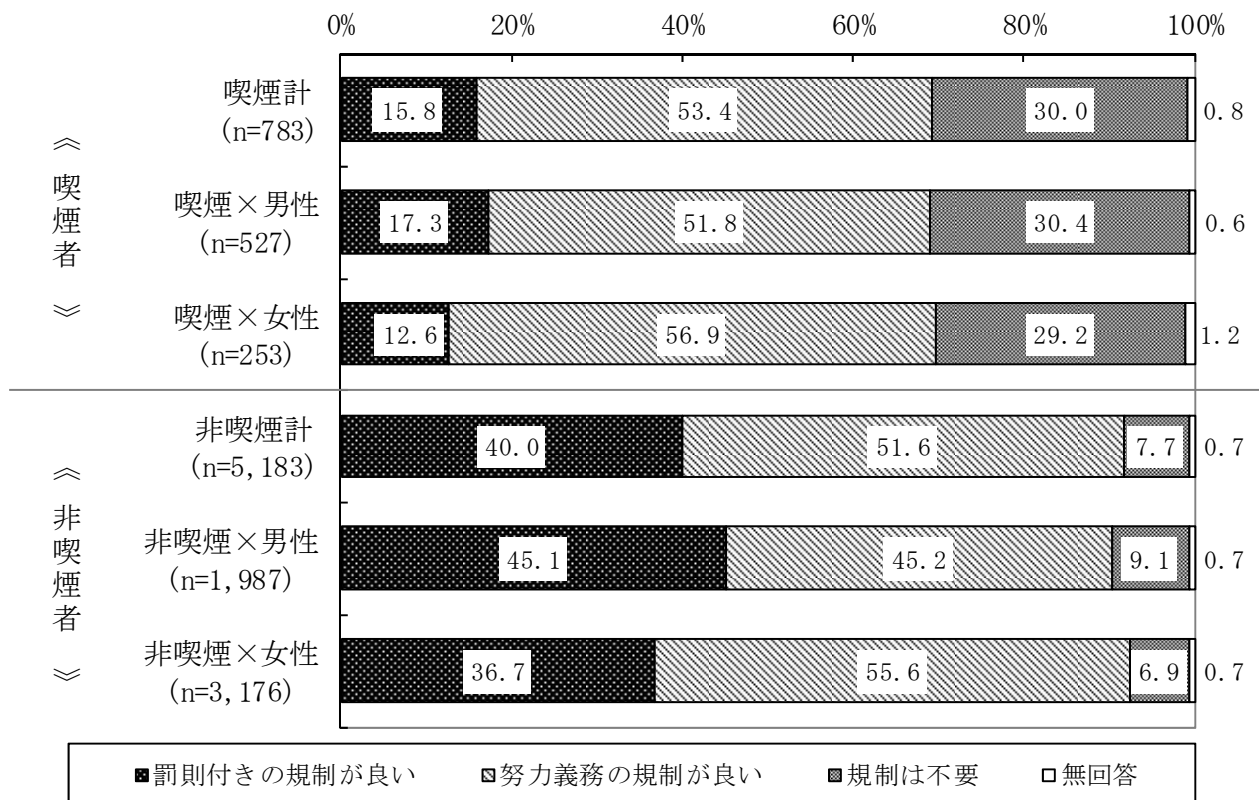
年齢別でみると、大きな差はみられなかった。

図 4-8-2 未成年者がいる車内での喫煙（全体・性別・年齢別）



喫煙状況別でみると、「罰則付きの規制が良い」は、喫煙者が15.8%、非喫煙者が40.0%と、非喫煙者の方が24.2ポイント高くなっている。

図 4-8-3 未成年者がいる車内での喫煙（喫煙／非喫煙×性別）



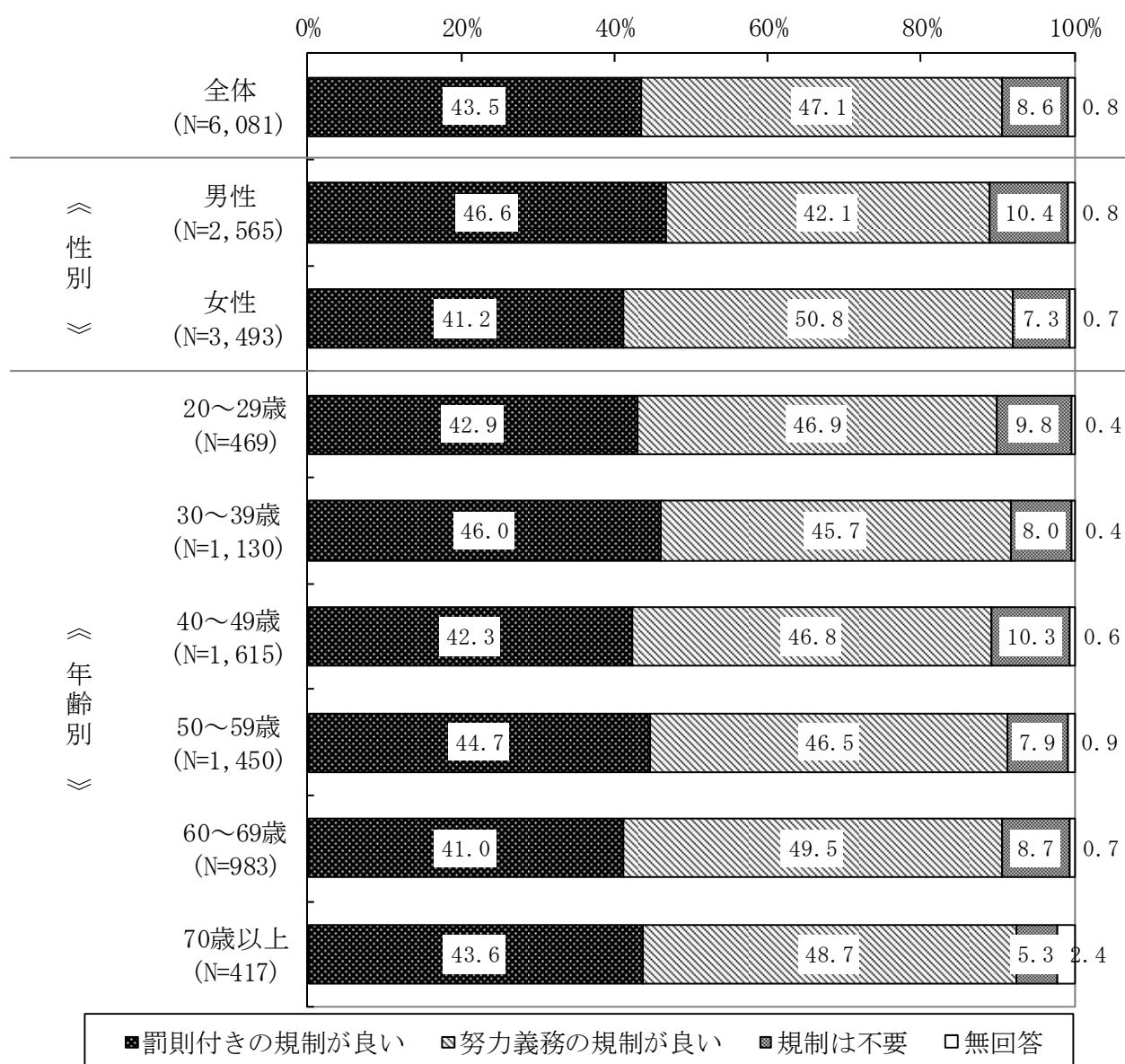
②妊婦がいる車内での喫煙

「妊婦がいる車内での喫煙」への対策については、「努力義務の規制が良い」が47.1%、「罰則付きの規制が良い」が43.5%、「規制は不要」が8.6%となっている。

性別でみると、「罰則付きの規制が良い」は女性より男性の方が割合が高くなっている。

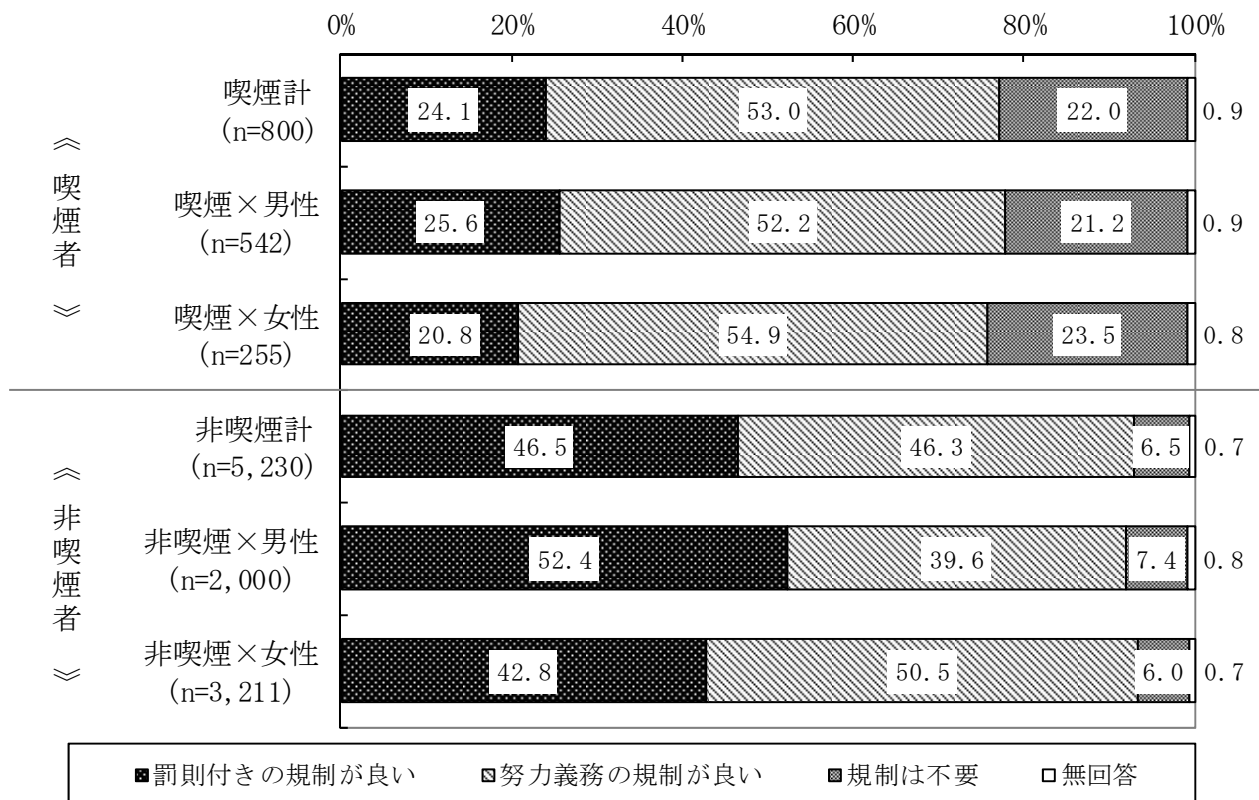
年齢別でみると、大きな差はみられなかった。

図 4-8-4 妊婦がいる車内での喫煙（全体・性別・年齢別）



喫煙状況別でみると、「罰則付きの規制が良い」は、喫煙者が24.1%、非喫煙者が46.5%と、非喫煙者の方が22.4ポイント高くなっている。

図 4-8-5 妊婦がいる車内での喫煙（喫煙／非喫煙×性別）



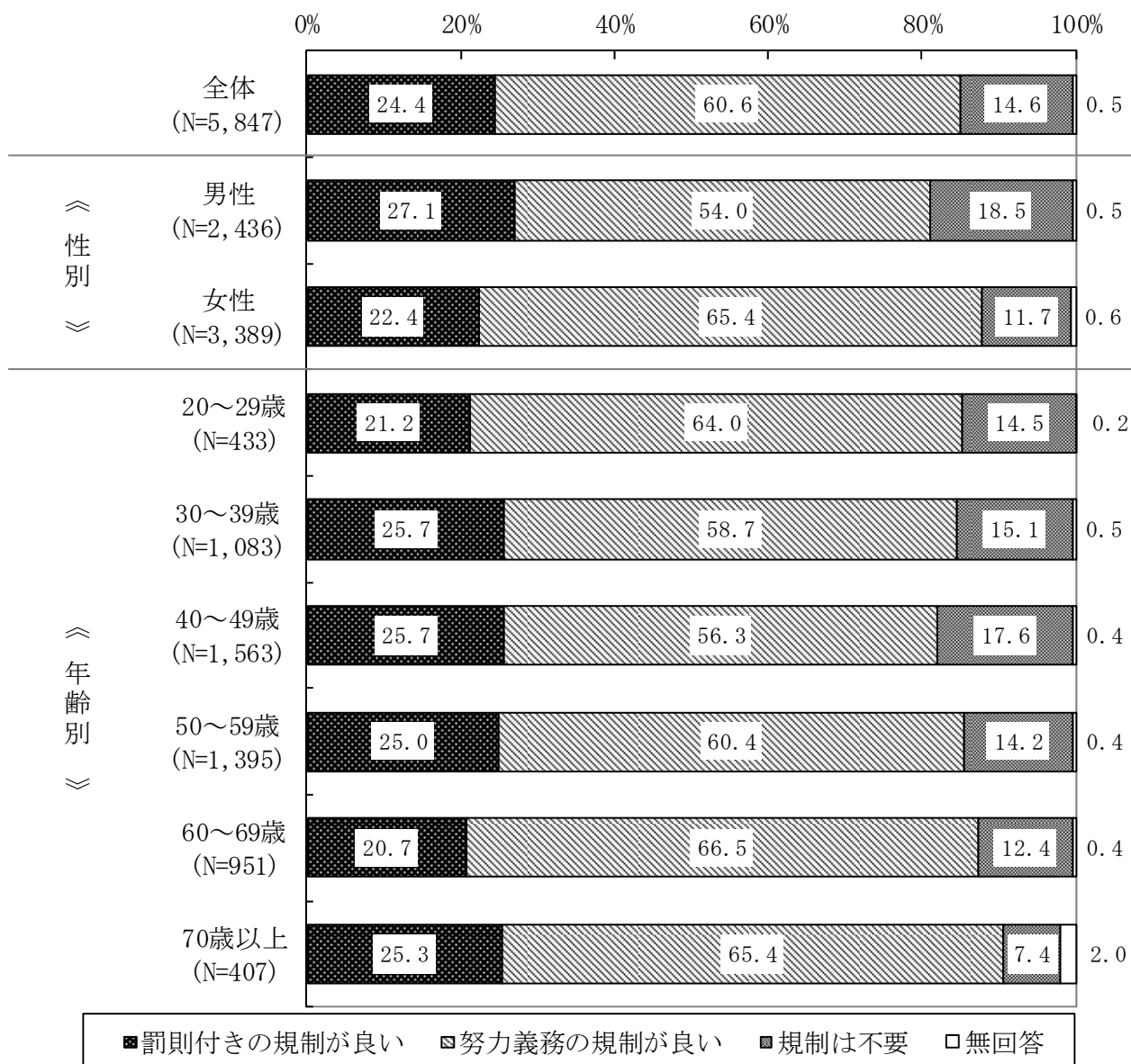
③未成年者がいる家庭内での喫煙

「未成年者がいる家庭内での喫煙」への対策については、「努力義務の規制が良い」が60.6%、「罰則付きの規制が良い」が24.4%、「規制は不要」が14.6%となっている。

性別でみると、「罰則付きの規制が良い」は女性より男性の方が割合が高くなっている。

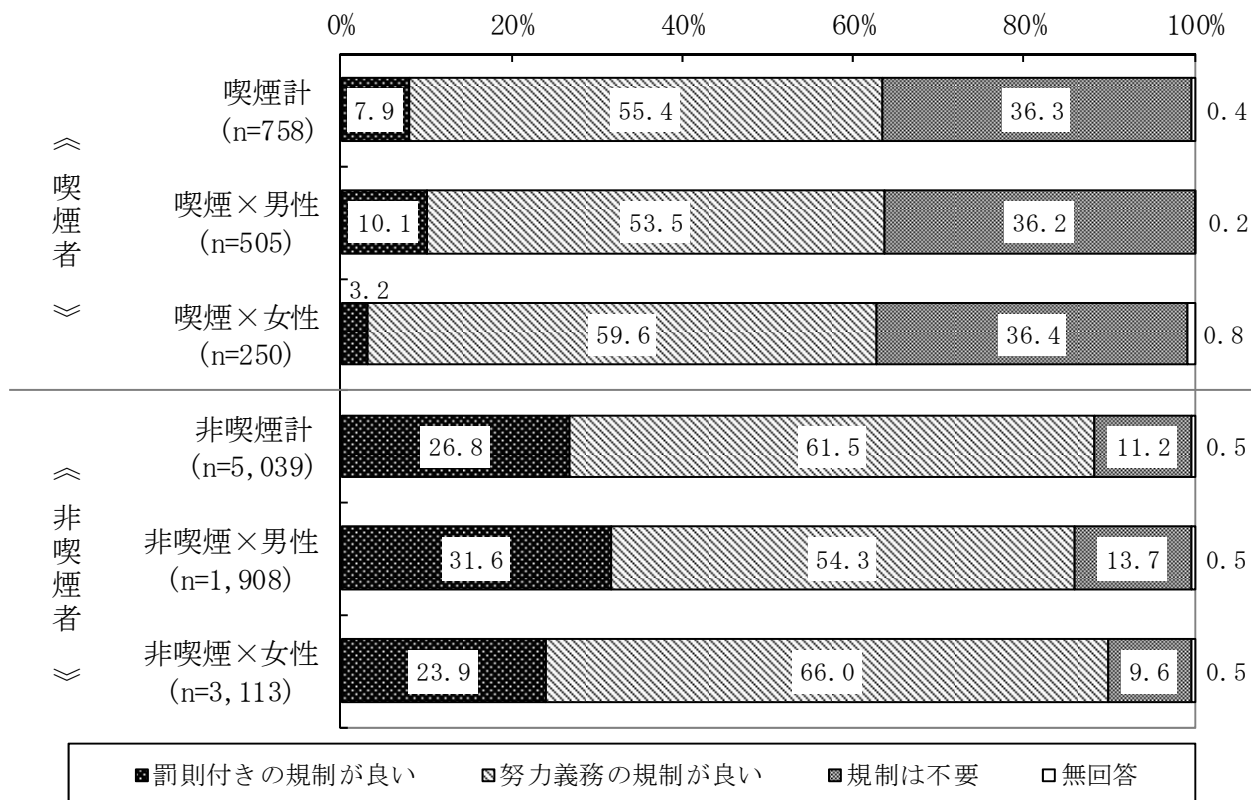
年齢別では、「努力義務の規制が良い」割合は60～69歳の66.5%をピークに分布し、最も低い40～49歳の56.3%とは10.2ポイントの開きがある。

図 4-8-6 未成年者がいる家庭内での喫煙（全体・性別・年齢別）



喫煙状況別でみると、「罰則付きの規制が良い」は、喫煙者が7.9%に対して非喫煙者が26.8%と高く、18.9ポイントの差がみられる。喫煙者では特に男女差が大きく、6.9ポイントの差がみられる。

図 4-8-7 未成年者がいる家庭内での喫煙（喫煙／非喫煙×性別）



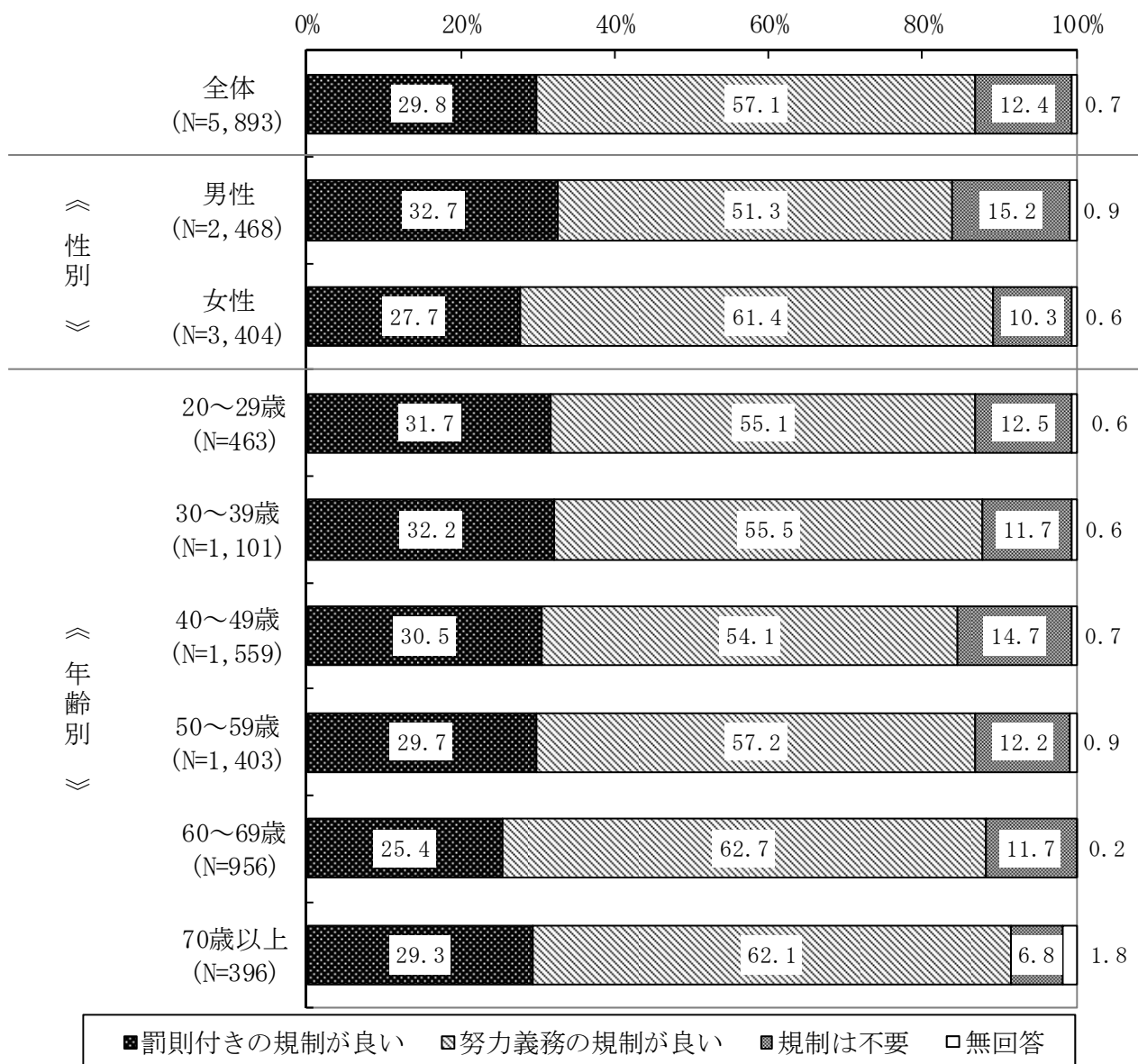
④妊婦がいる家庭内での喫煙

「妊婦がいる家庭内での喫煙」への対策については、「努力義務の規制が良い」が57.1%、「罰則付きの規制が良い」が29.8%、「規制は不要」が12.4%となっている。

性別でみると、「罰則付きの規制が良い」は女性より男性の方が割合が高くなっている。

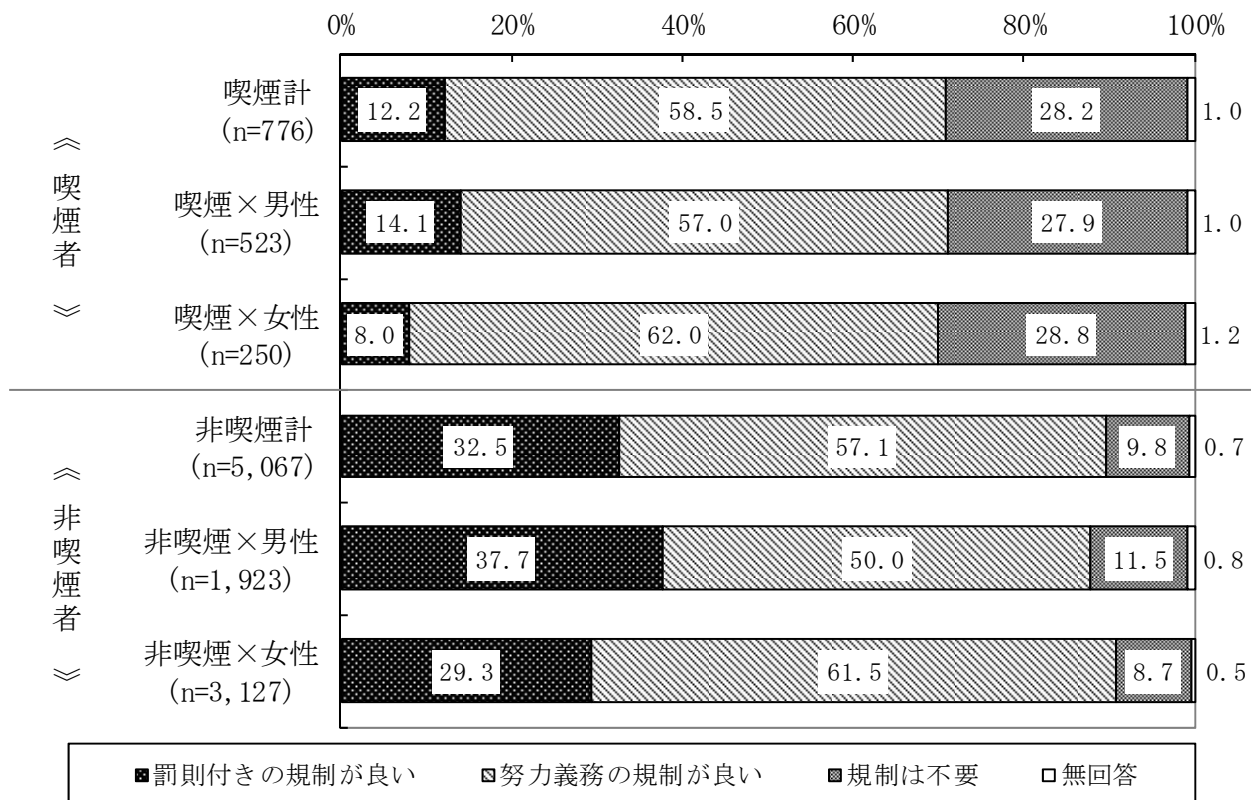
年齢別では、「努力義務の規制が良い」割合は60～69歳の62.7%をピークに分布し、最も低い40～49歳の54.1%とは8.6ポイントの開きがある。

図 4-8-8 妊婦がいる家庭内での喫煙（全体・性別・年齢別）



喫煙状況別でみると、「罰則付きの規制が良い」は、喫煙者が12.2%、非喫煙者が32.5%と、非喫煙者の方が20.3ポイント高くなっている。

図 4-8-9 妊婦がいる家庭内での喫煙（喫煙／非喫煙×性別）



1.喫煙場所について【582件】

<1>喫煙場所の設置箇所【79件】

- ・コンビニになるべく灰皿を置かないで欲しい。子供が小さいので、一緒に立ち寄った時に怖いと思うことが良くある
- ・デパートなど喫煙場所がトイレの近くにあることが多く、前を通るたびに嫌な思いをします。設置すれば良いではなく、設置する場所を考えてほしいです。
- ・市役所の中の喫煙する場所の近くが、くさくてたまりません。たばこを仕事の時間内に吸っている人がいて、くさいです。まず公的なところからしっかりやってほしいです。

<2>喫煙場所を作ってほしい【96件】

- ・歩きタバコやポイ捨てを減らすためには、もう少し喫煙コーナを設けるべきだと思う。
- ・喫煙者もいることなので、喫煙場所をしっかりと設けるべき。場所が少なすぎるような気がします。
- ・家の前の道路にポイすてが毎日のように行われるのが嫌なので、喫煙スペースを駅などに設けてほしい。ポイすてがなくなるよう路上喫煙は、罰則があると良いと思います。マナーを守っている方は良いのですが、悪い方対策として。

<3>屋外の喫煙所はやめてほしい【100件】

- ・路上に灰皿を置くのはやめてほしい。歩行中に、受動喫煙をしてしまって困る。
- ・集合住宅に住んでいます。隣のベランダでの喫煙が非常に迷惑です。窓から室内にまで入ってきます。どの場所より一番気になります。
- ・煙も灰もわずかな風で移動します。屋外の喫煙場所はすべて禁じるべき。現在のように灰皿を置くだけで路上喫煙所になっているのは納得できません。

<4>喫煙場所の明確化【46件】

- ・喫煙場所を確実に設置して目立つ表示等を行えば路上喫煙はしないと思う。

<5>喫煙場所から煙が漏れないように【156件】

- ・屋外の喫煙場所には必ず仕切りを設置するよう義務化してほしいです。(駅前など灰皿のある路上で吸っている方がとても多いから)
- ・公共の場において、特に路上、駅、バス停などに、どうしても喫煙所が必要な場合は、完全な囲いをつけ、煙もそのまま外に出ないよう、フィルターで無害に近い形にして出す設備にする。囲いのない灰皿の設置が一番悪い。
- ・喫煙スペースは完全におおって煙が外に出ないようにしてほしい。駅前のスペースは煙が充満して歩くのが辛い歩かないと帰れない

<6>喫煙場所の整備【38件】

- ・喫煙禁止の対策を進めるだけでなく、喫煙者が利用しやすい喫煙所の整備と平行して進めていく方が良いと思います。

<7>分煙にしてほしい【14件】

- ・オープンな喫煙所は分煙の意味が薄いと思います。部屋にしてしっかり分けて欲しいです。歩きたばこのおじさんが多いので、煙以外に子供の顔などへの接触も心配です。しっかり対策して欲しいです。ぜんそくの子供は、一瞬隣りを通っただけで咳が止まらなくなります。

<8>その他【53件】

- ・施設にパチンコ店がある場合階段、エスカレーターなど通路が「たばこくさい」ので、禁煙の意味がない場所がある。設計の段階で考えてほしい。
- ・路上喫煙対策として有料の喫煙場所を設ける

2. 路上喫煙(歩きタバコ)について【852件】

<1>路上(歩きながらの)喫煙が気になる【313件】

- ・朝の時間が歩きタバコ、自転車でのタバコがあまりに多いので、本当に困る。
- ・一番迷惑に思うのが、路上喫煙です。吸っている人がいると、息を止めて、その人を追い抜いたりしています。煙草を持つ手はちょうど子供の高さでとても気になります。
- ・歩きタバコだけは、本当に悪質だと思う。これだけでも早く改善されることを願います。

<2>ポイ捨てが気になる【135件】

- ・狭い路地に入り喫煙し吸い殻を捨てて帰る人には大変迷惑をしている。
- ・以前よりだいぶ進み努力されていると思いますが、歩きタバコ、ポイ捨てがなくなるのは残念。ボランティアごみ拾い続けていますが、減らないです。罰則は難しいでしょう。1人1人の意識高めていくしかないです。

<3>路上喫煙(歩きタバコ)の対策を強化してほしい【383件】

- ・歩きタバコは、受動喫煙以外にも、タバコの火が子供の目線にあたり大変危ないです。規制の強化をお願いします
- ・施設よりも、路上での喫煙、歩きタバコへの対策、規制を検討していただきたい。
- ・吸い殻を捨てる人もよくみかけます。そういう行為についても罰則を付けてほしいです。
- ・歩きながらの喫煙はあぶないし後を歩いたりすれ違う時に本当に不快です。吸い殻も必ず道に落ちています。罰則付き条例を制定しきれいで安全な街を作してほしいです。東京オリンピックまでには制定した方が良くと思います。

<4>その他【21件】

- ・路上での歩きながらの喫煙がない東京にしたいですね

3. 飲食店における受動喫煙について【317件】

<1>店内完全禁煙にしてほしい【80件】

- ・飲食店の禁煙対策を早急にしてほしい。特にランチタイムに未だ喫煙可の店がある。食事が楽しめない。
- ・飲食店経営者ですが(店内禁煙です)お客様に「タバコ吸えないのなら」と帰ってしまうケースがあります。飲食店全店全面禁煙にしてもらい不公平がない様にお願いします。
- ・愛犬連れで入れるレストランはほとんどがバルコニー席。そこは、喫煙者&喫煙席が多いので、その辺りも検討して欲しい。

<2>店内の分煙が不完全【49件】

- ・飲食店で同じ空間で仕切りがあるだけで分煙といわれても意味が無いように思う。
- ・条例で分煙が進んでいるのは喜ばしいが、分煙の定義があいまいすぎる。分煙表示の飲食店に入ったら、席が分けられているだけ、扉もカベもなし。これは分煙とはいわないのではないか。

<3>禁煙(喫煙)マークについて【30件】

- ・煙草を好きで吸っている人に、特にやめて欲しいとは思っていませんが、煙でのどが痛くなるので、飲食店などは必ず入口にステッカーを貼るように義務化していただきたいです。全ての店に貼ってあれば、こちらで喫煙可の店はさけるようにします。
- ・店頭表示用ステッカーに、東京都の認定の印がついていたら信頼度が増します(基準を満たしている)

<4>分煙はしてほしい【54件】

- ・カフェなどでも完全分煙になっていないため、タバコのおいがる店がある。神奈川県のように店内の分煙をするように規制してほしい。
- ・勤務先で加入している健康保険組合では以前から受動喫煙に関しての周知活動を行っていた。公共施設では分煙化が進んでいるのではないかと思います。個人経営の飲食店でも分煙を推進しているところを近所でもここ最近見かける。愛煙家も合意して分煙に協力できるしくみができればよいと思う。

<5>喫煙所を設けてほしい【13件】

・私は飲酒時以外はタバコを吸わないので、飲食店の全面禁煙はつらいです。

<6>飲食店での対策を強化してほしい【38件】

・飲食店で分煙さえできていない施設が多すぎるため、規制の強化をのぞみます。

・飲食店で小さい子供を連れて喫煙席にいる方が結構いるのでこれはやめさせてほしい

<7>その他【53件】

・飲食店での受動喫煙が減ることを望んでいます。都の取り組みに期待しています。

・不特定多数の人が利用する建物については禁煙の方が良いと思いますが、小規模な飲食店にあまり規制ばかりでは運営が立ち行かなくなると思います。店頭表示に加え、年1回程度の説明会及び意見交換等で良いと思います。

4. マナーについて【365件】

<1>喫煙マナーは向上している【35件】

・喫煙する場所が、だいぶなくなって、吸う場所を探すのが、大変になってきましたが、簡単には、禁煙はできません。マナーを守る人が、昔より増えているので、罰則を作る必要はないと思います。

・10年前と比べると受動喫煙に対するの関心も認知されてきたので、さらなるクリーンな街東京を作って行って欲しい。

<2>喫煙マナーを向上させてほしい【171件】

・規制よりマナー向上につとめた方が良いでしょう。規制がきびしくなると吸う人がイライラする。守らない人がふえれば吸わない人もイライラする。規制するのであれば徹底的に監視して、注意や罰則を与えるべきで、そこまでできないのなら何もしない方がいい。受動喫煙のリスクより禁止や規制による二次被害の方が今となっては増えている気がします。

・たばこの煙は非常に不快です。人によっては、他人の煙によりのどを痛めたり、せきこんだりする人もいます。様々な施設での分煙(むしろ、全面禁煙にしてほしい)に取組み、喫煙者に対しては、喫煙マナーを徹底していただくよう、対策を取っていただきたいです。

・喫煙者のマナー向上にも目を向けていくべきだと思う

<3>喫煙マナーが悪い【143件】

・未だに、マナーを知らない人が多すぎます。有害だからだけではなく、匂いや煙がとても迷惑です。

・喫煙すること自体は個人の自由ではあるが、あまりにもマナーの悪い大人が多すぎるので、罰則の明確化を切に願います。

・子供を乗せながら喫煙し自転車(又はペーパークー)を運転してる親を見かける事があり、心が痛みます。子供の視線でたばこのすいかけを手にとってる人とか…子を持つ親として。吸う側のマナーを考えてほしいものです

<4>その他【16件】

・自ら喫煙するのですが、受動喫煙については気を付けているつもりです。しかし、完全に喫煙場所をなくしてしまうと、マナーを守らない人も増えるのではないかと考えています。

5.受動喫煙防止対策について【428件】

<1>法整備・対策取組みの強化【79件】

・早急に罰則付の対策を開始してほしい。受動喫煙をさせている意識は喫煙者にはないため。
・路上に灰皿スタンドを設置する店がある。敷地内だから、ということかもしれないが、煙は制限することができないので、法的な規制をすべきだと思う。法的規制をしないと、お金のかかる対策を自ら行う管理者はいない。

<2>完全禁煙にしてほしい【74件】

・全面禁煙は世界の流れ。受動喫煙でガンリスクが高まることは非常に許せないことです。迅速、確実に取組を進めてほしい。
・喫煙しない人にとって、喫煙は迷惑でしかないので、受動喫煙は原則ゼロになるように考えてほしい。被害者の多少や妊婦など人の状態にかかわらずなくなることを目指してほしい。

<3>分煙化をすすめてほしい【99件】

・分煙をしっかりとすればいいと思います。路上や、駅前などに灰皿を置いてもらえたらそこですてくれると思います。
・喫煙をしない人にとっては、敷地内全面禁煙や建物内禁煙が望ましいと思うが、同じグループや家族に喫煙者がいると同じ行動をとる時に離れていると煩わしい。建物内完全分煙をしている所は増えたが、人の出入りやすきまから煙や臭いがもれて不快に感じる人が多い。分煙場所から煙がもれないようにする構造上の法的な規則があってもいいと思う。
・全て禁止することは良くないと思う。きちんと場所を提供完全分離することである程度は解決すると思う。

<4>喫煙スペースの設置・整備【51件】

・完全分煙可能な喫煙室を各施設で設置して欲しい。
・法的規制よりも、喫煙スペースを多くしてもらいたい。これによって喫煙スペース以外は禁煙という空気をつくってほしい。

<5>この対策を推進してほしい【92件】

・受動喫煙は、たばこをすわない者にとりましては、大変迷惑となります。早急に防止対策にとり組んでほしいと思います。
・受動喫煙防止の取組はどんどん進めていただきたいと思います。
・飲食店等で分煙が進んで来てはいるが、世界的に見るとまだまだ後進国であると思う。難しい問題だが、両者の理解の上、対策されることを望みます。

<6>その他【33件】

・たばこを販売している以上、法的な規制は反対、利用施設の決定には従う。
・受動喫煙を発生させないタバコの開発に期待します

6.PR、指導について【357件】

<1>行政指導やメディアの活用による受動喫煙被害の周知【131件】

・路上禁煙を守ってほしい。CMや掲示等の働きかけが重要。
・規制も必要だと思うが、あわせて喫煙者への啓発活動も重要だと考える。例えば、「その煙、あなたの家族(子供)にも吸わせていいの？」など、心にうったえるような…受動喫煙がどのように体に悪いのか、具体的な数字を示した方が効果的だと思う。
・受動喫煙防止のためには、原則、全ての場所が禁煙であることが望ましいが、喫煙者のことを考えると、逆に喫煙可能な場所を積極的に示しながら、その場所以外は禁煙であることを意識の上(一般常識として)植えつけるような工夫、教育ができるとよいと思う。

＜2＞健康被害以外のおい等による迷惑の周知【9件】

・個人的に最も不快に思うのは指定の喫煙場所で喫煙した(と思われる)人とエレベーターなどの狭い空間で一緒になったときです。ルール違反をしているわけではないので何か言うこともできません。規制のアイデアはないですが、煙だけでなく喫煙後の臭いを不快に感じる人がいることもPRしてもらいたいです。

＜3＞子供向けの喫煙による健康被害の教育【56件】

・規制も必要だが、幼少期からの教育も必要。地方自治体だからこそ、教育の場から受動喫煙防止の重要性を訴えていく必要がある。

・小学生、中学生の内にタバコの害を教われれば大人になっても吸わないのではないのでしょうか。

＜4＞未成年者の喫煙取締の強化【8件】

・決まりとして規制しないと、子どもは、自分で規制出来ないの、大人が行うべきことだと思います。

＜5＞外国人への指導【21件】

・銀座や浅草で増え続ける外国人に多くの喫煙者がおります。単に観光客誘致を考えるだけでなく日本国内での禁止事項も周知徹底させる努力が不可欠です。

＜6＞禁煙・分煙の表示をする(明確化)【27件】

・規制をするよりも「喫煙OK」みたいなのを、できる所は全面に出す。嫌な人の為に、「禁煙」の所は全面にPRする。求める人たちが別れる。

＜7＞他への思いやりを向上させる【30件】

・以前、私自身も喫煙していましたので、喫煙者の気持ちもわかります。モラルの問題として、お互い思いやる気持ちを持てば済む事と願っています。

＜8＞喫煙者を減らしていく指導【49件】

・環境的にも、経済的にも、タバコが吸いにくい、状況を造りつつあると思います。今後も、推進して行くことにより、自然に喫煙者は減って行くと思います。行政も、税金をあてにしようにしてください。

・受動喫煙はもちろん、喫煙そのものの害を考えて機会を減らす方向へ進むような働きかけが望ましいと考える。

＜9＞その他【26件】

・朝・夕方の時間帯に路上喫煙防止の係の人が駅や周辺で見張ってくれています。とても助かりますが、それでもその隙間で吸っていたりと、迷惑な行動を取る人達がいることを残念に思います。周知していくことは大変だと思いますが、厳しく進めていただけたらと思います。

7.規制の強化について【756件】

＜1＞罰則等の強化【330件】

・路上を含む公共施設、交通機関等、もっと監視の目を増やし、罰則を重くしてほしい。喫煙者はルールを守らない人間が多すぎる。

・罰則などないとなかなか防止することが出来ないと思うのでよりきびしい対応を希望します。

・規則を使っても必ず守らない人がいるので最初から重くした方がいいと思う

・若年層時は、それ程感じなかった頃と違い年を重ねていく中、臭い、煙だけで胸が苦しく、しめつけられる様な症状になります。幼児が親に臭いからやめてと訴えても、身体に悪影響と言われても、身近な場所で販売している以上規制は必要と思います。

＜2＞これ以上強化しない【71件】

・今でもけっこう厳しいと思うので、これ以上厳しくしないでいいんじゃないかと思います。(自分は吸いませんが、生活上気になりません)

・たばこを販売している世の中で、喫煙を何もかも規制するのは矛盾しているように思う。分煙、場所、状況、マナーでその時々で考えていけばいい。

<3>路上全面禁煙【70件】

- ・プライベート空間を除き、路上も含め全て禁煙にすべきです。中途半端にするからもめるのです。
- ・建物やコンビニ前の喫煙も受動喫煙となるので全面禁煙にしてもらうよう規制してほしい。

<4>喫煙(路上)の取締強化【91件】

- ・歩きタバコ禁止と書かれていても、それをとりしめる人がいない。又、とりしめる人がいなくても、喫煙者が控えようと思えるように示していくことが必要。以前、防犯パトロール(町の)の車で、タバコを吸いながら運転しているのを見た。それで良いのかと考えさせられた。
- ・建物内での喫煙防止のほか、歩きタバコ、路上喫煙防止を厳しくしてほしい。歩きタバコは小さい子供にとって非常に危険ですし、空気をけがされるようで、不愉快です。

<5>公共施設以外にもマンション・住宅街を禁煙にすべき【65件】

- ・家の近く(裏の家のベランダ)で、タバコを吸う人がいて、その窓を開けることができません。臭いだけでなく黄色く汚れそうで嫌です。
- ・最近よく耳にするのが、マンション等の共同住宅で、隣人がベランダで喫煙する時に、風に乗ってタバコのおい等が部屋の中に入ってくる(受動喫煙)のが迷惑だし、健康への影響が心配である。という声である。ベランダは個人のプライベート空間であるが、ベランダでの喫煙禁止(窓を閉めて室内で喫煙する)といった規則を設けて欲しい。実際私も窓を閉めていても、隣人がタバコをベランダで吸っていると、エアコンの風や通気穴からタバコのおいが入ってきて、こちらでは自己防衛の対策をとるのは限界がある。

<6>屋内禁煙【28件】

- ・最近では、路上の喫煙所以外は受動喫煙にはあいません。歩きタバコをする人もあまり見かけません。自分では、居酒屋など喫煙可のお店に入らないようにしています。むしろ、未成年者、妊婦がいる家庭内での対策をした方が良いのではないのでしょうか。喫煙者本人の健康のためにも良いと思います。
- ・施設により例外を認めると、対策が進まないで全ての施設を建物内禁煙としたほうが良い。

<7>タバコの禁止【49件】

- ・タバコは麻薬と同じです。さらに非喫煙者に迷惑をかけています。よって、タバコを禁止すべきだと思います。
- ・受動喫煙防止というより、喫煙者本人の健康にも悪いし、吸っていない人にも害を与えるので、タバコ自体がなくなる社会になってほしいです。

<8>その他【52件】

- ・段階を踏んで規制をしていけば反発も少ないかと思います。
- ・違反者をどう摘発していくか、たとえ発見した所で警察みたいに取り締めることが、本当にできるのが課題でしょう

8.喫煙者側の立場にたった意見【260件】

<1>タバコ税を納めているのに、規制はおかしい【29件】

- ・タバコを吸っているってことは、吸ってない人より税金をちゃんと納めている。今まで国はタバコ税、酒税、税金に困ったらこの2つをすぐ引き上げていたのに受動喫煙とか健康を出してくるのは汚い。
- ・喫煙者は余計に税金を払っているんだから、排除する方向ではなく、共存する方向性で考えて欲しい。

<2>一部のマナー違反者を取り締まるべき【30件】

- ・受動喫煙防止ばかりを問題視するのはどうかと。私から言わせれば、酒に飲まれ暴れたり、人に絡んだりする連中を法律で規制してほしい。確かに、タバコを吸わない人からは迷惑だと言われるのも納得は出来る。警察が路上禁煙の場所で喫煙を見ても、見て見ぬふりをしている。ルール違反を、まず取締るべきでは？
- ・一人でもマナーを守る喫煙者が増えてくれることを望みます。喫煙者全てが悪いわけではありませんし、きちんとマナーを守って吸っている人も自分の周りにはいるので、一部のマナーを守らない人に焦点を当ててあたかも喫煙者全てを悪と見なさないで欲しいです。

＜3＞禁煙・喫煙の共存を考えるべき【50件】

・現状において、喫煙する側の立場としては、周りの状況、マナーは第一に考える。現在は分煙エリアがある施設はたすかる。「やめる」という選択肢もあるとは思うが、規制をかければ事が済むとも思えない。吸う人も吸わない人も、できるだけ互いが不快な思いにならない環境を落しどころにしてほしい

・タバコ全てが悪ではなく、愛煙家の言い分、考え方を良く聞き取り、国民が納得出来るルールを設定すべきだと思います

＜4＞喫煙者にも配慮してほしい【98件】

・私は喫煙者ではありませんが、どんどん肩身が狭くなっている喫煙者にも配慮のある措置がなされればと思います。

・具体的にどうして欲しいと、今、考えつかないが喫煙するのは、ストレス発散などの理由もあるのであまり厳しい規制はしないで欲しい。

・喫煙者のなかには、依存症のような人も少なくないと思う。そのような人々への支援も考える必要があると思う。

＜5＞快適に喫煙できるスペースを確保してほしい【28件】

・喫煙者に厳しすぎると思う。完全禁煙の場所が多すぎる。せめて分煙にするべき。これ以上喫煙者の肩身をせまくしてほしくない。悪いイメージをもたれるのはとても不快です。喫煙スペースが少なくなってるからマナーを守らない人が増えてると思う。

＜6＞その他【25件】

・以前喫煙していたので、喫煙者の気持ちも理解します。線引きが難しいですね。

9. たばこに関する意識について【159件】

＜1＞喫煙者が迷惑を自覚することが必要【69件】

・もう一度喫煙が身体に与える影響を深く知り、自己判断で禁煙をするべきである。自分だけ良ければ、ではなく他人の迷惑をも考える必要があると思います。

・規制以前に喫煙者への受動喫煙についての啓蒙が必要に感じる。喫煙者は受動喫煙について非常に無関心である様に思うため。

＜2＞充分対策はすすんでいる【26件】

・喫煙者もずいぶんと少なくなっているようだし、分煙の意識も高くなっているように思う。特に規制をしなくとも世の中の流れが禁煙・分煙に向いているので個人マナーの問題であるように思う。

＜3＞自己責任【52件】

・法律で自由をうばうのは良くない。差別の一種。本人の良識で良い。

・末期の段階にきているとは思いますが、やはり、マナーや個人の問題であり、まだ国や都が規制すべきではないと思う。

＜4＞その他【12件】

・このごろテレビドラマで喫煙している場面が多い。なんとなくカッコいいのでまねをして喫煙している人が多い。

10.たばこの販売について【341件】

<1>たばこの値上げ【140件】

- ・タバコは百害あって一利なし。ものすごく高価にして誰にでも手が出せるものにならないほうが良い。安価だと若者も手に入れてしまう。
- ・たばこの価格を、今より何倍かにする。たばこの自動販売機を置かない。罰金付きの規制。
- ・たばこを吸うリスクをもっとPRすべき。たばこ自体無くなれば良いと思うが、いろいろあって難しいだろう。だから1箱の値段を高くしたほうがよい。(主人は誰が何を言っても辞めない。病気のリスクを認識してほしい。)

<2>たばこ税を上げる【60件】

- ・可能であれば独自に税をかけて、たばこの値段を上げるのが良いと思う。他県からのもちこみが増えると思うが、少しでも抑制されれば良いのではないか。
- ・喫煙者には申し訳ないが、たばこ税をもっと上げ、その増収になった分を分煙のため、施設費用等に当ててほしい

<3>販売・製造の禁止【101件】

- ・喫煙は体に決して良くないものなので喫煙を止めるように各自努力してもらおう。又タバコ販売を中止してはどうか？タバコに代わる物を提案してもらい商品化する等
- ・そもそもたばこは必要ですか？販売自体しなければ解決するのでは？
- ・なんでも罰則付きにするのはよくない。タバコを売らないようにするのがよい。今頃になっていうのではなくもっと昔に規制すれば良かったのではないですか。

<4>販売場所・方法を検討【38件】

- ・車同様、タバコの喫煙、購入、携帯にも免許証制にすると良い。免許習得、更新等、有料にして、それを施設の整備費用に充てると良い。
- ・自動販売機をなくし、対面式の年齢確認をした上での販売方法にして欲しい。

<5>これ以上価格を上げない、たばこ税の廃止【2件】

- ・喫煙について規制をかける以上、たばこに税金をかけることには疑問がある。増してや罰則付きの規制をかけるのであれば、税金をかけるのは、おかしいと思う。

11.行政への要望【256件】

<1>都が条例などを制定【104件】

- ・都としてのルールを整備をはっきりと決めてほしい。罰則はあった方が秩序が守られると思う。また、喫煙による事故やトラブルが起こらないようにしてほしい。完全禁煙とかでなく、双方が気持ちよく過ごせるルールがよいかと
- ・国が動かないのであれば、手本となるような推進を東京都に望みます。よりよい社会となるよう、よろしく願いいたします。
- ・路上禁煙の条例が区毎になっていると思うが、せめて都区内で統一していただきたい。

<2>国で法律を制定【65件】

- ・法律で定めた方が、喫煙者の意識付けがはっきりすると思います。
- ・国が全国一律の罰則付き法律を制定するだけ。喫煙マナーを守らない喫煙者が多いので、全てにおいて全面禁煙にして、喫煙者はプライベート空間で楽しんでほしい。また、罰則付き法律が制定されるのは「何年後」なんですかね…。たばこを吸わない人からすれば、早く制定してほしいです。

<3>公共施設の全面禁煙【17件】

- ・役所ですら受動喫煙対策が十分になされていないと思う。喫煙による害をもっと広報するだけでなく、公的機関が率先して受動喫煙による被害をなくすように行動すべき。公的な場所の全面禁煙といった物的な対策や、職員の禁煙といった人的な面でも他よりも進んで対策をしてほしい

<4>路上・禁煙場所の取締強化【13件】

・路上喫煙禁止のエリアでも、その表示の目の前で喫煙する等、マナーの悪い人がとても多いです。禁止となっても制度が機能していない、取締まりがなされていない印象があります。実効性のある制度の構築、実施を是非お願いします。喫煙する権利もあると思いますが、受動喫煙にあわない権利もあると思います。

<5>都民の健康状態を管理してほしい【8件】

・禁煙外来での治療を保険適用として負担のかからないようにして、多くの人がたばこをやめてほしい。

<6>対策費用の支援・助成【21件】

・喫煙の自由もあるため飲食店が分煙対策費用が発生した場合、小規模店には補助金を出すことも必要かもしれない。

<7>その他【28件】

・受動喫煙の害が明確になっているのに、対策が遅れている。スピード感が感じられる対策を積極的に行って欲しい。

12.その他【348件】

<1>受動喫煙対策以外について規制・取組みをして欲しい【10件】

・そもそも、法規制するための根拠(副流煙のデータ)不十分です。環境、健康を真に考えるならば、最低限、科学的根拠のしっかりした需要項目から手をつけるべきです。都は23区、多摩地区ゴミ格差問題などのあたりまえの環境対策にしっかり向きあうべきです。

・受動喫煙防止よりも車の排気ガス規制にもっと取りくむべき。受動喫煙で人は死なない

<2>副流煙を吸い取る装置の開発【3件】

・家庭用除煙器の設置を義務にするなど、24時間空調(換気)の吸気口から入る煙対策を強くお願いしたい。

<3>電子たばこ、加熱式たばこ等の普及【51件】

・電子タバコを進めてほしい、電子タバコ以外廃止。

・あまり規制しすぎると喫煙者は生活しづらくなると思います。最近ではIQOSのような電子タバコにして気をつけている人たちもいます。そういう所も教えてほしい。今までどおりでいいと思います。

・最近、アイコス、プルームテック、など電子たばこが増えています。入手しやすく、良いのかデメリットも不明ですが、受動喫煙は減少しているらしい。その辺の情報も、公開していただけたら、喫煙者としては協力したいと思います。

<4>電子たばこ・加熱式タバコ等も同様に規制すべき【10件】

・禁煙表示の中に「電子タバコ等も含む」などの但書きを希望、電子タバコなら平気という風潮が伺える時がある。

<5>規制が厳しすぎる【4件】

・受動喫煙防止は正論である。それだけに、一方的な議論に流れることを危惧する。善良な愛煙家への配慮が必要であり、「とにかく全面禁煙」の如き乱暴な結論にならないよう望む。電子たばこの扱いへの言及も必要。